IS01

取扱説明書　詳細版

IS series

au by KDDI

ごあいさつ

このたびは、IS01をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に、IS01に付属する『スタートアップガイド』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。

memo

IS01に付属する『スタートアップガイド』では、主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本書をご参照ください。

取扱説明書ダウンロード

『スタートアップガイド』と『取扱説明書詳細版』(本書)のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。
パソコンから：**http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html**

オンラインマニュアル

auホームページでは、本書を抜粋のうえ、再構成した検索エンジン形式のマニュアルもご用意しております。
パソコンから：**http://www.au.kddi.com/manual/index.html**

■ For Those Requiring an English/Chinese Instruction Manual
英語版・中国語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページからダウンロードできます(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

English/Chinese Simple Manual can be read at the end of this manual.
簡易英語版／中国語版は、本書巻末でご覧いただけます。

安全上のご注意

IS01をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauのホームページ、お客さまサポート「故障診断」で症状をご確認ください。

- パソコンから：**http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html**

IS01をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- IS01はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- IS01は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんのでご留意ください。(ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- IS01は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にauに送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が本書をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

目次

カメラで撮影する 149

テレビを楽しむ 173

コンテンツマネージャーとmicroSDメモリカード 187

安全上のご注意

本書の表記方法について

■掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化していますので、あらかじめご了承ください。





（スペースキー）

■項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、▲／▼／◀／▶でメニューの項目／アイコン／画面上のキーなどにカーソルを移動してENTERを押す操作を、［（項目などの名称）］と省略して表記しています。

また、トラックボールでメニューの項目／アイコン／画面上のキーなどにカーソルを移動してトラックボールを押す操作も、同様に［（項目などの名称）］と表記しています。

本書でのその他の操作と表記については、「基本的な操作と本書の表記を覚えよう」（▶P.54）をご参照ください。

例：電話帳を新規登録する場合

1 メインメニューで［電話帳］→［新規登録］

「電話帳」や「新規登録」のアイコンを直接タップしても実行できます。



memo

◎各機能のお買い上げ時の設定については、「設定項目一覧」（▶P.286）をご参照ください。

◎本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

◎ 本書では「microUSB-USB変換ケーブル（同梱）」およびオプションの「シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01」の名称を、「microUSB-USB変換ケーブル」と省略しています。
◎ 本書では「microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル（同梱）」およびオプションの「シャープmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブル01」の名称を、「microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル」と省略しています。

■ 掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

実際の画面



本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。

本書の表記例



免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
◎ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ Androidマーケットについて

◎ アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
◎ 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
◎ お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

安全上のご注意

■ 安全にお使いいただくために必ずお読みください。

●この「安全上のご注意」には、IS01を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

区分	内容
⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や物的損害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

●図記号の意味は以下のとおりです。

記号	意味	記号	意味
禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。	濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ IS01、電池パック、充電用機器、au ICカード、microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル、microUSB-USB変換ケーブル、周辺機器共通

⚠危険　必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

記号	内容
指示	必ず指定の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。 IS01専用および共通周辺機器 ●電池パック（SHI01UAA） ●丸型イヤホンジャック変換アダプタ（0201QNA）（別売） ●microUSB-18芯（充電器）変換ケーブル（SHI01HVA） ●microUSB-USB変換ケーブル（SHI01HUA） ●共通ACアダプタ01（0202PQA）（別売） ●共通ACアダプタ02（0203PQA）（別売） ●AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売） ●AC Adapter AO（0204PLA）（別売） ●AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売） ●AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売） ●AC Adapter CHA（0204PTA）（別売） ●AC Adapter REST（LS1P002A）（別売） ●AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売） ●AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売） ●共通DCアダプタ01（0201PEA）（別売） AC Adapter MIDORI／AO／SHIRO／MOMO／CHA／REST／RANGERS／CHARGYは共通ACアダプタ02と共通の仕様です。
禁止	高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。
指示	ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にIS01の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。
禁止	電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

禁止 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

禁止 microUSB接続端子や平型イヤホン接続端子、およびmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルやmicroUSB-USB変換ケーブルの接続端子をショートさせないでください。また、microUSB接続端子や平型イヤホン接続端子、およびmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルやmicroUSB-USB変換ケーブルの接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。

禁止 指定のACアダプタ(別売)をコンセントに差し込む場合やmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルまたはmicroUSB-USB変換ケーブルを接続する場合、電源プラグや接続端子に金属製のアクセサリーなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

禁止 カメラのレンズに直射日光などをあてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

⚠警告 必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。

禁止 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

分解禁止 IS01はソフトウェアも含め、お客様による分解・改造・変更・修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりIS01またはソフトウェアなどに不具合が生じてもKDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

指示 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止 IS01が落下などによって破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

水濡れ禁止 濡れ手禁止 水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対しないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。(雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。)万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグ、microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル、microUSB-USB変換ケーブル、電池パックを抜いてください。また、身につけている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水濡れや湿気による故障は保証の対象外となり、修理ができません。

指示 microUSB接続端子や平型イヤホン接続端子、およびmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルやmicroUSB-USB変換ケーブルの接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

⚠注意 必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

禁止 直射日光のあたる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

禁止 ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

禁止 乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品や電池パック・au ICカード・microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル・microUSB-USB変換ケーブル・microSDメモリカードの誤飲で窒息するなど、事故や傷害などの原因となる場合があります。

指示 金属製のアクセサリーなどを使用されている場合は、充電の際に電池パック、microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル、microUSB-USB変換ケーブルの接続端子、特にコンセントなどに触れないように十分注意してください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

指示	使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたら使用を中止してください。異常が起きた場合、充電中であれば、指定の充電用機器(別売)をコンセントまたはシガーライタソケットから抜き、熱くないことを確認してください。またmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルまたはmicroUSB-USB変換ケーブルをご使用の場合はIS01や充電用機器(別売)、パソコンなどから抜き、熱くないことを確認してください。その後IS01の電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。また、落下したり、水に濡れたりなどして破損した場合などもそのまま使用せず、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。
禁止	外部から電源が供給されている状態のIS01・電池パック・指定の充電用機器(別売)・microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル・microUSB-USB変換ケーブルに、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。
禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
禁止	電池パックカバーを外したまま使用しないでください。
禁止	腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
指示	Bluetooth®機能は日本国内でご使用ください。IS01のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
指示	無線LAN機能は日本国内でご使用ください。IS01の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
禁止	IS01から電池パックを外した状態で指定の充電用機器(別売)やmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブル、またはmicroUSB-USB変換ケーブルをつながないでください。発火・感電の原因となります。

■IS01について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

禁止	自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
指示	航空機内での携帯電話の使用(電波OFFモード含む)は法律で禁止されています。電源をお切りください。
指示	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器のお近くで携帯電話を使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。 1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を心臓ペースメーカーなどの装着部から22cm以上離して携行および使用してください。 2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るよう心がけてください。 3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。 • 手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には携帯電話を持ち込まないでください。 • 病棟内では、携帯電話の電源をお切りください。 • ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、携帯電話の電源をお切りください。 • 医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。 4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
指示	高精度な電子機器の近くではIS01の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

禁止

ピクチャーライトをご使用になる場合、ピクチャーライトを人の目の前で発光させないでください。また、ピクチャーライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様にピクチャーライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてピクチャーライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

禁止

スピーカーフォンで通話中や着信音が鳴っているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴の原因となる場合があります。

指示

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師と相談してください。

指示

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、テレビ（ワンセグ）を見たり、音楽を聴くときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信をしないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作などの影響を与えることがあります。

⚠注意　**必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

禁止

ステレオイヤホン（別売）などを持ってIS01を振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因になることがあります。

禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

夏季に閉めきった車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないようにしてください。IS01が熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下しご利用できる時間が短くなったり、本体が変形し故障の原因となる場合があります。

指示

FMトランスミッターは日本国内でご使用ください。FMトランスミッター機能は、日本国内では無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。

指示 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

IS01には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しています。

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース（ディスプレイ背面）	ABS樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース（ディスプレイ枠部）	マグネシウム合金	アクリル系塗装処理
外装ケース（下側キー面）	PA樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース（下側背面）	ABS樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース（ヒンジ部）	ABS樹脂	アクリル系UV硬化処理
電池パックカバー	ABS樹脂	アクリル系UV硬化処理
microUSB接続端子カバー、平型イヤホン接続端子カバー	PC樹脂・エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化処理
ディスプレイ	強化ガラス	アクリル系ハードコート
ディスプレイ飾り	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
インカメラレンズ	アクリル樹脂	ハードコート処理
開閉当り	エラストマー樹脂	なし
ディスプレイビスカバー	PET樹脂	アクリル系UV硬化処理
キーボード	ABS樹脂	アクリル系UV硬化処理
ホームキー、電源キー、戻るキー、メニューキー	PC樹脂	アクリル系UV塗装処理
キー飾り	PET樹脂	アクリル系UV硬化処理
トラックボール（ボール）	フッ素ゴム	なし
トラックボール（ケース）	POM樹脂	なし
赤外線ポート	ABS樹脂	なし
ピクチャーライトレンズ	アクリル樹脂	なし
ピクチャーライトレンズ（カメラ枠）	PC／ABS樹脂	なし
カメラレンズ	アクリル樹脂	ハードコート処理
脚（滑り止め）	ウレタン樹脂	なし
充電／着信ランプカバー	ABS樹脂	なし

禁止 人の混雑している場所では使用しないでください。IS01が人にあたり、思わぬけがをする場合があります。

禁止 キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなど磁気を帯びたものを近づけたり、挟んだりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

禁止 microUSB接続端子や平型イヤホン接続端子に液体・金属片・燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、通常はmicroUSB接続端子カバーや平型イヤホン接続端子カバーを開けたままにしないでください。ほこり・水などが入り、故障の原因となります。

指示 心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

指示 スピーカー部、ヒンジ部（つなぎ目）の吸着物にご注意ください。これらの箇所には磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

禁止 本体を閉じるときは指や物を挟まないでください。ディスプレイなどの破損の原因となります。本体を開閉するときは、ヒンジ部（つなぎ目）やディスプレイとヒンジ部の間に指や物を挟まないようにご注意ください。けがの原因となります。

禁止 テレビ（ワンセグ）視聴中は、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。本体一部が温かくなり、やけど・故障の原因となります。

禁止 ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。

禁止 爪先でタッチパネル操作を行わないでください。爪が割れるなど、けがの原因となります。

禁止　自動車・原動機付自転車・自転車の運転中は、方位計アプリを使用しないでください。命の危険性に関わるスポーツでのご使用は避けてください。

■ 電池パックについて

Li-ion00

IS01の電池パックはリチウムイオン電池です。
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険　誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂などのおそれがあり危険です。必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止　電池パックのプラス（+）とマイナス（−）をショートさせないでください。

指示　電池パックをIS01に接続するときは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず、接続部を十分にご確認してから接続してください。

禁止　釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

分解禁止　お客様による分解・改造・修理やハンダ付けはしないでください。また、外装シールをはがさないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。

禁止　落としたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。

禁止　持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピン）などを接続端子に触れさせないでください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

指示　内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。

指示　電池パックをIS01から取り外すときは、PULLタブを持ち、上方へ持ち上げて外してください。ペンなどの先の細いものを差し込んで外そうとした場合、発火や破損の原因となります。

⚠警告　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

水濡れ禁止　電池パックを水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちにIS01の電源を切り、電池パックを外してauショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

指示　ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示　漏液したり異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液体に引火し、発火・破裂の原因となります。

指示　電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■充電用機器について

⚠警告　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止　指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。共通ACアダプタ01（別売）では日本国内家庭用AC100Vを使用してください。単相200Vでの充電は行わないでください。共通ACアダプタ02（別売）／AC Adapter MIDORI（0205PGA）（別売）／AC Adapter AO（0204PLA）（別売）／AC Adapter SHIRO（0204PWA）（別売）／AC Adapter MOMO（0204PPA）（別売）／AC Adapter CHA（0204PTA）（別売）／AC Adapter REST（LS1P002A）（別売）／AC Adapter RANGERS（LS1P003A）（別売）／AC Adapter CHARGY（LS1P001A）（別売）はAC100Vから240Vまで対応していますが、IS01は日本国内でのみご利用いただけます。共通DCアダプタ01（別売）はDC12VまたはDC24Vのマイナスアース車でご使用ください。

指示　指定の充電用機器（別売）の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定のACアダプタ（別売）が傷んだときやコンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

指示　共通DCアダプタ01（別売）はヒューズを使用しています。ヒューズが切れた場合は必ず指定のヒューズ（定格250V 1A）と交換してください。発熱・発火の原因となります。ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01（別売）の取扱説明書をよくご確認ください。

禁止　指定の充電用機器（別売）の電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

禁止　雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

濡れ手禁止　濡れた手で指定の充電用機器（別売）の電源コード、コンセントに触れないでください。火災・やけど・感電の原因となります。

プラグをコンセントから抜く　お手入れをするときには、指定の充電用機器（別売）のプラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると感電やショートの原因となります。また、指定の充電用機器（別売）のプラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

指示　車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

水濡れ禁止　水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。

指示　充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

プラグをコンセントから抜く　長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

指示　充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。

水濡れ禁止　濡れた電池パックを充電しないでください。

水濡れ禁止

風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。

指示

指定の充電用機器（別売）のプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

禁止

共通DCアダプタ01（別売）は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

禁止

IS01から電池パックを外した状態で指定の充電用機器（別売）を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■ microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルについて

⚠警告　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しない場合は、microUSBコネクタをIS01から抜いてください。また、指定の充電用機器（別売）のコネクタをmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止

microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルの接続端子に液体・金属片・燃えやすいものなどが内部に入ったり、触れたりしないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。

指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルには、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しています。

使用箇所	使用材料	表面処理
ケーブル	熱可塑性ウレタン樹脂	なし
microUSB側コネクタカバー	熱可塑性ウレタン樹脂	なし
microUSB側先端	ステンレス	ニッケルメッキ
18芯側コネクタカバー	ABS	なし
18芯側先端	銅合金	ニッケルメッキ

■ microUSB-USB変換ケーブルについて

⚠危険　誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂などのおそれがあり危険です。必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。

指示

ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告・注意表示を厳守し、各取扱説明書の記載内容に従って正しくお使いください。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。

禁止

microUSB-USB変換ケーブルの接続端子に液体・金属片・燃えやすいものなどが内部に入ったり、触れたりしないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。

指示

ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。故障・感電・火災の原因となります。また、傷ついたケーブルは使用しないでください。

指示 ケーブルを抜き差しするときは、必ずUSBコネクタを持ってください。ケーブル部分を引っ張るとケーブルの破損や故障の原因となります。

指示 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

microUSB-USB変換ケーブルには、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しています。

使用箇所	使用材料	表面処理
ケーブル	熱可塑性ウレタン樹脂	なし
microUSB側コネクタカバー	エラストマー樹脂	なし
microUSB側先端	銅合金	ニッケルメッキ
USB側コネクタカバー	エラストマー樹脂	なし
USB側先端	銅合金	ニッケルメッキ

■au ICカードについて

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

指示 au ICカードをIS01に取り付け・取り外しをするときは、手や指を傷つけないようご注意ください。

指示 au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

分解禁止 au ICカードを分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

禁止 au ICカードを電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止 au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止 au ICカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

禁止 au ICカードのIC（金属）部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。内部データの消失・故障の原因となります。

禁止 au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

禁止 au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

水濡れ禁止 au ICカードを濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

禁止 au ICカードのIC（金属）部分を傷つけないでください。故障の原因となります。

禁止 au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

禁止 au ICカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

指示 au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤飲で窒息したり、傷害などの原因となります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ IS01、電池パック、充電用機器、au ICカード、microUSB-18芯(充電器)変換ケーブル、microUSB-USB変換ケーブル、周辺機器共通

- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。特に開いた状態でカバンの中に入れないでください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。周囲温度5℃～35℃、周囲湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。
  調査の結果、極端な温度・湿度条件下での使用による故障と判明した場合は、保証の対象外となり、修理ができません。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- microUSB接続端子や平型イヤホン接続端子、およびmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルやmicroUSB-USB変換ケーブルの接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、掃除の際は強い力を加えて端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中や音声通話中、カメラ機能動作中、テレビ(ワンセグ)視聴中など、ご使用状況によってはIS01が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 使用中、IS01が高温となった場合、本体の保護のため一時的に一部機能を停止することがあります。
- 電池パックはIS01の電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- お子様がご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかをご注意ください。けがなどの原因となります。

■ IS01について

- 充電中や音声通話中、カメラ機能動作中、テレビ(ワンセグ)視聴中などは、ご使用状況によってはIS01の一部が温かくなりますので、手や顔などが触れる場合はご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- キーの表面に爪や硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や故障の原因となります。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- IS01(電池パックを取り外した背面)に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様のIS01が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- IS01に登録された電話帳・PCメール・Cメール・ブックマーク・お客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。
  万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- IS01に保存されたメールやダウンロードしたデータ(有料・無料は問わない)などは、機種変更・故障修理などによるIS01の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- IS01はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- IS01で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 本体の開閉時やご使用中は、ヒンジ部(つなぎ目)に無理な力が加わらないようにしてください。振り回したりそらしたりして本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼らないでください。本体を閉じたときにキーを押したままの状態になりキー操作ができなくなるなど、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、IS01が損傷するおそれがあります。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、カメラ機能・テレビ(ワンセグ)視聴を繰り返し長時間連続作動させた場合、本体の一部が温かくなり長時間皮膚に接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- IS01に磁気を帯びたものなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- IS01を永久磁石(磁気ネックレス・バッグの留め金など)/家庭電化製品(テレビ、スピーカーなど)の強い磁気を帯びたものに近付けないでください。IS01そのものが磁気を帯びたとき(着磁または帯磁と呼びます)は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、温度が急激に変化するような場所で使用された場合、IS01内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、「バックライト」の「明るさ自動調整」をONに設定しても、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- IS01は、盗難・紛失時の不正利用防止のため、お客様のau ICカード以外ではご利用できないようロックがかけられております。ご利用になる方が変更される場合には、新しくご利用者になる方が、このau ICカードをご持参のうえ、auショップ・PiPitにご来店ください。なお、変更処理は有償となります。
- microUSB接続端子や平型イヤホン接続端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のコネクタが平行になるように抜き差ししてください。
- microUSB接続端子や平型イヤホン接続端子に機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- microUSB接続端子カバーや平型イヤホン接続端子カバーを強く引っ張ると破損の原因となりますのでご注意ください。
- IS01は、防水仕様になっておりません。水をかけないでください。
- 撮影などしたフォト/ムービーデータや音楽データなどは、メール添付などの利用により個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、「著作権が有効なデータ」など上記の手段でも控えができないものもありますのであらかじめご了承ください。
- IS01は不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットを使用した通話以外の機能(メール、カメラなど)の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。
- ディスプレイの開閉の際に指などの挟み込みにご注意ください。
- カバンおよびポケットなどに入れる際は、ディスプレイを閉じた状態で収納し、ディスプレイが金属などの堅い部材にあたらないようにしてください。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。

■ タッチパネルについて

- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、ディスプレイを閉じた状態で収納してください。開いた状態のまま収納すると静電気などによる誤動作の可能性があります。
- タッチ操作は1本の指(ピンチ操作の場合のみ2本の指)で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイの損傷や破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護シートや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、ほこりなどが付着していると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- デスクトップポジションやオープンポジション時のタッチパネルを強く押しての操作は、破損・故障の原因となりますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、IS01から外し、ビニール袋などに入れて高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使用できる時間が、次第に短くなります。目安として、十分充電しても使用できる時間が購入時の半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 不要な電池パックは普通のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要になった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- お買い上げ時には、十分に充電されていない場合もあります。初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。（充電中、電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。）
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードを電源プラグに巻き付けないでください。感電・発火・火災の原因となります。

■ microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルについて

- 高温、低温下での充電は十分な容量が得られません。正しく充電できるまで充電待機状態となります。充電可能な範囲内となる場所（周囲温度5℃～35℃）へ移動してください。
- 充電中、温かくなることがありますが異常ではありません。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- ご使用にならないときは、指定の充電用機器（別売）のプラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。指定のACアダプタ（別売）本体に電源プラグを収納してください。けがなど事故の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをプラグに巻き付けないでください。感電・発火・火災の原因となります。
- ケーブルを持ってIS01をぶら下げたり、引っ張ったり、振り回したりしないでください。断線や故障の原因となります。
- IS01の電源を入れた状態でも充電はできますが、充電時間がやや長くなります。
- 長時間ご使用にならなかった電池パックを充電したときは、初回の充電時間が長くなることがあります。
- 持ち運ぶ際や保管するときは袋などに入れて、接続端子へのゴミの付着や接続端子の変形にご注意ください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。

■ microUSB-USB変換ケーブルについて

- microUSB-USB変換ケーブルをIS01に巻きつけて使用しないでください。
- ケーブルを持ってIS01をぶら下げたり、引っ張ったり、振り回したりしないでください。断線や故障の原因となります。
- microUSB-USB変換ケーブルのUSBコネクタをIS01やパソコンなどに接続するときは、奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。また、接続端子に対して平行になるように抜き差ししてください。故障や動作不具合の原因となります。
- 持ち運ぶ際や保管するときは袋などに入れて、接続端子へのゴミの付着や接続端子の変形にご注意ください。
- 通信中や充電中などご使用状況によっては温かくなることがありますが異常ではありません。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。

■カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- IS01の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ（以下「データ」といいます。）が変化または消失することがあり、この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。
- 大切な撮影（結婚式など）をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、また聞き取りやすく録音されているかをご確認ください。
- 撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはおやめください。
- 撮影時にレンズやピクチャーライトに指がかからないようにご注意ください。

■著作権／肖像権について

- お客様がIS01で撮影・録音したものを複製・改変・編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の対象となっている画像を転送することはできません。
- 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■音楽機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽やテレビ（ワンセグ）などを視聴しないでください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。また、歩行中でも周囲の交通に十分注意してください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、ステレオイヤホンからの音漏れにご注意ください。
- 雨の中や水に濡れるような場所では使用しないでください。

■au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。また、解約などを行って不要になったau ICカードはauショップもしくはPiPitまでお持ちください。
- au ICカードの取り付け、取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるIS01への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードのIC（金属）部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- au ICカードにシール・ラベルなどを貼り付けないでください。
- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- au ICカードの取り付け、取り外しでは、IC（金属）部分に触れないようにご注意ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

IS01をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② auお客様センター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● ロックNo.

使用例	クローズロックや遠隔ロック、電話帳制限などの設定／解除をする場合
初期値	1234

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、IS01には次のような機能が用意されています。

機能	設定方法
「電話帳制限」	設定方法は、「電話帳のオプションメニューを利用する」（▶P.75）をご参照ください。
「遠隔ロック」	設定方法は、「遠隔ロックを設定する」（▶P.258）をご参照ください。
「フォルダシークレット」	設定方法は、「メールボックス画面でできること」（▶P.82）をご参照ください。
「シークレット設定」	設定方法は「送受信履歴を管理する」（▶P.85）をご参照ください。

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。（▶P.262「PINコードを設定する」）

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「入力要否設定」で入力が必要な設定に変更できます。
  なお、入力要否を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「PINコード変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「PINコード変更」で新しくPINコードを設定してください。（▶P.262「PINコードを設定する」）
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

memo

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のためIS01が再起動することがあります。

◎「PINコード」は「リセット」（▶P.273）を行ってもリセットされません。

〈本機の記録内容の控え作成のお願い〉

● ご自分で本機に登録された内容や、本機外から本機に受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控えをお取りください。
本機のメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消失したり変化することがあります。
電話帳などの文字情報や撮影したフォト／ムービーデータ、および音楽データなどは、microSDメモリカードにバックアップすることをおすすめします。メール添付を利用してデータを個別にパソコンに転送することもできます。
ただし「著作権が有効なデータ」など、上記の手段でも控えが作成できないものがあります。あらかじめご了承ください。

■ **お知らせ**

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

Bluetooth®／無線LAN機能をご使用する場合のお願い

Bluetooth®について

- Bluetooth®機能は日本国内でご使用ください。IS01のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

●Bluetooth®ご使用上の注意

IS01のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS01を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS01と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS01の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

●周波数帯について

IS01のBluetooth®機能が使用する周波数帯は次の通りです。

2.4FH1

Bluetooth®機能：2.4FH1

IS01は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

無線LANについて

- 無線LAN機能は日本国内でご使用ください。IS01の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 近所に複数のアクセスポイントがあったり、電気雑音の影響を受けると、通信などが阻害されることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。

●無線LANご使用上の注意

IS01の無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. IS01を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、IS01と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS01の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

●周波数帯について

IS01の無線LAN機能は、2.4GHz 帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4DS4/OF4

- **無線LAN機能：2.4DS/OF4**

  IS01は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

  移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。

- IS01の無線LANで設定できるチャンネルは1～13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi対応の航空機内であっても、必ず電源を切ってください。

memo

◎ IS01はすべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN対応機器との動作を保証するものではありません。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LANの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LANによるデータ通信を行う際はご注意ください。

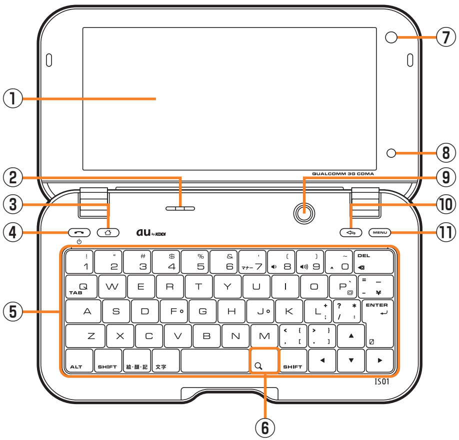
◎ 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

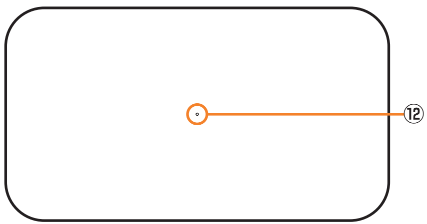
◎ Bluetooth®・無線LAN通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

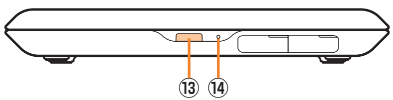
◎ Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LANのいずれかの使用を中止してください。

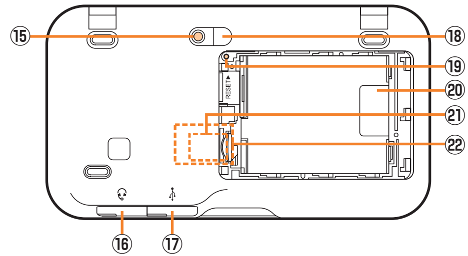
ご利用の準備をする

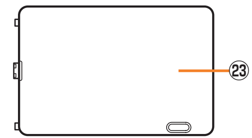
各部の名称と機能











memo

◎au ICカードの取り扱いについては、「au ICカードについて」(▶P.38)をご参照ください。

テレビアンテナについて

◎テレビ(ワンセグ)を視聴するためのアンテナが、ディスプレイ側に内蔵されています。

内蔵アンテナについて

◎Bluetooth®アンテナ、無線LANアンテナはディスプレイ部の左側のみ、GPSアンテナは本体の左部分のみ、FMトランスミッターアンテナは本体手前の左部分のみ、通信アンテナは本体の両側に内蔵されています。

◎内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通話／通信品質が悪くなります。



① **ディスプレイ(タッチパネル)**

② **スピーカー**

着信音や通話相手の声、音楽などが聞こえます。

③ **ホームキー**

デスクトップを表示するときなどに使用します。

④ **電源/終話キー**

電源ON/OFFや電話の終話、アプリケーションの終了などに使用します。

⑤ **キーボード**

文字の入力などに使用します。(▶P.58「キーボードを使う」)

⑥ **検索キー**

アプリケーション独自の検索機能や、クイック検索ボックスで本体やウェブを検索するときに使用します。(▶P.53「クイック検索ボックスを利用する」)

⑦ **インカメラ(レンズ部)**

⑧ **光センサー**

周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。デスクトップポジション、オープンポジションで使用するときは光センサー部分をふさがないようにしてください。

⑨ **トラックボール**

カーソルの移動、項目の選択などに使用します。(▶P.56「トラックボールの使いかた」)

⑩ **戻るキー**

⑪ MENU **メニューキー**

⑫ **充電/着信ランプ**

充電中に赤色で点灯します。

着信時、メール受信時には設定内容に従って点滅します。

不在着信のお知らせなどは、約24時間何も操作しなかったときは、消灯します。

⑬ **赤外線ポート**

赤外線で、データの送受信を行います。

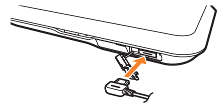
⑭ **送話口(マイク)**

通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、動画などの音声を録音するときにも使用します。

⑮ **アウトカメラ(レンズ部)**

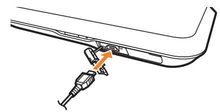
⑯ **平型イヤホン接続端子/カバー**

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続します。



⑰ **microUSB接続端子/カバー**

充電やパソコンと接続するときに使用します。



⑱ **ピクチャーライト**

カメラ使用時などに点灯、点滅します。

⑲ **リセットボタン**

IS01が何も操作できなくなった場合などに、先の細いものでリセットボタンを押すと、IS01が再起動します。

⑳ **電池パック**

㉑ **microSDメモリカードスロット**

㉒ **au ICカード**

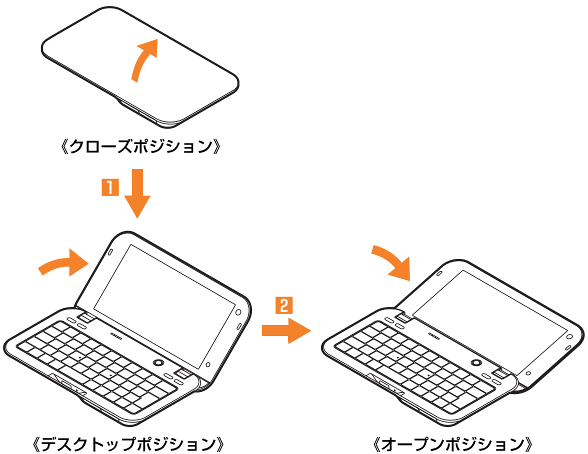
㉓ **電池パックカバー**

本体の開きかた

本書では、IS01の状態をそれぞれ「クローズポジション」「デスクトップポジション」「オープンポジション」と記載しています。

1 本体をカチッと音がするまで開く

2 ディスプレイ部をさらにカチッと音がするまで開く



memo

◎IS01をポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、クローズポジションで収納してください。クローズポジション以外のまま収納すると、誤動作や傷の発生・破損の原因となります。

◎デスクトップポジションは机などに置いて使用するためのポジションです。デスクトップポジションのまま持ち上げると、ディスプレイ部がたつく場合があります。

ご利用前の準備をする

準備1. 電池パックを充電する

お買い上げ時には、電池パックは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったら充電してご使用ください。赤色に点灯していた充電／着信ランプが消灯したら充電完了です。

■ ご利用可能時間

連続待受時間	約200時間［Wi-Fiを利用していない時］
	約100時間［Wi-Fi利用時］
連続通話時間	約300分

memo

◎充電中、IS01と電池パックが温かくなることがありますが異常ではありません。

◎電池パックは、「安全上のご注意」（▶P.10）をよくお読みになってお取り扱いください。

◎カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。

◎共通ACアダプタ01／02（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。電池のもちが悪くなりますので、電池残量が（残量約10%）になったら充電することをおすすめします。

◎IS01の充電／着信ランプが赤色に点滅したときは、電池パックの取り付け、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

◎共通ACアダプタ01（別売）では日本国内家庭用AC100Vをご使用ください。単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
共通ACアダプタ02（別売）はAC100VからAC240Vまで対応していますが、IS01は日本国内でのみご利用いただけます。

◎microUSB接続端子カバーは、しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。

◎ 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
- [圏外アイコン]が表示される場所での使用が多いとき
- メール機能･ブラウザ機能･カメラ機能などを使用しているとき
- 設定やアプリケーションなどでスリープモードにならないように設定されているとき
- バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用したとき

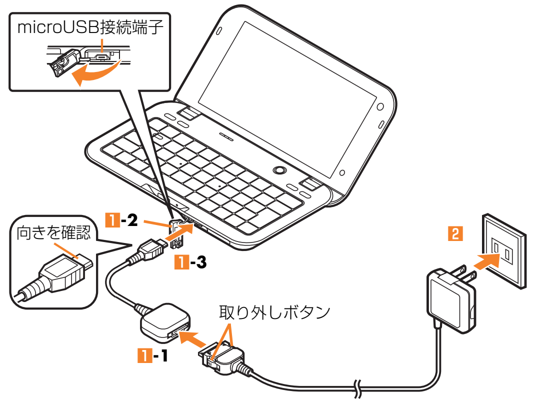
◎ 充電中、充電／着信ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、[電池アイコン]（十分）が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、使用時間も充電完了時より短くなります。
◎ アプリケーションや機能などのご利用状況により、電池パックの使用時間が短くなることがあります。

■共通ACアダプタ01／02（別売）で電池パックを充電する

別途、共通ACアダプタ01／02（別売）が必要です。（お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。あらかじめご了承ください。）

充電時間は約210分です

1 microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルに共通ACアダプタ01／02（別売）を接続し、IS01にmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルを接続する



microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルに共通ACアダプタ01／02（別売）の先端の形状を確認して接続し（**1-1**）、microUSB接続端子カバー（**1-2**）を開け、コネクタ先端の形状を確認し、平行に差し込みます（**1-3**）。

2 共通ACアダプタ01／02（別売）をAC100Vコンセントに差し込む

IS01の充電／着信ランプが赤色に点灯し、が表示されます。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

3 充電が終わったら、IS01からmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルをまっすぐ引き抜く

4 IS01のmicroUSB接続端子カバーを閉じる

5 共通ACアダプタ01／02（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

memo

◎ microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルから共通ACアダプタ01／02（別売）を取り外すには、共通ACアダプタ01／02（別売）のコネクタ両側面にある取り外しボタンを押しながらまっすぐ引き抜いてください。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電／着信ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎ microUSB-USB変換ケーブルでパソコンと接続した場合も充電ができます。パソコンと接続して充電するには、パソコンにドライバのインストールが必要です。ドライバのインストールの詳細については以下のホームページでUSBドライバインストールマニュアルをご参照ください。
- シャープケータイdaSHサポートページ
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/

準備2. 電源を入れる／切る

■電源を入れる

1 （4秒以上長押し）

IS seriesのロゴ→Androidのロゴ→au ICカード情報の読み込み中メッセージが表示された後、デスクトップが表示されます。

memo

◎ 電源を入れたとき、画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

■電源を切る

1 携帯電話オプション画面が表示されるまで（長押し）



《携帯電話オプション画面》

2 ［電源を切る］→［OK］

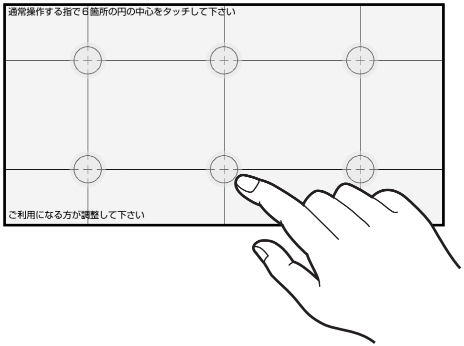
準備3. 初期設定を行う

■ タッチパネルを調整する

IS01をお買い上げいただいてから初めて電源を入れると、タッチパネルが正しく反応するように調整するための、タッチパネル補正画面が表示されます。

• 通常操作をする指でタッチしてください。

1 タッチパネル補正画面が表示される



2 6箇所の円の中心をタッチする

memo

◎タッチ操作が正しく動作しなくなった場合は、メインメニューで[設定]→[システム]→[タッチパネル補正]を選択して、タッチパネル補正を行ってください。

■ Googleアカウントをセットアップする

IS01にGoogleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービス「Androidマーケット」「Googleトーク」「Gmail」を利用できます。

Googleアカウントのセットアップは、メインメニューから「マーケット」「チャット」「Gmail」を初めて起動したときや、「データの同期」(▶P.267)を初めて設定するときなどに表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面を表示

2 [次へ]

IS01のセットアップ画面が表示されます。

3 [ログイン]/[新規登録]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合は「ログイン」を選択し、ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」を選択します。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「新規登録」を選択し、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo

◎Googleアカウントのセットアップ後、別のGoogleアカウントをセットアップする場合は、「オールリセット」(▶P.273)が必要です。

■ Googleパスワードを再取得する場合

1 クイックメニューで[ブラウザ]→MENU→[URL入力]→「http://www.google.co.jp」を入力→[移動]

2 [ログイン]

Googleアカウント画面が表示されます。

3 [アカウントにアクセスできない場合]

Googleアカウント ヘルプ画面が表示されます。

4 「Google アカウント：アカウントのログインに関する問題」から[パスワードを忘れた]→「パスワードをこちらでリセットしてください。」の[こちらで]を選択

パスワードアシスタンス画面が表示されます。
「パスワード アシスタンス ページ」を選択しても、パスワードアシスタンス画面を表示できます。

5 パスワードアシスタンス画面の指示に従って操作する

■ Wi-Fiを設定する

無線LAN機能を使い、家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。
Wi-Fiをご利用いただく前には、次のものをご用意ください。

■ ご自宅などでご利用になる場合

- インターネット回線
- アクセスポイント（無線LAN親機）
- IS01

■ 外出先でご利用になる場合

- IS01

※ あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。

memo

◎ 無線LANは、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ ご利用開始までの流れ

Wi-Fiをご利用いただくには次の操作を行います。

1 メインメニューで[設定]→[通信]→[Wi-Fi設定]

Wi-Fi設定画面が表示されます。

2 「Wi-Fi利用」のチェックボックスにチェックを入れる

Wi-FiがONになり、利用可能なWi-Fiネットワークがスキャンされます。検出されると、検出されたWi-Fiネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定（オープンネットワークまたはセキュリティ方式）が、「Wi-Fiネットワーク」セクションに表示されます。

■ 検出されたWi-Fiネットワークから選択して設定する場合

3 利用するWi-Fiネットワークを選択→[接続]

セキュリティが設定されたWi-Fiネットワークを選択した場合は、セキュリティキーを入力して「接続」を選択します。

■ Wi-Fi簡単登録を利用する場合

3 [Wi-Fi簡単登録]→[AOSS方式]／[WPS方式]

AOSS方式	BUFFALO™のAirStation™など、AOSS™マークがあるアクセスポイントを登録するときに使用します。
WPS方式	WPSマークがあるWi-Fi Protected Setup™対応アクセスポイントを登録するときに使用します。 「プッシュボタン方式」「PINコード方式」 • 「PINコード方式」を選択した場合は、表示されたPINコードをアクセスポイントに入力してください。

4 利用するWi-Fiネットワークを選択→[接続]

■ 公衆無線LANの自動ログイン認証を設定する場合

3 [公衆無線LAN自動ログイン設定]

公衆無線LAN自動ログイン設定画面が表示されます。

4 設定する公衆無線LANサービスを選択→「自動ログイン」の[ON]を選択→ログインIDとパスワードを入力

ログオフしたときにWi-Fiを自動的にOFFにする場合は、「ログオフ時Wi-Fi自動OFF」のチェックボックスにチェックを入れます。

5 [OK]→[OK]

選択した公衆無線LANサービスのWi-Fi接続設定が登録されていない場合は、Wi-Fi接続設定を登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると登録が完了し、Wi-Fi設定画面の「Wi-Fiネットワーク」セクションに登録したWi-Fiネットワークが表示されます。

自動ログインを「ON」に設定すると、サービスエリアに入ったときに自動でログインします。自動ログインの状況は、お知らせアイコン(▶P.42、P.48)で表示されます。

：認証を開始したときに表示されます。自動ログイン設定がされていない場合は案内メッセージが表示されます。

：認証中に表示されます。

：認証エラーの場合に表示されます。ログインID、パスワードをご確認ください。

：認証サーバへ正しく接続できなかった場合、または認証エラーの場合に表示されます。

：認証が完了すると表示されます。ログオフが可能な場合、タップしてお知らせパネル画面を表示し、「ここからログオフ操作ができます」／「ログオフ」を選択するとログオフを行います。

■ 手動でアクセスポイントを設定する場合

3 「Wi-Fiネットワーク」セクションの[Wi-Fiネットワークを追加]→ネットワークSSIDを入力

4 「セキュリティ」を選択→セキュリティ設定を選択した場合はセキュリティキーを入力→[保存]

「セキュリティ」で「WEP」を選択した場合は、「自動」／「WEP ASCII」／「16進のWEP」を選択します。

memo

◎ ご自宅などのアクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器(無線LAN親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。公衆無線LANの場合は、サービス提供者のホームページなどをご確認ください。

◎ 手動でアクセスポイントを設定する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

◎ 簡単登録で登録した場合、複数のセキュリティが設定されたネットワークが登録されることがあります。お使いのネットワークを選択してご利用ください。

◎ WPSについて、IS01では2種類の登録方法(「プッシュボタン方式」「PINコード方式」)を準備しています。登録の際に、アクセスポイント機器(無線LAN親機)側でボタン操作や、PINコードの入力操作が必要になります。

◎ Wi-Fi設定画面で「ネットワークの通知」のチェックボックスにチェックを入れると、オープンネットワークが利用可能なときに通知するように設定できます。

◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

◎ Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LANのいずれかの使用を中止してください。

◎ Wi-Fi設定画面で(MENU)を押して、次の操作ができます。

- 「スキャン」：利用可能なWi-Fiネットワークを再スキャンします。
- 「詳細設定」：Wi-Fiのスリープ設定やMACアドレスの確認、IP設定などを行います。

◎ 公衆無線LAN自動ログイン設定画面で(MENU)を押して、次の操作ができます。
- 「ログイン」: 選択している公衆無線LANサービスにログインします。
  ※ ログイン中にエラーが発生して再度ログインを開始する場合や、公衆無線LANに手動でログインする(自動ログインをOFFに設定している)場合に利用します。ログインの状況は、お知らせアイコンで表示されます。
- 「案内メッセージ設定」: 自動ログイン案内メッセージを表示するかどうかを設定します。
- 「設定初期化」: 選択しているサービスの設定を初期化します。

◎ 公衆無線LAN自動ログインを「ON」に設定すると、サービスエリアに入ったときに自動でログインします。公衆無線LANを定額料金プラン以外でご契約の場合、予期しない課金が発生する可能性がありますのでご注意ください。
◎ 将来、公衆無線LANサービスの拡張変更が行われた場合、その内容によっては本機能がお使いになれない場合があります。この場合は、ブラウザでログインしてください。
◎ Wi-Fiネットワークの状況によっては、公衆無線LANお知らせアイコン(▶P.42、P.48)が正しく表示されない場合がありますのでご注意ください。

通信を切断する

◎ Wi-Fi設定画面の「Wi-Fiネットワーク」セクションで「接続」が表示されている項目を選択すると、ネットワークの接続状況画面が表示されます。「削除」を選択すると確認画面が表示され、「はい」を選択すると通信が切断されます。接続を解除したアクセスポイントに再接続する場合は、アクセスポイントを登録し直す必要があります。

Wi-Fiを一時停止するタイミング(スリープ設定)を行うには

◎ Wi-Fi機能を一時停止するタイミングを設定するには、Wi-Fi設定画面で[MENU]→[詳細設定]→[Wi-Fiのスリープ設定]→設定する項目を選択します。

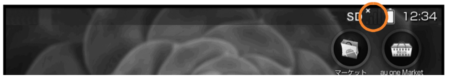
静的(固定)IPを使用するには

◎ Wi-Fi設定画面で[MENU]→[詳細設定]→「静的IPを使用する」のチェックボックスにチェックを入れる→[IPアドレス]／[ゲートウェイ]／[ネットマスク]／[DNS1]／[DNS2]→必要な情報を入力→[OK]→[MENU]→[保存]を選択します。

画面にこんな表示が出たら

■ が表示された場合

サービスエリア外か電波の弱い場所にいるため、ご利用になれません。
が消える所まで移動してください。



■「充電してください」が表示された場合

電池残量が約10%以下になったとき、または電池残量が0%になって電源が自動的にOFFになる直前に表示されます。通話中の場合は、通話が終了すると表示されます。
「OK」をタップして充電するか、充電された電池パックと交換してください。
「理由」をタップすると「電池使用時間」画面が表示され、電池の使用状況を確認できます。



■「電話が規制されています」が表示された場合

回線が非常に混みあっているなどで、電話がかかりにくくなっています。

しばらくたってからおかけ直しください。



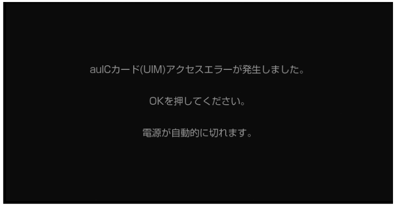
■「auICカード(UIM)エラー」が表示された場合

- 「カードを挿入してください」と表示されているときは、お客様のau ICカードが挿入されていません。お客様のau ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。
- 「カードが異なるためご利用できません(0051)」と表示されているときは、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されています。お客様のau ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。



■「auICカード(UIM)アクセスエラーが発生しました」が表示された場合

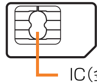
- 落下などの衝撃が加わると、表示される場合がありますが、故障ではありません。
- 繰り返し「auICカード(UIM)アクセスエラーが発生しました。」と表示された場合は、正しくau ICカードが取り付けられているかどうかご確認ください。
  au ICカードの取り付けかたについては、「au ICカードを取り付ける」(▶P.39)をご参照ください。
- アクセスエラーが発生した場合、セキュリティ確保のためIS01が再起動することがあります。



au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。

au ICカード



memo

◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分や、IS01のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ au ICカード着脱時は、必ずmicroUSB-USB変換ケーブルやmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブルなどのプラグをIS01から抜いてください。
◎ au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。

■ au ICカードが挿入されていない、もしくはお客様のau ICカード以外のカードが挿入された場合

au ICカードを挿入しない、もしくはお客様のau ICカード以外のカードを挿入し電源を入れた場合は、次の操作を行うことができません。また、3Gが表示されません。

- 電話をかける／受ける※
- Cメールの送受信
- 遠隔ロックの起動／解除
- PINコード設定

※ 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

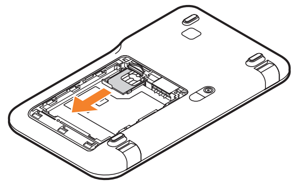
■ PINコードによる制限設定

au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やPINコードの入力要否設定により他人の使用を制限できます。(▶P.262「PINコードを設定する」)

au ICカードを取り外す

au ICカードは、電源を切り電池パックを取り外してから取り外し・取り付けを行います。(▶P.277「電池パックを交換する」)

1 ツメを引っ張ってトレイをまっすぐ引き出し、au ICカードを取り外す

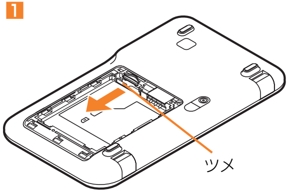


au ICカードを取り付ける

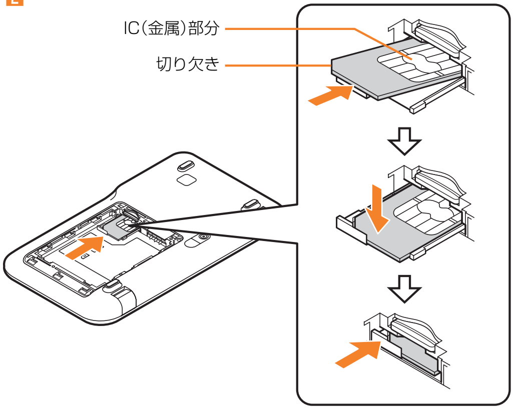
1 ツメを引っ張ってトレイをまっすぐ引き出す

2 トレイにau ICカードのIC(金属)部分を上にして載せ、奥に差し込む

1



2



GLOBAL PASSPORT GSM (グローバルパスポートGSM)について

グローバルパスポートGSMとは、au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えてご利用いただく国際ローミングサービスです。いつもの電話番号のまま世界のネットワークで話せます。

- 特別な申し込み手続きや日額･月額使用料は不要で、通話料は国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、GSM携帯電話、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページもしくは、auお客様センターにてご確認ください。

memo

◎GSMとは、Global System for Mobile Communicationsの略。デジタル携帯電話に使われている無線通信方式の1つで、欧州、アメリカ、アジア、オセアニア、アフリカなど、世界で幅広く利用されている方式です。日本で使われているCDMAやPDCなどとの適合はしていません。

◎国際ローミングとは、日本でお使いの携帯電話または番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいて音声通話などをご利用いただくサービスです。

■ご利用イメージ

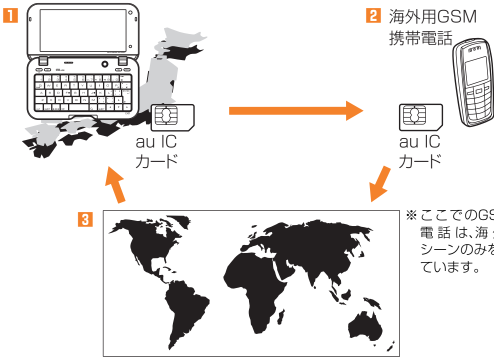
1 国内では、au ICカード対応携帯電話としてご利用になれます。

2 au ICカードを海外用GSM携帯電話に差し替えます。

3 世界のGSMネットワークでいつもの番号で話せます。

4 帰国したら「au ICカード」をいつもの携帯電話へ戻します。

★国内モードへの変更などの手続きは不要です。



※ここでのGSM携帯電話は、海外利用シーンのみを想定しています。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートGSMをご利用になるときは、IS01からau ICカードを取り外し、海外用GSM携帯電話の『取扱説明書』に従い、取り付けてください。(▶P.38「au ICカードを取り外す」)

memo

◎ 設定方法はGSM携帯電話のメーカーおよび機種により異なりますので、その『取扱説明書』をご確認ください。なお、渡航前に設定の確認をされることをおすすめします。

◎ auホームページに記載されているGSM携帯電話以外での本サービスの利用可否、au ICカードの故障、破損などにより、万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましてはKDDI(株)、沖縄セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

◎ IS01の「入力要否設定」でお客様がPINコード入力の必要な設定をしている場合、GSM携帯電話でも同様の入力が必要になります。(▶P.262「PINコードを設定する」)

◎ 新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

◎ 海外旅行の際はauホームページに記載されている「海外からのお問い合わせ番号」をご確認いただき、渡航前にお控えください。携帯電話もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、速やかにお問い合わせ先までご連絡いただき、通話停止の手続きをお取りください。

◎ グローバルパスポートGSMは、ぷりペイド専用契約の方はご利用になれません。

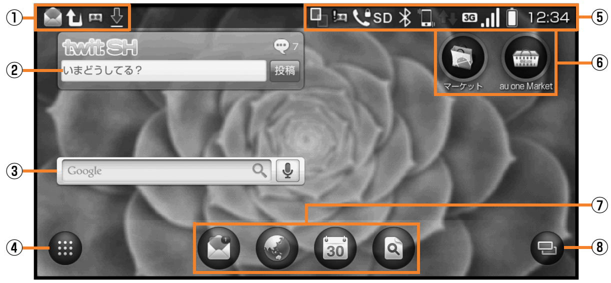
◎ au ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。(▶P.262「PINコードを設定する」)

基本的な操作を覚える

デスクトップとメインメニュー

デスクトップの見かた

デスクトップでは、IS01の状態や現在の設定を確認できます。



《デスクトップ》

※ 画面は各機能の説明のためのものでお買い上げ時の状態とは異なります。

① **お知らせエリア**
不在着信やメール受信などがあったとき、お知らせアイコンが表示されます。また、お知らせアイコンの右側にメッセージが表示されることがあります。
▶P.48「お知らせエリアの見かた」

② **ウィジェット**
▶P.45「ウィジェットを利用する」

③ **クイック検索ボックス**
▶P.53「クイック検索ボックスを利用する」

④ **メインメニューキー**
▶P.50「メインメニューを利用する」

⑤ **ステータスエリア**
IS01の状態や設定を確認できるステータスアイコンが表示されます。
▶P.43「ステータスエリアに表示されるアイコンの一覧」
▶P.50「ステータスエリアの見かた」

⑥ **ショートカット**
▶P.47「ショートカットを利用する」

⑦ **クイックメニュー**
▶P.48「クイックメニューを利用する」

⑧ **起動中アプリキー**
▶P.58「操作するアプリケーションを切り替える」

memo

◎ デスクトップのアイコンなどがない位置をタップするか(終話キー)を押した場合、デスクトップが壁紙のみ表示された状態になります。壁紙のみの表示時に各種機能の起動や設定を行うときなどは、画面をタップするか(終話キー)を押してください。

◎ デスクトップを左右にスライド／フリック(▶P.57)して、デスクトップを切り替えられます。(▶P.44「デスクトップを切り替える」)

■ステータスエリアに表示されるアイコンの一覧

アイコン	概要	ページ
12:34	時刻	P.270
	アラーム設定あり スヌーズ設定あり	P.234
	電池レベル状態（充電中） （）十分／（）残量約80%／ （）残量約60%／（）残量約40%／ （）残量約20%／（）残量約10%／ 残量なし • 充電中のアイコンはアニメーション表示されます。	－
	電波OFFモード設定中	P.264
	電波の強さ（受信電界） 極強／強／中／弱／微弱／ 圏外	－
3G 3G	パケット通信用電波の状態 3G 利用可能 3G 利用不可	－
	Wi-Fiの電波の強さ 強／中／弱／微弱／圏外	P.104
	パケット通信の通信状態 停止中／データ受信中／ データ送信中／データ送受信中	－
あ A AB カ カナ 1 12 区	文字入力モード	P.60、P.64
	マナーモード状態 通常マナー ドライブマナー サイレントマナー	P.222
	スピーカーフォンで通話中	P.128
	通話中のマイクをOFFに設定中	P.130

アイコン	概要	ページ
	Bluetooth®接続状態 待機中 接続中	P.213
	赤外線通信中	P.219
FM	FMトランスミッター利用中	P.199
	USB接続状態 外部メモリ転送モード 高速転送モード MTPモード	P.271
	GPS利用状態 （アニメーション表示）GPS測位中 GPS測位完了	－
	データ同期中	P.267
	ベールビュー設定中	P.257
SD	microSDメモリカード挿入中	P.203
	音声発信制限中	P.129
	伝言メモ設定中 伝言メモなし 伝言メモあり（1～9件） 伝言メモが10件	P.223
	2つ以上のアプリケーションを起動中	P.58

デスクトップのオプションメニューを利用する

1 **デスクトップで(MENU)**

2

追加	ショートカット	▶P.47「ショートカットを追加する」
	ウィジェット	▶P.46「ウィジェットを追加する」
並べ替え	デスクトップ	デスクトップに追加したショートカット／ウィジェットを並べ替えます。
	クイックメニュー	クイックメニューのアプリケーションのアイコンを並べ替えます。
デスクトップ	設定	▶P.45「デスクトップの追加･削除可能／1画面固定を設定する」
	追加	▶P.45「デスクトップを追加／削除する」
	削除	
壁紙変更	データ選択	コンテンツマネージャーから画像を選択して設定します。
	OFF	壁紙を表示しないように設定します。
お知らせ	お知らせパネル画面を表示します。 ▶P.48「お知らせエリアの見かた」	
ステータス表示	ステータスパネル画面を表示します。 ▶P.50「ステータスエリアの見かた」	
ウィジェットのCookieをすべて削除	IS01に保存されているウィジェットのCookieをすべて削除します。	

デスクトップを利用する

デスクトップを左右に切り替えて利用したり、ウィジェットやショートカットをデスクトップに追加して利用したりできます。

デスクトップを切り替える

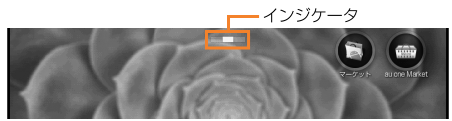
デスクトップを左右にスライド／フリック(▶P.57)することで、デスクトップを切り替えることができます。お買い上げ時には左右に1枚ずつ、合計3枚のデスクトップがあらかじめ設定されています。
デスクトップは、切り替えられないように設定したり、枚数を追加／削除したりすることができます。

- 各デスクトップには、ウィジェットやショートカットを登録して利用できます。



《デスクトップの切り替えイメージ》

- デスクトップを左右にスライド／フリックすると、画面上部に現在の表示位置を示すインジケータが表示されます。



■デスクトップの追加・削除可能／1画面固定を設定する

デスクトップを切り替えられるようにするかどうかを設定します。
「1画面固定」に設定すると、デスクトップを切り替えて使用することができなくなります。

1 デスクトップで(MENU)→[デスクトップ]→[設定]→[追加・削除可能]／[1画面固定]→[はい]

memo

◎デスクトップを「1画面固定」に設定しても、デスクトップに追加したウィジェットやショートカットは保持され、デスクトップを「追加・削除可能」に設定すると再度使用できます。

■デスクトップを追加／削除する

デスクトップは、お買い上げ時に設定されている3枚と合わせて、合計10枚まで追加できます。

■デスクトップを追加する場合

1 デスクトップで(MENU)→[デスクトップ]→[追加]

2

左隣に追加	現在表示しているデスクトップの左隣に追加します。
右隣に追加	現在表示しているデスクトップの右隣に追加します。

■ デスクトップを削除する場合

1 削除するデスクトップを表示→(MENU)→[デスクトップ]→[削除]

memo

◎ウィジェットやショートカットが登録されているデスクトップは削除できません。

ウィジェットを利用する

ウィジェットとは、デスクトップに登録することで利用できるアプリケーション（プログラム）です。IS01では、お買い上げ時に保存されているウィジェットの他、ダウンロードしたウィジェットを利用できます。

■主なウィジェット

ウィジェット	概要
au one ナビウォーク（時刻表）	設定した路線の直近3件の時刻表を確認できます。
au one ナビウォーク（乗換）	au one ナビウォークを利用して電車の乗換結果を表示できます。
au one ニュース	au one ニュースの最新ヘッドラインを確認できます。
au one 占い	au one 占いの当日の運勢を確認できます。
au one 天気	au one 天気の当日／明日の天気情報を確認できます。
Latitude	Latitudeに参加してお客様の現在地情報を友人やGoogleと共有したりできます。
mixi for SH	mixiの新着情報などを確認・表示できます。 ▶P.125「mixi for SHウィジェットを表示する」
RSSリーダー	登録したRSSの更新情報を確認できます。 ▶P.113「RSSリーダーウィジェットを表示する」
SH Widget Gallery	シャープのサイトからおすすめウィジェットを検索してダウンロードできます。
twit SH	Twitterを利用して「つぶやき」を投稿します。 ▶P.124「twit SHウィジェットを表示する」
Yahoo!ニュース	Yahoo!ニュースのヘッドラインを確認できます。
アラーム	現在時刻の確認や、時刻を指定してアラーム音を鳴らすことができます。

ウィジェット	概要
スケジュール	当月のカレンダーと、当日のスケジュールを表示できます。当日以外に登録されているスケジュールは、カレンダーのスケジュールが登録されている日付に赤枠が表示されます。「スケジュール追加」を選択すると、スケジュールやタスクを登録できます。
セカイカメラ	セカイカメラを利用し、エアタグを表示できます。 ▶P.241「セカイカメラウィジェットを表示する」
フィードリーダー	ブックマークに登録されているウェブページのフィードを購読できます。
フォト	本体やmicroSDメモリカードに保存されているフォトをスライド表示できます。
メディアプレーヤー	メディアプレーヤーを起動して楽曲データを再生できます。
メモ帳	デスクトップ上でメモを入力できます。 • 入力したメモは、メモ帳(▶P.227)に保存できます。
検索	クイック検索ボックスを利用してインターネット検索などができます。
着信履歴	着信履歴を確認できます。履歴を選択して、電話をかけることもできます。
電源管理	Wi-FiやBluetooth®のON／OFFを切り替えられます。
内蔵辞書	IS01に保存されている辞書を利用して単語などを調べます。ウィジェット上の辞書アイコンを選択して辞書を選択し、入力欄に単語などを入力します。
付箋	デスクトップに付箋を貼り付けることができます。
方位計	方位計を表示して方位を確認できます。

■ウィジェットを追加する

1 デスクトップで(MENU)→[追加]→[ウィジェット]

ウィジェット選択画面が表示されます。
デスクトップをロングタッチ→[追加]→[ウィジェット]を選択しても、ウィジェット選択画面を表示できます。

2 追加するウィジェットを選択

表示しているデスクトップにウィジェットが追加されます。

memo

◎IS01では、Android標準のウィジェットの他、Droidgetにも対応しています。Droidgetの場合は、ウィジェット選択画面で☆(デスクトップに追加している場合は✓)が表示されます。
※Droidgetとは、ウィジェットを動作させるためのプログラムです。
◎ウィジェット選択画面でDroidgetを選択した場合は設定の確認画面が表示され、「設置する」を選択するとデスクトップにウィジェットが追加されます。
◎表示しているデスクトップに空き領域がない場合、ウィジェットを追加できません。ただし、Droidgetの場合は、他のウィジェットに重ねて追加することができます。

■ウィジェットを移動／削除する

1 デスクトップで移動／削除するウィジェットをロングタッチ

デスクトップが縮小表示され、画面下部に「ウィジェット削除」が表示されます。

■ウィジェットを移動する場合

2 移動する位置までウィジェットをドラッグしてドロップ

ドロップ先周辺の空き領域にウィジェットが移動します。

■ ウィジェットを他のデスクトップに移動する場合

2 デスクトップの左端または右端までウィジェットをドラッグ

ドラッグした方向にあるデスクトップに切り替わります。

3 移動する位置までウィジェットをドラッグしてドロップ

ドロップ先周辺の空き領域にウィジェットが移動します。
左端または右端のデスクトップまでウィジェットをドラッグすると⊕が表示されます。⊕までウィジェットをドラッグすると新しいデスクトップが追加されます。

■ ウィジェットをデスクトップから削除する場合

2 「ウィジェット削除」までウィジェットをドラッグしてドロップ

ショートカットを利用する

デスクトップにアプリケーションなどのショートカットを追加すると、ショートカットをタップするだけでアプリケーションなどを起動できます。すべてのアプリケーション、Gmailのラベル、Latitude、RSSリーダー、ブックマーク、経路とナビ、電話番号、電話帳データをショートカットとして追加できます。

■ ショートカットを追加する

■ メインメニュー／クイックメニューから追加する場合

1 デスクトップで

メインメニューが表示されます。

2 追加するアプリケーションのアイコンをロングタッチ

画面上部に「ショートカット作成」が表示されます。

3 アプリケーションのアイコンを「ショートカット作成」までドラッグしてドロップ

表示しているデスクトップにショートカットが追加されます。

■ オプションメニューから追加する場合

1 デスクトップで(MENU)→[追加]→[ショートカット]

ショートカット選択画面が表示されます。
デスクトップをロングタッチ→[追加]→[ショートカット]を選択しても、ショートカット選択画面を表示できます。

2 追加する項目を選択

表示しているデスクトップにショートカットが追加されます。
データ選択画面や設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ ショートカットを移動／削除する

ショートカットの移動方法はウィジェットと同じです。移動については、「ウィジェットを移動／削除する」(▶P.46)をご参照ください。

1 デスクトップで削除するショートカットをロングタッチ

デスクトップが縮小表示され、画面下部に「ショートカット削除」が表示されます。

2 「ショートカット削除」までショートカットをドラッグしてドロップ

クイックメニューを利用する

よく使うアプリケーションのアイコンをクイックメニューに登録すると、メインメニュー(▶P.50)からアプリケーションを探して起動することなく、簡単にアプリケーションを起動できます。
クイックメニューには、最大4件までアプリケーションのアイコンを登録でき、お買い上げ時にはメール、ブラウザ、スケジュール、コンテンツマネージャーが登録されています。

1 デスクトップで
メインメニューが表示されます。

2 追加するアプリケーションのアイコンをロングタッチ
画面上部に「ショートカット作成」が表示されます。

3 アプリケーションのアイコンをクイックメニューまでドラッグしてドロップ
アプリケーションのアイコンがメインメニューからクイックメニューに移動します。

memo

◎クイックメニューを並べ替えるには、移動するアプリケーションのアイコンをロングタッチし、画面上部に「ショートカット作成」が表示されたら移動先までアプリケーションのアイコンをドラッグしてドロップします。
◎クイックメニューのアプリケーションのアイコンをメインメニューに戻すには、戻すアプリケーションのアイコンをロングタッチします。画面上部に「ショートカット作成」が表示されたら、メインメニューの移動先までアプリケーションのアイコンをドラッグしてドロップします。

お知らせエリアの見かた

不在着信やメール受信などのお知らせ情報があると、お知らせエリアにはカテゴリ分けされた次のお知らせアイコンが表示されます。

: 不在着信
: 伝言メモ
: メール
: PCメール
／: ワンセグ
: ダウンロード
: システムエラー
上記以外の各種アプリケーションのお知らせアイコン: その他

また、電話の通話中やアプリケーションなどのダウンロード中など、実行中のイベントがある場合は、実行中情報をお知らせするアイコンも表示されます。主に次のようなお知らせアイコンが表示されます。

: Bluetooth®のペアリング設定リクエスト
: アプリケーションなどのダウンロード中

お知らせパネル画面を表示するには

お知らせエリアをタップするとお知らせパネル画面が表示され、各お知らせの詳細情報を確認できます。
お知らせ情報はお知らせパネル画面の「お知らせ」内に、実行中情報はお知らせパネル画面の「実行中のイベント」内に表示されます。

- お知らせアイコンが表示されると、充電／着信ランプが設定内容に従って点滅します。不在着信のお知らせなどは、約24時間何も操作しなかったときは、消灯します。
- お知らせアイコンが表示されると、お知らせアイコンの右側に簡易情報（吹き出しまたはテロップ）が一定時間表示されます。



《お知らせパネル画面》

① **メインカテゴリ**

② **サブカテゴリ**

お知らせ情報の各メインカテゴリには次の情報が表示されます。サブカテゴリ内の情報を選択すると、対応するアプリケーションなどが起動して情報を確認できます。

メインカテゴリ	サブカテゴリの表示内容
不在着信	着信時刻と、相手の名前（電話帳に未登録の場合は電話番号）が表示されます。同じ相手の方から複数回の着信があった場合は、各着信が個別に表示されます。
伝言メモ	録音時刻、相手の名前（電話帳に未登録の場合は電話番号）、録音秒数が表示されます。
メール	Cメールの受信日時、相手の名前（電話帳に未登録の場合は電話番号）、本文が表示されます。 • 送信エラーの場合は、「メール×件」の右側に「エラー×件」が表示されます。
PCメール	PCメールの受信日時、相手の名前（電話帳に未登録の場合はメールアドレス）、件名が表示されます。 • 送信エラーの場合は、「PCメール×件」の右側に「エラー×件」が表示されます。
ワンセグ	予約視聴や予約録画の開始／終了、予約破棄、視聴中などの情報が表示されます。
ダウンロード	アプリケーションなどのダウンロードの結果が表示されます。
システムエラー	システムエラーなどに関する情報が表示されます。
その他	その他のアプリケーションなどのお知らせ情報が表示されます。

memo

◎お知らせエリアの表示領域を超える数のアイコンがある場合は、表示できないお知らせアイコンの代わりに が表示されます。表示できないお知らせアイコンが複数ある場合は、アイコン上に件数が表示されます。

◎カテゴリ内の情報を選択して対応するアプリケーションを起動すると、お知らせエリアから確認したカテゴリのお知らせアイコンが消えます（設定などを行わないと、表示が消えない場合があります）。

◎利用中の機能によっては、お知らせアイコンや簡易情報が表示されない場合があります。

◎同じカテゴリの情報が1件以上ある場合は、お知らせエリアやお知らせパネル画面に表示されるお知らせアイコン上に件数が表示されます。

◎カテゴリ内にエラー情報がある場合は、お知らせパネル画面に表示されるお知らせアイコン上にエラー状態お知らせアイコン（ ）が表示されます。

◎「着信通知テロップ」（▶P.90）を「差出人+件名」または「差出人」に設定している場合は、メールを受信するとお知らせアイコンと着信通知テロップが表示されます。着信通知テロップには、「着信通知テロップ」で設定した項目が表示されます。

◎お知らせパネル画面のお知らせ情報をメインカテゴリ／サブカテゴリ単位で削除する場合は、「削除」を選択します。お知らせパネル画面下部の「お知らせ全件削除」を選択すると、すべてのお知らせ情報を削除できます。

◎お知らせパネル画面で表示しきれないお知らせ情報がある場合は、メインカテゴリ内の最下行に「もっと見る…」が表示されます。選択すると対応するアプリケーションが起動し、情報を確認できます。

◎お知らせエリアの「実行中のイベント」内に表示される各情報を選択しても、対応するアプリケーションなどが起動して情報の確認や、設定の変更などができます。

◎お知らせ情報によっては、対応するメインカテゴリではなく、「その他」内に情報が表示される場合があります。
◎お知らせパネル画面を閉じるには、お知らせパネル画面下部の▲、またはお知らせパネル画面外の領域をタップします。
◎設定リセットに失敗した場合は、お知らせエリアに「設定リセットエラー」と表示され、お知らせパネル画面に「ホームキーを長押しし、起動中のアプリを終了させてから、もう一度行ってください」と表示されます。

ステータスエリアの見かた

ステータスエリアには、IS01の状態や現在の設定を確認できるステータスアイコンが表示されます。また、ステータスエリアをタップするとステータスパネル画面が表示され、ステータスアイコンを選択すると、選択したステータスアイコンに関する情報を確認できます。

- ステータスエリアに表示されるアイコンについては、「デスクトップの見かた」(▶P.42)をご参照ください。

1 デスクトップでステータスエリアをタップ



《ステータスパネル画面》

2 確認するステータスアイコンにカーソルを移動

ステータスアイコンの状態が表示されます。
アプリケーションなどを起動できるステータスアイコンの場合は、「起動する」が表示されます。「起動する」またはステータスアイコンを選択すると、ステータスアイコンに対応するアプリケーションなどを起動できます。

memo

◎ステータスエリアの表示領域を超える数のアイコンがある場合は、表示できないステータスアイコンの代わりに[+]が表示されます。
◎ステータスパネル画面を閉じるには、ステータスパネル画面下部の▲、またはステータスパネル画面外の領域をタップします。

メインメニューを利用する

IS01のメインメニューはカード型メニューになっています。カードは追加することができるため、アプリケーションをカテゴリごとに分けたカードを作成したり、よく利用するアプリケーションだけのカードを作成するなど、お客様の利用方法に応じてカスタマイズできます。

- クイックメニューに登録されているアプリケーションのアイコンは、メインメニューに表示されません。

メインメニューを表示する

1 デスクトップで⦙⦙⦙

メインメニューが表示されます。
◁／▷をタップするか、メインメニューを左右にスライド／フリック(▶P.57)すると、メインメニューを切り替えられます。



《メインメニュー》

アイコン	アプリケーション	ページ
	au one Market	P.122
	Documents To Go	P.200
※1	Gmail	P.120
※2	mixi for SH	P.124
	RSSリーダー	P.111
※2	twit SH	P.123
	YouTube	P.116
	アラーム·タイマー	P.234
	音声検索	P.53
	カメラ	P.153
	情報リーダー	P.161
	セカイカメラ	P.240
	赤外線受信	P.220
	設定	P.250
※1	チャット	P.118
	テキストリーダー	P.161
	電卓	P.242
	電話	P.128
	電話帳	P.70
	内蔵辞書	P.242
	ナビウォーク	P.237
	ネット辞書	P.244
	バーコードリーダー	P.163
	ビデオカメラ	P.164
	フォト	P.168
	ボイスレコーダー	P.225
	方位計	P.239
※1	マーケット	P.116
	マップ	P.114
	名刺リーダー	P.160
	メディアプレーヤー	P.194
	メモ帳	P.227
	ワンセグ	P.176

アイコン	アプリケーション	ページ
※3	メール	P.78
※3	ブラウザ	P.105
※3	スケジュール	P.228
※3	コンテンツマネージャー	P.188

※1 ご利用にはGoogleアカウントのセットアップが必要です。
※2 それぞれのアカウントのセットアップが必要です。
※3 お買い上げ時は、クイックメニューに登録されています。

memo

◎各メニューからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
また、IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの使用料（利用月のみ月額945円）がかかります。
◎アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。

■お知らせ情報の件数とエラー状態お知らせの表示について

不在着信があったときや、メールを受信したとき、ワンセグの予約視聴·録画が開始したとき、アプリケーションなどをダウンロードしたときなど、お知らせ情報が発生した場合は、関連するアプリケーションのアイコン上にお知らせ情報の件数が表示されます。
また、メールの送信が失敗したときなどエラー関連の情報が発生した場合は、関連するアプリケーションのアイコン上にエラー状態お知らせアイコン（⚠）が表示されます。

memo

◎お知らせ情報の件数やエラー状態お知らせアイコンは、デスクトップに追加したショートカットや、クイックメニューにあるアプリケーションのアイコンにも表示されます。
◎お知らせ情報によっては、関連しないアプリケーションのアイコン上にお知らせ情報の件数が表示される場合があります。

基本操作

メインメニューのオプションメニューを利用する

1 メインメニューで(MENU)

2

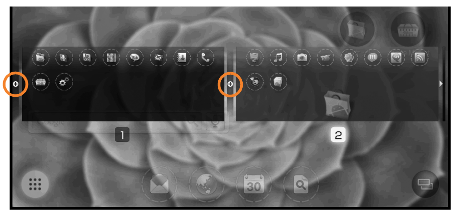
並べ替え	メインメニューのアプリケーションのアイコンを並べ替えます。
お知らせ	お知らせパネル画面を表示します。 ▶P.48「お知らせエリアの見かた」
ステータス表示	ステータスパネル画面を表示します。 ▶P.50「ステータスエリアの見かた」

カードを追加する

本操作はタッチパネルでは操作できません。アイコンの移動などの操作は、▲／▼／◀／▶、またはトラックボールで行ってください。

1 メインメニューで(MENU)→[並べ替え]→移動するアプリケーションのアイコンにカーソルを移動→ENTER→別のカードがある方向へカーソルを移動

カードが2枚表示されたメインメニューが表示されます。



《カードが2枚表示されたメインメニュー》

2 カードを追加する位置の(+)を選択→追加されたカードを選択→ENTER→移動する位置までアプリケーションのアイコンを移動→ENTER

選択した位置にカードが追加され、アプリケーションのアイコンが移動します。

memo

◎移動するアプリケーションのアイコンをロングタッチし、画面上部に「ショートカット作成」が表示されてから別のカードがある方向へアプリケーションのアイコンをドラッグしても、カードが2枚表示されたメインメニューを表示できます。

◎すべてのアプリケーションのアイコンを別のカードに移動すると、カードは削除されます。

アプリケーションのアイコンを移動する

アプリケーションのアイコンを、同カード内の別の位置へ移動したり、別のカードへ移動したりできます。

1 メインメニューで移動するアプリケーションのアイコンをロングタッチ

画面上部に「ショートカット作成」が表示されます。

■同カード内で移動する場合

2 移動する位置までアプリケーションのアイコンをドラッグしてドロップ

ドロップ先にアプリケーションのアイコンが移動します。

■別のカードへ移動する場合

2 アプリケーションのアイコンを別のカードがある方向へドラッグ

カードが2枚表示されたメインメニューが表示されます。

3 移動先のカードまでアプリケーションのアイコンをドラッグしてドロップ

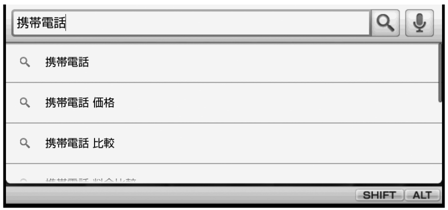
ドロップ先のカードにアプリケーションのアイコンが移動します。

クイック検索ボックスを利用する

IS01内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 デスクトップでクイック検索ボックスをタップ／キーボードの[🔍]

2 入力欄にキーワードを入力



《クイック検索ボックス画面》

Google検索の検索候補や検索履歴がある場合は、入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／クイック検索ボックスの🔍

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

memo

◎「Googleと共有する」確認画面が表示された場合は、[同意する]／[同意しない]→[戻る]を選択します。

◎クイック検索ボックスの検索履歴表示や検索対象は、「検索」(▶P.268)で設定・変更できます。

◎アプリケーションを使用中にキーボードの[🔍]を押した場合、アプリケーション独自の検索が表示される場合があります。もう一度キーボードの[🔍]を押すとクイック検索ボックスに切り替えることができます。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 メインメニューで[音声検索]

Google音声検索画面が表示されます。

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

memo

◎クイック検索ボックス画面で🎤を選択しても、Google音声検索ができます。

共通の操作を覚える

基本的な操作と本書の表記を覚えよう

ここでは、IS01の基本的な操作方法と、本書の表記について説明します。
次の操作については、それぞれの説明もご参照ください。
- トラックボール（▶P.56「トラックボールの使いかた」）
- タッチパネル（▶P.57「タッチパネルの使いかた」）
- キーボード（▶P.58「キーボードを使う」）

カーソルを移動するには

カーソルキー（▲／▼／◀／▶）を押すか、トラックボールを回転して項目にカーソルを移動します。

■本書での表記方法について

カーソルを移動する操作を、本書では次のように表示しています。

表記	説明
「XXX」にカーソルを移動	カーソルキーまたはトラックボールのどちらかで「XXX」にカーソルを移動します。

項目を選択するには

カーソルキー（▲／▼／◀／▶）を押す、またはトラックボールを回転して項目にカーソルを移動し、ENTERまたはトラックボールを押します。タッチパネルで操作する場合は、項目をタップします。

■本書での表記方法について

項目を選択する操作を、本書では次のように表示しています。

表記	説明
[XXX]を選択	カーソルキーまたはトラックボールのどちらかで項目にカーソルを移動してENTERまたはトラックボールのどちらかを押すか、「XXX」をタップして選択します。 • タップ操作でのみ選択できる場合は、「「XXX」をタップ」と記載しています。 • 操作手順または複数の操作を「→」でつないで説明している場合などは、「[XXX]」と記載しています。

オプションメニューを表示するには

オプションメニューを表示できる画面でMENUを押します。画面に「MENU」キーが表示されている場合は、「MENU」をタップしてもオプションメニューを表示できます。

■本書での表記方法について

オプションメニューを表示する操作を、本書では次のように表示しています。

表記	説明
MENUを押す	MENUでのみ操作できる場合の表記で、MENUを押してオプションメニューを表示します。 • 操作手順または複数の操作を「→」でつないで説明している場合などは「MENU」と記載しています。
[MENU]をタップ	ソフトキーの「MENU」が表示されている場合の表記で、「MENU」をタップするか、MENUを押してオプションメニューを表示します。 • 操作手順または複数の操作を「→」でつないで説明している場合などは、「[MENU]」と記載しています。

ソフトキーを操作するには

各アプリケーション画面の右側に表示されるソフトキーエリアには、表示している画面で利用できる操作のキーが表示され、タップすると実行できます。



《設定メニュー画面》

memo

◎起動するアプリケーションや機能によっては、ソフトキーエリアが表示されない場合があります。また、ソフトキーをタップしても操作できない場合があります。
◎ソフトキーエリアのキーは、アプリケーションの状態やバージョンによって本書内の表示と異なることがあります。

コンテキストメニューを表示するには

コンテキストメニューとは、画面をロングタッチしたときに表示されるメニューです。コンテキストメニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると、その画面や項目で利用できる操作のメニューが表示されます。

■本書での表記方法について

コンテキストメニューを表示する操作を、本書では次のように表示しています。

表記	説明
XXXをロングタッチ	指定した箇所（XXX）をロングタッチしてコンテキストメニューを表示します。

1つ前の画面に戻るには

⇦を押すと、1つ前の画面に戻ることができます。画面に「戻る」キーが表示されている場合は、「戻る」をタップしても1つ前の画面に戻ることができます。

- オプションメニューを表示している場合は、⇦を押すとオプションメニューを閉じます。オプションメニューの2階層目を表示している場合は、⇦を押すと1階層目に戻ります。

■本書での表記方法について

1つ前の画面に戻る操作を、本書では次のように表示しています。

表記	説明
⇦を押す	⇦でのみ操作できる場合の表記で、⇦を押して1つ前の画面に戻ります。 • 操作手順または複数の操作を「→」でつないで説明している場合などは「⇦」と記載しています。
［戻る］をタップ	ソフトキーの「戻る」が表示されている場合の表記で、「戻る」をタップするか、⇦を押して1つ前の画面に戻ります。 • 操作手順または複数の操作を「→」でつないで説明している場合などは、「［戻る］」と記載しています。

デスクトップ／メインメニューに戻るには

各機能からデスクトップ／メインメニューに戻るには、(⌂)を押します。画面に「ホーム」キーが表示されている場合は、「ホーム」をタップしてもデスクトップ／メインメニューに戻ることができます。

■本書での表記方法について

デスクトップ／メインメニューに戻る操作を、本書では次のように表示しています。

表記	説明
(⌂)を押す	(⌂)でのみ操作できる場合の表記で、(⌂)を押してデスクトップ／メインメニューに戻ります。 • 操作手順または複数の操作を「→」でつないで説明している場合などは「(⌂)」と記載しています。
[ホーム]をタップ	ソフトキーの「ホーム」が表示されている場合の表記で、「ホーム」をタップするか、(⌂)を押してデスクトップ／メインメニューに戻ります。 • 操作手順または複数の操作を「→」でつないで説明している場合などは、「[ホーム]」と記載しています。

数字を入力するには

[0]～[9]を押すと、数字を入力できます。画面に数字キーが表示されている場合は、数字キーをタップしても入力できます。
数字を入力する欄に「＋」と「－」が表示されている場合は、[▲]／[▼]を押すか、「＋」／「－」をタップしても、数字を増減できます。

■本書での表記方法について

数字を入力する操作を、本書では次のように表示しています。

表記	説明
[1]を押す	キーボードのキー操作でのみ入力できる場合の表記で、[1]を押して数字を入力します。 • 操作手順または複数の操作を「→」でつないで説明している場合などは「[1]」と記載しています。
[1]をタップ	画面に数字キーが表示されている場合の表記で、「1」をタップするか、[1]を押して数字を入力します。 • 操作手順または複数の操作を「→」でつないで説明している場合などは、「[1]」と記載しています。

トラックボールの使いかた

トラックボールには、上下左右や斜め方向に回転させる操作と、押す操作があります。
トラックボールを回転させる／押すことで、主に次の操作ができます。

回転	• カーソルなどを回転した方向へ移動 • [SHIFT]を押しながら回転して、文字列の選択範囲を指定
押す	• カーソルが現在ある項目の選択･実行 • 入力中の文字を確定

タッチパネルの使いかた

IS01はタッチパネルを搭載しており、ディスプレイを直接指でタッチして操作できます（機能によってはタッチパネル操作ができない場合があります）。

基本的なタッチパネル操作のしかた

■ タップ／ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



■ タッチ

項目やキーに軽く触れて、指を離します。



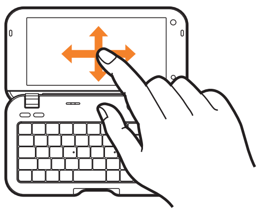
■ ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。



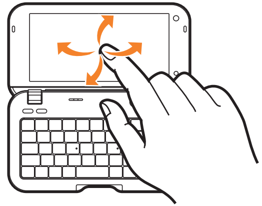
■ スライド

画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



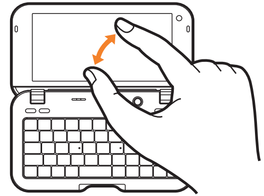
■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



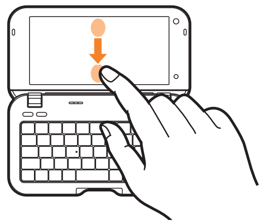
■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。



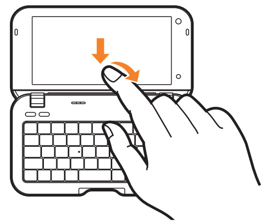
■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



■ ドロップ

ドラッグした指を離します。



memo

◎ フリック操作は、最初はゆっくりと、最後は軽くはらうように指を動かしてください。

キーボードを使う

文字の入力方法については、「文字入力の方法を覚える」(▶P.60)をご参照ください。文字入力以外のキーボードを使った主な操作は次の通りです。

キー	操作
0～9	電話番号入力画面(▶P.128)で1～20を押して、スピードダイヤル／スピードメールを利用できます。 ▶P.74「スピードダイヤル／スピードメールを利用する」
ALT+7	デスクトップでALT+7を押すと、マナーモードを設定／解除できます。
ALT+8	ALT+8を押して各種音量を下げることができます。デスクトップでは着信音量、メディアプレーヤーの再生画面では再生音量、通話中は受話音量を下げます。
ALT+9	ALT+9を押して各種音量を上げることができます。デスクトップでは着信音量、メディアプレーヤーの再生画面では再生音量、通話中は受話音量を上げます。
🔍	クイック検索ボックスを表示して検索できます。 ▶P.53「クイック検索ボックスを利用する」
ALT+N／ALT+SHIFT+N	デスクトップでALT+Nを押すとお知らせパネル画面、ALT+SHIFT+Nを押すとステータスパネル画面を表示できます。
ALT+ENTER	ALT+ENTERを押して、ベールビュー(▶P.257)を設定／解除できます。

操作するアプリケーションを切り替える

IS01では同時に複数のアプリケーションを起動でき、起動中アプリ一覧画面から利用するアプリケーションを切り替えることができます。

1 ⌂(長押し)

起動中アプリ一覧画面には、起動中のアプリケーションがサムネイル表示されます。
起動中のアプリケーションが6件以上ある場合は◁／▷が表示され、◁／▷をタップするか、画面を左右にスライド／フリック(▶P.57)すると、画面を切り替えられます。



《起動中アプリ一覧画面》

2 利用するアプリケーションを選択

memo

◎ステータスパネル画面で▣→[起動する]を選択しても、起動中アプリ一覧画面を表示できます。
◎起動中のアプリケーションにお知らせ情報がある場合は、縮小表示の右上にお知らせ情報の件数が表示されます。また、アプリケーションにエラーが発生した場合は、縮小表示の左上にエラー状態お知らせアイコン(⚠)が表示されます。(▶P.51「お知らせ情報の件数とエラー状態お知らせの表示について」)
◎IS01のプログラム実行用メモリが不足すると、起動中のアプリケーションが自動的に終了する場合があります。

基本操作

起動中のアプリケーションを終了する

アプリケーションを終了させるには（終話キー）を押します。また、（ホームキー）を長押しして起動中アプリ一覧画面を表示し、✕をタップしても終了できます。

- 2つ以上のアプリケーションを起動中に（ホームキー）を押すなどしてアプリケーションを切り替えると、バックグラウンドで処理を継続、または一時停止状態となります。
- バックグラウンドのアプリケーションによっては、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなる場合があります。
- バックグラウンドのアプリケーションはシステムによって自動的に終了される場合があります。

ロックを解除する

「各機能の利用を制限する」（▶P.260）で制限した機能を利用するときや、データを全件削除するときなど、重要な操作を行うときは、ロックNo.の入力を求められます。（▶P.23「ご利用いただく各種暗証番号について」）

ロック解除方法を「指リスト」（▶P.260）に設定することで、ロックNo.を入力する場面でロックNo.の代わりに指リストパターンを使用するように変更することができます。

■ロックNo.を入力する

1 ロックNo.の入力が必要な操作を行う

ロックNo.入力画面が表示されます。

2 ロックNo.を入力→[OK]

間違ったロックNo.を入力した場合には、エラーメッセージが表示されます。正しいロックNo.を再入力してください。

■指リストパターンを入力する

1 指リストパターンの入力が必要な操作を行う

指リストパターン入力画面が表示されます。

2 指リストパターンを入力

memo

◎ロックNo.／指リストパターンの入力に5回失敗すると、メッセージが表示され30秒間入力できない状態になります。

データを複数選択する

データを移動／保存／削除などする際に、「選択移動」や「選択保存」、「選択削除」などを選択すると、複数のデータを選択できます。

選択するデータにカーソルを移動してENTERまたはトラックボールを押すと、チェックボックスにチェックが入り、データが選択された状態になります。

チェックボックスにチェックが入った項目にカーソルを移動してENTERまたはトラックボールを押すと、チェックボックスのチェックが外れて選択が解除されます。

memo

◎項目をタップしても、タップするごとに選択／解除ができます。

データを削除する

1 各機能の画面でMENU→[削除]

2

1件削除	選択した1件のデータを削除します。
選択削除	複数のデータを選択して削除します。 **削除するデータのチェックボックスにチェックを入れる→[実行]→[はい]**

全件削除	一覧表示中の全件を削除します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[はい]**

memo

◎表示される項目名やキー名称は、操作する機能によって異なる場合があります。
◎機能によっては選択削除ができない場合や、全件削除でロックNo.の入力が必要ない場合など、操作が異なることがあります。

文字入力の方法を覚える

IS01ではキーボードを押して入力する方法(▶下記)と、画面に表示されたキーボード(ソフトウェアキーボード)のキーをタップして入力する方法(▶P.64)があります。

キーボードでの文字入力の方法

キーボードを使って文字を入力します。

- 文字入力欄をタップするか、文字入力欄にカーソルを移動して[文字]を押すと、ステータスエリアに文字入力モードアイコンが表示されます(機能によっては、文字入力欄にカーソルを移動すると、文字入力モードアイコンが表示されます)。



《文字入力画面》

① **文字入力モードアイコン**
　[あ]：ひらがな漢字入力モード
　[AB]：半角英字入力モード
　[A]：全角英字入力モード
　[区]：区点入力モード

② **文字入力エリア**

③ **通常変換候補リスト／予測変換候補リスト／つながり予測候補リスト**
　文字を入力して[　](スペースキー)を押すと、通常変換候補リストが表示されます。予測変換を利用するように設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定するとつながり予測候補リストが表示されます。
　※お買い上げ時は、予測変換を利用しない設定になっています。

④ **ガイダンス表示**
　表示中の画面で可能な操作ガイダンスなどが表示されます。[ALT]または[SHIFT]を押すと、押したキーとの組み合わせでできる操作のガイダンスが表示されます。

⑤ SHIFT／ALT状態表示

SHIFTまたはALTを押すと選択状態になります。選択状態で再度SHIFTまたはALTを押すとロック状態になります。

SHIFT：SHIFT未選択状態
SHIFT：SHIFT選択状態（オレンジ枠付き）
SHIFT：SHIFTロック状態
ALT：ALT未選択状態
ALT：ALT選択状態（オレンジ枠付き）
ALT：ALTロック状態

文字入力モードを切り替える

文字を押すたびに、ひらがな漢字入力と半角英字入力が切り替わります。

ALTを押しながら文字を押すと、押すごとにひらがな漢字入力と全角英字入力が切り替わります。

区点入力モード（▶P.63）に切り替えるには、ALT＋Kを押します。

memo

◎選択できる文字入力モードは、文字を入力している画面によって異なります。

ひらがな／漢字／カタカナ／英数字の入力

■ひらがな／漢字について

ひらがな漢字入力モードに切り替え、ローマ字入力で入力します。

- SHIFTを押しながらキーボードのキーを押すと、ひらがな漢字入力モードに切り替えている場合でも、大文字の半角英字を入力できます。

■カタカナについて

ひらがな漢字入力モードで文字を入力して文字を押すと、全角のカタカナに変換できます。再度文字を押すと、半角のカタカナに変換できます。ENTERを押すと、入力が確定します。

■英字について

半角英字入力モードまたは全角英字入力モードに切り替え、キーボードの該当するキーを押して入力します。

大文字を入力するには、SHIFTを押しながら入力するキーを押します。SHIFTを2回押してSHIFTロック状態にすると、すべて大文字で入力できます。

■数字について

0～9を押して入力します。

ひらがな漢字入力モードまたは全角英字入力モードの場合は全角数字、半角英字入力モードの場合は半角数字を入力できます。

■変換機能について

予測変換を利用するように設定している場合は、ひらがな漢字／半角英字の入力時に予測変換候補リストが表示されます。

ひらがな漢字を入力中の場合は、□（スペースキー）を押すと通常変換候補リストに切り替えられます。DELを押すと、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

予測変換を利用しないように設定している場合は、ひらがなの入力時に□（スペースキー）を押すと、通常変換候補リストが表示されます。

文字の修正

■コピー／切り取り／貼り付ける機能について

コンテキストメニューまたはショートカット操作を利用して、文字のコピー／切り取り／貼り付けができます。

■ コンテキストメニューの場合

1 文字入力欄をロングタッチ

テキスト編集のメニューが表示されます。

2

すべて選択	入力した文字列をすべて選択します。
テキストを選択／テキストの選択を終了	コピーする／切り取る文字列の範囲を選択／選択終了します。
すべて切り取り※1	入力した文字列をすべて切り取ります。
切り取り※2	選択した範囲の文字列を切り取ります。
すべてコピー※1	入力した文字列をすべてコピーします。
コピー※2	選択した範囲の文字列をコピーします。
貼り付け	切り取った／コピーした文字列をカーソルの位置に貼り付けます。
検索※2	メールの本文入力欄で選択した文字列を含む単語などをネット辞書で検索します。
入力方法	文字の入力方法を切り替えます。 • お買い上げ時は、iWnn IME - SH editionのみ利用できます。
辞書に「XXXXX」を追加	カーソルの位置にある英数字を、「ユーザー辞書」（▶P.66）に登録します。 • 「XXXXX」には、登録する文字列が表示されます。
保存	文字入力を終了してデータを保存します。
文字サイズ設定	表示している画面の文字サイズを設定します。「最大」「大」「中」「小」「最小」

※1 文字列の範囲を指定していない場合に表示されます。
※2 文字列の範囲を指定している場合に表示されます。

memo

◎操作する文字入力欄などによっては、テキスト編集のメニューが表示されない場合や、表示されるメニュー項目が異なる場合があります。

■ ショートカット操作の場合

1 文字入力画面で[SHIFT]を押しながら[▲]／[▼]／[◀]／[▶]またはトラックボールで文字列の範囲を指定

入力した文字をすべて指定する場合は、[ALT]＋[A]を押します。

2 [ALT]＋[C]（コピー）／[ALT]＋[X]（切り取り）

3 貼り付ける位置へカーソルを移動→[ALT]＋[V]

■Undo機能について

予測変換候補リストなどから変換候補を選択して確定した文字を、確定をキャンセルして未確定の状態に戻すことができます。未確定の状態に戻すには、確定直後に[ALT]＋[Z]を押します。

memo

◎操作する画面によっては、Undo機能を利用できない場合があります。

■文字の削除について

文字を削除するには[DEL]を押します。[DEL]を押すごとに、カーソルの左側にある文字を1文字ずつ削除できます。

[SHIFT]を押しながら[▲]／[▼]／[◀]／[▶]またはトラックボールで文字列の範囲を指定し、[DEL]を押すと、選択した範囲の文字列を削除できます。また、[ALT]＋[A]を押して[DEL]を押すと、すべての文字列を削除できます。

• [ALT]を押しながら[DEL]を押すか、文字列の先頭にカーソルがある状態で[DEL]を押すと、カーソルの右側にある文字が削除されます。

予測変換機能

予測変換機能を利用すると、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力しただけで変換できます。

例：「か」と入力するだけで「彼」などの変換候補が予測変換候補リストに表示され、次の操作を行うと入力・確定できます。

- [▼]を押して予測変換候補リストにカーソルを移動し、変換する候補にカーソルを移動して[ENTER]を押す
- 変換する候補をタップする

また、入力を確定すると、確定した文に続くことが予想されるつながり予測候補リストが表示されます。

例：「私」と入力すると、つながり予測候補リストに「は」「の」「が」などが表示されます。予測変換候補リストと同様に操作すると選択できます。

memo

◎表示される予測変換の候補は、過去に変換・確定を行った状況によって、異なります。

◎「予測変換」（▶P.68）で予測変換を利用しないように設定すると、予測変換候補リスト／つながり予測候補リストが表示されなくなります。

◎入力したい文字が予測変換候補リストにない場合は、[ ]（スペースキー）を押して通常変換候補リストに切り替えてください。

◎日本語／英語ユーザー辞書、ダウンロード辞書を登録すると、予測変換／通常変換の候補として表示されるようになります。

◎「メール返信時学習」（▶P.68）を利用するように設定していると、メール返信時に元メールに含まれていた文字列を学習し、メール中で該当する文字列を変換するときに候補が表示されます（文字列によっては変換候補に表示されない場合があります）。

ワイルドカード予測

ワイルドカード予測とは、読みの文字数から変換候補を表示する機能です。例えば「パソコン」と入力する場合、「ぱそ」を入力して[▶]を2回押すと「ぱそ＊＊」と表示され、予測変換候補リストに「パソコン」が表示されます。

- 予測変換を利用するように設定している場合に操作できます。

区点コードでの入力

JIS区点コードを利用して、文字や記号の入力ができます。
文字入力画面で[ALT]＋[K]を押して、4桁の数字の入力により文字入力します。

memo

◎区点コード表については、本書の巻末をご参照ください。
auホームページから：**http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html**

絵文字／デコレーション絵文字／顔文字／記号の入力

絵文字／デコレーション絵文字／顔文字／記号一覧を表示して文字入力画面に入力します。
文字入力画面に変換対象がないときに[絵・顔・記]を押します。
[絵・顔・記]を押すたびに、絵文字（デコレーション絵文字）→顔文字→記号の順に切り替わります。
[ALT]＋[絵・顔・記]を押すと、上記の逆順に一覧が切り替わります。

memo

◎異なる機種の携帯電話やパソコンなどに送信した絵文字は、受信側で一部正しく表示されないことがあります。

◎操作する画面によっては、表示できない一覧や、入力できない絵文字／顔文字／記号があります。

◎絵文字やデコレーション絵文字は、機能によっては入力できない場合があります。

ソフトウェアキーボードでの文字入力の方法

IS01では、アプリケーションが縦画面のときに文字入力欄をタップすると、画面上にキーボード（ソフトウェアキーボード）が表示され、画面のキーをタップして文字を入力できます。

- 文字入力欄をタップしてもソフトウェアキーボードが表示されない場合は、［文字］を押すと表示できます。



《文字入力画面（ソフトウェアキーボード表示中）》

① **文字入力モードアイコン**

あ：ひらがな漢字入力モード
カ：全角カタカナ入力モード
ｶﾅ：半角カタカナ入力モード
AB：半角英字入力モード
Ａ：全角英字入力モード
12：半角数字入力モード
１：全角数字入力モード

② **文字入力エリア**

③ **通常変換候補リスト／予測変換候補リスト／つながり予測候補リスト**

文字を入力して［変換］をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。予測変換を利用するように設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定するとつながり予測候補リストが表示されます。

- ⬆をタップすると候補リストを全画面表示に切り替えられます。元の表示に戻すには、⬇をタップします。

④ **ソフトウェアキーボード**

⑤ **文字キー**

文字入力モードを切り替えます。文字入力モードを切り替えると、表示が次のように変更されます。

［文字 あA1］：ひらがな漢字入力モード
［文字 カ］：全角カタカナ入力モード
［文字 ｶﾅ］：半角カタカナ入力モード
［文字 あA1］：半角英字入力モード
［文字 A］：全角英字入力モード
［文字 あA1］：半角数字入力モード
［文字 1］：全角数字入力モード

memo

◎ソフトウェアキーボードを表示する画面によっては、文字入力モードアイコンが表示されない場合があります。

文字入力モードを切り替える

[文字あA1]をロングタッチし、入力モード選択画面で「あ」／「カ」／「A」／「1」／「カナ」／「AB」／「12」をタップします。

[文字あA1]をタップすると、タップするたびに、ひらがな漢字入力→半角英字入力→半角数字入力の順に切り替わります。

ひらがな／漢字／カタカナ／英数字の入力

■ひらがな／漢字／カタカナについて

ひらがな漢字入力モードに切り替え、ローマ字入力で入力します。

■英字について

全角英字入力モードまたは半角英字入力モードに切り替え、ソフトウェアキーボードの該当するキーをタップして入力します。

大文字を入力するには、[SHIFT]をタップします。[SHIFT]をタップするとSHIFTロック状態になり、「SHIFT」キーの左上に緑色のロック中アイコンが表示されます。

■数字について

全角数字入力モードまたは半角数字入力モードに切り替え、ソフトウェアキーボードの該当するキーをタップして入力します。

■変換機能について

予測変換を利用するように設定している場合は、ひらがな／半角英字の入力時に予測変換候補リストが表示されます。

ひらがな漢字を入力中の場合は、[変換]をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。

[DEL]をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

予測変換を利用しないように設定している場合は、ひらがなの入力時に[変換]をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。

文字の修正

■コピー／切り取り／貼り付ける機能について

ソフトウェアキーボードでは、テキスト編集のメニュー(▶P.62)を利用して、文字のコピー／切り取り／貼り付けができます。

■Undo機能について

予測変換候補リストなどから変換候補を選択して確定した文字を、確定をキャンセルして未確定の状態に戻すことができます。未確定の状態に戻すには、ソフトウェアキーボード上で左方向にフリックします。

予測変換機能

予測変換機能を利用すると、よく使う言葉や過去に変換·確定した文節を途中まで入力しただけで変換できます。

例：「か」と入力するだけで「彼」などの予測変換の候補が予測変換候補リストに表示され、変換する候補をタップすると入力·確定できます。

また、入力を確定すると、確定した文字に続くことが予想されるつながり入力候補も表示されます。

例：「私」と入力すると、つながり予測候補リストに「は」「の」「が」などが表示されます。予測変換候補リストと同様に操作すると選択できます。

ワイルドカード予測

ワイルドカード予測とは、読みの文字数から変換候補を表示する機能です。例えば「パソコン」と入力する場合、「ぱそ」を入力してトラックボールを2文字分右へ回転すると「ぱそ＊＊」と表示され、予測変換候補リストに「パソコン」が表示されます。

絵文字／記号／顔文字の入力

文字入力画面に変換対象がない場合に絵・顔・記をタップします。
絵・顔・記をタップするたびに、顔文字→全角記号→半角記号の順に切り替わります。

memo

◎ソフトウェアキーボードの場合は、絵文字（デコレーション絵文字）を入力できません。
◎操作する画面によっては、表示できない一覧や、入力できない絵文字／顔文字／記号があります。

ユーザー辞書に単語登録する

ユーザー辞書に登録する

• 「入力方法」（▶P.62）を「iWnn IME - SH edition」に設定している場合は、変換候補リストに登録した単語などは表示されません。

1 メインメニューで［設定］→［地域／言語＆文字入力］→［ユーザー辞書］

ユーザー辞書画面が表示されます。

2 ［MENU］→［追加］

「辞書に追加」画面が表示されます。

3 単語などを入力→［OK］

memo

◎登録した単語などを編集／削除する場合は、ユーザー辞書画面で登録した単語などを選択し、「編集」／「削除」を選択します。

日本語ユーザー辞書／英語ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 メインメニューで［設定］→［地域／言語＆文字入力］→［iWnn IME - SH edition］→［日本語ユーザー辞書］／［英語ユーザー辞書］

日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 ［MENU］→［登録］

単語登録画面が表示されます。

3 読み／表記を入力→［登録］

memo

◎登録した単語を編集する場合は、日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面で編集する単語にカーソルを移動して［MENU］→［編集］を選択します。
◎日本語／英語ユーザー辞書単語一覧画面で［MENU］→［削除］／［ユーザー辞書全消去］を選択すると、選択した単語／すべての単語を削除できます。

ダウンロード辞書を設定する

保存したダウンロード辞書を、通常変換や予測変換に利用できます。最大10件まで設定できます。

1 メインメニューで[設定]→[地域／言語&文字入力]→[iWnn IME - SH edition]→[ダウンロード辞書]

ダウンロード辞書画面が表示されます。

2 利用するダウンロード辞書のチェックボックスにチェックを入れる

memo

◎ダウンロード辞書画面で[MENU]→[1件削除]／[全件削除]を選択すると、選択したダウンロード辞書／すべてのダウンロード辞書を削除できます。

◎ダウンロード辞書画面で[MENU]→[全件解除]を選択すると、選択を解除できます。

◎microSDメモリカードに保存したダウンロード辞書を利用するように設定しているとき、microSDメモリカードを取り外すと、そのダウンロード辞書の選択が解除される場合があります。

文字入力の設定を行う

端末内蔵キーボードの設定を行う

IS01のキーボードでの文字入力時に、自動修正機能を利用するかどうかなどを設定できます。

1 メインメニューで[設定]→[地域／言語&文字入力]→[端末内蔵キーボード]

2

自動修正	入力を間違ったときに自動修正するかどうかを設定します。
自動大文字変換	英文を入力したときに文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。 • 予測変換を利用するように設定している場合に設定できます。
ピリオド自動挿入	英文を入力したときに［ ］(スペースキー)を2回押してピリオド(.)を挿入できるようにするかどうかを設定します。

iWnn IME - SH editionの設定を行う

文字の入力時に、日本語入力ソフト「iWnn IME - SH edition」を利用するかどうかを設定します。また、iWnn IME - SH editionでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 **メインメニューで[設定]→[地域／言語&文字入力]→[iWnn IME - SH edition]**

2

iWnn IME - SH edition			文字入力時にiWnn IME - SH editionを使用するかどうかを設定します。
iWnn IME - SH edition	キーボード設定	キー操作音	キーを押したときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
		キー操作バイブ	キーを押したときにIS01を振動させるかどうかを設定します。
		キーポップアップ	ソフトウェアキーボードのキーをタップしたときに、タップしたキーを拡大表示させるかどうかを設定します。
	変換設定	自動大文字変換	英文を入力したときに文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。 • カーソルが行頭にある状態で入力した単語や、「.」「？」「！」の後の半角スペースに続けて入力した単語の先頭が大文字に変換されます。
		候補学習	変換で確定した語句を学習辞書に登録するかどうかを設定します。
		予測変換	文字入力時に予測変換を利用するかどうかを設定します。 ▶P.65「予測変換機能」
		入力ミス補正※	入力を間違ったときに修正候補を予測リストに表示するかどうかを設定します。
		ワイルドカード予測※	読みの文字数から変換候補を表示するワイルドカード予測を利用するかどうかを設定します。 ▶P.65「ワイルドカード予測」
		メール返信時学習	メール返信時に受信メールの内容を一時的に学習するメール返信時学習を利用するかどうかを設定します。
	辞書	日本語ユーザー辞書	ユーザー辞書に単語を登録します。 ▶P.66「ユーザー辞書に単語登録する」
		英語ユーザー辞書	
		連絡先データ読み込み	**名前**：電話帳に登録した名前を予測辞書に登録するかどうかを設定 **辞書更新**：辞書の更新を実行
		学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 • 絵文字／顔文字の入力履歴も削除されます。
		ダウンロード辞書	ダウンロード辞書を登録／解除／削除します。 ▶P.67「ダウンロード辞書を設定する」

※ 予測変換を利用するように設定している場合に設定できます。

電話帳で連絡先を管理する

電話帳に登録する

memo

◎電話帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

1 メインメニューで[電話帳]

確認する電話帳が登録されているタブにカーソルを移動し、リストエリアにカーソルを移動すると、詳細表示エリアに選択した電話帳の詳細情報が表示されます。



《電話帳一覧画面》

① **検索ボックス**

② **タブ**

五十音順のタブが表示されます。

③ **リストエリア**

選択したタブに登録されている電話帳が一覧で表示されます。

④ **詳細表示エリア**

リストエリアで選択した電話帳の詳細情報が表示されます。電話番号などが複数登録されている場合は、詳細画面で★が表示されている「通常使用」の電話番号などが表示されます。「詳細」を選択すると詳細画面が表示され、すべての情報を確認できます。

2 [新規登録]

電話帳編集画面が表示されます。

3 項目をタップして編集

画像	カメラ	カメラを起動して撮影した画像を登録します。
	コンテンツマネージャー	コンテンツマネージャーを起動して登録したい画像を選択します。
	OFF	画像をOFFにします。
名前		名前を入力します。
よみ		名前の読みを入力します。 • 名前を入力すると、「よみ」が自動的に入力されます。必要に応じて修正してください。
メモ		メモを入力します。
電話番号		電話番号を入力します。 • 6種類の電話番号種別から種別を選択して分類できます。「カスタム」を選択すると自由に種別を登録できます。
グループ設定		登録したグループから選択します。 **グループ一覧画面で登録するグループのチェックボックスにチェックを入れる→[設定]** • グループを登録していない場合は、グループを指定できません。 ▶P.72「グループを編集する」
メールアドレス		メールアドレスを入力します。 • 4種類のメールアドレス種別から種別を選択して分類できます。「カスタム」を選択すると自由に種別を登録できます。

チャットアドレス	チャットアドレスを入力します。 • 8種類のチャットアドレス種別から種別を選択して分類できます。
住所	住所を入力します。 • 4種類の住所種別から種別を選択して分類できます。「カスタム」を選択すると自由に種別を登録できます。
勤務先	勤務先名、所属、役職を入力します。 • 3種類の勤務先種別からアイコンを選択して分類できます。「カスタム」を選択すると自由に種別を登録できます。
GPS	GPS情報を登録します。 「現在位置を取得」「位置履歴から」
誕生日	誕生日を入力します。 • 1900年1月1日〜2100年12月31日の範囲で入力できます。
音声着信	電話帳ごとに音声着信音／メール受信音、ランプ色、ランプパターン、バイブパターンを設定します。
メール受信	

4 [保存]→[はい]

memo

◎ グループ順の電話帳一覧画面（▶P.72「グループを編集する」）に切り替えるには、「グループ」をタップします。五十音順に戻すには、グループ順の電話帳一覧画面で「ヨミ」をタップします。

◎ グループ順の電話帳一覧画面に切り替えた場合、グループが設定されていない電話帳は、「すべて」タブに表示されます。

◎ 電話帳編集画面で各項目の右側に表示されている⊕を選択すると、項目を追加できます。登録済み項目の右側に表示される🗑を選択すると、登録内容を削除できます。

◎ 複数の電話番号／メールアドレスを登録している場合、電話帳編集画面で登録した電話番号／メールアドレスの右側に表示されている☆を選択すると、「通常使用」に設定できます。「通常使用」に設定した電話番号／メールアドレスの右側には、★が表示されます。

◎ 「データの同期」（▶P.267）を利用して、サーバに保存されたGoogleの連絡先とIS01の電話帳を同期できます。

他の機能から電話帳に登録する

他の機能で表示した電話番号やメールアドレスなどを利用します。

1 他の機能で電話帳に登録する操作を行う

2

新規登録	選択した登録項目が設定された状態で電話帳編集画面を表示します。 ▶P.70「電話帳に登録する」
追加登録	上書きする電話帳を選択すると、選択した登録項目で上書きする電話帳編集画面を表示します。 ▶P.70「電話帳に登録する」

3 [保存]→[はい]

連絡先を編集する

一度登録した電話帳を修正します。

1 電話帳一覧画面で編集する電話帳にカーソルを移動→[編集]

2 項目を選択して編集

項目については、「電話帳に登録する」（▶P.70）をご参照ください。

3 [保存]→[はい]

グループを編集する

グループごとにグループ名やアイコン、音声着信、メール受信を設定できます。

1 電話帳一覧画面で[グループ]

グループが登録されていない電話帳は「すべて」タブに表示されます。

①



《グループ順の電話帳一覧画面》

① **タブ**（グループ順のタブを表示）

2 タブにカーソルを移動→(MENU)→[グループ新規登録]

グループ編集画面が表示されます。

登録済みのグループを編集する場合は、編集するグループタブにカーソルを移動→(MENU)→[グループ編集]→[グループ情報編集]を選択します。

3 項目をタップして編集

アイコン	20種類
グループ名	全角／半角40文字以内
音声着信	グループごとに音声着信音／メール受信音、ランプ色、ランプパターン、バイブパターンを設定します。
メール受信	

4 [保存]→[はい]

memo

◎相手の方から電話番号の通知がない場合は、電話帳のグループ音声着信音の設定は有効になりません。

◎複数のグループに設定されている電話帳の場合は、並び替えで上に設定されているグループの音声着信／メール受信が優先されます。

◎個別の電話帳に音声着信／メール受信が設定されている場合は、そちらが優先されます。

グループにユーザー(登録済みの電話帳)を登録する

◎グループ順の電話帳一覧画面で登録するグループタブにカーソルを移動→(MENU)→[グループ編集]→[ユーザー登録]を選択し、電話帳選択画面で登録する電話帳のチェックボックスにチェックを入れる→[保存]をタップします。

グループを並べ替える

◎グループ順の電話帳一覧画面で並べ替えるグループタブにカーソルを移動→(MENU)→[グループ編集]→[グループ並べ替え]を選択し、移動先へグループを移動→[設定]をタップします。

グループを削除する

◎グループ順の電話帳一覧画面で削除するグループタブにカーソルを移動→(MENU)→[グループ削除]→[1件削除]／[選択削除]／[全件削除]を選択します。

電話帳の登録内容を利用する

電話帳の登録内容を利用して、電話をかけたり、メールを送信したりできます。

登録した電話番号を利用する

1 電話帳一覧画面で利用する電話帳にカーソルを移動

選択した電話帳の詳細情報が、詳細表示エリアに表示されます。

2 詳細表示エリアの利用する電話番号を選択

電話番号メニューが表示されます。
詳細表示エリアに利用する電話番号が表示されていない場合は、「詳細」を選択して詳細画面を表示してから、利用する電話番号を選択します。

3 [音声電話]／[Cメール作成]

「音声電話」を選択した場合、電話がかかります。
「Cメール作成」を選択した場合、Cメール作成画面が表示されます。（▶P.99「Cメールを送る」）

memo

◎電話帳一覧画面のリストエリアで利用する電話帳にカーソルを移動して(MENU)→[電話番号メニュー]→[音声電話]を選択しても、電話をかけることができます。選択している電話帳に複数の電話番号が登録されている場合、★が表示されている「通常使用」の電話番号に電話がかかります。

◎電話番号を編集してから電話をかける場合は、電話番号メニューで「編集して発信」を選択します。

◎特番などを付加して電話をかける場合は、電話番号メニューで「特番付加発信」を選択します。

登録したメールアドレスにメールを送る

1 電話帳一覧画面で利用する電話帳にカーソルを移動

選択した電話帳の詳細情報が、詳細表示エリアに表示されます。

2 詳細表示エリアの利用するメールアドレスを選択→[メール作成]

アプリケーションの選択画面が表示されます。利用するアプリケーションを選択し、メールを作成します。（▶P.94「PCメールを作成して送る」）
詳細表示エリアに利用するメールアドレスが表示されていない場合は、「詳細」を選択して詳細画面を表示してから、利用するメールアドレスを選択します。

登録したチャットアドレスを利用する

1 電話帳一覧画面で利用する電話帳にカーソルを移動

選択した電話帳の詳細情報が、詳細表示エリアに表示されます。

2 詳細表示エリアの利用するチャットアドレスを選択→[チャット開始]

詳細表示エリアに利用するチャットアドレスが表示されていない場合は、「詳細」を選択して詳細画面を表示してから、利用するチャットアドレスを選択します。

登録した住所／GPS情報を利用する

1 電話帳一覧画面で利用する電話帳にカーソルを移動

選択した電話帳の詳細情報が、詳細表示エリアに表示されます。

2 詳細表示エリアの[詳細]→住所情報／[GPS情報あり]を選択

住所情報の場合、「GoogleMap表示」を選択してアプリケーションを選択すると、登録した住所をGoogleマップで表示できます。
「GPS情報あり」の場合、次のGPS情報メニューが表示されます。

GPSメール作成	GPS情報をメール本文に入力して送信します。
GoogleMap表示	GPS情報をもとにGoogleマップを表示します。

スピードダイヤル／スピードメールを利用する

利用頻度の高い電話番号やメールアドレスが登録されている電話帳をスピードダイヤル／スピードメールに最大20件まで登録できます。電話番号入力画面(▶P.128)でスピードダイヤル／スピードメールの登録No.(1～20)を入力するだけで、登録されている電話帳の電話番号に電話をかけたり、メールアドレス宛てにPCメールを作成したりできます。

スピードダイヤル／スピードメールを設定する

1 電話帳一覧画面でタブにカーソルを移動→MENU→[スピードダイヤル／メール設定]

スピードダイヤル／メール設定画面が表示されます。

2 登録するNo.を選択

電話帳一覧画面が表示されます。

3 登録する電話帳を選択

操作2で登録済みのNo.を指定した場合は、登録する電話帳を選択し、上書きの確認画面で「はい」を選択します。

memo

スピードダイヤル／スピードメールを解除する

◎スピードダイヤル／メール設定画面でMENU→[1件解除]／[選択解除]／[全件解除]を選択すると、設定を解除できます。

スピードダイヤルで電話をかける／スピードメールでメールを送る

1 メインメニューで[電話]→No.(1～20)を入力

2

ALT + D	電話がかかります。
MENU + M	利用するアプリケーションを選択すると、宛先が入力されたPCメール作成画面が表示されます。 ▶P.94「PCメールを作成して送る」
ALT + M	Cメール作成画面が表示されます。 ▶P.99「Cメールを送る」

電話帳を検索する

電話帳に登録されている名前の読みを入力して、電話帳を絞り込むことができます。

1 電話帳一覧画面で検索ボックスに検索する文字を入力

電話帳一覧画面のリストエリアに、絞り込まれた電話帳が一覧で表示されます。

memo

◎グループ順の電話帳一覧画面で検索を行った場合は、「すべて」タブの電話帳が検索対象になります。

電話帳のオプションメニューを利用する

電話帳一覧画面／詳細画面から呼び出せるオプションメニューには、次の機能があります。

1 電話帳一覧画面／詳細画面で(MENU)

2

新規登録	電話帳を新規登録します。 ▶P.70「電話帳に登録する」
編集	選択した電話帳を編集します。 ▶P.71「連絡先を編集する」
グループ新規登録	電話帳のグループを登録･編集･削除します。 ▶P.72「グループを編集する」
グループ編集	
グループ削除	
スピードダイヤル／メール設定	▶P.74「スピードダイヤル／スピードメールを設定する」
電話帳制限	電話帳制限を設定／解除します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[ON]／[OFF]**
メモリ登録件数	電話帳の登録件数を表示します。
削除	電話帳を削除します。 ▶P.59「データを削除する」
赤外線送信	電話帳を赤外線送信します。 ▶P.220「赤外線でデータを送信する」
Bluetooth送信	電話帳をBluetooth®機能で送信します。 ▶P.217「Bluetooth®でデータを送信する」
メールへ添付	電話帳をPCメールに1件添付／選択添付／全件添付して送ります。 ▶P.94「PCメールを作成して送る」
電話番号メニュー	▶P.73「登録した電話番号を利用する」
1件削除	選択した電話帳を削除します。 ▶P.59「データを削除する」
赤外線1件送信	選択した電話帳を赤外線送信します。 ▶P.220「赤外線でデータを送信する」
Bluetooth1件送信	選択した電話帳をBluetooth®機能で送信します。 ▶P.217「Bluetooth®でデータを送信する」
メール1件添付	選択した電話帳をPCメールに添付して送ります。 ▶P.94「PCメールを作成して送る」
メール作成	選択したメールアドレスを宛先にしてPCメールを送ります。 ▶P.73「登録したメールアドレスにメールを送る」
チャット開始	登録したチャットアドレスでチャットを開始します。 ▶P.73「登録したチャットアドレスを利用する」
GPSメール作成	登録した住所やGPS情報を利用します。 ▶P.74「登録した住所／GPS情報を利用する」
GoogleMap表示	

memo

◎電話帳一覧画面の表示方法（五十音順／グループ順）、カーソルの位置などにより、表示される項目が異なります。

電話帳データを保存／読み込む

SDバックアップを利用して、IS01に保存されている電話帳の全データをバックアップし、電話帳データの保存・読み込み・管理を行うことができます。バックアップファイルは、microSDメモリカードに保存されます。

- SDバックアップの設定やバックアップした電話帳データの管理、電話帳以外のデータのバックアップについては、「本体メモリ内のデータをバックアップする」(▶P.205)をご参照ください。

電話帳データを保存する

1 メインメニューで[設定]→[システム]→[microSD＆内蔵メモリ]→[SDバックアップ]

microSD保存・読み込み画面が表示されます。

2 [保存]→ロックNo.を入力→[OK]

保存するデータカテゴリの一覧が表示されます。

3 「電話帳」のチェックボックスにチェックを入れる

画像をバックアップするかどうかの確認画面が表示されます。

4 [はい]／[いいえ]

「はい」を選択すると、「電話帳バックアップデータの画像設定」が「含める」に設定されます。
次回電話帳をバックアップするとき、画像をバックアップするかどうかの確認画面を表示させせない場合は、「今後表示しない」のチェックボックスにチェックを入れます。

5 [開始]

処理中は着信できない旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると電波OFFモードがONに設定され、バックアップが開始されます。バックアップを完了しても電波OFFモードが元に戻らない場合は、手動で元に戻してください。

6 [完了]

memo

◎操作3で「前回選択項目のチェック」を選択すると、前回バックアップを行った項目にチェックが入ります（「電話帳バックアップデータの画像設定」も前回と同じ設定になります）。ただし、今回バックアップできない項目がある場合は、その項目にチェックは入りません。

電話帳データを読み込む

1 microSD保存・読み込み画面で[読み込み]→ロックNo.を入力→[OK]

読み込むデータカテゴリの一覧が表示されます。

2 「電話帳」のチェックボックスにチェックを入れる

読み込むバックアップファイルの選択画面が表示されます。

3 読み込むバックアップファイルを選択

読み込むデータカテゴリの一覧に戻ります。

4 [追加登録開始]／[上書登録開始]

読み込みの確認画面が表示されます。

5 [はい]

処理中は着信できない旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると電波OFFモードがONに設定され、読み込みが開始されます。読み込みを完了しても電波OFFモードが元に戻らない場合は、手動で元に戻してください。

6 [完了]

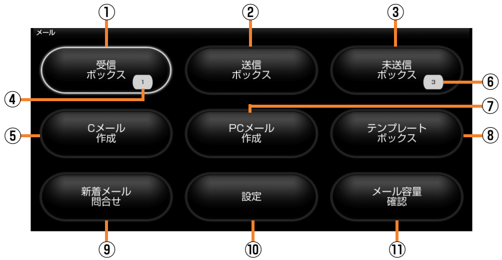
メールを送る・受け取る

メール画面でできること

メールメイン画面から、au電話同士で電話番号を宛先とするCメールと、au one メールなどのメールアカウントを設定したPCメールを利用できます。

- PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。(▶P.92「PCメールのアカウントを追加する」)

1 クイックメニューで[メール]



《メールメイン画面》

① **受信ボックス**
受信したメールを表示します。
▶P.79「受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックスのメールを確認する」

② **送信ボックス**
送信したメールを表示します。
▶P.79「受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックスのメールを確認する」

③ **未送信ボックス**
未送信メールや送信失敗メールを表示します。
▶P.79「受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックスのメールを確認する」

④ **未読メールの件数**
未読メールの件数が表示されます。

⑤ **Cメール作成**
Cメールを作成します。(▶P.99「Cメールを利用する」)

⑥ **未送信メールの件数**
未送信メール(送信失敗メールのみ)の件数が表示されます。

⑦ **PCメール作成**
PCメールを作成します。(▶P.92「PCメールを利用する」)

⑧ **テンプレートボックス**
テンプレートボックス画面を表示して、保存したテンプレートの引用・管理ができます。

⑨ **新着メール問合せ**
新着メールを問い合わせます。(▶P.89「新着メールを問い合わせて受信する」)

⑩ **設定**
各種設定・確認を行います。(▶P.89「メールの設定を行う」)

⑪ **メール容量確認**
メール件数、容量を表示します。

memo

◎ Gmailを利用する場合は、「PCメール簡単設定」(▶P.92)でGmailのアカウントを設定するか、メインメニューで「Gmail」を選択してGmailアプリケーションを使用してください。

テンプレートボックスについて

◎ テンプレートボックス画面で(MENU)を押して、次の操作ができます。
- 「プレビュー」:テンプレートを確認します。
- 「タイトル名変更」:テンプレートの名前を変更します。
- 「削除」:テンプレートを1件削除/全件削除します。
- 「並べ替え」:「保存順」/「タイトル順」に並べ替えます。
- 「プロパティ」:テンプレートのプロパティを確認します。

項目の並べ替えについて

◎ メールメイン画面で移動する項目にカーソルを移動→(MENU)→[並べ替え]を選択し、移動先の項目をタップします。メールメイン画面で(MENU)→[並べ替えリセット]→[はい]を選択すると、項目をお買い上げ時の並び順に戻すことができます。

未読メール/未開封メール/未送信メールの件数表示について

◎「未読メール/未開封メール/未送信メールの件数」の表示方法を設定するには、メールメイン画面で(MENU)→[未読件数表示設定]を選択し、次のいずれかの項目を選択します。
- 「すべて表示」:すべてのメール件数を表示します。
- 「ケータイメールのみ」:PCメール以外の件数を表示します。
- 「非表示」:件数を表示しません。

受信ボックス/送信ボックス/未送信ボックスのメールを確認する

IS01で作成・送信・受信したメールは、各メールボックス画面で保存・管理されます。

1 メールメイン画面で[受信ボックス]/[送信ボックス]/[未送信ボックス]

■ 受信ボックス/送信ボックスの場合



《受信ボックス画面》



《送信ボックス画面》

メール

① **検索ボックス**
入力した文字列を件名と差出人、宛先から検索し、該当するメールをメール一覧に表示します。

② **フォルダ**
Cメールは「受信メール」／「送信メール」に保存されます。
PCメールのアカウントが登録されている場合は、PCメール用のフォルダ（フォルダ名はアカウント表示名）が表示され、PCメールが保存されます。
フォルダのアイコンには、状態によって次のアイコンが付きます。
：展開したフォルダ
：折り畳んだフォルダ
：PCメール用のフォルダ

③ **サブフォルダ**
お買い上げ時は「フォルダ1」、「フォルダ2」が用意されています。1つのフォルダに、サブフォルダを最大20個まで追加することができます。

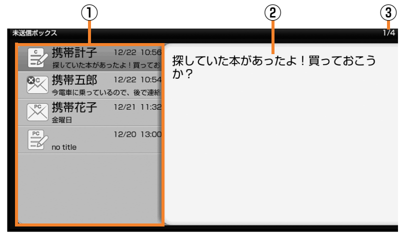
④ **未読メール件数**
未読メールの件数が表示されます。

⑤ **メール一覧**
選択したフォルダに保存されているメールが一覧で表示されます。
／：開封済み／未開封の受信PCメール
／：開封済み／未開封の受信Cメール
／：開封済み／未開封の一部しか受信していないPCメール
：送信PCメール
：送信Cメール
メールのアイコンには、状態によって次のアイコンが付きます。
：返信した受信メール
：転送した受信メール
：添付データのあるメール
：保護されたメール
／：優先度高／優先度低のPCメール

⑥ **フォルダ内のメール番号／メールの保存件数**

⑦ **メール情報**
選択したメールの本文が表示されます。

■ 未送信ボックスの場合



《未送信ボックス画面》

① **メール一覧**
未送信／送信失敗のメールが一覧で表示されます。
／：未送信のPCメール
／：未送信のCメール
メールのアイコンには、状態によって次のアイコンが付きます。
：送信失敗のメール
：添付データのあるメール
／：優先度高／優先度低のメール

② **メール情報**
選択したメールの本文が表示されます。

③ **未送信ボックス内のメール番号／メールの保存件数**

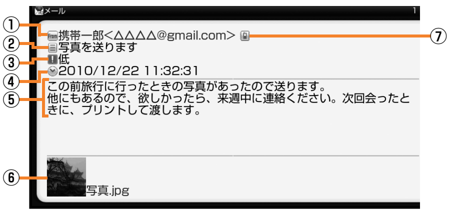
memo

◎ メールボックス画面でフォルダを選択するか、フォルダにカーソルを移動して「たたむ」／「展開」をタップすると、フォルダを折り畳む／展開することができます。
◎ メールボックス画面から、ソフトキーをタップして次の操作ができます（カーソルの位置により、表示されるソフトキーは異なります）。
- 「新着受信」：新着メールを問い合わせます。
- 「開封」：選択したフォルダ内のメールをすべて開封します。
- 「たたむ」／「展開」：フォルダを折り畳む／展開します。
- 「保護」／「保護解除」：メールを保護／保護解除します。
- 「受信」：一部しか受信していないメールの続きを受信します。
- 「転送」：メールを転送します。
- 「返信」：メールを返信します。
- 「エラー詳細」：エラーの詳細を確認します。
- 「削除」：選択したメールを削除します。
- 「再送信」：選択した送信済みメールを再送信します。
- 「編集」：選択した送信済みメール／未送信メールを編集します。

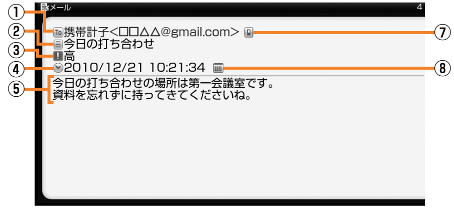
◎ メールボックス画面のメール一覧でメールをロングタッチしてコンテキストメニューを表示しても、メールの返信や転送、編集などの操作ができます。

2 メールを選択

未送信ボックス画面で送信失敗のメールを選択した場合は、未送信メール内容表示画面が表示されます。未送信メールを選択した場合は、PCメール／Cメール作成画面が表示されます。



《受信メール内容表示画面》



《送信メール内容表示画面》

① **受信メール**（差出人の名前／メールアドレス／電話番号）
送信メール（宛先の名前／メールアドレス／電話番号）
② **件名**※
③ **優先度**※
優先度が設定されている場合に表示されます。
④ **受信日時／送信日時**
⑤ **本文**
⑥ **添付データ**※
▶P.98「添付データを受信・再生する」
⑦ **アドレス詳細表示アイコン**
複数の宛先が入力されている場合に表示されます。選択すると、アドレス詳細表示画面（▶P.86）が表示されます。
⑧ **日時情報ありアイコン**
件名または本文中に日付情報がある場合に表示されます。
選択すると、日時情報を利用してスケジュールを登録できます。

※ Cメールの場合は表示されません。

memo

◎ 一部しか受信していないメールを選択した場合は、受信メール内容表示画面の画面下部に「<続きあり　XXbyte>」などと表示され、「受信」をタップすると続きを受信できます。
◎ [◀]／[▶]を押すか、画面を左右にフリックすると、前後のメールに表示を切り替えられます。
◎ ピンチイン／ピンチアウト（▶P.57）すると、表示をズームアウト／ズームインします。

メールボックス画面でできること

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面／未送信ボックス画面で(MENU)

2

新着PCメール受信	新着のPCメールがあるかどうかを確認します。	
振り分け登録	▶P.85「振り分け登録する」	
検索	▶P.86「メールを検索する」	
すべて開封済みにする	選択したフォルダに保存されているすべてのメールを開封済みにします。	
フォルダ管理	フォルダ新規作成	選択したフォルダに、新しくサブフォルダを作成します。 • フォルダ名は、全角／半角8文字まで入力できます。 • 1つのフォルダに、サブフォルダを最大20個まで作成できます。
	フォルダ名編集	選択したフォルダ／サブフォルダのフォルダ名を編集します。 • フォルダ名は、全角／半角8文字まで入力できます。
	フォルダ並べ替え	選択したフォルダ／サブフォルダの表示位置を変更します。 **移動先までフォルダを移動** • シークレットフォルダを並べ替える場合は、フォルダシークレットを一時解除してから操作してください。
フォルダ管理	フォルダシークレット／フォルダシークレット解除	選択したサブフォルダをシークレットフォルダに設定／解除します。設定したサブフォルダは表示されません。 **ロックNo.を入力→[OK]→[OK]→[はい]／[いいえ]** • フォルダシークレットを一時解除してシークレットフォルダを表示するには、メールボックス画面で(MENU)→[Q]→ロックNo.を入力→[OK]を選択します。 • フォルダシークレット解除を行う場合は、フォルダシークレットを一時解除してから操作してください。
	フォルダ着信通知設定	選択したサブフォルダに振り分けられたメールアドレスからメールを受信したとき、着信通知を行うかどうかを設定します。 **[着信通知する]／[着信通知しない]→[OK]** • シークレットフォルダを行う場合は、フォルダシークレットを一時解除してから操作してください。
	フォルダ削除	選択したサブフォルダとサブフォルダ内のメールを削除します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[はい]／[いいえ]** • サブフォルダにサーバメールが保存されている場合は、ロックNo.を入力するとサーバメール削除の確認画面が表示されます。 • サブフォルダ内に保護されたメールがある場合、保護されていないメールのみ削除され、サブフォルダと保護されたメールは削除されません。

続き受信	1件受信	一部しか受信していないメールを選択した場合、続きを受信します。
	複数件受信	一部しか受信していないメールがメール一覧にある場合、複数のメールを指定して続きを受信します。 **続きを受信するメールのチェックボックスにチェックを入れる→[実行]**
	全件受信	一部しか受信していないメールがメール一覧にある場合、すべてのメールの続きを受信します。
返信／転送	返信	選択したメールに返信します。 • 選択したメールに複数の宛先が含まれる場合は、返信方法の選択画面が表示されます。「差出人返信」を選択するとメールの差出人に、「全員へ返信」を選択するとメールに同報されている全員に返信します。 • 返信時のメールの種類は、選択したメールと同じ種類になります。
	転送	選択したメールを転送します。 • 転送時のメールの種類は、選択したメールと同じ種類になります。
編集	選択した送信済みメール／未送信メールを編集して送信します。	
再送信	選択した送信済みメールを再送信します。	
削除	メールを削除します。 ▶P.59「データを削除する」 • 削除方法の選択メニューが表示された場合は、「本メール削除」を選択すると受信ボックスに保存されたメール、「サーバーメール削除」を選択するとサーバに保存されたメールを削除できます。	
エラー詳細	選択した送信失敗のメールのエラー情報を確認します。	

メールプロパティ	選択した未送信メール／送信失敗のメールのプロパティ情報を確認します。	
移動／保存	フォルダ移動	**1件移動**：選択したメールを移動 **移動先のフォルダを選択→[OK]** **選択移動**：メールを選択して移動 **1. 移動するメールのチェックボックスにチェックを入れる→[実行]** **2. 移動先のフォルダを選択→[OK]** **全件移動**：一覧表示しているメールをすべて移動 **移動先のフォルダを選択→[OK]**
	本体へ保存	▶P.87「受信メールをコンテンツマネージャー／microSDメモリカードへ保存する」
	microSDへ保存	
メール操作	保護／保護解除	メールが自動的に削除されないように保護します。 **1件保護**／**1件解除**：選択したメールを保護／保護解除 **選択保護**／**選択解除**：メールを選択して保護／保護解除 **保護／保護解除するメールのチェックボックスにチェックを入れる→[実行]** **全件保護**／**全件解除**：一覧表示しているメールをすべて保護／保護解除

メール操作	開封済みにする／未開封にする	メールを開封済み／未開封にします。 **1件**：選択したメールを開封済み／未開封にする **複数件**：メールを選択して開封済み／未開封にする **開封済み／未開封にするメールのチェックボックスにチェックを入れる→[実行]** **全件**：一覧表示しているメールをすべて開封済み／未開封にする
	データ送信	**赤外線送信**：▶P.220「赤外線でデータを送信する」 **IrSS送信**：選択したメールをIrSS™送信します。 ▶P.220「赤外線でデータを送信する」 **Bluetooth送信**： ▶P.217「Bluetooth®でデータを送信する」
電話帳へ登録	電話帳へメールアドレス／電話番号を登録します。 ▶P.71「他の機能から電話帳に登録する」	
並べ替え	受信ボックスの場合、メール一覧を日時順／未開封順／未受信順／差出人名順／件名順／保護順に並べ替えます。 送信ボックスの場合、メール一覧を日時順／宛先名順／件名順／保護順に並べ替えます。	
メール情報表示	アドレス詳細表示	▶P.86「アドレス詳細表示を利用する」
	メールプロパティ	選択したメールのプロパティ情報を確認します。
ヘルプ	受信ボックス画面／送信ボックス画面で利用できるショートカット操作を確認します。	

memo

◎表示中のメールボックス画面、カーソルの位置などにより、表示される項目が異なります。

フォルダ移動について

◎同じアカウントのフォルダへのみ移動できます。

◎移動先のフォルダを新たに作成してから移動する場合は、移動先フォルダの選択画面で[新規]→フォルダ名を入力→[OK]→移動先のフォルダを選択→[OK]をタップします。

データ送信について

◎データが添付されたメールを送信する場合、添付データは送信できません。

振り分け登録する

サブフォルダには、「差出人」、「ドメイン指定」、「件名」、「電話帳登録なし」の振り分け条件を登録できます。登録した振り分け条件に該当するメールを受信／送信すると、自動的に登録したサブフォルダにメールが振り分けられます。

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面で設定するサブフォルダにカーソルを移動→(MENU)→[振り分け登録]

振り分け条件画面が表示されます。

2 [新規登録]→振り分け条件を選択して設定

差出人	電話帳引用	電話帳を引用して登録します。
	送受信履歴引用	送受信履歴を引用して登録します。 ▶右記「送受信履歴を管理する」
	電話帳グループ引用	電話帳のグループを引用して登録します。
	メールグループ引用	メールグループを引用して登録します。
	プロフィール引用	プロフィールを引用して登録します。
	直接入力	メールアドレスを直接入力します。
ドメイン指定	電話帳引用	電話帳を引用して登録します。
	送受信履歴引用	送受信履歴を引用して登録します。
	プロフィール引用	プロフィールを引用して登録します。
	直接入力	ドメインを直接入力します。
件名	振り分け条件となる件名を登録します。	
電話帳登録なし	振り分け条件として、電話帳に登録されていないメールを指定します。	

3 [完了]

memo

◎ 1つのサブフォルダには、振り分け条件を最大20件まで登録できます。
◎ 振り分け条件画面で(MENU)を押すと、振り分け条件を1件削除／選択削除／全件削除できます。
◎ 振り分け条件画面で「削除」をタップすると、選択した振り分け条件を削除できます。

送受信履歴を管理する

IS01で送受信したメールの差出人や宛先は、送受信履歴に記録されます。送受信履歴は、振り分け登録時やメールの検索時、メールグループの設定時、宛先入力時に利用できます。

例：「振り分け登録」から送受信履歴を表示する場合

1 振り分け条件画面で[新規登録]→[差出人]→[送受信履歴引用]

送受信履歴画面が表示されます。

2 [MENU]

3

1件削除	選択した送信履歴／受信履歴を削除します。
全件削除	送受信履歴をすべて削除します。
シークレット設定／シークレット解除	送受信履歴をシークレットに設定／解除します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[OK]**

memo

◎ 送受信履歴のシークレットを一時的に解除するには、送受信履歴を利用できる画面で(Q)を押してロックNo.を入力します。例えば、振り分け登録時の場合は、振り分け条件画面で[新規登録]→[差出人]を選択し、(Q)→ロックNo.を入力→[OK]を選択します。

メールを検索する

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面でMENU→[検索]

検索(絞込み)画面が表示されます。

2

アドレス検索	電話帳引用	電話帳からメールアドレス／電話番号を選択して検索します。
	送受信履歴引用	送受信履歴からメールアドレス／電話番号を選択して検索します。 ▶P.85「送受信履歴を管理する」
	プロフィール引用	プロフィールからメールアドレス／電話番号を選択して検索します。
	電話番号直接入力	電話番号を直接入力します。
	メールアドレス直接入力	メールアドレスを直接入力します。
添付メール検索	添付データのあるメールのみを一覧表示します。	
件名検索	件名、本文、または件名と本文に、入力した文字を含むメールのみを一覧表示します。 **検索する文字を入力→[OK]**	
本文検索		
本文件名検索		

■ 検索条件を追加する場合

検索(絞込み)画面で「条件追加」をタップし、操作2を行います。

検索条件を削除するには、検索(絞込み)画面で検索条件を指定した項目にカーソルを移動し、「条件削除」をタップします。

■ 検索条件を追加した項目の検索方法を指定する場合

検索(絞込み)画面でMENU→[検索方法]→[絞込み検索]／[キーワード検索]を選択します。

「絞込み検索」を選択した場合は「AND検索」、「キーワード検索」を選択した場合は「OR検索」に設定されます。

3 [検索対象]を選択／[対象切替]

4

現在のフォルダ	選択したフォルダから検索します。
アカウント内メール	選択したアカウントから検索します。
送受信メール	すべての送受信メールから検索します。

5 [実行]

アドレス詳細表示を利用する

メールに含まれるメールアドレス／電話番号を表示し、メールの送信や電話帳への登録、振り分け登録などができます。

1 受信ボックス画面／送信ボックス画面で利用するメールにカーソルを移動→MENU→[メール情報表示]→[アドレス詳細表示]

アドレス詳細表示画面が表示されます。

2 利用するメールアドレス／電話番号にカーソルを移動→MENU

選択メニューが表示されます。

3

メール作成	選択したメールアドレス／電話番号を宛先としたメールを作成します。 ▶P.94「PCメールを作成して送る」 ▶P.99「Cメールを送る」	
電話帳へ登録	▶P.71「他の機能から電話帳に登録する」	
振り分け登録	受信振り分け登録	選択したメールアドレス／電話番号を「振り分け登録」(▶P.85)に登録します。
	送信振り分け登録	
拒否リストへ登録	選択した電話番号を「受信フィルター」(▶P.91)に登録します。	
アドレスコピー	選択したメールアドレス／電話番号をコピーします。	

メール

memo

◎アドレス詳細表示画面から、ソフトキーをタップして次の操作ができます。
- 「振り分け登録」：振り分け登録に登録します。
- 「電話帳登録」：電話帳に登録します。
- 「メール作成」：メールを作成します。
- 「詳細」：メールアドレス／電話番号の詳細情報を表示します。

受信メールをコンテンツマネージャー／microSDメモリカードへ保存する

受信ボックスのメールを、コンテンツマネージャー／microSDメモリカード内のフォルダに保存します。

1 受信メールボックス画面で保存するメールにカーソルを移動→(MENU)→[移動／保存]→[本体へ保存]／[microSDへ保存]

保存形式の選択メニューが表示されます。

2 [eml形式で保存]／[vmg形式で保存]

操作1で「本体へ保存」を選択した場合は、操作3へ進みます。
操作1で「microSDへ保存」を選択した場合は、選択したメールがmicroSDメモリカードに保存されます。

3

1件保存	選択したメールを保存します。
選択保存	複数のメールを選択して保存します。 **[OK]→保存するメールのチェックボックスにチェックを入れる→[実行]**

メール内容表示画面でできること

1 受信メール内容表示画面／送信メール内容表示画面／未送信メール内容表示画面で(MENU)

2

続き受信	一部しか受信していないメールの続きを受信します。	
返信／転送	▶P.82「メールボックス画面でできること」	
編集	表示している送信済みメール／送信失敗のメールを編集して送信します。	
再送信	表示している送信済みメールを再送信します。	
1件削除	表示しているメールを1件削除します。 • 削除方法の選択メニューが表示された場合は、「本メール削除」を選択すると受信ボックスに保存されたメール、「サーバーメール削除」を選択するとサーバに保存されたメールを削除できます。	
エラー詳細	表示している未送信メールのエラー情報を確認します。	
メールプロパティ	表示している未送信メールのプロパティ情報を確認します。	
移動／保存	フォルダ移動	表示しているメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択→[OK]**
	ファイル保存	入力されているデコレーション絵文字を保存します。 「1件保存」「全デコレーション絵文字保存」 • デコレーション絵文字はコンテンツマネージャーに保存されます。

移動／保存	テンプレート保存	表示しているデコレーションメールや、デコレーション絵文字が入力されたメールを、テンプレートとして保存します。 **ファイル名を入力→[OK]** • ファイル名は全角／半角40文字まで入力できます。
	本体へ保存	▶P.87「受信メールをコンテンツマネージャー／microSDメモリカードへ保存する」
	microSDへ保存	
コピー	表示しているメールの本文をコピーします。 SHIFT**を押しながら**▲／▼／◀／▶**またはトラックボールでコピーする範囲を選択→**ENTER	
メール操作	辞書検索	辞書で本文中の単語の意味などを調べます。 **1.** SHIFT**を押しながら**▲／▼／◀／▶**またはトラックボールで検索する範囲を選択→**ENTER **2. [ネット辞書]／[内蔵辞書]** • 15文字までの文字列を検索できます。
	保護／保護解除	メールが自動的に削除されないように保護／保護解除します。
	スケジュールへ登録	件名や本文中の日時情報、またはメールの受信日時をもとにスケジュールを登録します。 ▶P.230「スケジュールを新規登録する」 • (日時情報ありアイコン)を選択してもスケジュールを登録できます。

メール操作	データ送信	**赤外線送信**：▶P.220「赤外線でデータを送信する」 **IrSS送信**：選択したメールをIrSS™送信します。 ▶P.220「赤外線でデータを送信する」 **Bluetooth送信**： ▶P.217「Bluetooth®でデータを送信する」
電話帳へ登録	電話帳へメールアドレス／電話番号を登録します。 ▶P.71「他の機能から電話帳に登録する」	
表示設定	文字サイズ設定	表示しているメールの文字サイズを設定します。 「最大」「大」「中」「小」「最小」
	文字コード変換	表示しているメールの文字コードを設定します。 「自動」「ISO-2022-JP」「Shift-Jis」「EUC-JP」「UTF-8」
メール情報表示	アドレス詳細表示	▶P.86「アドレス詳細表示を利用する」
	メールプロパティ	表示しているメールのプロパティ情報を確認します。

memo

◎ メール内容表示画面から、ソフトキーをタップして次の操作ができます。
- 「保護」／「保護解除」：メールを保護／保護解除します。
- 「削除」：メールを削除します。
- 「転送」：メールを転送します。
- 「返信」：メールを返信します。
- 「編集」：メールを編集します。
- 「再送信」：送信済みメールを再送信します。
- 「受信」：一部しか受信していないメールの続きを受信します。
- 「エラー詳細」：エラーの詳細を確認します。

スケジュールへ登録

◎ 日付の情報は、次のような単語が日付情報として認識されます。
- 今日、本日、明日、明後日、X曜日、mm月dd日、mm/dd、dd日（d日）

◎ 日付とともに時刻情報も含まれている場合は、時刻情報も引用されます。
時刻の情報は、次のような単語が時刻情報として認識されます。
- hh時、hh時mm分、hh:mm、hh時半

新着メールを問い合わせて受信する

「自動受信」（▶P.90）をOFFに設定した場合などに、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 メールメイン画面で［新着メール問合せ］

登録されているすべてのメールアカウントの問い合わせが開始されます。

memo

◎ 受信ボックス画面でソフトキーエリアに「新着受信」が表示されている場合、ソフトキーをタップしても、メールの問い合わせができます。

◎ Wi-Fiを利用して新着メールを問い合わせた際、大量のPCメールがある場合は接続が途切れる場合があります。その場合は、Wi-Fi設定画面（P.34）で［MENU］→［詳細設定］→［Wi-Fiのスリープ設定］→［スリープにしない］を選択してご利用ください。

メールの設定を行う

メールの各種設定やメールグループの管理、メール容量の確認は、メール設定画面から行います。

1 メールメイン画面で［設定］



《メール設定画面》

2

共通設定	メール全般に関する設定を行います。 ▶P.90「共通設定」
PCメール設定	PCメールに関する設定を行います。 ▶P.90「PCメール設定」
Cメール設定	Cメールに関する設定を行います。 ▶P.91「Cメール設定」
メールグループ設定	メールグループを登録・管理します。 ▶P.92「メールグループ設定」
メール容量確認	受信ボックス、送信ボックス、テンプレートの使用状況を確認します。

共通設定

1 メール設定画面で[共通設定]

共通設定画面が表示されます。

2

受信／表示設定	画像拡大表示	メールに添付された画像の表示サイズを設定します。 「そのままのサイズ」「拡縮する」
	着信通知テロップ	メールを受信したときに表示される着信通知テロップの通知内容を設定します。 「差出人＋件名」「差出人」 「お知らせのみ」
送信／作成設定	引用返信	メールを返信する際に受信内容を引用するかどうかを設定します。
	優先作成設定	メールを作成する際に使用するメール形式を設定します。 「PCメール」「Cメール」
	送信先限定設定	メールアドレス／電話番号を指定し、送信先を限定します。 • ロックNo.を入力→[OK]→[新規登録]を選択すると、限定送信する送信先を登録できます。「電話帳引用」「送受信履歴引用」「メールグループ」「直接入力」から入力方法を選択できます。 • 登録済みの送信先にカーソルを移動して「変更」をタップすると、送信先を編集できます。 • 登録済みの送信先にカーソルを移動して(MENU)→[削除]を選択すると、送信先を1件削除／選択削除／全件削除できます。 • 送信先は、最大20件まで登録できます。
メール機能制限	メール機能の起動時にロックNo.の入力が必要になるように設定／解除します。 **「メール機能制限」のチェックボックスにチェックを入れる→ロックNo.を入力→[OK]→[はい]／[いいえ]**	

PCメール設定

1 メール設定画面で[PCメール設定]

PCメール設定画面が表示されます。

2

アカウント設定	▶P.92「PCメールのアカウントを追加する」	
作成時優先アカウント	メールアカウントが複数ある場合に、PCメールを作成するときに優先的に使用するメールアカウントを設定します。	
受信単位	受信単位	PCメールの受信方法を設定します。 「全受信」「指定全受信」 「差出人／件名」 • 「指定全受信」を選択した場合は、「電話帳登録」「電話帳グループ」「メールグループ」「ドメイン」「件名」「個別アドレス」から指定します。
	全受信サイズ	PCメールの受信サイズを設定します。 「300KB」「1MB」
自動受信	▶P.97「新着メールを自動受信するには」	
サーバーメール保有数通知	数値を指定し、サーバに保存されているPCメールが指定した数を超えたときにお知らせするように設定します。 「10000」「50000」「制限なし」	

Cメール設定

1 メール設定画面で[Cメール設定]

Cメール設定画面が表示されます。

2

自動蓄積する	相手の方にCメールが届かなかったとき、自動的にCメールセンターへ蓄積するかどうかを設定します。
受信フィルター	Cメールを受信拒否する電話番号を登録します。電話帳に未登録の番号からのCメールを受信拒否するように設定することもできます。 ▶右記「受信フィルターを設定する」

受信フィルターを設定する

1 メール設定画面で[Cメール設定]→[受信フィルター]→ロックNo.を入力→[OK]

受信フィルター画面が表示されます。

2

指定番号※	受信拒否する電話番号を指定します。 • 「新規登録」を選択すると、受信を拒否する電話番号を登録できます。「電話帳引用」「送受信履歴引用」「直接入力」から入力方法を選択できます。 • 登録済みの電話番号にカーソルを移動して「変更」をタップすると、電話番号を編集できます。 • 登録済みの電話番号にカーソルを移動して(MENU)→[削除]を選択すると、電話番号を1件削除／選択削除／全件削除できます。 • 電話番号は、最大10件まで登録できます。 • 受信フィルターで受信を拒否しても、送信側は正常に送信されたことになります。送信料もかかります。
電話帳登録以外	電話帳に登録されていない電話番号からのCメールを受信拒否するかどうかを設定します。

※ 設定・変更が終了したら(戻る)を押して受信フィルター画面に戻ってください。

3 [完了]

memo

◎受信フィルターを設定して受信拒否されたCメールを再度受信することはできません。受信フィルターの設定には十分ご注意ください。

メール

メールグループ設定

メールグループは最大20件まで登録でき、1件のメールグループには最大20件まで宛先を登録できます。

1 メール設定画面で[メールグループ設定]

メールグループ設定画面が表示されます。

2 [新規登録]→グループ名を入力→[OK]

メールグループ設定画面に登録したグループが表示されます。

3 登録したグループを選択

メンバー一覧画面が表示されます。

4 [新規登録]→登録方法を選択

電話帳引用	電話帳を引用して登録します。
送受信履歴引用	送受信履歴を引用して登録します。
直接入力	宛先を直接入力します。

5 (戻るキー)

memo

◎メールグループの名前を変更するには、メールグループ設定画面で変更するメールグループにカーソルを移動→MENU→[グループ名の変更]を選択します。
◎メンバーを変更するには、メンバー一覧画面で変更するメンバーを選択します。
◎メールグループ設定画面／メンバー一覧画面でMENU→[削除]を選択すると、グループ／メンバーを1件削除／選択削除／全件削除できます。

PCメールを利用する

POP3、SMTPに対応したメールを送信、受信します。

memo

◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、PCメールの送受信に時間がかかる場合があります。

PCメールのアカウントを追加する

PCメールのアカウントは、最大3件まで登録できます。

■au one メール、Gmailを設定する

1 PCメール設定画面で[アカウント設定]

アカウント一覧画面が表示されます。

2 [PCメール簡単設定]→[au one]／[Gmail]

PCメール簡単設定画面が表示されます。

3 [メールアドレス]→メールアドレスを入力→[OK]

4 [パスワード]→パスワードを入力→[OK]→[完了]→[OK]

memo

◎au one メールアカウントを取得するには、「ブラウザ」を起動して、メールのアカウント取得を行ってください。

■au one メール、Gmail以外のメールを利用する

ユーザー名、パスワード、サーバのPOP3、SMTP設定値を登録します。各設定値についてはメールアカウントの提供元にお問い合わせください。

1 PCメール設定画面で[アカウント設定]

アカウント一覧画面が表示されます。

2 [<未登録>]

アカウント設定画面が表示されます。
登録済みのメールアカウントを選択すると、メールアカウント情報を変更できます。

3 項目を選択して設定・変更

項目		説明
表示名設定		メールボックスなどで表示される名前を設定します。 **表示名を入力→[OK]**
受信設定※1	ユーザー名	必要な項目を入力します。
	パスワード	
	受信メールサーバー	
	ポート番号（1～65535）	
	受信認証方式	「標準」「APOP」
	セキュリティ（SSL）	PCメールの受信時にSSLが必要かどうかを設定します。 • SSLが必要な場合は、「セキュリティ（SSL）」のチェックボックスにチェックを入れます。
	メールをサーバーに残す	受信したメールをサーバに残すかどうかを設定します。 • メールをサーバに残す場合は、「メールをサーバーに残す」のチェックボックスにチェックを入れます。
送信設定※1	送信者名	必要な項目を入力します。
	メールアドレス	
	送信メールサーバー	
	ポート番号（1～65535）	
	送信認証方式	「OFF」「POP before SMTP」「SMTP認証」 • 「SMTP認証」を選択した場合は、「受信設定を利用する」または「個別設定する」を選択します。「個別設定する」を選択した場合は、SMTP認証用のユーザー名とパスワードを入力します。
	セキュリティ（SSL）	メールの送信時にSSLが必要かどうかを設定します。 • SSLが必要な場合は、「セキュリティ（SSL）」のチェックボックスにチェックを入れます。
	返信先アドレス	送信時のメールアドレス以外のアドレスへメールを返信してもらいたいときに設定します。 **「返信先アドレス」のチェックボックスにチェックを入れる→返信先アドレスを入力→[OK]**
サーバーメンテナンス※2	新着管理情報リセット	サーバの新着メール管理情報をリセットします。 **ロックNo.を入力→[OK]→[はい]／[いいえ]**
	サーバーメール全削除	サーバに保存されているPCメールをすべて削除します。

※1 受信設定と送信設定は、設定・変更が終了したら[戻る]をタップしてアカウント設定画面に戻ってください。
※2 設定時には選択できません。設定の完了後、再度アカウント一覧画面で登録したアカウントを選択したときに操作できます。

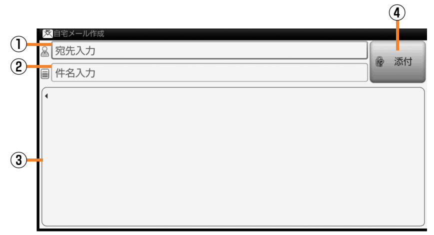
4 [完了]→[OK]

memo

◎登録したメールアカウントを削除するには、アカウント一覧画面で削除するメールアカウントにカーソルを移動し、「削除」をタップします。

PCメールを作成して送る

1 メールメイン画面で[PCメール作成]



《PCメール作成画面》

① **宛先入力欄**

② **件名入力欄**

③ **本文入力欄**

④ **添付キー**

データを添付します。(▶P.95「PCメールにデータを添付する」)

2 [宛先入力]

宛先選択メニューが表示されます。

入力済みの宛先がある場合は、宛先一覧画面が表示されます。宛先一覧画面で「宛先入力」を選択すると、宛先選択メニューが表示されます。

メール

3

電話帳引用	電話帳のメールアドレスを入力します。
送受信履歴引用	送受信履歴を選択してメールアドレスを入力します。 ▶P.85「送受信履歴を管理する」
メールグループ引用	メールグループのメールアドレスを入力します。
プロフィール引用	プロフィールに登録しているメールアドレスを入力します。
直接入力	メールアドレスを入力します。

4 件名入力欄にカーソルを移動→件名を入力

5 本文入力欄にカーソルを移動→本文を入力

6 [送信]

memo

◎PCメール作成画面で「保存」をタップすると、PCメールを送信せずに未送信ボックスへ保存できます。

◎PCメール作成画面で「テンプレート」をタップすると、テンプレートボックス画面からテンプレートを選択できます。

◎宛先入力欄にカーソルを移動して電話帳に登録している名前またはメールアドレスを入力すると、電話帳または送受信履歴に登録／記録されているメールアドレスを検索できます。入力した内容と一致するデータがあると、宛先入力欄の下に一覧表示されます。

◎絵文字、デコレーション絵文字は入力、あるいは送信できない場合があります。送信できた場合でも、文字が他の文字に置き換わったりして、相手が読めない場合があります。

◎よく送信するメールアドレスをスピードメールに登録しておくと、電話番号入力画面(▶P.128)で1～20を入力して(MENU)＋[M]を押すだけで宛先が入力されたPCメール作成画面を表示できます。(▶P.74「スピードダイヤルで電話をかける／スピードメールでメールを送る」)

宛先の種類を変更する・宛先を削除する

複数の宛先を入力していると、宛先の種類(To／Cc／Bcc)を変更したり、入力済みの宛先を削除できます。

1 入力済みの宛先があるPCメール作成画面で[宛先入力]

宛先一覧画面が表示されます。

2 変更する宛先にカーソルを移動→(MENU)

3

Toへ変更	選択した宛先の種類を「To」に変更します。
Ccへ変更	選択した宛先の種類を「Cc」に変更します。
Bccへ変更	選択した宛先の種類を「Bcc」に変更します。
1件削除	選択している宛先を削除します。
全件削除	宛先をすべて削除します。

PCメールにデータを添付する

PCメールには、最大20件(合計500KB以下)のデータを添付できます。

1 PCメール作成画面で[添付]

添付ファイル選択メニューが表示されます。

添付済みのデータがある場合は、添付ファイル一覧画面が表示されます。添付ファイル一覧画面で「ファイル添付追加」を選択すると、添付ファイル選択メニューが表示されます。

2

コンテンツマネージャー	コンテンツマネージャーからデータを選択して添付します。	
撮影	カメラ撮影(静止画)	フォトを撮影して添付します。
	カメラ撮影(動画)	ムービーを録画して添付します。

個人データ	プロフィール	プロフィールをvCardデータとして添付します。
	電話帳	電話帳をvCardデータとして添付します。
	スケジュール	スケジュールまたはタスクをvCalendarデータとして添付します。
	メモ帳	メモ帳をvNoteデータとして添付します。
その他	アプリケーションのデータなどを添付します。	

memo

◎添付ファイル一覧画面でMENUを押すと、次の操作ができます（カーソルの位置により、表示される項目が異なります）。
- 「追加」：添付するデータを追加します。
- 「1件削除」：選択したデータを削除します。
- 「全件削除」：添付したデータをすべて削除します。
- 「表示／再生」：選択したデータを表示／再生します。

◎フォトを選択した際に添付できるサイズを超えた場合、フォトが自動的にリサイズされることがあります。

PCメール作成画面でできること

1 PCメール作成画面でMENU

2

送信	作成しているPCメールを送信します。	
テンプレート呼出	テンプレートボックスからテンプレートを選択して読み込みます。	
装飾解除	デコレーション絵文字を入力している場合に、入力したデコレーション絵文字をすべて削除します。	
引用	電話帳引用	電話帳の登録内容を引用して本文を入力します。
	プロフィール引用	プロフィールの登録内容を引用して本文を入力します。
	メモ帳引用	メモ帳の登録内容を引用して本文を入力します。
	GPS情報引用	GPS情報を引用してPCメールの本文に入力します。 「現在位置を取得」「位置履歴から」「電話帳から」「プロフィールから」
文字サイズ	本文入力欄に表示される文字のサイズを設定します。 「最大」「大」「中」「小」「最小」	
保存	テンプレート保存	編集中のPCメールをテンプレートとしてテンプレートボックスに新規／上書保存します。 • 作成中のPCメールを初めてテンプレートとして保存する場合は、「新規保存」のみ表示されます。

保存	未送信ボックスへ保存	PCメールを送信せずに未送信ボックスに新規／上書保存します。 • 作成中のPCメールを初めて保存する場合は、「新規保存」のみ表示されます。未送信ボックスの未送信メールを選択してPCメール作成画面を表示している場合は、「新規保存」／「上書保存」から選択します。
メール種別変更	Cメールへ変更	PCメールの種別をCメールに変更します。
	(PCメールアカウント表示名)へ変更	PCメールの種別を他のPCメールに変更します。
送信オプション	優先度	PCメールの優先度を設定します。「高」「中」「低」
	返信先アドレス	**On／Off設定**：送信時のメールアドレス以外のアドレスへメールを返信してもらうかどうかを設定 **返信先アドレス**：返信先のメールアドレスを入力
ヘルプ	PCメール作成画面で利用できる機能説明や、ショートカット操作を確認します。	

memo

メール種別変更

◎「Cメールへ変更」を選択した場合は、データ削除の確認画面が表示され、「はい」を選択すると宛先が未入力の状態のCメール作成画面が表示されます。

◎「Cメールへ変更」を選択すると、100バイトを超える本文や、本文に挿入されていたデコレーション絵文字などの画像は削除されます。

PCメールを受け取る

手動で受信する

1 メールメイン画面で[新着メール問合せ]

memo

◎受信ボックス画面でソフトキーエリアに「新着受信」が表示されている場合、ソフトキーをタップしても、メールの問い合わせができます。

◎メールメイン画面で「新着メール問合せ」を選択してPCメールを受信すると、着信通知テロップやお知らせアイコンは表示されません。

自動で受信する

「自動受信」をONに設定した場合は、設定した間隔でPCメールを定期的に受信しますが、メール受信を確実に行うには「新着メール問合せ」をご利用ください。

■新着メールを自動受信するには

お買い上げ時は「自動受信」がOFFに設定されています。自動受信を行うには、次の操作を行います。

1 メール設定画面で[PCメール設定]→[自動受信]

2

自動受信	自動受信するかどうかを設定します。
受信間隔	自動受信を行う時間の間隔を設定します。 「30分」「1時間」「2時間」「4時間」「8時間」「24時間」
自動受信無効時間	自動受信を行わない時間帯を設定します。 **「自動受信無効時間」のチェックボックスにチェックを入れる→[時間帯設定]→無効にする時間帯を入力→[戻る]**

■新着メールを自動で受信すると

1 PCメールを受信

PCメールを受信すると、「着信通知テロップ」(▶P.90)で設定した通知内容が表示された着信通知テロップが表示されます。お知らせエリアにはPCメールのお知らせアイコンが表示されます。

2 お知らせエリアをタップ

お知らせパネル画面が表示されます。

3 確認するPCメール情報を選択

受信ボックス画面が表示されます。

4 メール一覧の確認するPCメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。
◎受信したPCメール(デコレーションメールなど)の内容によっては正しく表示されない場合があります。
◎PCメールのサイズが1Mを超える場合は、受信メール内容表示画面の画面下部に「<最大サイズを超えるため受信できません。他機器にて受信してください>」と表示され、PCメールの続きを受信できません。パソコンなど他の機器で受信・確認してください。

添付データを受信・再生する

1 受信メール内容表示画面で添付データを選択

メニューが表示されます。

2

表示／再生	受信済みの添付データを表示／再生します。
保存	受信済みの添付データを、対応するアプリケーションに保存します。
プロパティ	添付データのファイル名やタイプ、サイズの情報が表示されます。

au one メールを利用する

au one メールは、情報料無料・大容量のメールサービスです。高性能な検索機能や迷惑メールフィルターを利用したり、携帯絵文字の送受信を行うこともできます。

会員登録する

au one メールをご利用になるには、au one-IDの設定と会員登録を行い、au one メールのメールアドレスを取得していただく必要があります。会員登録を行うことにより、「○○@auone.jp」のアドレスを取得できます。

1 クイックメニューで[ブラウザ]

au one ホームページが表示されます。
すでにau one-IDを設定済みの場合は、操作4に進みます。

2 [au one-ID登録]→[OK]→[au one-IDの設定・保存]

3 画面の指示に従って操作し、au one-IDを設定

au one-IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau one-IDを設定します。
au one-IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。
設定が完了すると、au one ホームページに戻ります。

4 [ログイン]→au one-IDとパスワードを入力→[ログイン]

5 [アカウント取得]

会員登録画面が表示されます。

6 画面に従って必要項目を入力→[規約に同意して登録する]

登録の確認画面が表示されます。

7 ［上記の内容で登録する］

会員登録が完了します。

memo

◎一定期間、お客様による本サービスの利用がまったくない場合、お客様が本サービスを利用して保存したデータファイルをすべて削除し、本サービスを解除することがあります。

◎au one メールを解約した場合や、携帯電話サービスを解約した場合などは、メールデータはすべて削除されます。

au one メールを確認する

1 クイックメニューで［ブラウザ］

au one ホームページが表示されます。

2 ［メール］

ログイン認証画面が表示されます。

3 au one-IDとパスワードを入力→［ログイン］

au one メールの受信トレイが表示されます。

memo

◎PCメール簡単設定（▶P.92）でau one メールのアカウントを設定すると、メールメイン画面からau one メールの送受信などができます。

Cメールを利用する

Cメールは、Cメール対応のau電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。

Cメールを送る

漢字･ひらがな･カタカナ･英数字･記号･絵文字･顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。送信完了時には、相手の方にCメールが届いたかどうかが分かります。

1 メールメイン画面で［Cメール作成］

Cメール作成画面が表示されます。

2 ［宛先入力］

宛先選択メニューが表示されます。
入力済みの宛先がある場合は、宛先一覧画面が表示されます。

3

電話帳引用	電話帳の電話番号を宛先に入力します。
送受信履歴引用	送受信履歴を選択して電話番号を宛先に入力します。 ▶P.85「送受信履歴を管理する」
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号を入力します。
直接入力	電話番号を入力します。

4 本文入力欄にカーソルを移動→本文を入力

本文は、100バイトまで入力できます。

5 ［送信］

メール

memo

◎Cメール作成画面のオプションメニューについては、「PCメール作成画面でできること」(▶P.96)をご参照ください(一部の項目はCメール作成画面では利用できません)。
◎3GがステータスエリアIに表示されていない場合は、Cメールを送信できません。
◎Cメール作成画面で「保存」を選択すると、Cメールを送信せずに未送信ボックスへ保存できます。
◎Cメール作成画面で「テンプレート」をタップすると、テンプレートボックス画面からテンプレートを選択できます。
◎宛先入力欄にカーソルを移動して電話帳に登録している名前または電話番号を入力すると、電話帳または送受信履歴に登録／記録されている電話番号を検索できます。入力した内容と一致するデータがあると、宛先入力欄の下に一覧表示されます。
◎相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由でCメールを送信できなかった場合は、Cメールセンターへ蓄積するかどうか確認するメッセージが表示されます。
「はい」：Cメールセンターに Cメールを蓄積します。相手の方が受信可能になった時点で送信されます。
「いいえ」：Cメール送信を中止します。送信されなかったCメールは、未送信ボックスに保存されます。
ただし、「自動蓄積する」(▶P.91)のチェックボックスにチェックを入れている場合は、自動的にCメールセンターへ蓄積されます。
◎Cメールセンターは、以下の通りCメールをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したCメールは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、Cメールセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたCメールが配信されるタイミングは、以下の通りです。

Cメール蓄積後すぐに配信	新しいCメールがCメールセンターに蓄積されるたびに、Cメールセンターでお預かりしていたCメールがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へCメールを繰り返し送信するリトライ機能によりCメールを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様がIS01で通話を終了したときに、Cメールセンターにお預かりしていたCメールをすべて配信します。

◎発信者番号通知をせずにCメールを送信することはできません。
◎契約期間の条件により送信数に制限があります。

ご加入から3ヶ月までのお客様	3,000通／月
ご加入から4ヶ月までのお客様	6,000通／月

※「スマイルハート割引」ご加入のお客様は、加入期間にかかわらず6,000通／月です。
◎異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
◎Cメールの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに「送信失敗しました」と表示される場合があります。

■メール変換機能について

Cメール作成画面で(MENU)→[メール種別変更]→[(PCメールアカウント表示名)へ変更]→[はい]と操作すると、作成中のCメールをPCメールに変更することができます。

- 「(PCメールアカウント表示名)へ変更」を選択すると、データ削除の確認画面が表示され、「はい」を選択すると宛先が未入力の状態のPCメール作成画面が表示されます。ただし、電話帳に登録済みの電話番号が入力されている場合は、電話番号に対応するメールアドレスが自動的に入力されます。
- 半角カタカナは全角に変換されます。
- auの絵文字は削除されます。

Cメールを受け取る

1 Cメールを受信

Cメールセンターからのcメール受信が完了すると、「着信通知テロップ」(▶P.90)で設定した通知内容が表示された着信通知テロップが表示されます。お知らせエリアにはCメールのお知らせアイコンが表示されます。

2 お知らせエリアをタップ

お知らせパネル画面が表示されます。

3 確認するCメール情報を選択

受信ボックス画面が表示されます。

4 メール一覧の確認するCメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎お買い上げ時の設定では、受信したCメールはすべて受信ボックス画面の受信メールフォルダに保存されます。
◎Cメールの受信は、無料です。
◎本文中に電話番号やURLを含むCメールを受信するには、Cメール安心ブロック機能を解除する必要があります。(▶右記)

Cメール安心ブロック機能を設定する

Cメール安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むCメールを受信拒否する機能です。

memo

◎Cメール安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎機種変更した場合は、以前ご使用の機種で設定された内容がそのまま継続されます。
◎ブロック対象のCメールは、通常のCメール(ぷりペイド送信含む)です。
お留守番サービス(伝言お知らせ、着信お知らせ)は対象外です。

■Cメール安心ブロック機能の設定方法

Cメール安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にCメールを送信することで行います。

設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にCメールを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にCメールを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にCメールを送信する。

※設定時のCメール送信は無料です。
※設定完了の案内Cメールは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■Cメール安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したCメールがCメール安心ブロック機能により受信拒否された場合は、「09044440019」の番号通知でお届けできなかった旨のエラーCメールが返信されます。

• 送信したCメールが受信拒否された場合でも、通信料がかかります。

インターネットを利用する

インターネットに接続する

IS01では、次のいずれかの方法でインターネットに接続できます。

- パケット通信（IS NET、au.NET）（▶右記「データ通信サービスを利用する」）
- Wi-Fi（▶下記「Wi-Fiを利用する」）

memo

◎IS NETにご加入されていない場合は、au.NETの使用料（利用月のみ月額945円）がかかります。

Wi-Fiを利用する

家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

Wi-Fiを利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。アクセスポイントの登録については、「Wi-Fiの設定をする」（▶P.263）をご参照ください。

memo

◎ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント（無線LAN親機）をご用意ください。

◎外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。

データ通信サービスを利用する

IS01は、パケット通信方式を採用したCDMA 1X WINのデータ通信サービスで、最大通信速度受信3.1Mbps／送信1.8Mbps（ご使用の環境によっては受信2.4Mbps／送信144Kbps）でのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。

※IS01は、「CDMA 1Xエリア（受信最大通信速度が144Kbpsのエリア）」では「パケット通信」および「Cメール送信」をご利用することができません。なお、ご利用可否は、「3G」アイコン表示にて確認いただくことができます。

「IS NET（アイエスネット）」や「au.NET（エーユードットネット）」のご利用により、IS01を手軽にインターネットに接続し、パケット通信を行うことができます。また、ダブル定額ライトなどのパケット通信料割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。au.NET、パケット通信料割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- IS NETにお申し込みされていない場合は、au.NETでのご利用となります。
- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用すると、パケット通信料が高額となることがあります。定額サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）

※初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料（ご利用月のみ発生）
通信料※	有料

※通信料については、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

ブラウザを起動する

ウェブページを開く

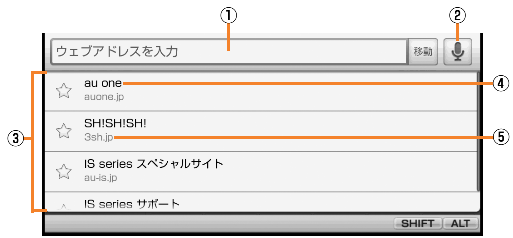
1 クイックメニューで[ブラウザ]

ブラウザ画面が表示され、ウェブページが表示されます。
お買い上げ時は、au one ホームページが設定されています。



《ブラウザ画面》

2 (MENU)→[URL入力]



《ウェブアドレス入力画面》

① **ウェブアドレス入力欄**
URLを入力します。キーワードを入力した場合は、Google検索ができます。

② **Google音声検索**
キーワードなどを音声で入力できます。

③ **候補選択リスト**
ブックマークや閲覧履歴に登録／記録されているウェブページアドレス、または入力したキーワードを含むGoogle検索の検索候補の一覧が表示されます。
☆：ブックマークに登録されているウェブページ
🌐：閲覧履歴に記録されているウェブページ
🔍：Google検索の検索候補

④ **ウェブページのタイトル**

⑤ **ウェブページアドレス**

3 ウェブアドレスを入力→［移動］

候補選択リストから選択してウェブページを開くこともできます。

memo

◎非常に大きなウェブページをブラウザで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

ブラウザ画面での基本操作

◎次のタッチパネル操作でウェブページを閲覧できます。
- タップ：リンクやキーを選択･実行できます。
- スライド／フリック：ページをスクロールできます。
- ピンチアウト／ピンチイン：ページを拡大／縮小できます。
- ダブルタップ：タップした位置のコンテンツ表示を画面幅に合わせて調整します（ウェブページによっては操作できない場合があります）。

ウィンドウを利用する

最大8つのウィンドウを開くことができ、ウィンドウを切り替えながらウェブページを閲覧できます。

■新しいウィンドウを開く

■表示しているウィンドウが1つの場合

1 ブラウザ画面で(MENU)→［新規ウィンドウ］

新しいウィンドウが開かれ、ホームページに設定したウェブページが表示されます。

■表示しているウィンドウが複数の場合

1 ブラウザ画面で(MENU)→［ウィンドウリスト］

開いているウィンドウのサムネイル画面が表示されます。
1つの画面には4つのウィンドウがサムネイル表示されます。

2 サムネイル画面の［新規ウィンドウ］

「新規ウィンドウ」が表示されない場合は、▲／▼または画面を上下にスライド／フリックしてサムネイル画面をスクロールしてください。
すでに8つのウィンドウを開いている場合には、「新規ウィンドウ」は表示されません。

memo

◎サムネイル画面で(MENU)を押すと、次の操作ができます（カーソルの位置により、表示される項目が異なります）。
- 「表示」：選択したウィンドウを開きます。
- 「閉じる」：選択したウィンドウを閉じます。
- 「ブックマーク登録」：選択したウィンドウのウェブページをブックマークに登録します。
- 「ページ情報」：選択したウィンドウのウェブページのページ情報（タイトル、ウェブページアドレス）を確認します。
- 「新規ウィンドウ」：新しいウィンドウを開きます。

■ ウィンドウを切り替える／閉じる

1 ブラウザ画面で(MENU)→［ウィンドウリスト］

開いているウィンドウのサムネイル画面が表示されます。
1つの画面には4つのウィンドウがサムネイル表示されます。

2 開くウィンドウを選択／閉じるウィンドウの⊗をタップ

切り替える／閉じるウィンドウがサムネイル画面に表示されていない場合は、▲／▼または画面を上下にスライド／フリックしてサムネイル画面をスクロールしてください。

ウェブページや画像を保存する

表示しているウェブページのリンクや画像をロングタッチしてコンテキストメニューを表示し、リンク先のウェブページや画像の保存、リンク先のウェブページのブックマーク登録などができます。

1 ブラウザ画面でリンク／画像をロングタッチ

2

開く	リンク先のウェブページを開きます。
新しいウィンドウで開く	リンク先のウェブページを新しいウィンドウで開きます。
リンクをブックマーク	リンク先のウェブページをブックマークに登録します。
リンクを保存	リンク先のウェブページを保存します。
リンクを共有	リンク先のウェブページアドレスをメールの本文に入力して送信します。
URLをコピー	リンク先のウェブページアドレスをコピーします。
画像を保存	選択した画像を保存します。 • 「画像の読み込み」(▶P.110)で画像を読み込むように設定している場合に利用できます。
画像を表示	選択した画像を表示します。

memo

◎「リンクを保存」や「画像を保存」を選択した場合は、ダウンロードが開始されるとダウンロード履歴画面が表示され、ダウンロード済みまたはダウンロード中のデータが一覧に表示されます。お知らせエリアには、お知らせアイコンが表示されます。
◎表示しているウェブページや、選択したリンク／画像によっては、操作できない場合があります。

ブラウザ画面でできること

1 ブラウザ画面で(MENU)

2

URL入力	▶P.105「ウェブページを開く」
ブックマーク	▶P.108「ブックマーク･閲覧履歴の管理」
履歴	▶P.108「ブックマーク･閲覧履歴の管理」
新規ウィンドウ／ウィンドウリスト	▶P.106「ウィンドウを利用する」
RSS登録	表示しているウェブページがRSS情報を提供している場合にRSSを登録します。 ▶P.111「RSSを登録する」
進む	現在のページが「戻る」の操作で表示している場合に、操作前に表示していたウェブページに進みます。
戻る	1つ前のウェブページに戻ります。
再読み込み／停止	表示しているウェブページの情報を更新／更新を停止します。
拡大	ウェブページを拡大表示します。
縮小	ウェブページを縮小表示します。
等倍	拡大／縮小表示したウェブページを元の表示に戻します。
ページ内検索	表示しているウェブページ内の文字列を検索します。

テキスト選択コピー	表示しているウェブページ内の文字列をコピーします。 • コピーする文字列上をスライドするとコピーできます。 • ウェブページ内でコピーした文字列を貼り付けるには、ウェブページ内の文字入力欄をロングタッチし、「貼り付け」を選択します。
ページ情報	表示しているウェブページのページ情報(タイトル、ウェブページアドレス)を確認します。
ページを共有	表示しているウェブページのウェブページアドレスをメールの本文に入力して送信します。
ダウンロード履歴	▶P.110「ダウンロード履歴の管理」
ホームページへ移動	「ホームページ設定」で設定したホームページを表示します。
設定	▶P.110「ブラウザを設定する」

memo

◎ 閲覧中のページや操作の状況などにより、表示される項目が異なります。

ブックマーク・閲覧履歴・ダウンロード履歴を管理する

ブックマーク・閲覧履歴の管理

ブックマークや閲覧履歴は、ブックマーク・履歴画面で管理できます。

1 ブラウザ画面で(MENU)→[ブックマーク]/[履歴]



《ブックマーク・履歴画面》

① **「ブックマーク」タブ**
登録したブックマークが一覧表示されます。

② **「よく使用」タブ**
記録された閲覧履歴が、閲覧回数の多い順に一覧表示されます。
• 閲覧したウェブページによっては、閲覧回数の多い順に表示されない場合があります。

③ **「履歴」タブ**
ブラウザの閲覧履歴が一覧表示されます。

④ **現在のページをブックマーク**
表示していたウェブページをブックマークに登録します。

⑤ **ブックマーク／閲覧履歴一覧**

「よく使用」タブ／「履歴」タブを選択して閲覧履歴一覧を表示している場合は、次のアイコンが表示されます。

★：ブックマークに登録済みの閲覧履歴

☆：ブックマークに未登録の閲覧履歴

memo

◎ブックマーク／閲覧履歴一覧から項目をタッチすると、ウェブページが表示されます。

■ブックマークを登録する

1 ブラウザ画面でブックマークに登録するウェブページを表示→(MENU)→[ブックマーク]→[現在のページをブックマーク]

ブックマーク登録画面が表示されます。

2 [OK]

■ブックマーク・履歴画面でできること

1 ブックマーク・履歴画面で(MENU)

2

項目		説明
ブックマーク登録		表示したウェブページ／選択した閲覧履歴をブックマークに登録します。 ▶上記「ブックマークを登録する」
ブックマーク全送信	赤外線送信	すべてのブックマークを赤外線送信します。 ▶P.220「赤外線でデータを送信する」
	Bluetooth送信	すべてのブックマークをBluetooth®機能で送信します。 ▶P.217「Bluetooth®でデータを送信する」
ブックマーク全削除		ブックマークを全件削除します。
展開／折りたたみ		「履歴」タブの「今日」／「昨日」／「5日前」／「1か月前」にカーソルがあるとき、リストを展開／折り畳みます。
履歴全削除		閲覧履歴を全件削除します。
開く		選択したブックマーク／閲覧履歴のウェブページを表示します。
新しいウィンドウで開く		選択したブックマーク／閲覧履歴のウェブページを、新しいウィンドウで表示します。
ブックマーク登録		選択した閲覧履歴のウェブページをブックマークに登録します。
ブックマークを編集		選択したブックマークの名前やウェブページアドレスを編集します。
ショートカットを作成		選択したブックマークのショートカットをデスクトップに追加します。
リンクを共有		選択したブックマーク／閲覧履歴のウェブページアドレスをメールの本文に入力して送信します。
ブックマークを送信	赤外線送信	ブックマークを赤外線送信します。 ▶P.220「赤外線でデータを送信する」
	Bluetooth送信	ブックマークをBluetooth®機能で送信します。 ▶P.217「Bluetooth®でデータを送信する」
URLをコピー		選択したブックマーク／閲覧履歴のウェブページアドレスをコピーします。
ブックマークを削除	1件削除	選択したブックマークを削除します。
	全件削除	ブックマークを全件削除します。
履歴から削除	1件削除	選択した閲覧履歴を削除します。
	全件削除	閲覧履歴を全件削除します。

memo

◎表示しているタブやカーソルの位置により、表示される項目が異なります。

ダウンロード履歴の管理

ダウンロード履歴には、ダウンロード済みまたはダウンロード中のデータ情報の一覧が表示され、データの確認ができます。

1 ブラウザ画面で(MENU)→[ダウンロード履歴]

ダウンロード履歴画面が表示されます。

2 確認するデータを選択

memo

◎ウェブページから画像などのダウンロードを開始した場合も、ダウンロード履歴画面が表示され、ダウンロード中のデータを確認できます。

◎ダウンロード済みのデータ情報をロングタッチして、次の操作ができます。

- 「開く」：選択したデータを開きます。
  ※ダウンロード済みのデータによっては、データ情報をロングタッチして、操作ができるものがあります。
- 「リストから削除」：選択したデータ情報をリストから削除します。

◎ダウンロード履歴画面で(MENU)を押すと、次の操作ができます。

- 「リスト全削除」：ロックNo.を入力すると、ダウンロードしたデータ情報（ダウンロード失敗含む）をすべて削除します。
- 「全ダウンロード中止」：すべてのダウンロードを中止します。

ブラウザを設定する

1 ブラウザ画面で(MENU)→[設定]

設定画面が表示されます。

2

ページコンテンツ設定	文字サイズ	ブラウザ画面に表示される文字サイズを設定します。 「最大」「大」「中」「小」「最小」
	デフォルトの解像度	ブラウザ画面を表示したときのウェブページの解像度を設定します。 「高」「中」「低」
	テキストエンコード	文字コードを変更します。 「Latin-1（ISO-8859-1）」「Unicode（UTF-8）」「日本語（ISO-2022-JP）」「日本語（Shift_JIS）」「日本語（EUC-JP）」
	ポップアップウィンドウをブロック	ポップアップウィンドウをブロックするかどうかを設定します。
	画像の読み込み	ウェブページの画像を表示するかどうかを設定します。
	ページの自動調整	画面に合わせてウェブページの表示サイズを自動調整するかどうかを設定します。
	JavaScriptを有効にする	JavaScriptを有効にするかどうかを設定します。
	バックグラウンドで開く	リンクを「新しいウィンドウで開く」操作で開くとき、現在表示中のウィンドウの後ろに表示するかどうかを設定します。
	ホームページ設定	ブラウザを起動したときや、新しいウィンドウを開いたときに表示されるホームページを設定します。

プライバシー設定	キャッシュを削除※	ウェブページの閲覧時に保存したページデータ（キャッシュ）を削除します。
	履歴削除※	ブラウザの閲覧履歴をすべて削除します。
	Cookieを受け入れる	ウェブページによるCookieの保存と読み取りを許可するかどうかを設定します。
	Cookieをすべて削除※	IS01に保存されているCookieをすべて削除します。
	フォームデータを保存	ウェブページの閲覧中に入力したフォームデータを保存するかどうかを設定します。
	フォームデータを削除※	IS01に保存されているフォームデータをすべて削除します。
セキュリティ設定	パスワードを保存	ウェブページの閲覧中に入力したサイトのユーザー名とパスワードを保存するかどうかを設定します。
	パスワードを削除※	IS01に保存されているサイトのユーザー名とパスワードをすべて削除します。
	セキュリティ警告を表示	サイトの安全性に問題があるときに警告を表示するかどうかを設定します。
詳細設定	ダウンロードデータの保存先	ダウンロードしたデータの保存先を設定します。 「microSD」「microSD優先」「本体」
	Gearsを有効にする	ブラウザの機能拡張を許可するかどうかを設定します。
	Gearsの設定	ブラウザの拡張機能の利用を許可するかどうかを設定します。また、ウェブページごとに設定したブラウザの拡張機能の利用設定を削除します。
	ブックマークをリセット※	登録したブックマークをすべて削除してお買い上げ時の状態に戻します。
	初期設定にリセット※	ブラウザのすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。 • ブックマークや閲覧履歴、キャッシュなどのIS01に保存されたデータは削除されません。

※操作するには、ロックNo.の入力が必要になります。

memo

◎フィルタリング機能を利用して、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを遮断できます。（▶P.264「フィルタリング設定をする」）

RSSリーダーを利用する

RSSリーダーアプリケーションを利用することで、ブラウザを起動してウェブページを表示することなく、登録したRSSの更新情報（Feed）を確認できます。また、RSSリーダーウィジェットを利用すると、デスクトップから更新情報のタイトルを確認できます。

RSSを登録する

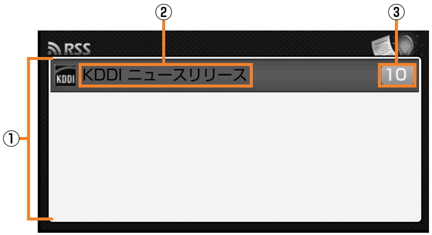
1 ブラウザ画面でRSS情報を提供しているウェブページを表示→(MENU)→［RSS登録］→表示されたRSSを選択

チャンネル追加画面が表示されます。

2 必要に応じてRSSタイトルを修正→［追加］

RSSリーダーアプリケーションを表示する

1 メインメニューで[RSSリーダー]



《RSSリーダー画面(RSS一覧)》

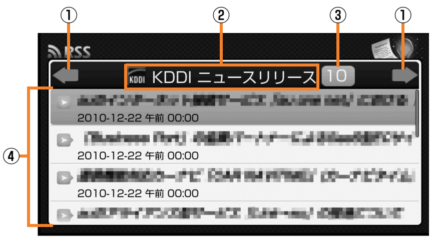
① **RSS一覧**
RSSを選択すると一覧が表示されます。

② **タイトル**
RSSのサイトのタイトルが表示されます。

③ **未確認の更新情報件数**

2 RSS一覧から確認するRSSを選択

RSSリーダー画面に更新情報一覧が表示されます。



《RSSリーダー画面(更新情報一覧)》

① **切替キー**
RSSが複数登録されている場合、タップして前後のRSSに切り替えます。

② **タイトル**
RSSのサイトのタイトルが表示されます。

③ **未確認の更新情報件数**

④ **更新情報一覧**
確認する更新情報を選択すると、詳細画面が表示されます。詳細画面下部の切替キーを選択すると、前後の更新情報に切り替えられます。

memo

◎登録したRSSの更新情報を取得すると、お知らせエリアにお知らせアイコンが表示されます。
◎更新情報の詳細画面で、タイトル下のエリア(詳細情報または空欄)をタップすると、ブラウザが起動して更新情報の記事などを確認できます。
◎RSSや更新情報を削除するには、RSS一覧または更新情報一覧で項目をロングタッチして「削除」を選択します。
◎更新情報一覧で項目をロングタッチ→[既読にする]/[未読にする]を選択すると、更新情報を既読/未読の状態に切り替えられます。
◎RSSリーダー画面から、ソフトキーをタップして次の操作ができます。
- 「サイト切替」:RSS一覧が表示されます。
- 「更新情報」:更新情報一覧を表示します。
- 「アップデート」:RSS/更新情報を更新します。
- 「追加」:手動でRSSを追加します。

RSSリーダー画面のオプションメニューを利用する

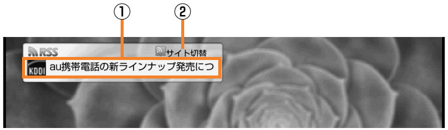
1 **RSSリーダー画面／詳細画面で(MENU)**

2

サイト切替	RSS一覧を表示します。
更新情報	更新情報一覧を表示します。
アップデート	RSS／更新情報を更新します。
追加	手動でRSSを追加します。
次のサイト	更新情報一覧を表示中に、次のRSS（サイト）に切り替えます。 • RSSが複数ある場合に切り替えられます。
前のサイト	更新情報一覧を表示中に、前のRSS（サイト）に切り替えます。 • RSSが複数ある場合に切り替えられます。
読む	選択した更新情報の詳細画面を表示します。
削除	選択したRSS／更新情報を削除します。
全削除	更新情報一覧の更新情報をすべて削除します。
次の更新情報	更新情報の詳細画面を表示中に、次の更新情報に切り替えます。
前の更新情報	更新情報の詳細画面を表示中に、前の更新情報に切り替えます。

RSSリーダーウィジェットを表示する

デスクトップにRSSリーダーウィジェットを追加すると、デスクトップから更新情報の確認ができます。（▶P.45「ウィジェットを利用する」）



《RSSリーダーウィジェット画面》

① **更新情報のタイトル**
選択すると、表示中の更新情報の詳細画面が表示されます。

② **サイト切替キー**
RSSリーダー画面（RSS一覧）を起動します。

オンラインサービスを使う

Googleサービスを利用する

IS01ではGoogleのオンラインサービスを活用できるアプリケーションを搭載しています。

memo

◎ Googleサービスを利用する前にあらかじめGoogleアカウントのセットアップが必要な場合があります。
◎ Googleアプリケーション、およびサービス内容は、予告なく変更される場合があります。

Google検索を利用する

パソコンでのGoogle検索と同様に、IS01のクイック検索ボックスにキーワードを入力するだけで、IS01内の情報や、インターネットの情報を検索できます。
クイック検索ボックスは、お買い上げ時にデスクトップに登録されている検索ウィジェットを選択すると起動できます。(▶P.53「クイック検索ボックスを利用する」)

memo

◎ クイック検索ボックスウィジェットが表示されたデスクトップを表示中にキーボードのキーを押した場合は、1文字目が半角英字モードで、2文字目以降がひらがな漢字入力モードで入力されます。

Googleマップを利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Googleマップ」を利用し、地図を表示して現在地を確認したり、目的地までの経路を検索したりできます。また、航空写真や渋滞状況(データ提供エリアのみ)を地図に重ねて表示できます。

- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページや、Googleマップ画面で[MENU]→[その他]→[ヘルプ]を選択してGoogleマップのヘルプをご参照ください。

1 メインメニューで[マップ]

Googleマップ画面が表示されます。
マップの新機能画面が表示された場合は、「OK」を選択するとGoogleマップ画面が表示されます。

■ 位置情報を有効にする

お買い上げ時は、GPS機能などがOFFに設定されています。Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめ位置情報を利用できるように設定する必要があります。

1 メインメニューで[設定]→[セキュリティ&位置情報]

2

ワイヤレスネットワークを使用	Wi-Fiまたはモバイルネットワークを利用して位置情報を取得するかどうかを設定します。 • チェックボックスにチェックを入れると、「位置情報についての同意」確認画面が表示されます。「同意する」を選択すると、位置を検出できるように設定できます。
GPS機能をONにする	高精度な測位ができるようにするかどうかを設定します。 • チェックボックスにチェックを入れると、GPS機能がONになります。 • 電波が良好な場所でご利用ください。 • 電池の消費を節約する場合は、OFFにしてください。

Googleと共有する	検索やサービスを向上させるために、Googleが位置情報を利用することを許可するかどうかを設定します。 • チェックボックスにチェックを入れると、「Googleと共有」確認画面が表示されます。「同意する」を選択すると、Googleが位置情報を使用することを許可します。 • 許可するように設定すると、Googleマップでの検索時に、お客様の現在地情報が利用されます。

Google Latitudeを利用する

地図上で友人と位置を確認しあったり、メールを送信したりできます。また、友人の位置までの移動経路を検索したりすることもできます。

• 位置情報を共有するには、Latitudeに参加して位置情報を共有する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

■Latitudeに参加する

1 メインメニューで[マップ]

Googleマップ画面が表示されます。

2 [MENU]→[Latitudeに参加]

Latitudeに参加したGoogleマップ画面が表示されます。
初回利用時はGoogleのプライバシーポリシーが表示されます。プライバシーポリシーに同意してください。次回からプライバシーポリシーは表示されません。

■友人を招待する

Latitudeに参加したときに位置情報を共有する友人を招待します。自分が招待した友人、または自分を招待した友人とだけ、位置情報を共有することができます。

1 Latitudeに参加したGoogleマップ画面で[MENU]→[Latitude]→[MENU]→[友人を追加]

■招待に応じる

友人からLatitudeで現在地を共有する招待を受けたときは、共有方法を設定できます。

受け入れて自分の現在地も教える	お互いの位置情報を地図上に表示して確認できるように設定します。
受け入れるが自分の所在地は教えない	自分の位置情報は共有せず、友人の位置情報のみ確認できるように設定します。
承認しない	招待を辞退し、お互いの位置情報を共有しません。

■友人の位置情報を確認する

友人の現在地を、地図上またはリスト画面で確認できます。

• 地図上での友人の位置情報は、おおよその位置に友人の名前と写真アイコンで示されます。
• 友人がGoogleトークを利用している場合は、友人の写真アイコン上に丸いアイコンが表示され、オンラインステータス(オンライン、取り込み中など)が表示されます。

■友人の詳細情報/接続オプションを表示する

1 Latitudeに参加したGoogleマップ画面で友人の名前を選択

プロフィール画面が表示されます。

■共有情報を管理する

自分の位置情報を自動検出するように設定するか、地図上の任意の場所を指定するように設定できます。また、自分の位置情報を表示しないように設定したり、Latitudeを停止することもできます。

1 Latitudeに参加したGoogleマップ画面で[MENU]→[Latitude]→自分の名前を選択→[プライバシー設定を編集]

YouTubeを利用する

オンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、YouTubeから動画を検索して再生したり、IS01で録画したムービーなどをYouTubeにアップロードしたりすることができます。

1 メインメニューで[YouTube]

YouTube画面が表示されます。
動画は「再生回数の多い動画」「話題の動画」「新着動画」「評価の高い動画」などのカテゴリで分類されています。

2 再生する動画を選択

memo

◎YouTubeにムービーをアップロードするには、YouTubeアカウントが必要になります。あらかじめブラウザなどからYouTubeアカウントを取得してください。また、アップロード時にIS01からログインの操作が必要になります。

◎アップロード中は、お知らせエリアにお知らせアイコンが表示され、お知らせパネル画面でアップロードの進捗状況を確認できます。

Androidマーケットを利用する

Androidマーケットから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、IS01にダウンロード・インストールして利用できます。

- 利用方法などの詳細については、Androidマーケット画面で[MENU]→[ヘルプ]を選択してAndroidマーケットヘルプをご参照ください。

1 メインメニューで[マーケット]

初めてご利用になる場合には、Androidマーケット利用規約画面が表示されます。

2 [同意する]

Androidマーケット画面が表示されます。

memo

◎バックグラウンドデータ（▶P.267）を有効にする確認画面が表示された場合は、「有効にする」を選択してデータの同期画面を表示し、「バックグラウンドデータ」のチェックボックスにチェックを入れる→[戻る]をタップします。

◎お買い上げ時にデスクトップに登録されているショートカットを選択しても、Androidマーケット画面を表示できます。

◎アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

◎万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

◎お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。

◎アプリケーションの中には動作中スリープ状態に入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。

◎アプリケーションが不要になった場合、アンインストール（▶P.266）することができます。

■ヘルプを表示する

1 Androidマーケット画面で[MENU]→[ヘルプ]

■アプリケーションを検索する

Androidマーケット画面には、注目のアプリケーション、カテゴリごとに分類したアプリケーションアイテムの一覧、ゲーム一覧、検索へのリンク、マイダウンロードへのリンクが表示されます。
注目のアプリケーションは、縦方向にスクロールしてアプリケーションの一覧を確認できます。また、内容を検索するカテゴリを選択してサブカテゴリを選択すると、各サブカテゴリ内でアイテムを「有料アプリケーション」、「無料アプリケーション」または「新着」に分類して表示できます。

■アプリケーションをインストールして開く

1 Androidマーケット画面でダウンロードするアプリケーションを選択

2 アプリケーションの情報を確認→[インストール]→[OK]

アプリケーションのダウンロード・インストールが開始され、完了するとお知らせエリアにお知らせアイコンが表示されます。

3 お知らせエリアをタップ→アプリケーションを選択

memo

◎インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。
◎インストールが完了すると、メインメニューにインストールしたアプリケーションのアイコンが表示されます。

■アプリケーションを購入する

有料のアプリケーションをダウンロードするには、Googleチェックアウトアカウントを作成する必要があります。

1 Androidマーケット画面で購入するアプリケーションを選択→[購入]→[OK]

アプリケーションの初回購入時は、Googleチェックアウトアカウント支払い請求サービスにログインする必要があります。画面の指示に従って操作してください。

memo

◎アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後にアンインストールしたアプリケーションの再ダウンロードには料金はかかりません。
◎同じGoogleアカウントをセットアップしているAndroidデバイスが複数ある場合、購入したアプリケーションを他のデバイスでも無料でダウンロードできます。
◎IS01にはGoogleチェックアウトパスワードが記憶されます。クローズロック(▶P.258)を設定し、IS01のセキュリティを確保してください。

■返金を請求する

購入後24時間以内にアプリケーションを返品すると、返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションはIS01からアンインストールされます。

1 Androidマーケット画面で[ダウンロード履歴]

2 アンインストールするアプリケーションを選択

3 「アンインストール&返金」欄で[アンインストール]

4 質問フォームに回答する→[OK]

memo

◎返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

Googleトークを利用する

Googleが提供するオンラインサービス「Googleトーク」を利用して、チャットを利用できます。

- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

1 メインメニューで[チャット]



《友だちリスト画面》

① **画像**
　タップすると、表示する画像を変更できます。
② **ステータスメッセージ欄**
③ **会話中のチャット**
　会話中は吹き出しが表示されます。
④ **モバイルインジケーター**
　Android搭載の携帯電話からログインしている場合に表示されます。
⑤ **オンラインステータスアイコン**

memo

◎バックグラウンドデータ(▶P.267)を有効にする確認画面が表示された場合は、「有効にする」を選択してデータの同期画面を表示し、「バックグラウンドデータ」のチェックボックスにチェックを入れる→[戻る]をタップします。

■オンラインステータスとステータスメッセージを変更する

■オンラインステータスを変更する

1 友だちリスト画面でオンラインステータスアイコンを選択→ステータスを選択

■ステータスメッセージを変更する

1 友だちリスト画面でステータスメッセージ欄を選択→ステータスメッセージを入力

■チャットを開始する

1 友だちリスト画面でチャットするメンバーを選択

チャット画面が表示されます。

2 メッセージを入力→[送信]

■チャット中の会話を切り替える

2人以上の相手とチャットをしているとき、会話を切り替えることができます。

1 チャット画面／友だちリスト画面で[MENU]→[チャット相手の切替]→メンバーを選択

■チャットを終了する

1 チャット画面で[MENU]→[チャット終了]

■友だちリストを管理する

友だちリストのメンバーは、オンラインステータス別(チャット中、オンライン、チャット不可、オフライン)に表示されます。各オンラインステータスのメンバーは、アルファベット順に表示されます。

■新しいメンバーを追加する

Googleアカウントを持っている相手の方を追加できます。

1 友だちリスト画面で[MENU]→[友だちを追加]

2 追加するメンバーのGoogleアカウントを入力→[招待状を送信]

■招待状を表示・承認する

招待状を受信すると、お知らせエリアにお知らせアイコンが表示され、友だちリスト画面に招待状が届いた旨のメッセージが表示されます。

1 友だちリスト画面で招待状のメッセージを選択

2 [承諾]/[キャンセル]

■メンバーをブロックする

1 友だちリスト画面でメンバーをロングタッチ→[ユーザーをブロック]

memo

◎ブロックを解除するには、友だちリスト画面で[MENU]→[ブロック中]→メンバーを選択→[OK]を選択します。

■Googleトークの設定を変更する

■新着メッセージの通知方法を設定する

メッセージを受信したとき、お知らせアイコンの表示や着信音、バイブレータでお知らせするように設定できます。

1 友だちリスト画面で[MENU]→[その他]→[設定]

2

チャットの通知	メッセージ受信時にお知らせアイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	メッセージ受信時に鳴らす着信音を設定します。
バイブレーション	メッセージ受信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

■ モバイルインジケーターを相手の友だちリストに表示する

相手の友だちリストにモバイルインジケーターを表示し、自分がAndroid搭載の携帯電話からログインしていることを伝えるように設定できます。

1 **友だちリスト画面で[MENU]→[その他]→[設定]→「モバイルインジケーター」のチェックボックスにチェックを入れる**

■ 自動でログインする

IS01の電源を入れたとき、Googleトークに自動でログインするように設定できます。

1 **友だちリスト画面で[MENU]→[その他]→[設定]→「自動ログイン」のチェックボックスにチェックを入れる**

■ログアウトする

1 **友だちリスト画面で[MENU]→[その他]→[ログアウト]**

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。IS01からGmailの確認・送信などができます。

- Gmailの連絡先は、IS01の電話帳と同期します。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

1 **メインメニューで[Gmail]**

Gmailの受信トレイ画面が表示されます。

memo

◎「au one メール、Gmailを設定する」(▶P.92)でGmailのアカウントを設定すると、メールメイン画面からGmailの確認・送信などの操作ができます。

◎「データの同期」(▶P.267)を利用して、サーバに保存されたGmailとIS01のGmailを同期できます。

■Gmailを更新する

IS01のGmailアプリケーションとサーバのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 **受信トレイ画面で[MENU]→[更新]**

■メールを作成して送信する

1 **受信トレイ画面で[MENU]→[新規作成]**

メールの作成画面が表示されます。

2 **宛先を入力**

3 **「件名」欄にカーソルを移動→件名を入力**

4 **「メッセージを作成」欄にカーソルを移動→本文を入力**

5 **[送信]**

■送信済みメールを表示する

1 受信トレイ画面で[MENU]→[ラベル一覧]→[送信済みメール]

送信済みメール画面が表示されます。

■メールを受信／確認する

Gmailを受信すると、お知らせエリアにGmailのお知らせアイコンが表示されます。

1 お知らせエリアをタップ

お知らせパネル画面が表示されます。

2 新着メールを選択

受信トレイ画面が表示されます。

3 受信メールを選択

受信メール詳細画面が表示されます。

■メールを検索する

メールアドレスやタイトルなどを入力し、IS01内やサーバ上のGmailアカウント内のメールを検索できます。検索の詳細についてはGmailサイトをご覧ください。

1 受信トレイ画面で[MENU]→[検索]

2 検索する文字列を入力→🔍

■メールを返信／転送する

1 受信メール詳細画面で[返信]／[全員に返信]／[転送]

■新着メール通知を設定する

メールを受信したときに、お知らせアイコンの表示や着信音、バイブレータでお知らせするように設定できます。

1 受信トレイ画面で[MENU]→[設定]

2

メール着信通知	メール受信時にお知らせアイコンを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	メール受信時に鳴らす着信音を設定します。
バイブレーション	メール受信時に振動でお知らせするかどうかを設定します。

■チェックボックスを表示する

受信トレイ画面で、メールの左側にチェックボックスを表示するかどうかを設定できます。表示したチェックボックスを利用して、メールをまとめて操作（保存、削除など）できます。

1 受信トレイ画面で[MENU]→[設定]

2 「バッチ操作」のチェックボックスにチェックを入れる／チェックを外す

au one Marketを利用する

au one Marketからアプリケーションをダウンロード･インストールできます。アプリケーションはキーワードやカテゴリで検索できる他、ランキングから人気のあるアプリケーションを探すこともできます。

1 メインメニューで[au one Market]



《au one Market画面》

① **タブ**

② **表示エリア**

「トップ」「カテゴリ」「ランキング」「アプリ検索」「オススメ」「ヘルプ」の各タブにより表示エリアを切り替えます。

memo

◎お買い上げ時にデスクトップに登録されているショートカットを選択しても、au one Market画面を表示できます。

◎アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

◎万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

◎お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

◎au one Marketを利用する際は、利用規約に従ってご使用ください。アプリケーションのダウンロード方法、有料アプリの決済方法はau one Marketおよびau one Marketから遷移した配信元によって異なります。

◎一部の機能を利用するにはau one-IDが必要になります。画面の遷移に従って登録してください。

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。

twit SHを利用する

twit SHアプリケーションを利用して、「つぶやき（ツイート）」の投稿やダイレクトメッセージの送付、他の方のつぶやきに対するフォローなどができます。また、twit SHウィジェットを利用すると、デスクトップから「つぶやき（ツイート）」を投稿できます。

- twit SHを利用するには、あらかじめTwitterのアカウントを作成しておく必要があります。アカウントの作成や利用方法などの詳細については、Twitterのホームページをご参照ください。
  http://twitter.com/

twit SHアプリケーションを表示する

1 メインメニューで[twit SH]

ログイン画面が表示されます。以前にログイン済みの場合は、twit SH画面が表示されます。

2 ユーザー名／メールアドレスとパスワードを入力→[許可する]

ログインが完了すると、twit SH画面が表示されます。



《twit SH画面》

① **ツイートキー**
つぶやきの入力画面を表示します。

② **更新キー**
ツイートを更新します。

③ **ホームキー**
ツイートの一覧を表示します。

④ **@キー**
自分へのツイートを表示します。

⑤ **ダイレクトメッセージキー**
受信したダイレクトメッセージの一覧を表示します。

⑥ **検索キー**
他のユーザーや、ハッシュタグなどを検索します。

memo

◎一度ログインを行うと、次回からログインの操作は必要ありません。ただし、twit SH画面で(MENU)→[ログアウト]を選択して終了した場合は、次回twit SHアプリケーションを起動したとき、またはtwit SHウィジェットでつぶやきを投稿しようとしたときにアカウント登録画面が表示されます。

twit SHウィジェットを表示する

デスクトップにtwit SHウィジェットを追加すると、デスクトップから「つぶやき（ツイート）」を投稿できます。（▶P.45「ウィジェットを利用する」）



《twit SHウィジェット画面》

① **ツイート投稿件数**

② **twit SHキー**

タップすると、twit SH画面が表示されます。

③ **ツイート入力欄**

④ **投稿キー**

入力したつぶやきを投稿できます。

Twitterのアカウント登録を行っていない場合は、投稿キーを選択するとログインが必要な旨のメッセージが表示され、「確認」を選択するとアカウント登録画面が表示されます。あらかじめ取得したアカウント情報を入力し、「許可する」を選択してください。

mixi for SHを利用する

mixi for SHアプリケーションを利用して、日記の投稿やボイスの発言、マイミクシィ・参加コミュニティ更新情報の確認などができます。また、mixi for SHウィジェットを利用すると、デスクトップからボイスをつぶやくことなどができます。

- mixi for SHを利用するには、あらかじめmixiの登録が必要になります。mixiの登録や利用方法などの詳細については、mixiのホームページをご参照ください。
  http://mixi.jp/

memo

◎コンテンツマネージャー（▶P.188）やフォトビューア（▶P.168）から、フォトやムービーをmixiのアルバムにアップロードすることもできます。

mixi for SHアプリケーションを表示する

1 メインメニューで［mixi for SH］

mixiホームページが表示されます。以前にログイン済みの場合は、mixi for SH画面が表示されます。

2 ログインメールアドレスとパスワードを入力→［ログイン］

mixi for SHの利用同意確認画面が表示されます。

3 ［今回は同意する］または［常に同意する］



《mixi for SH画面》

① **mixiキー**
　ブラウザが起動してmixiホームページが表示されます。

② **サービス一覧キー**
　マイミクシィのボイス、マイミクシィ最新日記、あなたのコメント履歴、コミュニティ最新書き込み、マイミクシィ最新アルバム、マイミクシィ最新レビューを確認できます。

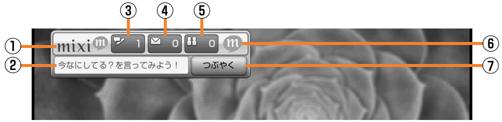
③ **ボイスキー**
　ボイスをつぶやくことができます。

④ **日記キー**
　日記を書くことができます。

⑤ **更新キー**
　日記、レビューなどを更新します。

mixi for SHウィジェットを表示する

デスクトップにmixiウィジェットを追加すると、デスクトップから新着情報の確認や、ボイスをつぶやくことなどができます。(▶P.45「ウィジェットを利用する」)



《mixi for SHウィジェット画面》

① **mixiキー**
　ブラウザが起動してmixiホームページが表示されます。

② **ボイス入力欄**
　ボイスを入力します。

③ **日記新着コメントアイコン**
　日記新着コメントの件数を表示します。

④ **新着メッセージアイコン**
　新着メッセージの件数を表示します。

⑤ **マイミクシィ追加リクエストアイコン**
　マイミクシィ追加リクエストの件数を表示します。

⑥ **mixi for SHアイコン**
　mixi for SHアプリケーションが表示されます。
　mixiへのログインを行っていない場合は、mixiホームページが表示されます。ログインを行うとmixi for SHの利用同意確認画面が表示され、「今回は同意する」または「常に同意する」を選択すると、mixi for SHを利用できます。

⑦ **つぶやきキー**
　入力したボイスをつぶやくことができます。

ブログに投稿する

アプリケーションから「ブログ投稿」を選択すると、PCメールを利用してブログに文章やフォトを投稿できます。

- コンテンツマネージャー(▶P.188)
- フォトビューア(▶P.168)
- カメラのフォトプレビュー画面(▶P.159)

ブログの投稿先を登録する

ブログの投稿先アドレスを最大5件まで登録できます。
あらかじめ投稿先などの情報について、ご利用のブログサービスの提供者にお問い合わせください。

例：コンテンツマネージャーから登録する場合

1 クイックメニューで[コンテンツマネージャー]→投稿するフォトにカーソルを移動→[MENU]→[ブログ投稿]

ブログ投稿先選択画面が表示されます。

2 [新規登録]／[新規]

登録済みの投稿先を編集する場合は、編集する投稿先にカーソルを移動→[編集]をタップします。

3 「投稿先サービス名」欄にカーソルを移動→投稿先名を入力

4 「投稿先メールアドレス」欄にカーソルを移動→投稿先メールアドレスを入力→[保存]

memo

◎ブログの投稿先を削除するには、ブログ投稿先選択画面で削除する投稿先にカーソルを移動→[削除]→[はい]を選択します。

ブログを投稿する

1 ブログ投稿先選択画面で投稿先を選択

アプリケーションの選択画面が表示されます。

2 利用するアプリケーションを選択

選択したフォトが添付されたメールの作成画面が表示されます。

3 件名、本文を入力→[送信]

memo

◎アプリケーションの選択画面で「デフォルトに設定」のチェックボックスにチェックを入れると、次回からアプリケーションの選択画面は表示されません。

電話とauのネットワークサービス

電話をかける・受ける

電話をかける

IS01は、スピーカーや、別売のイヤホン、平型スイッチ付イヤホンマイク（▶P.279）、Bluetooth®ヘッドセットを使用して通話ができます。

1 メインメニューで[電話]



《電話番号入力画面》

2 電話番号を入力

[▲]／[▼]：上下にカーソルを移動
[◀]／[▶]：左右にカーソルを移動
[DEL]／「訂正←」：
電話番号入力欄にカーソルがある場合は、カーソルの左側の数字を1桁削除
電話番号入力欄以外を選択している場合は、いちばん右側の数字を1桁削除
[DEL]（長押し）／「訂正←」（長押し）：
電話番号入力欄にカーソルがある場合は、カーソルの左側の数字をすべて削除、もう一度長押しすると、すべての数字を削除
電話番号入力欄以外を選択している場合は、すべての数字を削除

memo

◎「着信履歴」タブ／「発信履歴」タブから履歴を選択して電話をかけることもできます。履歴を選択し「音声発信」をタップします。
◎一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [発信]

通話中に[▲]／[▼]を押すと、受話音量（相手の声の大きさ）を調節できます。

4 通話が終わったら[切断]／[⌒]

通話が終了すると、通話時間の目安が表示されます。

memo

◎スピーカーフォンで通話する際は、本体をデスクトップポジション、またはオープンポジションにしてください。
◎屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などをご利用ください。
◎「通話料金表示」（▶P.251）をONに設定すると、通話が終了したときに通話料金の目安を表示させることができます。
◎「1401」を付加して電話をかけた場合の通話料は、auのぷりペイドカード（別売）の残高から引かれます。
◎「電波OFFモード」を「ON」に設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）へは電話をかけることができます。
◎通話中にダイヤルキーを押すと、入力した番号のプッシュ信号を送信できます。
◎通話中に「音声メモ」をタップすると、通話中の音声を最大10件まで録音できます。「停止」をタップすると録音を停止します。

マイクをOFFにするには

◎通話中に「マイクOFF」をタップすると、相手の方にこちらの声が聞こえないようになります。「マイクON」をタップするとこちらの声が聞こえるようになります。
◎送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。

au電話からご利用いただけるダイヤルサービス

- 全国の一般電話との通話
- 全国の携帯電話・PHS・自動車電話との通話
- 001(001国際電話サービス:お申し込みは不要です)
- 171(災害対策用ボイスメール)
- 177(天気予報:市外局番が必要です)
- 117(時報)
- 104(電話番号案内)
- 115(電報の発信)
- 110(警察への緊急通報)★
- 119(消防機関への緊急通報)★
- 118(海上保安本部への緊急通報)★
- 船舶電話

※★は緊急通報番号です。
※次のNTTサービスはご利用になれません。
コレクトコール、伝言ダイヤル、ダイヤルQ2、116(NTT営業案内)

■電話番号入力画面のオプションメニュー

電話番号入力画面で(MENU)を選択すると、次の機能を利用できます。

発信	入力した電話番号に音声発信、Cメール作成をします。
電話帳に登録	入力した電話番号を電話帳に登録します。
特番付加	**184付加**:入力した電話番号の冒頭に「184」を付加します。 **186付加**:入力した電話番号の冒頭に「186」を付加します。 **P付加**:入力した電話番号のカーソル位置に「P」を付加します。 **+付加**:入力した電話番号の冒頭に「+」を付加します。
音声発信制限設定	音声発信制限のON/OFFを設定します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[ON]/[OFF]→[OK]**

memo

◎電話番号には、同時に複数の特番を付加できます。ただし、次の番号は同時に付加できません。
「184」と「186」、「1401」と「131」、「1401」と「1612」、「131」と「1612」

P(ポーズ)ダイヤルで電話をかける

送信するプッシュ信号をあらかじめ入力しておき、通話中に「送信」を選択すると、プッシュ信号を送信できます。各種の情報サービスや自動予約サービスを利用する際に便利です。

例:「03-0001-XXXX(銀行の電話番号)」に電話をかけて、店番号「22X」口座番号「123XX」を送信する場合

1 電話番号入力画面で電話番号を入力→[P付加]をタップ

P(ポーズ)を入力できます。P(ポーズ)を含めて32桁まで入力できます。

2 送信するプッシュ信号を入力

店番号		P(ポーズ)		口座番号
22X	➡	[P付加]をタップ	➡	123XX

※P(ポーズ)を間に入力すれば、複数のプッシュ信号をつなげて入力できます。

3 [発信]

電話番号「030001XXXX」に電話がかかります。通話状態になると、最初に入力したPの後ろの番号(店番号)の送信を確認する画面が表示されます。

4 [送信]

プッシュ信号(店番号)が送信され、2番目のPの後ろの番号(口座番号)の送信を確認する画面が表示されます。

5 [送信]

プッシュ信号(口座番号)が送信されます。
プッシュ信号の送信が終わると通常の通話中画面に戻ります。

memo

◎電波の状態が悪いと、正しく送信できないことがあります。

通話中のメニューを利用する

1 通話中にMENU

2

マイクON／OFF	「OFF」に設定すると、相手の方にこちらの声が聞こえないようにできます。スピーカーフォンとしてご利用になる場合は、マイクを「ON」にします。
Bluetooth	スピーカーフォンによる通話をBluetooth®ヘッドセットへ転送して、ハンズフリーの通話に切り替えます。
音声メモ	通話中の音声を最大10件まで録音できます。録音した通話音声メモリストからの再生については、「音声・伝言メモを設定する」(▶P.252)をご参照ください。
ダイヤラー※	通話中に電話番号を入力して発信し、三者通話ができます。
履歴参照※	発信履歴／着信履歴を呼び出して発信し、三者通話ができます。
電話帳参照※	電話帳を呼び出して発信し、三者通話ができます。
プロフィール参照※	プロフィールを呼び出して発信し、三者通話ができます。

※三者通話を利用するには、あらかじめ「三者通話サービス」(▶P.145)のお申し込みが必要です。

電話を受ける

1 着信中に[応答]

通話が終了すると、通話時間の目安が表示されます。

電話がかかってきた場合の表示について

着信すると、次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。
- 電話番号と名前が電話帳に登録されている場合は、名前などの情報も表示されます。着信画像を設定しているときは、画像がディスプレイに表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。
  「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
  ※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

memo

◎「電話帳制限」が設定されているときは、着信したときに電話帳の名前などの情報は表示されません。
◎「エニーキーアンサー設定」(▶P.251)を「応答」に設定している場合は、キーボードのいずれかのキーを押しても通話状態になります。

かかってきた電話に出なかった場合は

◎お知らせエリアに[不在着信アイコン]が表示されます。伝言メモが残されている場合は[伝言メモアイコン]が表示されます。お知らせエリアをタップすると、着信のあった時間や電話番号または電話帳に登録されている名前などが表示されます。

着信時に着信音量を調節するには

◎着信中に▲／▼を押すと、一時的に着信音量を調節できます。
◎「エニーキーアンサー設定」(▶P.251)を「サイレント」に設定している場合は、キーボードのいずれかのキー、または⌂／MENUを押すと、一時的に着信音量とバイブレータをOFFにできます。
◎着信時に着信音量を一時的に調節しても、「音声着信」(▶P.254)の音量の設定は変わりません。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度ご利用が可能となります。
◎ボイスレコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されて録音していたデータは保存されます。

応答を保留する

1 着信中に[保留]

保留状態になり、相手の方に保留中であることを音声ガイダンスでお知らせします。

2 保留中に[応答]

保留が解除され、電話がつながります。

memo

◎保留中も、かけてきた相手の方には通話料がかかります。
◎保留中に「切断」をタップすると、保留されていた電話を終了します。
◎一度保留を解除すると、もう一度保留にはできません。

伝言メモのメッセージで応答する

「音声・伝言メモ」の設定、「マナーモード」の設定にかかわらず、音声着信時に伝言メモのメッセージで応答し、相手の伝言を録音できます。

1 着信中に[伝言メモ]

memo

◎「受話ON」を選択すると、相手の音声を聞くことができます。「受話OFF」を選択すると、相手の音声は聞こえなくなります。

着信を拒否する

1 着信中に[拒否]

着信音が止まって電話が切れます。相手の方には「こちらはauです。おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

memo

◎「お留守番サービスを開始する」(▶P.137)、「応答できない電話を転送する(無応答転送)」(▶P.142)を設定している場合は、着信拒否をしても、お留守番サービスまたは着信転送サービスが優先されます。

着信を転送する

かかってきた電話に出ずに、「手動で転送する(選択転送)」(▶P.143)で登録した転送先の電話番号へ転送します。

1 着信中に[転送]

memo

◎転送先が登録されていない場合、お留守番サービスを設定していれば、お留守番サービスに転送されます。

着信中にサイレントマナーに設定する

かかってきた電話に出る前にサイレントマナーに設定します。

1 着信中に[サイレント]

電話に出るときは「応答」をタップします。

国際電話を利用する

memo

◎国際アクセス番号は国によって異なります。

IS01から海外へかける(001国際電話サービス)

IS01からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:IS01からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面でアクセスコード、国番号、市外局番、相手の電話番号を入力→[発信]

アクセスコード	→	国番号(アメリカ)	→	市外局番※	→	相手の電話番号
001010		1		212		123XXXX

※ 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

memo

◎001国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、001国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより001国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
001国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)**157**番(通話料無料)
一般電話から フリーコール **0077-7-111**(通話料無料)
受付時間 毎日9:00～20:00
◎海外へ電話を転送できます。(▶P.143「海外の電話へ転送する」)

海外からIS01に電話をかけてもらう

ここで説明するのは、海外にいる相手の方がお客様のIS01に電話をかけるときの操作です。

例:アメリカから日本国内のIS01「090-1234-XXXX」にかけてもらう場合

1 国際アクセス番号、日本の国番号、IS01の電話番号を入力→発信

国際アクセス番号(アメリカ)	→	日本の国番号	→	IS01の電話番号(最初の0は省略する)
011		81		901234XXXX

電話/auのネットワークサービス

発信履歴／着信履歴を利用して電話をかける

発信履歴／着信履歴を呼び出して利用できます。

1 メインメニューで[電話]→[発信履歴]／[着信履歴]



《着信履歴一覧画面》

① 「着信履歴」タブ
② 「発信履歴」タブ
③ 相手の名前／電話番号／非通知着信の理由／ネットワークサービスのサービス内容、発着信状態を示すアイコン
- ：発信アイコン
- ：着信アイコン（通常着信は緑、未確認（ワン切りなど）は赤）
- ：不在着信アイコン
- ：着信拒否アイコン

④ ：電話アイコン
⑤ 発着信日時
⑥ 電話帳に登録されている画像
⑦ 着信時間（着信履歴のみ）

2 電話をかける履歴を選択

発信履歴／着信履歴の詳細画面が表示されます。

3 [音声発信]

memo

◎ 発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大20件まで保存され、20件を超えると古い履歴から自動的に削除されます。
◎ 発信履歴／着信履歴の一覧画面でをタップすると、選択した相手の方へ電話の発信をすることができます。
◎ 発信履歴／着信履歴の一覧画面で履歴を選択→(MENU)→[発信]→[音声発信]／[Cメール作成]を選択すると、電話の発信や、Cメールの作成をすることができます。
◎ 着信している時間が3秒以下の着信の場合、（赤）が表示されます。お客様に折り返し電話をさせ、悪質な有料番組につなげる行為（ワン切り）の可能性がありますのでご注意ください。

■お留守番着信お知らせについて

「お留守番着信お知らせ」は、携帯電話の電源がOFFだったり、電波OFFモード中だったり、電波の届かない場所にいた際、お留守番サービスに着信があったことをお知らせするサービスです。
お留守番着信お知らせには、「お留守番サービス」（▶P.136）で伝言をお預かりしたことをお知らせする「伝言お知らせ」（▶P.138）と、相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に相手の方の電話番号をお知らせする「着信お知らせ」（▶P.139）があります。

memo

◎ 伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。
ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内（▶P.137）で伝言お知らせ（伝言蓄積通知）を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。
◎ ご契約時の設定は、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内（▶P.137）で着信お知らせ（着信通知）を停止することができます。

発信履歴／着信履歴のオプションメニューを利用する

1 **発信履歴／着信履歴の一覧画面または履歴の詳細画面でMENU**

2

発信	選択している履歴から次の発信操作ができます。 「音声発信」「メール作成」「Cメール作成」「編集して発信」「特番付加」
電話帳に登録	選択している履歴を電話帳に登録します。
着信拒否登録	選択している履歴を着信拒否リストに登録します。
1件削除／削除	選択している履歴を削除します。
全件削除	すべての履歴を削除します。 **ロックNo.を入力→[OK]→[はい]**

※画面により表示される項目は異なります。

IS01の電話番号をプロフィールで確認する

あらかじめ登録されている電話番号などの他に、名前や住所などの情報を追加登録して、メールへの添付などに利用できます。

1 **メインメニューで[設定]→[プロフィール]**



《プロフィール画面》

2 MENU

3

編集	プロフィールの内容を編集できます。 • 操作2で「編集」をタップしても編集できます。
赤外線送信	▶P.220「赤外線でデータを送信する」
Bluetooth送信	▶P.217「Bluetooth®でデータを送信する」
メールへ添付	プロフィールの内容を添付データにしてメールを作成します。 ▶P.95「PCメールにデータを添付する」

電話／auのネットワークサービス

memo

◎ au ICカードが挿入されていない場合、またはお客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合にプロフィール確認操作を行うと、au ICカード（UIM）エラーと表示されます。「OK」を選択するとプロフィール画面が表示されます。ただし、自局電話番号、自局メールアドレス、ICCIDなどの情報は表示されません。また、プロフィール内容のメールへの添付やGPS情報の取得など一部操作できない項目もあります。お客様のau ICカードを挿入し、もう一度電源を入れ直してください。

プロフィールを編集する

1 プロフィール画面で[編集]

2 編集する項目にカーソルを移動して選択

3

項目	説明
	アイコンを選択すると、画像を登録できます。 「名前」「よみ」「メモ」を登録します。
自局電話番号※	お使いのIS01の電話番号が表示されます。
自局メールアドレス	取得したメールアドレスを登録します。
ICCID※	au ICカード番号が表示されます。
電話番号	⊕を選択して3件まで登録できます。 • 電話番号の左側のアイコンを選択して、種別アイコンを変更できます。「カスタム」を選択すると、お好みの種別名称を登録できます。
メールアドレス	⊕を選択して3件まで登録できます。 • メールアドレスの左側のアイコンを選択して、種別アイコンを変更できます。「カスタム」を選択すると、お好みの種別名称を登録できます。
チャットアドレス	⊕を選択して3件まで登録できます。 • チャットアドレスの左側のアイコンを選択して、種別アイコンを変更できます。
住所	住所を登録します。 • 住所の左側のアイコンを選択して、種別アイコンを変更できます。「カスタム」を選択すると、お好みの種別名称を登録できます。
勤務先	勤務先を登録します。 • 勤務先の左側のアイコンを選択して、種別アイコンを変更できます。「カスタム」を選択すると、お好みの種別名称を登録できます。
所属	勤務先での所属を登録します。
役職	勤務先での役職を登録します。
GPS情報	GPS情報を取得して、位置情報を登録・編集します。 • 「現在位置を取得」を選択してGPS情報を自動的に取得するか、「位置履歴から」を選択してこれまでの履歴からGPS情報を選択します。
誕生日	誕生日を登録します。 • 1900年1月1日から2100年12月31日までの年月日を登録できます。

※ プロフィール画面に表示されますが、編集できません。

4 [保存]→[はい]

memo

◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎ 通話中は画像、GPS情報の編集はできません。

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	Cメール	P.99
	お留守番サービス（ボイスメール含む）	下記
	着信転送サービス	P.141
	割込通話サービス	P.144
	発信番号表示サービス	P.146
	番号通知リクエストサービス	P.147
有料オプションサービス※	三者通話サービス	P.145
	迷惑電話撃退サービス	P.147
	通話明細分計サービス	P.148

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要です。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

お留守番サービスを利用する（標準サービス）

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「電波OFFモード」（▶P.264）を設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■お留守番サービスをご利用になる前に

- IS01ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸出しと修理後返却の際には、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.141）は同時に開始できません。
- お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.147）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■お留守番サービスでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	48時間まで※1
お預かりできる件数	20件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから48時間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール（▶P.138）の合計です。21件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの設定（録音／確認／変更）、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、伝言お知らせの選択／変更、着信お知らせの開始／停止ができます。

1. **メインメニューで［電話］→1 4 1→［発信］**
2. **ガイダンスに従って操作**

お留守番サービスを開始する

■ 通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する場合（留守番開始1）

1. **メインメニューで［設定］→［通話］→［留守番電話］→［留守番開始1］→［はい］**

   メインメニューで［電話］→「1411」→［発信］でも同様に操作できます。
2. **［終了］**

■ 通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない場合（留守番開始2）

1. **メインメニューで［設定］→［通話］→［留守番電話］→［留守番開始2］→［はい］**

   メインメニューで［電話］→「1413」→［発信］でも同様に操作できます。
2. **［終了］**

■ お留守番サービスでの留守応答について

電話がかかってきたとき、IS01の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合
- 通話中にかかってきた場合（「留守番開始1」で開始した場合のみ）
- 着信中に「転送」と操作した場合

memo

◎ お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。このとき、お留守番サービス以外にIS01の伝言メモ（▶P.223）または「オート着信」（▶P.256）が同時に設定されているときは、応答時間の短いものが優先されます。お留守番サービスの応答時間は変更できません。

◎ お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.141）を同時に開始することはできません。お留守番サービスの設定中に着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。

お留守番サービスを停止する

1. **メインメニューで［設定］→［通話］→［留守番電話］→［留守番停止］→［はい］**

   メインメニューで［電話］→「1410」→［発信］でも同様に操作できます。
2. **［終了］**

memo

◎ お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。

◎ お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、IS01のお客様が設定された応答メッセージで応答します。(▶P.139「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)

電話をかけてきた相手の方は[#]を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作2に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、[#]を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 [#]を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

[1]：録音した伝言を再生して、内容を確認する

[2]：録音した伝言を「至急扱い」にする

[9]：録音した伝言を消去して、取り消す

[＊]：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 [電源]

memo

◎電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。

◎お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 メインメニューで[電話]→[1][6][1][2]＋相手の方のau電話番号を入力→[発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。

伝言お知らせは、Cメールで確認できます。

伝言お知らせには、お預かりした時間と相手の方の電話番号をお知らせする「発番情報あり」と、伝言・ボイスメールの未聴／総件数のみをお知らせする「発番情報なし」の2種類があります。

memo

◎「発番情報なし」と「発番情報あり」の保持期間は共に48時間です。

◎それぞれ保持件数は次の通りです。

発番情報なし：1件

発番情報あり：20件

◎ご契約時は、「発番情報あり」に設定されています。お留守番サービス総合案内(▶P.137)で伝言お知らせ(伝言蓄積通知)を「電話番号を通知しない」に設定すると、「発番情報なし」に変更できます。

◎通話中や、ブラウザ利用中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信お知らせについて

お留守番サービスセンターに着信があったことを通知音と文字でお知らせします。
着信お知らせは、Cメールで確認できます。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎ 着信お知らせの保持期間は約6時間、保持件数は最大4件です。
◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P. 137)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎ 通話中や、ブラウザ利用中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 メインメニューで[設定]→[通話]→[留守番電話]→[留守番伝言再生]→[はい]

メインメニューで[電話]→「1417」→[発信]でも同様に操作できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

[1]：同じ伝言をもう一度聞く
[2]：伝言を保存
[4]：5秒間巻き戻して聞き直す
[5]：伝言を一時停止(20秒間)※1
[6]：5秒間早送りして聞く
[9]：伝言を消去
[0]：伝言再生中の操作方法を聞く
[SHIFT]+[3]：次の伝言を聞く※2
[ALT]+[SHIFT]+[/]：前の伝言を聞く※2

※1 [0]～[9]／[SHIFT]+[3]／[ALT]+[SHIFT]+[/]のいずれかのキーを押すと、伝言の再生を再開します。
※2 再生中の伝言は保存されません。

3 [切断]→[終了]

memo

◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P. 138)も同じものとして扱われます。
◎ 伝言・ボイスメールの再生後、保存または消去を選択しないと、その伝言・ボイスメールは常に新しいものとして保存されます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定している応答メッセージの内容の確認／変更、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 メインメニューで[設定]→[通話]→[留守番電話]→[応答内容変更]→[はい]

メインメニューで[電話]→「1414」→[発信]でも同様に操作できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

2 1→**3分以内で応答メッセージを録音**→SHIFT+3→SHIFT+3→**[終了]**

■ 名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

2 2→**10秒以内で名前を録音**→SHIFT+3→SHIFT+3→**[終了]**

■ 設定/保存されている応答メッセージを確認する場合

2 3→**応答メッセージを確認→[終了]**

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

2 7→**3分以内で応答メッセージを録音**→SHIFT+3→SHIFT+3→**[終了]**

memo

◎録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎個人メッセージ/名前指定メッセージが設定されている場合、ガイダンスに従って4を押すと標準メッセージに戻すことができます。
◎標準メッセージ/名前指定メッセージが設定されている場合、ガイダンスに従って5を押すと、個人メッセージに設定できます。
◎標準メッセージ/個人メッセージが設定されている場合、ガイダンスに従って6を押すと、名前指定メッセージに設定できます。
◎不在通知が設定されている場合、ガイダンスに従って8を押すと標準メッセージに戻すことができます。
◎応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージの設定に続いて、スキップができないように設定することができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
(▶P.139「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)

1 **メインメニューで[電話]→1 6 1 0→[発信]**

2 **[終了]**

memo

◎蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

1 **メインメニューで[電話]→1 6 1 1→[発信]**

2 **ガイダンスを確認後→[終了]**

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様のIS01以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始/停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更などができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内(伝言再生など)	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用のIS01の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.23)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。

◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 メインメニューで[電話]→1 4 1 9 1→[発信]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 [終了]

memo

◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 メインメニューで[電話]→1 4 1 9 0→[発信]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 [終了]

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。

電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。

memo

◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)、天気予報(177)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。

◎ 着信転送サービスとお留守番サービス(▶P.136)を同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。

◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.147)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。

◎ 無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。

①話中転送　②選択転送　③無応答転送

◎ 無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」〜「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先からIS01までの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
IS01から転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 メインメニューで[設定]→[通話]→[転送電話]→[無応答転送]→[はい]→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

メインメニューで[電話]→「1422+転送先電話番号」→[発信]でも同様に操作できます。

2 [終了]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、1 4 2 1 2→[発信]を選択して設定できます。

◎無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間(約20秒間)は、電話に出ることができます。このとき伝言メモ(▶P.223)または「オート着信」(▶P.256)が同時に設定されている場合は、応答時間の短い方が優先されます。なお、着信転送サービスの応答時間(約20秒間)は変更できません。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 メインメニューで[設定]→[通話]→[転送電話]→[話中転送]→[はい]→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

メインメニューで[電話]→「1423+転送先電話番号」→[発信]でも同様に操作できます。

2 [終了]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、1 4 2 1 3→[発信]を選択して設定できます。

◎話中転送と割込通話サービス(▶P.144)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 メインメニューで[設定]→[通話]→[転送電話]→[フル転送]→[はい]→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

メインメニューで[電話]→「1424+転送先電話番号」→[発信]でも同様に操作できます。

2 [終了]

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、1 4 2 1 4→[発信]を選択して設定できます。

◎フル転送を設定している場合は、お客様のIS01は呼び出されません。

手動で転送する（選択転送）

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 メインメニューで［設定］→［通話］→［転送電話］→［選択転送］→［はい］→音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

メインメニューで［電話］→「1425＋転送先電話番号」→［発信］でも同様に操作できます。

2 ［終了］

memo

◎前回と同じ転送先を設定する場合には、1 4 2 1 5→［発信］を選択して設定できます。
◎着信中に「転送」を選択すると、転送先電話番号に転送します。

海外の電話へ転送する

001国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例：アメリカの「212-123-XXXX」に転送する場合

1 メインメニューで［設定］→［通話］→［転送電話］→［無応答転送］／［話中転送］／［フル転送］／［選択転送］→［はい］

メインメニューで［電話］→「1422」／「1423」／「1424」／「1425」→［発信］でも同様に操作できます。

2 音声ガイダンスに従って転送先電話番号を入力

転送先電話番号を001国際アクセスコードから入力します。

001国際アクセスコード	→	国番号（アメリカ）	→	市外局番	→	転送先電話番号
001010		1		212		123XXXX

3 ［終了］

memo

◎001国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 メインメニューで［設定］→［通話］→［転送電話］→［転送停止］→［はい］

メインメニューで［電話］→「1420」→［発信］でも同様に操作できます。

2 ［終了］

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様のIS01以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始（無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送）、転送停止ができます。

1 090-4444-XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 ご利用のIS01の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.23)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する(標準サービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始／停止)に設定し直してください。

■ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 メインメニューで[電話]→1 4 5 1→[発信]

2 [終了]

memo

◎割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.147)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.147)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

1 メインメニューで[電話]→1 4 5 0→[発信]

2 [終了]

memo

◎割込通話サービスを「停止」に設定すると、パケット通信中も着信を受けられません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 [応答]

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「発信」を押すたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「切断」を押すと、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手との通話に切り替わります。
◎割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 メインメニューで[電話]→1 4 5 2＋相手先電話番号を入力→[発信]

memo

◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
◎割込禁止の通話中に別の相手から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中にBさんの電話番号を入力

通話中に電話帳や発着信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [発信]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは、「発信」を2回押すとAさんとの通話に戻ります。

4 [発信]

3人で通話できます。
「発信」を押すと、Bさんとの電話が切れ、Aさんとの二者通話に戻ります。
「切断」を押すと、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
◎三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎三者通話中は、Cメールを送ることはできません。
◎三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知するサービスです。

■お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎発信者番号（IS01の電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けください。
◎電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。

■相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号がIS01のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」（ID Unsent）	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」（Payphone）	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」（Not Support）	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知するかどうかを設定する

1 メインメニューで［設定］→［通話］

2 「発信者番号通知」のチェックボックスにチェックを入れる／チェックを外す

チェックを入れる（ONにする）と、お客様のIS01の電話番号が相手の方に通知されます。
チェックを外す（OFFにする）と、電話番号は相手の方に通知されません。

memo

◎電話をかけるとき、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
◎発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知」を「ON」にしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、auショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。
◎「発信者番号通知」を「OFF」に設定しても、緊急通報番号（110、119、118）への発信時や、Cメール送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ お留守番サービス（▶P.136）、着信転送サービス（▶P.141）、割込通話サービス（▶P.144）、三者通話サービス（▶P.145）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶右記）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ サービスの開始･停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 **メインメニューで［電話］→1 4 8 1→［発信］**

2 **［終了］**

memo

◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- Cメール
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 **メインメニューで［電話］→1 4 8 0→［発信］**

2 **［終了］**

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

memo

◎ お留守番サービス（▶P.136）、着信転送サービス（▶P.141）、割込通話サービス（▶P.144）、三者通話サービス（▶P.145）、番号通知リクエストサービス（▶左記）のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
受信拒否リスト登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を受信拒否リストに登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1. **メインメニューで[電話]→[1][4][4][2]→[発信]**
2. **[終了]**

memo

◎受信拒否リストに登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎電話番号の通知のない着信についても、受信拒否リストに登録できます。
◎次の条件からの着信時は受信拒否リストへは登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- Cメール

◎通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎受信拒否リストに登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎受信拒否リストに登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎受信拒否リストに登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- Cメール
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を受信拒否リストから削除する

1. **メインメニューで[電話]→[1][4][4][8]→[発信]**
2. **[終了]**

memo

◎受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。

受信拒否リストに登録した電話番号を全件削除する

1. **メインメニューで[電話]→[1][4][4][9]→[発信]**
2. **[終了]**

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1. **メインメニューで[電話]→[1][3][1]＋相手先電話番号を入力→[発信]**

memo

◎分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
◎フリーダイヤル、緊急通報番号（110、119、118）、Cメールなどの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

カメラで撮影する

このカメラでできること

IS01は有効画素数約527万画素のCMOSカメラを搭載し、フォトやムービーが撮影できます。
電池残量が▯の場合は、カメラを起動できません。

■撮影できるフォトのサイズ

用途に合わせて撮影サイズや画質設定を選択できます。

撮影サイズ:横×縦(ドット)	画質設定	容量(目安)
QVGA:320×240	ファインモード	40KB程度
	ノーマルモード	25KB程度
VGA:640×480	ファインモード	120KB程度
	ノーマルモード	60KB程度
FWVGA:854×480	ファインモード	140KB程度
	ノーマルモード	60KB程度
待受(WallPaper):960×480	ファインモード	140KB程度
	ノーマルモード	70KB程度
1.2M:1,280×960	ファインモード	270KB程度
	ノーマルモード	150KB程度
フルHD:1,920×1,080	ファインモード	680KB程度
	ノーマルモード	260KB程度
2M:1,600×1,200	ファインモード	640KB程度
	ノーマルモード	220KB程度
3M:2,048×1,536	ファインモード	760KB程度
	ノーマルモード	390KB程度
5M:2,560×1,920	ファインモード	1,150KB程度
	ノーマルモード	400KB程度

memo

◎ファインモードは、細部を詳細に表現できるプリント出力向きの設定です。

■録画できるムービーのサイズ

録画サイズによって、ムービーのサイズを選択できます。

録画サイズ:横×縦(ドット)	録画可能時間
QCIF:176×144	最大約120分※
QVGA:320×240	最大約120分※
VGA:640×480	最大約90分※

※録画条件やmicroSDメモリカードの容量により録画可能時間は異なります。

■撮影した画像のプリント

microSDメモリカードに保存した画像をプリンターやDPEショップでプリントできます。
IS01はExifプリントに対応しています。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- IS01を暖かい場所に長時間置いたあとに画像を撮影したり、保存したりすると、画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前には眼鏡拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッターを押してください。カメラを動かしながらシャッターを押すと、画像がぶれる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- 白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスを「電球」に設定して撮影すると改善されます。
- ムービーを録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 携帯電話のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 標準撮影／接写撮影の切り替えができます。接写固定を設定した場合は、約10cmまで被写体に近付いて撮影できます。また、接写固定を設定したまま通常の撮影は行わないでください。画像がぼやける場合があります。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - ・強い逆光のもとにある被写体
  - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - ・暗い場所にある被写体
  - ・動きが速い被写体
- ピクチャーライトを目に近付けて点灯させないでください。ピクチャーライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でも、フォト撮影時にオートフォーカスをロックする音や、シャッター音が鳴ります。ムービー録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。

- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、ムービー撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体の一部分が温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 被写体によっては、うすい縞模様が入ることがありますが、保存する画像には影響ありません。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついたフォトなどになる可能性があります。
- 不安定な場所にIS01を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどしてIS01が落下するおそれがあります。
- プレビュー画面を表示したり、カメラを切り替えたり、カメラの設定を変更した直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様がIS01のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- カメラ使用中はベールビューを使用できません。
- ワンセグ使用中はカメラを使用できません。

IS01の持ちかた

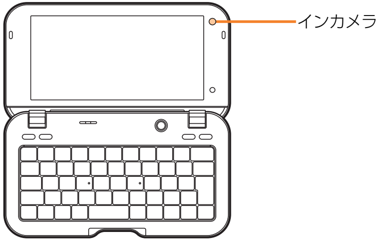
〈アウトカメラ使用〉

オープンポジションで本体を両手でしっかりと持って撮影します。



〈インカメラ使用(自分撮り)〉

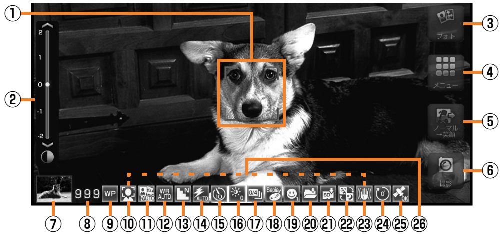
デスクトップポジションまたはオープンポジションで撮影します。



フォトを撮影する

フォトモニター画面の見かた

1 メインメニューで[カメラ]



《フォトモニター画面》

① **オートフォーカス枠**

② **明るさ設定バー**
[▲]／[▼]を押すと表示／設定できます。

③ **フォト**
フォトビューアが起動し、画像を閲覧できます。
▶P.168「フォトビューアを利用する」

④ **メニュー**
オプションメニューを表示します。

⑤ **シャッターモード切替**
現在のシャッターモードと、タップして切り替わるモードを示しています。
※撮影を行うとシャッターモードは「ノーマル」に戻ります。
（ノーマル→笑顔）：「ノーマル」（現在）から「笑顔フォーカスシャッター」に切り替わります。
（笑顔→振り向き）：「笑顔フォーカスシャッター」（現在）から「振り向きシャッター」に切り替わります。
▶P.158「笑顔をとらえて撮影する」
（振り向き→ノーマル）：「振り向きシャッター」（現在）から「ノーマル」に切り替わります。
▶P.159「振り向いた顔をとらえて撮影する」

⑥ **撮影（シャッター）**
撮影します。

⑦ **直前に撮影した画像**※1
直前に撮影した画像のサムネイルを表示します。タップすると画像を拡大して確認できます。

⑧ **撮影可能枚数**

⑨ **撮影サイズ：**（QVGA） （VGA） （FWVGA） （待受（WallPaper）） （1.2M） （フルHD） （2M） （3M） （5M）

⑩ **フォーカス設定：**（顔優先AF） （センターAF） （接写AF） （接写固定） （AF OFF）

⑪ **シーン設定：**※（自動認識） （標準） （人物） （風景） （料理） （夜景） （逆光） （文字） （スポーツ）
※検出されたシーンが「人物」の場合です。

⑫ **ホワイトバランス：**（オート） （電球） （蛍光灯） （太陽光） （曇り・日陰）

⑬ **画質：**（ノーマル） （ファイン）

⑭ **ピクチャーライト：**（オート） （ON）
表示なし（OFF）

⑮ **セルフタイマー：**表示なし（OFF） （2秒） （5秒） （10秒）

⑯ **明るさ調整：**（－2） （－1） （0） （＋1） （＋2）

⑰ **連写：**表示なし（OFF） （4枚） （9枚）

⑱ **特殊効果：**表示なし（OFF） （モノクロ） （セピア）

カメラ

⑲ **笑顔シャッター(レベル)**※2：(レベル1(微笑))
(レベル2)　(レベル3)

⑳ **自動保存：**(ON)　(OFF)

㉑ **保存先：**(本体)　(microSD)

㉒ **カメラモード自動切替：**(ON)　表示なし(OFF)

㉓ **手ぶれ補正：**(オート)　表示なし(OFF)

㉔ **画面方向記録：**／／／(ON)　表示なし(OFF)

㉕ **位置情報(GPS情報)**※3：(取得成功)　(取得失敗)

㉖ **ズーム設定バー(**　**)**

◀／▶を押すと表示／設定できます。

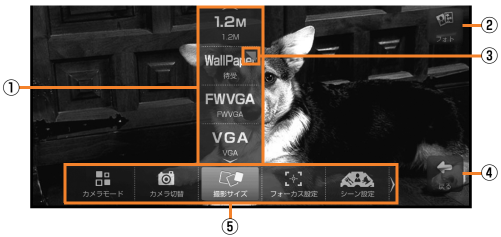
※1 カメラを起動した直後、および「自動保存」(▶P.155)が「OFF」の場合は表示されません。

※2 シャッターモードを「笑顔」に設定している場合のみ表示されます。

※3 「位置情報付加」の操作を行った場合、または「自動付加設定」(▶P.156)が「ON」の場合に表示されます。

フォトモニター画面でできること

1 フォトモニター画面で[MENU]



《フォトモニターのオプションメニュー画面》

① **設定値リスト**

② **フォト**

フォトビューアが起動します。

③ **現在の設定値**

④ **戻る**

フォトモニター画面に戻ります。

⑤ **設定項目**

項目	内容	
カメラモード	撮影モードを選択します。 「カメラ」「ビデオカメラ」「バーコード」「名刺」「情報」「テキスト」 ▶P.164「ムービーを録画する」 ▶P.160「文字を読み取る」 ▶P.163「バーコードを読み取る」	
カメラ切替	撮影するカメラをアウト／インで切り替えます。 「アウトカメラ」「インカメラ」	
撮影サイズ	撮影サイズを設定します。 「QVGA(320×240)」「VGA(640×480)」 「FWVGA(854×480)」 「待受(WallPaper)(960×480)」※1 「1.2M(1,280×960)」※1 「フルHD(1,920×1,080)」※1 「2M(1,600×1,200)」※1 「3M(2,048×1,536)」※1 「5M(2,560×1,920)」※1 ▶P.156「撮影サイズを設定する」	
フォーカス設定※1	顔優先AF	被写体との距離が約30cm～無限遠の範囲で、顔を自動的に検出するオートフォーカスに設定します。 • 最大5人まで検出できます。 • 複数の顔を検出した場合は、オートフォーカス枠をタップして移動できます。
	センターAF	被写体との距離が約30cm～無限遠の範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	接写AF	被写体との距離が約10cm～30cmの範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	接写固定	被写体との距離を約10cmに固定します。

カメラ

項目		説明
フォーカス設定※1	AF OFF	被写体との距離を無限遠に固定します。
シーン設定※1		被写体や景色に最適な設定を選択できます。 「自動認識」「標準」「人物」「風景」「料理」「夜景」「逆光」「文字」「スポーツ」 ▶P.159「被写体や景色に最適な設定で撮影する」 • 「標準」以外に設定すると、ホワイトバランスは「オート」になります。
ホワイトバランス※1		被写体を自然な色合いで撮影できるように、白を基準にした色の調整ができます。 「オート」「電球」「蛍光灯」「太陽光」「曇り･日陰」 • 「オート」以外に設定すると、シーン設定は「標準」になります。
画質		画質を設定します。 「ノーマル」「ファイン」
ピクチャーライト※1		ピクチャーライトを点灯して、暗い被写体を明るく撮影します。 「オート」「ON」「OFF」
セルフタイマー		セルフタイマーを設定します。撮影時に設定した秒数が経過した後、撮影を開始します。 「OFF」「2秒」「5秒」「10秒」 • セルフタイマーのカウントダウンを中止する場合は、「中止」をタップします。
明るさ設定		露出補正の調整バーを表示します。 －2（暗い）～+2（明るい）
ズーム設定※1		広角～望遠のズーム設定バーを表示します。 • ズームの倍率と段数については、「主な仕様」の「カメラ」（▶P.291）をご参照ください。
撮影モード	連写	1回の撮影で連続してフォトを撮影します。 「OFF」「4枚」「9枚」 ▶P.158「連続してフォトを撮影する」
	特殊効果※1	セピア調や白黒で撮影できます。 「OFF」「セピア」「モノクロ」
	フレーム撮影	あらかじめフレームを表示して撮影します。 「OFF」「プリセット」 • 「プリセット」に設定すると、コンテンツマネージャーからフレームを選択できます。 **再生**：拡大表示 **決定**：フレームを選択
各種設定	笑顔レベル※1	笑顔フォーカスでシャッターを切るレベルを設定します。 「レベル1（微笑）」「レベル2」「レベル3」 • 笑顔が検出されにくい場合は、笑顔レベルを「レベル3」→「レベル2」→「レベル1」に変更してください。
	アイコン表示	アイコンの表示／非表示を切り替えます。 「ON」「OFF」
	シャッター音	シャッター音を選択します。 「パターン1」「パターン2」「パターン3」
	自動保存	撮影した後に、撮影データを自動的に保存するかどうかを設定します。 「ON」「OFF」
	カメラモード自動切替※1	バーコードや名刺など、被写体の種類を検出して自動的にカメラモードを選択するかどうかを設定します。 「ON」「OFF」

各種設定	位置情報※2	位置情報付加	位置情報(GPS情報)を画像に記録します。 付加の方法を選択できます。 「現在位置を取得」「位置履歴から」「電話帳から」「プロフィールから」
		自動付加設定	撮影時に位置情報を自動的に付加するかどうかを設定します。 「ON」「OFF」
	手ぶれ補正※1	手ブレを防いで撮影するかどうかを設定します。 「オート」「OFF」 • 「オート」に設定すると、シーン設定は「標準」になります。	
	保存先	撮影データの保存先を設定します。 「本体」「microSD」	
	画面方向記録	フォトを撮影する際に、画面の向きの情報をフォトに記録するかどうかを設定します。 「ON」「OFF」	

※1 インカメラ使用時は設定できません。
※2 位置情報を付加した画像をインターネットにアップロードした場合、撮影した位置が公開されることがありますのでご注意ください。

memo

◎機能によっては、同時に設定できない場合があります。

撮影サイズを設定する

撮影サイズを選択できます。

1 フォトモニター画面で[MENU]→[撮影サイズ]

2

QVGA(320×240)	横320×縦240の大きさで撮影するモードです。
VGA(640×480)	横640×縦480の大きさで撮影するモードです。
FWVGA(854×480)	横854×縦480の大きさで撮影するモードです。
待受(WallPaper)(960×480)	IS01のディスプレイで表示するのに最適な2:1の撮影サイズです。
1.2M(1,280×960)	L判サイズできれいにプリントできます。
フルHD(1,920×1,080)	フルハイビジョンテレビで表示するのに適した16:9の撮影サイズです。
2M(1,600×1,200)	2L判できれいにプリントできます。
3M(2,048×1,536)	A4サイズできれいにプリントできます。
5M(2,560×1,920)	A3サイズできれいにプリントできます。

※インカメラ使用時はQVGA、VGA、FWVGAのみ設定できます。

フォトを撮影する

1 フォトモニター画面で[撮影]

シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に保存されます。

memo

◎「カメラモード自動切替」(▶P.155)をONに設定している場合は、バーコードまたは名刺を検出すると自動的にバーコードリーダーまたは名刺リーダーに切り替わります。
◎「自動保存」(▶P.155)を「OFF」に設定している場合は、撮影直後に表示されるフォトプレビュー画面(▶P.159)で「保存」をタップするとフォトが保存されます。

■ フォトモニター画面でのキーボード操作

操作キー	操作内容
トラックボールを押す、ENTER	撮影
▲/▼、画面を上下にスライド	明るさの調整(露出補正)
◀/▶、画面を左右にスライド	ズームイン/ズームアウト
1	カメラモード設定メニューを表示
2	カメラ切替設定メニューを表示
3	撮影サイズ設定メニューを表示
4	フォーカス設定メニューを表示
5	シーン設定メニューを表示
6	ホワイトバランス設定メニューを表示
7	画質設定メニューを表示
8	ピクチャーライト設定メニューを表示
9	セルフタイマー設定メニューを表示
0	露出補正の調整バーを表示
Q	ズーム設定バーを表示
W	撮影モード設定メニューを表示
E	各種設定メニューを表示
R	シャッターモード切り替え
A	フォーカスをロック
S	フォーカスロックを解除
MENU+H	ヘルプを表示
(スペースキー)	アイコン表示/非表示を切り替え

memo

◎操作に使用できるキーは、撮影モードにより異なります。
◎フォトモニター画面で約3分間何も操作しないと、カメラが終了します。

オートフォーカスロックについて

◎フォトモニター画面でオートフォーカス枠をタップすると、あらかじめピントを合わせた状態で固定できます。フォーカスがロックされると、オートフォーカス枠が緑色に変化してロック音が鳴ります。ロックできなかった場合は、オートフォーカス枠が赤色で表示されます。
※「フォーカス設定」(▶P.154)が「接写固定」または「AF OFF」に設定されている場合は、フォーカスロックできません。
◎インカメラ使用時は、オートフォーカス枠は表示されません。

オートフォーカス枠の移動操作について

◎オートフォーカス枠が表示されている状態で画面をタップすると、タップした箇所にオートフォーカス枠を移動してフォーカスロックすることができます。

■ フォトが保存されるフォルダについて

「保存先」(▶P.156)の設定内容により保存先フォルダが異なります。各データの保存先(本体またはmicroSDメモリカード)は、フォトビューア(▶P.168)またはコンテンツマネージャー(▶P.188)で確認できます。

※「保存先」(▶P.156)で指定した保存先は、フォトモニター画面にアイコンで表示されます(▶P.154)。

連続してフォトを撮影する

1回の撮影で連続した4枚／9枚のフォトを撮影できます。

1 フォトモニター画面で[MENU]→[撮影モード]→[連写]→[4枚]／[9枚]

撮影サイズによっては連写枚数が4枚固定、または設定できない場合があります。

2 連写速度を選択([速い]／[普通]／[マニュアル])

3 [撮影]

シャッター音が鳴り、設定した枚数の撮影が自動的に行われます。すべてのフォトが自動的に保存されます。
連写速度で「マニュアル」を選択した場合は、設定した枚数に合わせて「撮影」を連続で押してください。
連写中に「中止」をタップすると、撮影済みのフォトをすべて保存して撮り直しができます(自動保存(▶P.155)をONに設定している場合)。

■「自動保存」(▶P.155)をOFFに設定している場合

3 [撮影]

設定した枚数の撮影が完了した後、連続撮影したすべてのフォトのサムネイル表示画面が表示されます。

4 フォトを選択→拡大表示(1件表示)画面で[保存]

選択したフォトが保存され、まだ保存されていないフォトのサムネイル表示画面に戻ります。

memo

連続撮影のサムネイル表示画面でできること

◎連続撮影のサムネイル表示画面では、以下の操作ができます。
「メニュー」：オプションメニューを表示します。

全件保存	すべてのフォトを保存します。
全件削除	すべてのフォトを削除します。
1件保存	選択しているフォトを保存します。
1件削除	選択しているフォトを削除します。

「mixiフォト」：選択したフォトをmixiにアップロードします。
▶P.124「mixi for SHを利用する」
「保存」：選択したフォトを保存します。

連続撮影の拡大表示(1件表示)画面でできること

◎拡大表示(1件表示)画面のオプションメニューでは、フォトプレビュー画面のオプションメニュー(▶P.159)と同様の操作ができます。
◎連続撮影時は、「シャッターモード切替」および「手ぶれ補正」は設定できません。

笑顔をとらえて撮影する

笑顔を検出すると自動的にシャッターを切るように設定できます(笑顔フォーカスシャッター)。

1 フォトモニター画面のシャッターモード切替で[笑顔]を選択

2 被写体をディスプレイに表示

「笑顔レベル」(▶P.155)で設定されたレベル以上の笑顔を検出すると、自動的に撮影されます。

memo

◎「フォーカス設定」が「顔優先AF」の場合にのみ設定できます。

振り向いた顔をとらえて撮影する

被写体が振り向いた瞬間を検出すると、自動的にシャッターを切るように設定できます（振り向きシャッター）。

1 フォトモニター画面のシャッターモード切替で［振り向き］を選択

2 被写体をディスプレイに表示

振り向いた瞬間の被写体の顔を検出すると、自動的に撮影されます。

memo

◎「フォーカス設定」が「顔優先AF」の場合にのみ設定できます。

被写体や景色に最適な設定で撮影する

フォトの撮影シーンを選択します。選択したシーンに最適なホワイトバランス、明るさなどの撮影条件が設定されます。

1 フォトモニター画面で［MENU］→［シーン設定］

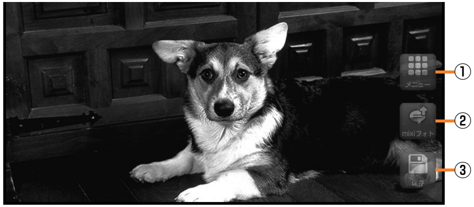
2

自動認識	自動的に撮影シーンを検出して最適なモードに設定します。
標準	標準的な撮影モードです。
人物	人物の撮影に適したモードです。
風景	風景の撮影に適したモードです。
料理	料理の撮影に適したモードです。
夜景	暗い場所での撮影に適したモードです。
逆光	逆光時の撮影に適したモードです。
文字	文字の撮影に適したモードです。
スポーツ	動く被写体の撮影に適したモードです。

フォトプレビュー画面でできること

「自動保存」（▶P.155）をOFFに設定している場合は、撮影直後にフォトプレビュー画面が表示されます。

※「自動保存」をONに設定している場合は表示されません。



《フォトプレビュー画面》

① **メニュー**
オプションメニューを表示します。

② **mixiフォト**
撮影したフォトをmixiにアップロードします。
▶P.124「mixi for SHを利用する」

③ **保存**
撮影したフォトを保存します。

■フォトプレビュー画面のオプションメニューについて

画像共有	撮影したフォトをメールに添付して送信、またはPicasaやmixiなどにアップロードできます。 「Gmail」「mixi for SH」「Picasa」「メール」
画像編集※1	撮影したフォトを編集できます。 ▶P.169「フォトビューアのオプションメニューを利用する」
保存先	撮影したフォトの保存先を設定します。 「本体」「microSD」
正像·鏡像表示切り替え※2	画像を左右反転して表示します。

鏡像で保存※2	画像を左右反転して保存します。
アイコン表示設定	アイコンの表示／非表示を切り替えます。
ブログ投稿	撮影したフォトをブログに投稿できます。 ▶P.172「撮影したフォトをブログに投稿する」
メールへ添付	撮影したフォトを保存した後、メールに添付します。添付するアプリケーションを選択できます。 「メール」「Gmail」 ▶P.171「撮影したフォトをメールで送信する」
IrSS送信	撮影したフォトをIrSS™送信します。 ▶P.171「撮影したフォトを赤外線送信する」
赤外線送信	撮影したフォトを赤外線送信します。 ▶P.171「撮影したフォトを赤外線送信する」
Bluetooth送信	撮影したフォトをBluetooth®機能で送信します。 ▶P.210「Bluetooth®機能を利用する」
電話帳に登録	撮影したフォトを電話帳に登録します。
壁紙設定	撮影したフォトを壁紙に設定します。
ヘルプ表示	ヘルプを表示します。

※1 撮影サイズが1.2M（1,280×960）より大きい場合は、「リサイズ」以外は操作できません。
※2 インカメラ撮影時のみ使用できます。

memo

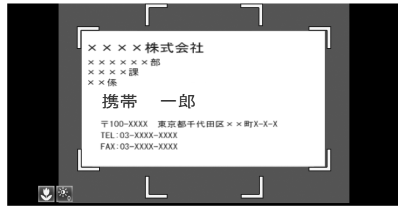
◎ フォトプレビュー画面で約3分間何も操作しないと、カメラが終了します。

文字を読み取る

名刺リーダーで名刺を読み取る

読み取った名刺を、電話帳に登録、あるいはコピーしてメモ帳などで利用することができます。

1 メインメニューで[名刺リーダー]



《名刺リーダーモニター画面》

2 名刺をディスプレイに表示→[読取]

読取結果画面が表示されます。
読み取った文字を自動的に判別し、項目ごとに整理して表示します。

3 [登録]

4 画像をトリミングする範囲にトリミング枠を移動

トリミング枠の四辺をスライドすると、範囲を拡大･縮小できます。

5 [保存]

読み取った項目が入力された電話帳登録画面が表示されます。電話帳への登録については、「電話帳に登録する」（▶P.70）をご参照ください。

■ 電話帳以外でデータを使う

1 読取結果画面で[コピー]

読み取り結果をIS01のメモリへコピーします。

▶P.62「コピー／切り取り／貼り付ける機能について」

情報リーダーで情報を読み取る

雑誌などから店名や電話番号などの情報を読み取り、電話帳に登録、あるいはコピーしてメモ帳などで利用することができます。

1 メインメニューで[情報リーダー]



《情報リーダーモニター画面》

2 情報をディスプレイに表示→[読取]

読取結果画面が表示されます。

読み取った文字を自動的に判別し、項目ごとに整理して表示します。

3 [登録]

4 画像をトリミングする範囲にトリミング枠を移動

トリミング枠の四辺をスライドすると、範囲を拡大･縮小できます。

5 [保存]

読み取った項目が入力された電話帳登録画面が表示されます。電話帳への登録については、「電話帳に登録する」(▶P.70)をご参照ください。

■ 電話帳以外でデータを使う

1 読取結果画面で[コピー]

読み取り結果をIS01のメモリへコピーします。

▶P.62「コピー／切り取り／貼り付ける機能について」

テキストリーダーで文字を読み取る

紙などに印刷されている文字列を読み取って、IS01のメモリへコピーします。

1 メインメニューで[テキストリーダー]



《テキストリーダーモニター画面》

2 文字列をディスプレイに表示→[撮影]

3 読み取る行を[▲]／[▼]で選択→[読取]

枠で囲まれた行が読み取られ、読取結果(モード種別)画面が表示されます。

4 [決定]

読取結果画面が表示されます。
ここで表示された文字列を利用することができます。「編集」を押すと文字列を編集することもできます。

■読み取りモードを切り替える

読み取る文字列の種類に応じてモードを切り替えることができます。

1 読取結果（モード種別）画面で[モード]→[単語]／[URL]／[メールアドレス]／[電話番号]

読み取った文字列を、選択した種類の情報として取り込みます。

■読取結果画面でできること

1 読取結果画面で[MENU]

2

続き読取	文字列を再度読み取り、すでに読み取った文字列の続きに追加します。
追加読取	文字列を再度読み取り、すでに読み取った文字列の下に改行して追加します。
メモ帳登録	読み取った文字列をメモ帳に登録します。
辞書検索	読み取った文字列について、ネット辞書または内蔵辞書で検索します。
編集	文字列を編集します。
全コピー	読み取り結果をIS01のメモリへコピーします。

memo

◎名刺リーダー／情報リーダー／テキストリーダーのモニター画面で(MENU)を押すとオプションメニューが表示され、以下の操作ができます。

カメラモード切替		カメラの撮影モードを切り替えます。 「カメラ」「ビデオカメラ」「バーコードリーダー」「名刺リーダー」「情報リーダー」「テキストリーダー」
明るさ調整		カメラの明るさを調整します。
ピクチャーライト		ピクチャーライトの点灯／消灯を切り替えます。「ON」「OFF」
フォーカス設定	標準AF	被写体との距離が約30cm～無限遠の範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	接写AF	被写体との距離が約10cm～約30cmの範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
ヘルプ		ヘルプを表示します。

◎名刺リーダーでは、電話帳に次の項目を登録できます。
- 名前
- ヨミ（姓のみ）
- 電話番号
- FAX番号
- メールアドレス
- 住所、郵便番号
- 勤務先、所属、役職
- メモ（URL、その他の項目）

◎情報リーダーでは、電話帳に次の項目を登録できます。
- 店名
- 電話番号
- メールアドレス
- 住所
- メモ（営業時間、定休日、URL、アクセス、駐車場、座席数、予算･料金、その他の項目）

◎名刺リーダー／情報リーダーでは、電話帳にない項目は、メモ欄に登録されます。
◎漢字によっては、読みがな（ヨミ）を認識しない場合もあります。

カメラ

◎ 次のような名刺／文字列は読み取れません。
- 背景が付いている名刺／文字列
- 手書きまたは手書き風のフォントを使用した名刺／文字列
- 縦書きと横書きが混在した名刺／文字列
- ディスプレイなどに表示された名刺／文字列

◎ 一部の文字列は読み取り結果表示の際に除去される場合があります。
◎ 読み取り精度が悪い場合は、柔らかい布などでレンズを拭くことで改善される場合があります。
◎ 読み取り結果が間違っている場合は、再撮影するか、各機能で文字列を利用するときに、内容を直接修正してください。

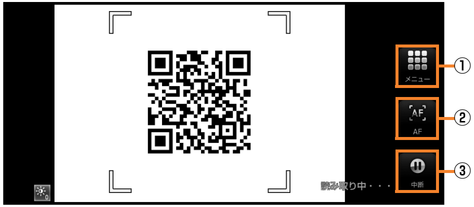
バーコードを読み取る

バーコードを撮影すると、バーコード化された文字などを読み取ることができます。読み取った内容は、ウェブサイト表示や電話帳·メールの作成に利用できます。IS01はJANコードとQRコードの読み取りに対応しています。

1 メインメニューで[バーコードリーダー]

バーコードリーダーが起動し、バーコードが自動的に読み取られます。
読み取りにくい場合は、▲／▼でカメラの明るさを調整すると読みやすくなります。

■ 画面の見かた



《バーコードモニター画面》

① **メニュー**
オプションメニューを表示します。

② **AF**
フォーカスをロックします。

③ **中断／再読取**
バーコードの読み取りの中断／読み取り再開を行います。

■ バーコードモニター画面でのオプションメニューについて

カメラモード切替	カメラの撮影モードを切り替えます。 「カメラ」「ビデオカメラ」「名刺リーダー」 「情報リーダー」「テキストリーダー」
明るさ調整	カメラの明るさを調整します。
ピクチャーライト	ピクチャーライトの点灯／消灯を切り替えます。 「ON」「OFF」
ヘルプ	ヘルプを表示します。

読み取り結果について

バーコードを読み取ると、読取結果画面にバーコードの情報が表示されます。

■ 読取結果画面でできること

[MENU]→[全コピー]／[メモ帳登録]でテキストをコピーしたり、メモ帳に登録できます。
また、下線付きの文字を選択すると、内容に応じた処理を行うことができます。

種類	できること
電話帳一括登録	読み取られた情報を一括して電話帳に登録できます。
電話番号	電話発信、または電話帳に登録できます。
メールアドレス	メールの送信先に自動挿入して起動、または電話帳に登録できます。
URL	ブラウザを起動してアクセスできます。
ブックマークに登録	ブックマーク登録機能付きのQRコードを読み取った場合、ブックマークに登録できます。

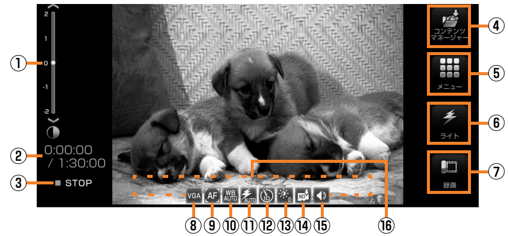
memo

◎カメラのフォトモニター画面で[MENU]→[カメラモード]→[バーコード]を選択してもバーコードリーダーを起動できます。
◎バーコードが汚れている、かすれている、薄いなどの場合は、読み取れないことがあります。
◎ディスプレイ内に複数のバーコードが表示されている場合は、読み取れないことがあります。
◎カメラのレンズ部に指紋や油脂などが付着していると、バーコードがぼやけて読み取れなかったり、髪の毛やほこりなどのゴミがついて間違って読み取ったりすることがあります。読み取る前に柔らかい布などで拭いてください。

ムービーを録画する

ムービーモニター画面の見かた

1 メインメニューで[ビデオカメラ]



《ムービーモニター画面》

① **明るさ設定バー**
[▲]／[▼]を押すと表示／設定できます。

② **時間の目安**
現在の録画時間と録画可能時間の目安を表示します。

③ **動作状況**
現在の動作状況を表示します。

④ **コンテンツマネージャー**
コンテンツマネージャーが起動します。
▶P.188「コンテンツマネージャーを利用する」

⑤ **メニュー**
オプションメニューを表示します。

⑥ **ライト**
ピクチャーライトの設定を切り替えます。

⑦ **録画／停止**
録画を開始／停止します。

⑧ **録画サイズ：** QCIF（QCIF） QVGA（QVGA） VGA（VGA）

カメラ

⑨ **フォーカス設定：** (標準AF) (接写AF) (接写固定) (AF OFF)

⑩ **ホワイトバランス：** (オート) (電球) (蛍光灯) (太陽光) (曇り･日陰)

⑪ **ピクチャーライト：** (オート) (ON) 表示なし(OFF)

⑫ **セルフタイマー：** 表示なし(OFF) (2秒) (5秒) (10秒)

⑬ **明るさ調整：** (−2) (−1) (0) (+1) (+2)

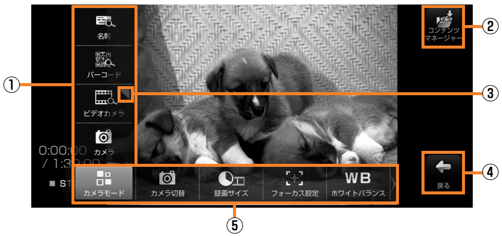
⑭ **保存先：** (本体) (microSD)

⑮ **録画音声設定：** (ON) (OFF)

⑯ **ズーム設定バー( )**
[◀]／[▶]を押すと表示／設定できます。

ムービーモニター画面でできること

1 ムービーモニター画面で[MENU]



《ムービーモニターのオプションメニュー画面》

① **設定値リスト**

② **コンテンツマネージャー**
コンテンツマネージャーが起動します。

③ **現在の設定値**

④ **戻る**
ムービーモニター画面に戻ります。

⑤ **設定項目**

カメラモード	撮影モードを選択します。 「カメラ」「ビデオカメラ」「バーコード」「名刺」「情報」「テキスト」 ▶P.160「文字を読み取る」 ▶P.163「バーコードを読み取る」	
カメラ切替	録画するカメラをアウト／インで切り替えます。 「アウトカメラ」「インカメラ」	
録画サイズ	録画サイズを設定します。 「QCIF(176×144)」「QVGA(320×240)」「VGA(640×480)」 ▶P.166「ムービーの録画サイズを設定する」	
フォーカス設定※	標準AF	被写体との距離が約30cm〜無限遠の範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	接写AF	被写体との距離が約10cm〜約30cmの範囲で動作するオートフォーカスに設定します。
	接写固定	被写体との距離を約10cmに固定します。
	AF OFF	被写体との距離を無限遠に固定します。
ホワイトバランス※	被写体を自然な色合いで撮影できるように、白を基準にした色の調整ができます。 「オート」「電球」「蛍光灯」「太陽光」「曇り･日陰」	
ピクチャーライト※	ピクチャーライトを点灯して、暗い被写体を明るく録画します。 「オート」「ON」「OFF」	

セルフタイマー		セルフタイマーを設定します。録画時に設定した秒数が経過した後、録画を開始します。 「OFF」「2秒」「5秒」「10秒」 • セルフタイマーのカウントダウンを中止する場合は、「中止」をタップします。
明るさ設定		露出補正の調整バーを表示します。 −2(暗い)〜+2(明るい)
ズーム設定※		広角〜望遠のズーム設定バーを表示します。 • ズームの倍率と段数については、「主な仕様」の「カメラ」(▶P.291)をご参照ください。
各種設定	保存先	録画データの保存先を設定します。 「本体」「microSD」
	録画音声	録画時に音付きで録画するか、音なしで録画するかを設定します。 「ON」「OFF」
	アイコン表示設定	アイコンの表示/非表示を切り替えます。 「ON」「OFF」

※インカメラ使用時は設定できません。

ムービーの録画サイズを設定する

1 ムービーモニター画面で[MENU]→[録画サイズ]

2

QCIF(176×144)	au電話(Wシリーズ·Xシリーズなど)や3G携帯電話へ送信するのに適した録画サイズです。
QVGA(320×240)	IS01で表示するのに適した録画サイズです。長時間撮影に向きます。
VGA(640×480)	IS01で表示するのに適した録画サイズです。QVGAより高画質です。

memo

◎「VGA」はmicroSDメモリカードにのみ保存可能です。「VGA」に設定すると自動的に保存先が「microSD」に変更されます。

ムービーを録画する

1 ムービーモニター画面で[録画]

録画が開始されます。

2 [停止]



《ムービープレビュー画面》

3 [保存]

録画したムービーが保存されます。
その他の操作については、「ムービープレビュー画面でできること」(▶P.167)をご参照ください。

■ムービーモニター画面でのキーボード操作

操作キー	操作内容
トラックボールを押す、ENTER	録画開始/停止
▲/▼、画面を上下にスライド	明るさの調整(露出補正)
◀/▶、画面を左右にスライド	ズームイン/ズームアウト
1	カメラモード設定メニューを表示
2	カメラ切替メニューを表示
3	録画サイズ設定メニューを表示
4	フォーカス設定メニューを表示

操作キー	操作内容
5	ホワイトバランス設定メニューを表示
6	ピクチャーライト設定メニューを表示
7	セルフタイマー設定メニューを表示
8	露出補正の調整バーを表示
9	ズーム設定バーを表示
0	各種設定メニューを表示
A	ピクチャーライト設定を切り替え
MENU＋H	ヘルプを表示
（スペースキー）	アイコン表示／非表示を切り替え

※録画中は1～7／0／MENUのキーは動作しません。

memo

◎録画中に録画可能時間を過ぎた場合、および電池残量が▯になった場合は、自動的に録画が停止します。
◎録画中に本体を閉じても、録画は継続されます。
◎録画中に着信があった場合は、録画を停止して着信画面が表示されます。着信終了後または通話終了後は、ムービープレビュー画面が表示されます。
◎ムービーモニター画面で約3分間何も操作しないと、ビデオカメラが終了します。

■ムービーが保存されるフォルダについて

「保存先」（▶P.166）の設定内容により保存先フォルダが異なります。各データの保存先（本体またはmicroSDメモリカード）は、コンテンツマネージャー（▶P.188）またはメディアプレーヤーの一覧画面（▶P.195）で確認できます。

※「保存先」（▶P.166）で指定した保存先は、ムービーモニター画面にアイコンで表示されます（▶P.165）。

ムービープレビュー画面でできること



《ムービープレビュー画面》

保存	録画したムービーを保存します。
動画アップロード	ムービーをメールに添付して送信、またはmixiやYouTubeなどにアップロードできます。 「Gmail」「mixi for SH」「YouTube」「メール」 ▶P.124「mixi for SHを利用する」 ▶P.116「YouTubeを利用する」
メールへ添付	録画したムービーを保存した後、ムービーを添付した状態のメール作成画面が表示されます。 添付するアプリケーションを選択できます。 「メール」「Gmail」
再生	録画したムービーを保存する前にメディアプレーヤー（▶P.194）で再生できます。メディアプレーヤーからムービープレビュー画面に戻るには、（戻る）または（終話）を押します。
取り消し	録画したムービーを保存せずに削除します。

カメラ

フォトビューアを利用する

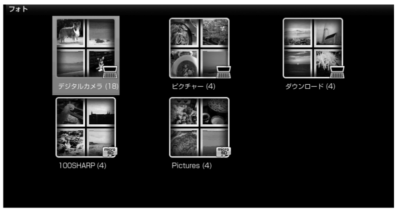
フォトビューアでは撮影した画像を一覧表示したり、画像の編集や送信などの操作ができます。

memo

◎フォトビューアで表示できる画像は拡張子が「.jpg」「.jpeg」「.png」「.gif」「.bmp」「.wbmp」、サイズが2,560×1,920ドット以下の画像です。

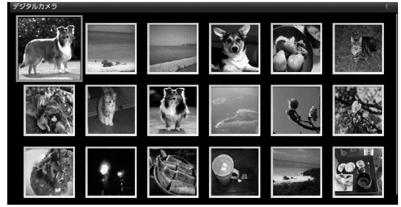
フォトビューアを起動する

1 メインメニューで[フォト]



《フォルダ選択画面》

2 フォルダを選択



《サムネイル表示画面》

3 表示する画像にカーソルを移動して選択



《1件表示画面》

① **削除**
表示中の画像を削除します。

② **ブログ投稿**
表示中の画像をブログに投稿できます。
▶P.172「撮影したフォトをブログに投稿する」

③ **mixiフォト**
表示中の画像をmixiにアップロードできます。
▶P.124「mixi for SHを利用する」

④ **メールへ添付**
表示中の画像をメールに添付します。
▶P.171「撮影したフォトをメールで送信する」

■ タッチパネル操作

画像を左右にフリック：前の画像／次の画像に切り替え

画像を左右にスライド：左右に移動（半分以上スライドすると前の画像／次の画像に切り替え）

画像をダブルタップ、ピンチアウト／ピンチイン：拡大／縮小

画像を上下にスライド：上下に移動（画像を拡大しているとき）

■ キーボード操作

◀／▶：前の画像／次の画像に切り替え（画像を拡大しているときは左右に移動）

▲／▼：上下に移動（画像を拡大しているとき）

8：全画面表示／通常表示を切り替え

9／ALT＋L：画像の拡大

0／ALT＋−：画像の縮小

MENU＋H：ヘルプ表示

フォトビューアのオプションメニューを利用する

■ フォルダ選択画面の場合

1 [MENU]

スライドショー	選択したフォルダにある画像をスライドショーで再生します。 ▶P.172「撮影データを自動再生する」
表示	選択したフォルダにある画像をサムネイル表示画面で表示します。

■ サムネイル表示画面の場合

1 [MENU]

スライドショー	画像をスライドショーで再生します。 ▶P.172「撮影データを自動再生する」	
メールへ添付※1	選択した画像をメールに添付します。 添付するアプリケーションを選択できます。 「メール」「Gmail」 ▶P.171「撮影したフォトをメールで送信する」	
共有※1	選択した画像をメールに添付して送信、またはPicasaやmixiなどにアップロードできます。 「Gmail」「mixi for SH」「Picasa」「メール」	
赤外線送信※1	選択した画像を赤外線送信します。 「通常送信」「IrSS送信」 ▶P.171「撮影したフォトを赤外線送信する」	
Bluetooth送信※1	選択した画像をBluetooth®機能で送信します。 ▶P.210「Bluetooth®機能を利用する」	
ブログ投稿※1	選択した画像をブログに投稿できます。 ▶P.172「撮影したフォトをブログに投稿する」	
画像編集※1※2	顔かくし	画像に写っている顔をプライバシー保護加工します。 「目かくし」「目モザイク」「顔モザイク」「お面1」「お面2」「お面3」
	文字スタンプ	文字をスタンプ入力します。

画像編集※1※2	プチエステ	画像に写っている顔を加工します。 「ほっそり」「ふっくら」 「目ぱっちり」「シワ隠し」 「美白」「ナチュラル」
	画像補正	色合いを補正します。 「シャープネス」「ソフト」 「感度アップ」「鮮やか」「明るく」 「暗く」
	落書き	画像にフリーハンドで描画できます。 線の種類：「ノーマル」「エンボス」「ブロアー」 線の太さ：「細い」「普通」「太い」 色：全12色
	画像エフェクト	特殊効果を適用します。 「モノクロ」「セピア」「キラキラ」 「色えんぴつ」「フレーム」 •「フレーム」を選択すると、コンテンツマネージャーからフレームを選択できます。 **再生**：拡大表示 **決定**：フレームを選択
	スタンプ	スタンプを貼り付けます。
	回転	画像を回転します。 「左回転」「右回転」「180度回転」 「上下反転」「左右反転」
	日付スタンプ	日付スタンプを付加します。
	リサイズ	画像をリサイズします。 「QVGA（320×240）」 「VGA（640×480）」 「待受け（960×480）」 「1.2M（1,280×960）」
削除※1	選択した画像を削除します。	
複数選択	複数の画像をまとめて削除します。	
登録※1	選択した画像を受信画像や壁紙などに登録します。 「音声着信画像」「メール受信画像」 「PCメール受信画像」「待受画面（壁紙登録）」 「メール送信中画像」「メール受信中画像」 「電話帳画像」	
詳細情報※1	選択した画像の詳細情報を表示します。	

※1 サムネイル表示画面で、カーソルの位置が画像のどれかにある場合のみ表示されます。
※2 撮影サイズが1.2M（1,280×960）より大きい場合は、「リサイズ」以外は操作できません。

■ 1件表示画面の場合

1 ［MENU］

画像編集※	表示中の画像を編集します。 ▶P.169「フォトビューアのオプションメニューを利用する」
画像共有	表示中の画像をメールに添付して送信、またはPicasaやmixiにアップロードできます。 「Gmail」「mixi for SH」「Picasa」「メール」
登録	表示中の画像を壁紙または電話帳に登録できます。 「待受画面」「電話帳」
メールへ添付	表示中の画像をメールに添付して送信できます。 「メール」「Gmail」
赤外線送信	表示中の画像を赤外線通信機能を利用して送信します。 ▶P.220「赤外線でデータを送信する」
IrSS送信	表示中の画像を高速赤外線通信方式のIrSS™規格に対応した機器へ高速送信できます。 ▶P.220「赤外線でデータを送信する」
Bluetooth送信	表示中の画像をBluetooth®機能を利用して送信します。 ▶P.210「Bluetooth®機能を利用する」

<table>
<tr><td>全画面再生／通常画面再生</td><td colspan="2">画面の表示方法を切り替えます。
「全画面再生」（ソフトキーエリアを非表示）
「通常画面再生」
• 全画面再生中に を押すと通常画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td>ファイルサイズ変換</td><td colspan="2">表示中の画像のファイルサイズを変更できます。
「QVGA」「VGA」「待受け」「1.2M」
• 選択できるファイルサイズは、表示中の画像サイズにより異なります。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td colspan="2">表示中の画像を削除します。</td></tr>
<tr><td>GPS情報編集</td><td colspan="2">GPS情報を表示中の画像に付加します。付加の方法を選択できます。
「現在位置を取得」「位置履歴から」
「電話帳から」「プロフィールから」</td></tr>
<tr><td>詳細表示</td><td colspan="2">ファイル名、ファイルサイズ、表示サイズ、更新時間などを表示します。</td></tr>
<tr><td>スライドショー</td><td colspan="2">同じフォルダにある画像をスライドショーで再生します。
▶P.172「撮影データを自動再生する」</td></tr>
<tr><td rowspan="3">スライドショー設定</td><td>スライドショー効果</td><td>スライドショーの画像切替時の動作を選択できます。
「フェードイン＆アウト」
「左右にスライド」
「上下にスライド」「ランダム」</td></tr>
<tr><td>スライドショーリピート設定</td><td>スライドショーをリピート（繰り返し）するかどうかを設定します。
「ON」「OFF」</td></tr>
<tr><td>スライドショーシャッフル設定</td><td>スライドショーをシャッフルするかどうかを設定します。
「ON」「OFF」</td></tr>
<tr><td>ヘルプ表示</td><td colspan="2">ヘルプを表示します。</td></tr>
</table>

※撮影サイズが1.2M（1,280×960）より大きい場合は、「リサイズ」以外は操作できません。

撮影したフォトをメールで送信する

撮影したフォトを、メールに添付して送ることができます。

■ サムネイル表示画面の場合

1 送信するフォトにカーソルを移動→[MENU]→[メールへ添付]→メールアプリケーションを選択

■ 1件表示画面の場合

1 [メールへ添付]→メールアプリケーションを選択

フォトを添付した状態のメール作成画面が表示されます。

撮影したフォトを赤外線送信する

■ サムネイル表示画面の場合

1 送信するフォトにカーソルを移動→[MENU]→[赤外線送信]→[通常送信]／[IrSS送信]→[はい]（IrSS™送信の場合）

■ 1件表示画面の場合

1 [MENU]→[赤外線送信]／[IrSS送信]→[はい]（IrSS™送信の場合）

データが送信されます。

赤外線送信については、「赤外線でデータを送信する」（▶P.220）をご参照ください。

撮影したフォトをブログに投稿する

撮影したフォトをブログに投稿できます。
投稿する前に、投稿するブログの登録を行ってください。

■ サムネイル表示画面の場合

1 投稿するフォトにカーソルを移動→[MENU]→[ブログ投稿]

■ 1件表示画面の場合

1 [ブログ投稿]

ブログ投稿画面が表示されます。
ブログ投稿については、「ブログに投稿する」(▶P.126)をご参照ください。

撮影データを自動再生する

撮影データをスライドショーで再生することができます。

■ サムネイル表示画面の場合

1 スライドショーを開始するフォトにカーソルを移動→[MENU]→[スライドショー]

■ 1件表示画面の場合

1 [MENU]→[スライドショー]

選択したフォトから順にスライドショーが再生されます。
再生中に画面をタップすると、スライドショーが停止します。

memo

◎スライドショー再生中、次の画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。

テレビを楽しむ

ワンセグでテレビ（ワンセグ）を見る

ワンセグでできること

■テレビ（ワンセグ）を見る

日本国内で放送している地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスを見ることができます。

■データ放送を見る

テレビ（ワンセグ）では、放送番組に関連した情報などをお知らせするデータ放送を見ることができます。

■テレビ番組を録画・再生する

視聴中のテレビ番組を録画できます。また、時間と放送局などを指定して予約録画することができます。録画データは、録画番組の一覧画面（▶P.182）またはコンテンツマネージャー（▶P.188）で、保存場所（本体／microSDメモリカード）から検索して再生できます。

ワンセグをご利用になる前に

■テレビ（ワンセグ）利用時のご注意

- テレビ（ワンセグ）の利用には、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、パケット通信を使用してデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はパケット通信料がかかります。
- テレビ（ワンセグ）は日本国内の地上波デジタルテレビ放送ワンセグ専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送、地上アナログ放送、BSアナログ放送を見ることはできません。
- ワンセグ画面表示中は、IS01が温かくなり、長時間皮膚が接触すると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩行中はワンセグを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ、交通事故の原因となります。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

■地上デジタルテレビ放送の「ワンセグ」サービスについて

「ワンセグ」サービスについては、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/（ブラウザ／パソコン用）

■電池残量による動作

- ワンセグ起動中に電池残量が になると、自動的にワンセグが終了します。テレビ番組を録画中の場合は、それまでに録画した内容を保存し、ワンセグが終了します。

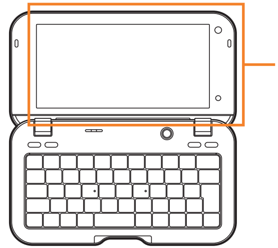
■連続視聴可能時間について

テレビ（ワンセグ）	イヤホン	サウンド設定 OFF時：約4時間
	スピーカー	サウンド設定 OFF時：約3時間50分

※パンスキャン表示・音量「10」・環境適応コントラスト補正「Off」・明るさ自動調整「Off」・字幕設定「Off」を使用して計測した時間です。データ放送の操作などにより連続視聴可能時間は変わります。

テレビアンテナについて

IS01のテレビアンテナは本体に内蔵されています。
テレビ（ワンセグ）を視聴する際は、電波を十分に受信できるようにテレビアンテナ内蔵部を手でおおわないでください。



■電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて起動したときは、テレビチャンネル設定を行います。設定が完了すると、テレビ(ワンセグ)を見ることができます。

1 メインメニューで[ワンセグ]

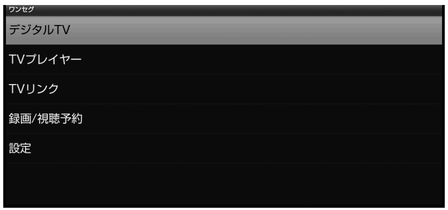
2 [はい]→エリアを選択→都道府県を選択→地域を選択

チャンネルスキャンが開始されます。
スキャンが完了すると、視聴可能なチャンネルの一覧画面が表示されます。

3 [OK]

テレビ番組を見る

1 メインメニューで[ワンセグ]



《ワンセグメニュー画面》

2 [デジタルTV]



《ワンセグ視聴画面(全画面)》

映像にタッチすると、画面が次の順に切り替わります。
「全画面」「パンスキャン※」「データ放送あり」「データ放送なし」
※映像の上下または左右の一部をトリミングして、画面いっぱいに拡大表示します。



《ワンセグ視聴画面(データ放送あり)》

① **映像**
② **字幕**
③ **情報表示**
　チャンネル、放送局名、番組名、マルチチャンネル編成(複数サービス)などの情報を表示します。
④ **リモコン番号とチャンネル切替**
⑤ **音量切替**
⑥ **録画/録画停止**

⑦ **リモコン**

1～12の数字キー操作画面を表示します。

数字キーはリモコン番号に対応していますが、データ放送で使用する場合もあります。

⑧ **データ放送**

⑨ **画質調整**

- **ジャンル**：番組のジャンルに応じて画質を選択できます。
  （「標準」「ダイナミック」「スポーツ」「映画」）
- **コントラスト**
- **黒レベル**
- **色の濃さ**
- **色あい**
- **シャープネス**
- **バックライト**
  （チェックボックスにチェックを入れると自動調整できます）

⑩ **ワンセグ終了**

⑪ **画面切替**

画面を切り替えます。

■視聴中のキーボード操作について

▲／▼：音量を調節／データ放送の選択を移動（データ放送表示時）

◀／▶：チャンネルの切り替え

◀／▶（長押し）：チャンネル検索

1～9／0／SHIFT＋1／SHIFT＋2：

チャンネルの切り替え（1～9、10、11、12）

ALT＋8／ALT＋9：音量を調節

複数サービス（マルチ編成）時のキーボード操作

地上デジタルテレビ放送では、1つのチャンネルを複数のサブチャンネルに分けて番組を放送（マルチ編成）できます。複数サービスが行われている場合は、ワンセグ視聴画面で◀／▶を押すとサブチャンネルを選択できます。

memo

◎ワンセグを起動したりチャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。

◎電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

◎テレビ番組を視聴中に音声着信があったときは、ワンセグは自動的に終了します。録画中の場合は、録画はバックグラウンドで継続されます。

◎ワンセグ視聴画面で◀／▶を長押しして未登録チャンネルが見つかった場合、現在のチャンネルリストに追加できます。

画面サイズや映像・サウンドを設定する

1 ワンセグ視聴画面で(MENU)→[AV設定]

2

<table>
<tr><td>画面サイズ設定</td><td colspan="3">画面サイズを選択します。
「データ放送あり」「データ放送なし」「全画面」「パンスキャン」</td></tr>
<tr><td rowspan="4">映像・サウンド設定</td><td rowspan="3">画質設定</td><td>エフェクト</td><td>映像の表示画質を選択します。
「標準」「ダイナミック」「スポーツ」「映画」「ジャンル連動※」</td></tr>
<tr><td>明るさ自動調整</td><td>映像(シーン)の明るさに応じてバックライトの輝度を制御するかどうかを切り替えます。
「On(明るい)」「On」「Off」</td></tr>
<tr><td>環境適応コントラスト補正</td><td>視聴環境に応じてコントラストを自動的に補正するかどうかを設定します。
「On」「Off」</td></tr>
<tr><td>サウンド設定</td><td colspan="2">音質を選択します。
「ジャンル連動※」「スポーツ」「ニュース」「ドラマ」「ミュージック」「映画」「バラエティ」「OFF」「カスタム」
・「カスタム」を選択すると音質を微調整できます。
(「高域UP」「低域UP」「サラウンド」「エンハンサ」)</td></tr>
</table>

※ 放送波のEPG情報により、番組のジャンル設定に従って自動的に設定を切り替えます。

■ BGM再生するには

ワンセグ起動中に(⌂)を押してデスクトップ／メインメニューに戻り、別の機能を起動しても、ワンセグを終了せずにテレビ番組の音声をBGMとして出力することができます(BGM再生)。

memo

◎ BGM再生中に操作する機能によっては、音が途切れる場合や、BGM再生が一時停止する場合、ワンセグが終了する場合があります。

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。

memo

◎ データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、パケット通信を使用してデータ放送の付加サービスなどを利用する場合は、パケット通信料がかかります。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報(テレビリンク)が表示される場合があります。テレビリンクをIS01に登録すると、後で関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

テレビリンクは、最大50件まで登録できます。

1 ワンセグ視聴画面で登録するテレビリンクを選択

memo

◎ テレビリンクの登録方法は番組によって異なります。

登録したテレビリンクを表示する

1 ワンセグメニュー画面で[TVリンク]

テレビリンクのリスト画面が表示されます。

2 テレビリンクを選択

■ リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合

3 [はい]／[OK]

リンク先にアクセスします。

memo

◎テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。有効期限が過ぎたテレビリンクは利用できません。

テレビリンクの詳細を見る・削除する

1 テレビリンクのリスト画面で[MENU]

2

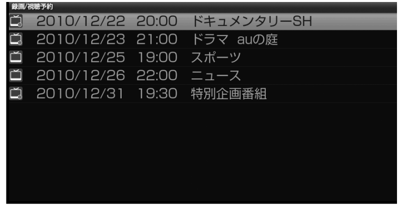
プロパティ	リスト画面で選択したテレビリンクの詳細情報を表示します。	
削除	1件削除	リスト画面で選択したテレビリンクを削除します。
	全件削除	登録されているテレビリンクをすべて削除します。 ロックNo.を入力→[OK]→[はい]

テレビ番組を視聴予約／録画予約する

テレビ番組の視聴や録画の予約ができます。

1 ワンセグメニュー画面で[録画／視聴予約]

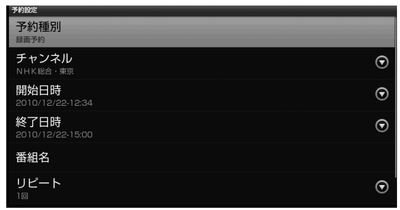
ワンセグ視聴画面で(MENU)→[録画]→[録画／視聴予約]でも同様に操作できます。



《録画／視聴予約画面》

2 [MENU]→[新規予約]→[視聴予約設定]／[録画予約設定]

3 予約開始日時を入力→[OK]→予約終了日時を入力→[OK]



《予約設定画面》

4 [チャンネル]→予約するチャンネルを選択

5 [番組名]→番組名を入力→[OK]

6 [保存]→[はい]

設定した予約が録画／視聴予約画面に表示されます。

■予約設定画面でできること

予約種別	予約種別の確認および変更ができます。 「視聴予約」「録画予約」
チャンネル	予約したチャンネルの確認および変更ができます。
開始日時	予約した開始日時の確認および変更ができます。
終了日時	予約した終了日時の確認および変更ができます。
番組名	番組名の確認および編集ができます。
リピート	予約回数を設定します。 「1回」「毎日」「曜日指定」
録画保存先切替※	録画データの保存先を切り替えます。 「本体」「microSD」

※録画予約の場合のみ設定できます。詳細設定の「録画保存先設定」(▶P.184)で設定した保存先とは別に設定されます。

■設定した時刻になると

■視聴予約の場合

設定した時刻の1分前※になるとワンセグが自動的に起動します。設定した時刻になると、予約した番組を視聴できます。

※通知時間は、ワンセグメニュー画面で[設定]→[予約時間お知らせ]→[アラーム音通知時間]で変更可能です。

■録画予約の場合

設定した時刻の1分前※になるとお知らせエリアにお知らせが表示されます。設定した時刻になると録画を開始します。

※通知時間は、ワンセグメニュー画面で[設定]→[予約時間お知らせ]→[アラーム音通知時間]で変更可能です。

予約した内容を確認・編集・削除する

1 録画／視聴予約画面で予約を選択→[MENU]

2

新規予約	視聴予約設定	新規に視聴予約を設定します。
	録画予約設定	新規に録画予約を設定します。
削除	選択した予約を削除します。	
編集	選択した予約内容を確認・編集します。	
結果	予約結果確認画面が表示され、すでに終了した予約内容を確認できます。 • [MENU]→[表示]／[再生]／[削除]で予約内容の表示／再生／削除ができます。	
メモリ残量表示	本体とmicroSDメモリカードの空き容量や録画可能時間などの情報を表示します。	

memo

◎視聴予約した番組が終了すると、ワンセグは自動的に終了します。

◎録画に関するその他の注意事項については、「テレビ番組を録画する」(▶P.181)の「memo」をご参照ください。

テレビ番組を録画する

表示中の映像･音声･字幕･データ放送を録画します。

1 **ワンセグ視聴画面で(MENU)→[録画]→[録画開始]**

録画が開始されます。
ワンセグ視聴画面(データ放送あり／データ放送なし)で録画キーをタップしても開始できます。

2 **(MENU)→[録画]→[録画停止]**

録画データが本体またはmicroSDメモリカードに保存されます。

memo

◎受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
◎テレビ番組を録画予約している場合は、録画開始前に本体を開き、録画したいチャンネルが十分に受信できることを確認してください。本体を閉じると、電波の受信状態が悪くなる場合があります。
◎電池残量が十分であることを確認のうえ、録画してください。
◎本体の空き容量が最大(約3.4GB)のときの録画可能時間は約16時間です。また、空き容量や、録画する番組の内容(データ放送の容量など)によっても変化します。
◎録画保存先が本体のときは、本体に最低1MB以上の空き容量が必要です。
◎空き容量が少ない場合、録画終了に時間がかかる場合があります。
◎microSDメモリカードへの録画可能時間は1回あたり約10時間(最大ファイルサイズは約2GB)です。
◎録画保存できる件数は、本体／microSDメモリカードともに99件までです。
◎microSDメモリカードへの録画中に、他の機能からmicroSDメモリカードを利用した場合、録画が失敗することがあります。
◎録画中は、チャンネルの切り替えはできません。
◎録画中に着信があった場合や、別の機能を起動しても録画は継続します(バックグラウンド録画)。
◎ワンセグのバックグラウンド録画中にデータ通信サービスを行うと、ワンセグの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
◎録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了する場合があります。
◎IS01でmicroSDメモリカードに保存された動画は、他の機器で再生できない場合や、ファイル名などの情報が異なって表示される場合があります。

コピー制御について

デジタル放送で視聴･録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。

■コピー制御信号の種類

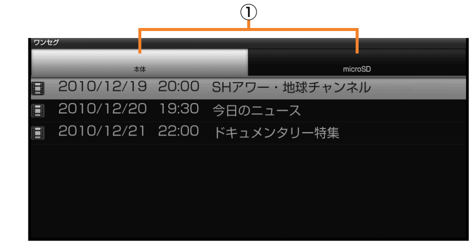
「コピー可能」の番組	録画できます。コピー回数に制限はありません。
「ダビング10」の番組	録画できます。本体に録画した番組は、9回までmicroSDメモリカード内の「SD_VIDEO」フォルダにコピーできます。10回目は移動のみの操作になります。
「1回だけコピー可能」の番組	録画できます。本体に録画した番組はmicroSDメモリカード内の「SD_VIDEO」フォルダに移動できます。
「コピー禁止」の番組	録画はできません。視聴のみ可能です。

memo

◎録画したテレビ番組は、著作権保護されたデータとして保存されます。メールに添付したり、壁紙などの機能への登録はできません。
◎録画中にコピー制御情報が変更される場合があります。「コピー禁止」の番組に変更された場合は、それまでに録画したデータを保存して、録画を中止します。
◎microSDメモリカードに録画した番組は、コピーできません。
◎「ダビング10」の番組をmicroSDメモリカードに移動すると、コピー回数が10回に満たなくてもその後はコピーできません。

録画したテレビ番組を再生する

1 ワンセグメニュー画面で[TVプレイヤー]



《録画番組の一覧画面》

① **保存先**
録画ファイルの保存先を本体／microSDメモリカードから選択します。

2 番組を選択

再生が開始されます。



《TVプレイヤー画面(全画面)》

映像にタッチすると、画面が次の順に切り替わります。
「全画面」「パンスキャン※」「データ放送あり」「データ放送なし」
※映像の上下または左右の一部をトリミングして、画面いっぱいに拡大表示します。



《TVプレイヤー画面(データ放送あり)》

① **映像**
② **字幕**
③ **情報表示**
④ **巻き戻し※、再生／一時停止表示、早送り※**
※一時停止中はコマ戻し／コマ送りします。
⑤ **現在の再生時間／全再生時間**
⑥ **再生／一時停止、前後スキップ**
⑦ **音量切替**
⑧ **リモコン**
1～12の数字キー操作画面を表示します。
数字キーはリモコン番号に対応していますが、データ放送で使用する場合もあります。
⑨ **データ放送**
⑩ **画質調整**
- **ジャンル**：番組のジャンルに応じて画質を選択できます。(「標準」「ダイナミック」「スポーツ」「映画」)
- **コントラスト**
- **黒レベル**
- **色の濃さ**

- 色あい
- シャープネス
- バックライト

（チェックボックスにチェックを入れると自動調整できます）

⑪ **停止**

⑫ **画面切替**

画面を切り替えます。

⑬ **ワンセグ終了**

■再生時のキーボード操作について

[▲]／[▼]：音量を調節／データ放送表示の選択の移動（データ放送表示時）

[▶]：早送り（再生中）／コマ送り（一時停止中）

[◀]：巻き戻し（再生中）／コマ戻し（一時停止中）

[◀]（長押し）：番組の先頭にスキップ

[ALT]＋[8]／[ALT]＋[9]：音量を調節

[SHIFT]＋[▶]／[SHIFT]＋[◀]：30秒先／15秒前の位置にスキップ

[ENTER]※：一時停止（再生中）／再生（一時停止中・巻き戻し中）

※「全画面」または「パンスキャン」表示時のみ

■TVプレイヤー画面のオプションメニューについて

1 TVプレイヤー画面で(MENU)

2

一時停止／再生	再生を一時停止／再開します。
再生停止	再生を停止して、録画番組の一覧画面を表示します。
再生操作	再生操作を選択します。 「先頭から」「スキップ（進む）」「スキップ（戻る）」
プロパティ	再生中の録画ファイルのプロパティを表示します。
AV設定	▶P.178「画面サイズや映像・サウンドを設定する」
詳細設定	▶P.184「ワンセグの設定をする」
データ放送トップに戻る※	データ放送のトップ画面に戻ります。
TV終了	ワンセグを終了します。

※「データ放送あり」表示時のみ選択できます。

■録画番組一覧画面のオプションメニューについて

1 録画番組の一覧画面で(MENU)

2

ファイル名変更	録画ファイルの名前を変更します。
削除	録画ファイルを削除します。 「1件削除」「全件削除」
microSDへコピー	本体に保存された録画ファイルをmicroSDメモリカードへコピーします。
microSDへ移動	本体に保存された録画ファイルをmicroSDメモリカードへ移動します。
再生モード	再生方法を切り替えます。 「通常再生」「リピート再生」
プロパティ	選択した録画ファイルのプロパティを表示します。
メモリ残量表示	本体とmicroSDメモリカードの空き容量や録画可能時間などの情報を表示します。

ワンセグの設定をする

1 ワンセグ視聴画面で(MENU)

ワンセグメニュー画面で「設定」を選択しても同様に操作できます。

2

録画※1	録画／視聴予約	▶P.179「テレビ番組を視聴予約／録画予約する」	
	録画開始／録画停止	視聴中の番組の録画を開始／停止します。	
チャンネル設定※1		▶P.185「チャンネルを設定する」	
AV設定※1		▶P.178「画面サイズや映像･サウンドを設定する」	
詳細設定	予約時間お知らせ	アラーム音	予約開始時のアラーム音のON／OFFを設定します。
		ライト	予約開始時のライトのON／OFFを設定します。
		アラーム音通知時間	アラームが鳴るタイミングを設定します。 「1分前」「3分前」「5分前」
	データ放送	画像保存先設定	画像の保存先を設定します。 **本体**：IS01本体 **microSD**：microSDメモリカード内の「media¥image」フォルダ
		通信接続時確認設定	通信時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
		位置情報利用設定	位置情報（GPS情報）を利用するかどうかを設定します。 「On」「Off」「毎回確認」
		端末情報利用設定	端末情報を利用するかどうかを設定します。
		放送局メモリ削除	放送局からの情報やデータ放送で登録した情報などを削除します。 「1件削除」「全件削除」
	録画保存先設定	録画ファイルの保存先を設定します。 「本体」「microSD」	
	オートオフ時間設定	オートオフの時間を設定します。 「OFF」「10分」「30分」「60分」「90分」「120分」	
	字幕／音声設定	字幕表示	字幕の表示方法を設定します。 「On」「マナーモード連動」「Off」
		字幕表示位置	全画面表示、パンスキャン時の字幕の表示位置を設定します。 「上」「下」
		字幕言語	字幕に表示する言語を設定します。 「言語1」「言語2」
		音声種別	音声の出力種別を設定します。 「主」「副」「主／副」
		音声言語	音声の言語を設定します。 「言語1」「言語2」
データ放送トップに戻る※1※2		データ放送のトップ画面に戻ります。	
TV終了※1		ワンセグを終了します。	

※1 ワンセグメニュー画面の「設定」では表示されません。
※2 「データ放送あり」表示時のみ選択できます。

チャンネルを設定する

お使いの地域（放送エリア）によって受信チャンネルは異なります。放送エリアは10件まで登録できます。

1 ワンセグ視聴画面で(MENU)→[チャンネル設定]

2

エリア切替	使用するエリアを切り替えます。 「MENU」を選択して下記の設定を行うことができます。 **表示**：選択しているエリアの詳細情報を表示します。 **エリア情報設定**：選択しているエリアのチャンネルを再設定します。 **チャンネル更新**：選択しているエリアの設定を消去して更新します。 「全更新」「追加更新」 **エリア名変更**：選択しているエリアの名前を変更します。 **設定リセット**：選択しているエリアの設定をリセットします。
チャンネル切替	チャンネルを切り替えます。 チャンネルを選択→[削除]でチャンネルを削除できます。
チャンネル保存	視聴中のチャンネルを新たに登録します。

memo

◎地上デジタルテレビ放送のサービスが開始されたばかりの地域では、うまく設定されない場合があります。

リモコン番号を変更する

各放送局に割り当てられたリモコン番号を変更します。

1 ワンセグ視聴画面で変更する放送局を選択→新しいリモコン番号に対応する数字キーを長押し

ブルーレイディスクレコーダーと接続する

IS01とブルーレイディスクレコーダー（以下「BDレコーダー」）をUSBケーブルで接続すると、BDレコーダーで録画した番組をmicroSDメモリカードに転送できます。接続にはmicroUSB-USB変換ケーブルをご使用ください。

詳しい操作方法は、BDレコーダーの取扱説明書をご確認ください。

1 microUSB-USB変換ケーブルをBDレコーダーに接続

2 microUSB-USB変換ケーブルをIS01に接続

3 IS01のステータスエリアをタップ→[USBアイコン]をタップ→[起動する]→[外部メモリ転送モード]

メインメニューで[設定]→[システム]→[USB設定]→[USB接続モード]→[外部メモリ転送モード]を選択しても設定できます。

4 お知らせエリアをタップ→[USB接続]→[マウント]

BDレコーダーを操作することで、microSDメモリカードに録画番組データを転送できるようになります。

5 BDレコーダーを操作して録画番組データをIS01に転送

6 転送が完了したらお知らせエリアをタップ→[USBストレージをOFFにする]→[OFF]

memo

◎マウント中は、IS01のアプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。マウント中にmicroSDメモリカードを使用するアプリケーションを操作すると再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、外部メモリ転送モードを解除してから再度操作してください。

◎microSDメモリカードにデータを保存中は、マウントできません。

■録画番組データを再生する

転送された録画番組データは、メディアプレーヤー(▶P.194)で再生できます。

再生操作は以下のどちらでも可能です。

- メディアプレーヤーの一覧画面で[メディア切替]→ムービーデータ一覧画面で「レコーダー連携」タブを選択→データを選択
- コンテンツマネージャー(▶P.188)で「TV録画」カテゴリを選択→データを選択

memo

◎対応機種については、以下のホームページをご参照ください。
- シャープケータイdaSHブルーレイディスクレコーダー連携ガイド
http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/bluray/a/index.html

◎外部録画番組データは、microSDメモリカード内の「SD_VIDEO」フォルダの録画データとあわせて最大99件まで保存できます。

◎録画番組データを転送すると、microSDメモリカードに保存できるデータの件数は少なくなります。

◎録画時間の長い番組データは転送してもリストに表示されない場合があります。

◎転送した録画番組データの再生方法はテレビ(ワンセグ)再生時と同様の操作です。ただし、一部操作できないものがあります。

◎BDレコーダーで録画した番組データは、字幕は表示されません。

◎BDレコーダーで録画した番組の再生中は、「音声言語」が無効となります。二ヶ国語放送などの番組を再生する場合は、視聴中の画面で「音声種別」(▶P.184)を選択し、再生する音声をあらかじめ設定してください。

◎microSDメモリカードの空き容量によっては、BDレコーダー側でエラーが表示される場合があります。microSDメモリカードの空き容量をご確認ください。

コンテンツマネージャーとmicroSDメモリカード

コンテンツマネージャーを利用する

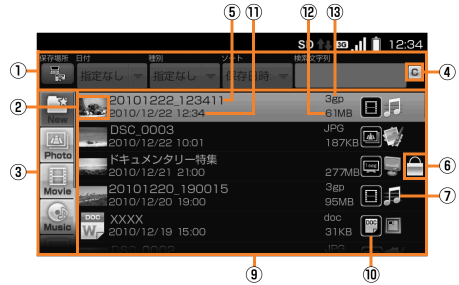
コンテンツマネージャーは、本体メモリ内およびmicroSDメモリカード内のデータを分類して一覧表示し、再生／表示、確認、管理を行うことができます。

コンテンツマネージャーを起動する

1 クイックメニューで[コンテンツマネージャー]



《コンテンツ表示画面（グリッド表示）》



《コンテンツ表示画面（リスト表示）》

① **検索条件エリア**
保存場所、日付、種別、ソート、検索文字列でデータを検索できます。

② **サムネイル**
データのサムネイルを表示します。サムネイルが表示できない場合はデータ種別のアイコンを表示します。

③ **カテゴリ**
各カテゴリをタップすると、選択したカテゴリのデータをコンテンツ表示エリアに表示します。
▶P.189「カテゴリで探す」

④ **検索文字列削除**
入力した文字列を削除します。

⑤ **ファイル名**
タイトル情報を持つデータの場合は、タイトル名を表示します。TV録画の場合は番組名を表示します。

⑥ **著作権保護**
著作権保護されたデータの場合にアイコンを表示します。

⑦ **再生プレイヤー**
データを再生／表示するアプリケーションのアイコンを表示します。

⑧ **簡易情報表示**
選択しているデータの情報を表示します。
⑨ **コンテンツ表示エリア**
データの一覧を表示します。グリッド表示とリスト表示を切り替えることもできます。
⑩ **データ種別**
⑪ **更新日時**
ミュージックデータの場合は、アーティスト名も表示します。
⑫ **ファイルサイズ**
⑬ **拡張子**

データを検索する

カテゴリキーと検索条件エリアを利用して検索します。

■カテゴリで探す

カテゴリキーでデータを分類･表示できます。

キー	カテゴリ名称	表示データ
New	最新	すべてのカテゴリと保存場所に関係なく、保存日付の新しいものから30件を表示します。
Photo	フォト	内蔵のカメラで撮影したフォト、デコレーション絵文字、その他静止画を表示します。
Movie	ムービー	内蔵のビデオカメラで録画したデータ、その他の動画を表示します。
Music	ミュージック	内蔵のボイスレコーダーで録音したデータ、音楽、効果音(サウンド)を表示します。
TV	TV録画	ワンセグ録画データやレコーダー連携のデータなどの録画データを表示します。
Doc.	ドキュメント	Officeのデータ、PDFおよびテキストデータを表示します。
Others	その他	上記以外のデータを表示します。

memo

◎ 他のアプリケーションからコンテンツマネージャーを起動した場合は、起動元のアプリケーションで指定したカテゴリのみが表示されます。
◎ 検索条件エリアのいずれかの条件を変更すると、新しい条件でデータを並べ替えます。
◎ コンテンツマネージャーでデータの検索中などに音声着信、アラーム、メール受信など他のアプリケーションが起動した場合、コンテンツマネージャーでの動作を中断します。他のアプリケーションを終了すると、中断した内容が表示され、再開することができます。

■検索条件で探す

カテゴリを選択してから、次の検索条件で目的のデータを検索します。

検索条件	検索内容
保存場所	「本体」「microSD」 • 他のアプリケーションからコンテンツマネージャーを参照した場合は、「プリセット」のデータを選択できる場合があります。
日付	「指定なし」「1週間以内」「1カ月以内」「日付指定」 • 「日付指定」を選択すると、検索する範囲を開始年月日と終了年月日で指定できます。 **[開始年月日][終了年月日]を入力→[設定]** カレンダーをタップすると拡大表示されます。前後の月を表示することもできます。 • 日付指定の開始年月日と終了年月日は、指定期間を前後逆の年月日に指定することはできません。
種別	カテゴリごとの種別条件で表示します。 ▶右記「種別条件ごとに表示されるデータ」 • 「その他」のカテゴリでは種別条件はありません。
ソート	「保存日時：昇順／降順」「タイトル：昇順／降順」「ファイルサイズ：昇順／降順」
検索文字列	タイトル名／アーティスト名などで検索する場合に利用します。検索文字列は、文字入力欄をタップして、全角／半角50文字まで入力できます。 • 検索文字列に「絵文字」「デコレーション絵文字」「改行」は入力できません。 • 入力した文字列を削除するには、文字入力欄右のCをタップします。

※「最新」カテゴリでは検索は行えません。

memo

◎検索結果は最大10,000件まで表示できます。

■種別条件ごとに表示されるデータ

検索条件の種別条件ごとに表示されるデータは次の通りです。

カテゴリ	種別条件	表示データ
フォト	デジタルカメラ画像	拡張子が「.jpeg」「.jpg」でExif形式のデータ
	デコレ絵文字	拡張子が「.jpeg」「.jpg」「.gif」で画像サイズが20×20（縦×横）のデータ
	その他	上記以外の画像データ（.jpeg／.jpg／.gif／.png／.bmp／.wbmp）
ムービー	撮影動画	IS01で撮影した動画（.3gp） • microSDメモリカードに保存されているデータの場合は、「movie」フォルダにある次のデータが表示されます。 拡張子が「.3gp」「.3gpp」「.3g2」「.3gpp2」「.mp4」「.m4v」「.wmv」「.asf」のデータ
	ダウンロード動画	ダウンロードした動画（.3gp／.3gpp／.3g2／.3gpp2／.mp4／.m4v／.wmv／.asf） • microSDメモリカードに保存されているデータの場合は、「download」フォルダにあるデータが表示されます。
	その他	上記以外の動画データ（.3gp／.3gpp／.3g2／.3gpp2／.mp4／.m4v／.wmv／.asf）
ミュージック	ミュージック	拡張子が「.amr」「.awb」「.3gp」「.3g2」「.3gpp」「.3gpp2」「.m4a」「.mp4」「.mp3」「.wma」「.aac」のデータ
	サウンド	拡張子が「.mid」「.midi」「.xmf」「.mxmf」「.rtttl」「.rtx」「.ogg」「.oga」「.imy」「.ota」「.wav」「.smf」「.mmf」のデータ
TV録画	ワンセグ	ワンセグ録画コンテンツ
	レコーダー連携	レコーダー連携コンテンツ

カテゴリ	種別条件	表示データ
ドキュメント	Office文書	拡張子が「.doc」「.xls」「.ppt」「.csv」「.docx」「.xlsx」「.pptx」のデータ
	PDF	拡張子が「.pdf」のデータ
	txt	拡張子が「.txt」のデータ
その他	—	拡張子が「.cpl」「.kda」「.kdr」「.khm」「.swf」「.tar」「.vcf」「.ics」「.vcs」「.vmg」「.vnt」「.amc」「.qcp」「.hvs」「.m3f」「.mqf」「.kcf」「.auc」「.mcx」「.eml」「.html」「.htm」「.url」「.vbm」「.m3u」「.pls」「.wpl」「.zbf」「.zbk」「.iwn」のデータ • microSDメモリカードに保存されているデータの場合は、「download」または「PRIVATE￥SHARP￥CM」フォルダにあるデータが表示されます。

memo

◎ コンテンツマネージャーで表示されるデータの中には、IS01で表示や再生ができないものもあります。

グリッド表示とリスト表示を切り替える

1 **コンテンツ表示画面でカテゴリを選択→[MENU]→[グリッド／リスト切り替え]**

memo

◎ グリッド表示(サムネイル表示)とリスト表示の切り替えは、カテゴリごとに設定できます。

データを再生／表示する

1 **コンテンツ表示画面でカテゴリを選択**

2 **データの保存場所([本体]／[microSD])を選択**

3 **再生／表示するデータにカーソルを移動して選択**

データの種別に応じたアプリケーションが起動し、データが再生／表示されます。

再生／表示するアプリケーションが複数存在する場合(再生プレイヤーアイコンがの場合)は、データを選択すると「アプリケーションを選択」画面が表示されます。アプリケーションを選択するとデータが再生／表示されます。

■ 再生するアプリケーションを変更するには

1 **再生するデータにカーソルを移動→[MENU]→[再生プレイヤー]→[プレイヤー変更]→アプリケーションを選択**

「一覧表示」を選択すると、ファイル形式と関連付けされているアプリケーションの種類を表示します。

memo

◎ 再生プレイヤーアイコンにが表示されている場合は、再生できません。

◎ データの再生／表示中に利用できる機能は、再生／表示するアプリケーションにより異なります。

フォト（画像）を表示する

コンテンツ表示画面でフォトデータを選択すると、表示アプリケーションとして「フォトビューア」が起動し、1件表示画面が表示されます。
操作方法については、「フォトビューアを利用する」（▶P.168）をご参照ください。

ミュージック／ムービー（動画）を再生する

コンテンツ表示画面でミュージック／ムービーのデータを選択すると、再生アプリケーションとして「メディアプレーヤー」が起動し、再生が開始されます。
操作方法については、「ミュージック／ムービー（動画）を再生する」（▶P.197）をご参照ください。

TV録画を再生する

コンテンツ表示画面でTV録画データを選択すると、再生アプリケーションとして「ワンセグ」が起動し、TVプレイヤー画面が表示されます。
操作方法については、「録画したテレビ番組を再生する」（▶P.182）をご参照ください。

ドキュメントを表示する

コンテンツ表示画面でドキュメントのデータを選択すると、表示アプリケーションとして「Documents To Go」が起動し、Documents To Goの各アプリケーション画面が表示されます。
操作方法については、「Documents To Goを利用する」（▶P.200）をご参照ください。

データを利用する／管理する

コンテンツマネージャー上で、データの送信やアップロード、編集や削除などさまざまな操作ができます。

1 コンテンツ表示画面で［MENU］

2

スライドショー	フォトカテゴリ内にあるデータをスライドショーで再生します。 ▶P.172「撮影データを自動再生する」
メールへ添付	選択したデータをメールに添付します。 メールアプリケーションを選択できます。 「メール」「Gmail」
共有	選択したデータをメールに添付して送信、またはPicasaやmixiなどにアップロードできます。 「Gmail」「mixi for SH」「Picasa」「メール」
赤外線送信	選択したデータを赤外線通信機能を利用して送信します。 「通常送信」「IrSS送信」 ▶P.220「赤外線でデータを送信する」
Bluetooth送信	選択したデータをBluetooth®機能を利用して送信します。 ▶P.210「Bluetooth®機能を利用する」
ブログ投稿	フォトカテゴリで選択したデータをブログにアップロードします。 ▶P.126「ブログに投稿する」
画像編集	画像を編集できます。 ▶P.169「フォトビューアのオプションメニューを利用する」
ファイル名編集	ファイル名を編集します。 • ファイル名は、全角／半角50文字まで入力できます。 • コンテンツ表示エリアにタイトル名が表示されている場合、ファイル名を変更してもタイトル名は変更されません。

削除	データを選択して削除します。 「1件選択」「複数選択」「全件選択」
本体へ移動	データを選択して、microSDメモリカードから本体メモリへ移動します。 「1件選択」「複数選択」「全件選択」
本体へコピー	データを選択して、microSDメモリカードから本体メモリへコピーします。 「1件選択」「複数選択」「全件選択」
microSDへ移動	データを選択して、本体メモリからmicroSDメモリカードへ移動します。 「1件選択」「複数選択」「全件選択」
microSDへコピー	データを選択して、本体メモリからmicroSDメモリカードへコピーします。 「1件選択」「複数選択」「全件選択」
登録	▶右記「データを他のアプリケーションに登録する」
再生プレイヤー	▶P.191「データを再生／表示する」
グリッド／リスト切り替え	▶P.191「グリッド表示とリスト表示を切り替える」
使用状況	本体メモリ／microSDメモリカードの使用状況を確認できます。
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。 「タイトル」「ファイル名」「ファイルサイズ」「表示サイズ」「更新日時」「拡張子」「再生時間」「アルバム名」「アーティスト名」「放送局名」「コピー可否」「コピー可能回数」
アプリケーション設定	▶P.194「コンテンツマネージャーを設定する」
ヘルプ	コンテンツマネージャーの機能説明を参照できます。

※選択しているカテゴリやデータの種類により、表示される項目は異なります。

データを他のアプリケーションに登録する

コンテンツマネージャーからフォトデータやミュージックデータを着信画像や着信音に登録できます。

1 コンテンツ表示画面で「フォト」／「ミュージック」カテゴリを選択

2 登録するデータを選択して[MENU]→[登録]

3

フォト	ミュージック
音声着信画像	音声着信音
メール受信画像	メール受信音
PCメール受信画像	PCメール受信音
待受画面（壁紙登録）	お知らせ受信音
メール送信中画像	―
メール受信中画像	―

memo

◎「保存場所」がmicroSDメモリカードのデータを選択した場合は、データを本体メモリへ移動するメッセージが表示されます。「はい」を選択して登録します。

◎フォトを電話帳へ登録するには、フォトデータを1件表示（拡大表示）して[MENU]→[登録]→[電話帳]を選択します。

◎著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

コンテンツマネージャーを設定する

あらかじめコンテンツ表示画面での検索条件の有効範囲などを設定することができます。

1 **コンテンツ表示画面で[MENU]→[アプリケーション設定]**

2

検索条件設定	保存場所の対象範囲設定	各検索条件での検索対象範囲を設定します。 「全カテゴリ共通」 「各カテゴリ個別」
	日付の対象範囲設定	
	検索文字列の対象範囲設定	
	ソートの対象範囲設定	
	検索条件の保存設定	検索条件を保存するかどうかを設定します。 「保存する」「保存しない」
簡易情報表示設定	簡易詳細情報の表示設定	コンテンツ表示画面でデータを選択したときに、簡易詳細情報を表示するかどうかを設定します。 「表示する」「表示しない」
	選択後の表示時間設定	データを選択後、簡易詳細情報を表示するまでの時間を設定します。 「0秒」「1秒」「2秒」「3秒」「5秒」
設定を初期値に戻す	上記2項目の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。	

メディアプレーヤーを利用してデータを再生する

メディアプレーヤーではミュージックやムービー（動画）を再生することができます。音声を外部に出力したり、ブルーレイディスクレコーダーと連携してムービーを再生することもできます。

memo

◎IS01上でダウンロードしたり、録画･録音したデータだけでなく、パソコンと連携してmicroSDメモリカードに取り込んだデータも再生できます。パソコンとの連携については、「パソコンと連携する」（▶P.245）をご参照ください。

メディアプレーヤーで再生できるデータの種類

再生可能なデータは以下の通りです。

ミュージック

MP4(.m4a)、3GPP(.3gp)、MP3(.mp3)、WMA(.wma／.asf)

ムービー

MP4(.mp4)、3GPP(.3gp)、WMV(.wmv／.asf)

※データによっては再生できない場合があります。

メディアプレーヤーを起動する

1 メインメニューで[メディアプレーヤー]



《メディアプレーヤーの楽曲一覧画面（全曲タブ表示）》

① **検索条件エリア**
保存場所、並べ替え（保存日時や曲名など）、検索文字列でデータを検索できます。

② **タブ**
各タブをタップすると、選択したカテゴリのデータをコンテンツ表示エリアに表示します。

③ **メディア切替**
表示をムービー／ミュージックで切り替えます。

④ **コンテンツ表示エリア**
データの一覧を表示します。

各タブで表示されるデータ

タブ	表示データ
全曲	ミュージックのデータを全曲表示します。
アルバム	曲をアルバムごとに分類して表示します。
アーティスト	曲をアーティストごとに分類して表示します。
ジャンル	曲をジャンルごとに分類して表示します。
プレイリスト	プレイリストを一覧表示します。
ムービー	動画データを一覧表示します。
レコーダー連携	ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画データを表示します。

プレイリストを作成／管理する

プレイリストを作成する

■ 1曲ずつ登録する

1 登録する曲データにカーソルを移動→[登録]

2 [新規作成]→プレイリスト名を入力→[OK]

新規プレイリストが作成されます。

3 曲を追加する場合は、1と同様の操作で、追加する曲データを選択→2で作成したプレイリストを選択

memo

◎「プレイリスト」タブを選択→[新規作成]で、あらかじめプレイリストを作成してから曲を登録することもできます。
◎IS01で作成したプレイリストだけでなく、パソコンと連携してmicroSDメモリカードに取り込んだプレイリストも利用できます。

■ アルバムごとに一括で登録する

1 「アルバム」タブを選択→登録するアルバムにカーソルを移動→[一括登録]

2 [新規作成]→プレイリスト名を入力→[OK]→[はい]

3 アルバムを追加する場合は、1と同様の操作で、追加するアルバムデータを選択→2で作成したプレイリストを選択→[はい]

■ プレイリストを編集する

■ プレイリストの名前を変更する

1 「プレイリスト」タブを選択→変更するプレイリストにカーソルを移動→[名前変更]→プレイリスト名を入力→[OK]

■ プレイリストを削除する

1 「プレイリスト」タブを選択→削除するプレイリストにカーソルを移動→[削除]→[はい]

memo

◎ プレイリストを削除しても、データは削除されません。

■ プレイリストを編集する

プレイリストの曲順を変更したり、曲を削除できます。

1 「プレイリスト」タブを選択→編集するプレイリストにカーソルを移動→[決定]

プレイリストに登録されている曲データのリスト画面が表示されます。

2 変更する曲データにカーソルを移動→[編集]

3 編集方法を選択([はずす]／[上へ]／[下へ])→[編集終了]

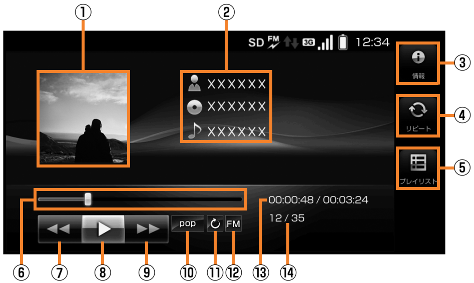
memo

◎ 登録されている曲をプレイリストから削除しても、データは削除されません。

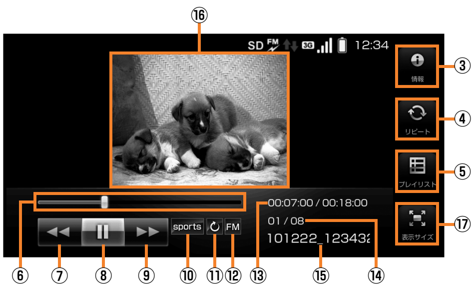
ミュージック／ムービー（動画）を再生する

1 メディアプレーヤーの一覧画面で再生するデータにカーソルを移動→［再生］

再生が開始されます。



《ミュージック再生》



《ムービー再生》

① **アルバムアートワーク**

② **アーティスト名・アルバム名・曲名**

③ **情報**

詳細情報を表示します。

④ **リピート**

再生モード（再生時にリピートするかどうか）を設定します。設定した内容を⑪で表示します。

⑤ **プレイリスト**

ミュージックまたはムービーの一覧画面を表示します。

⑥ **シークバー**

再生位置をドラッグして移動できます。

⑦ **巻き戻し／前スキップ**

ロングタッチで巻き戻しします。再生時間を約1秒以上過ぎてタップすると、そのデータの先頭にスキップします。約1秒以内にタップすると、前のデータにスキップします。

⑧ **再生／一時停止**

⑨ **早送り／次スキップ**

ロングタッチで早送りします。タップすると次のデータにスキップします。

⑩ **サウンド効果**

再生画面で（MENU）→［ミュージック設定］／［ムービー設定］→［サウンド効果］で設定したサウンド効果を表示します。

ミュージック再生時

pop：ポップ　rock：ロック　jazz：ジャズ

dance：ダンス　classic：クラシック　custom：カスタム

表示なし：OFF

ムービー再生時

sports：スポーツ　news：ニュース　drama：ドラマ

music：ミュージック　movie：映画　variety：バラエティ

custom：カスタム　表示なし：OFF

⑪ **リピート(再生モード)**

再生モードを表示します。

: 1曲／1トラックリピート

: 全曲／全トラックリピート

: ランダム再生

表示なし: 通常再生

※コンテンツマネージャーの「New」(最新)カテゴリからデータを再生した場合は、全曲／全トラックリピートとランダム再生はできません。

⑫ **外部出力**

Bluetooth®機能やFMトランスミッターを利用して音声出力している場合に表示します。

: Bluetooth®デバイスに出力中

FM: FMトランスミッターで出力中

⑬ **現在の再生時間／全再生時間**

⑭ **トラック番号／全曲(全トラック)数**

⑮ **ファイル名**

⑯ **ムービー**

⑰ **表示サイズ**

通常表示／全画面表示(ノーマル)／全画面表示(シネマ)を切り替えます。

■再生中のキーボード操作について

▲／▼: 巻き戻し／再生／早送りキーの選択移動

▶: 次のデータにスキップ

◀: データの先頭にスキップ／前のデータにスキップ(再生開始後約1秒以内)

(スペースキー): 再生／停止

ALT＋8／ALT＋9: 音量を調節

memo

◎再生するデータの種類によって、再生画面で表示される内容は異なります。

◎メディアプレーヤーの再生画面でMENUを押すとオプションメニューが表示され、以下の操作ができます。

プレイリスト表示	メディアプレーヤーの一覧画面を表示します。
コンテンツ情報表示	次の情報を表示します。 「タイトル」「アーティスト名」「アルバム名」 「ジャンル／説明」「総再生時間」「作成年」「更新日時」 「表示サイズ」「ファイルサイズ」「ファイル名」 「著作権保護」 • データにより表示される項目は異なります。
ミュージック設定	ミュージックの再生モードとサウンド効果を設定します。 **再生モード**: 「通常再生」「1曲リピート」「全曲リピート」「ランダム再生」 **サウンド効果**: 「OFF」「ポップ」「ロック」「ジャズ」「ダンス」「クラシック」「カスタム」 • 「カスタム」を選択すると音質を微調整できます。 「高音域」「低音域」「サラウンド」「エンハンサ」
ムービー設定	ムービーの表示切替、再生モード、サウンド効果、画質を設定します。 **表示切替**: 「通常表示」「全画面表示(ノーマル)」「全画面表示(シネマ)」 **再生モード**: 「通常再生」「1トラックリピート」「全トラックリピート」「ランダム再生」 **サウンド効果**: 「OFF」「スポーツ」「ニュース」「ドラマ」「ミュージック」「映画」「バラエティ」「カスタム」 **画質設定**: 次の設定ができます。 • **エフェクト**: 「標準」「ダイナミック」「スポーツ」「映画」 • **明るさ自動調整**: 「ON(明るい)」「ON」「OFF」

外部出力設定	音声の出力方法を設定します。 **本体出力**：音声をIS01本体から出力します。 **Bluetoothデバイス**：オーディオ優先接続に設定されている機器に対して、自動的に「A2DP」プロファイルで接続し、音声を出力します。機器に接続できなかった場合は登録機器一覧画面が表示され、機器を選択できます。 ▶P.213「Bluetooth®機器を登録する」 **FMトランスミッター**：音声をFM電波で出力します。 ▶右記「FMトランスミッターを利用する」
音声切替	ステレオ音源の出力方法を設定します。 「左のみ」「右のみ」「左＋右」

FMトランスミッターを利用する

メディアプレーヤーの音声をFM電波で送信し、FMチューナーを搭載しているカーステレオなどで聴くことができます。

FMトランスミッターをご利用になる前に

- FMトランスミッターは、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。このため、受信側の機器や周囲の状況により、ノイズや音の途切れ、ひずみなどが発生する場合があります。
- IS01と受信側の機器との間に障害物がある場合や、IS01に金属類を近づけた場合などもノイズや音の途切れ・ひずみなどの原因となりますのでご注意ください。
- ノイズや音の途切れ・ひずみなどが発生する場合は、IS01を受信側の機器のアンテナに向けるようにするなど、IS01の向きを変えて良好に聴こえる方向を探してください。
- Bluetooth®接続中やステレオイヤホン／USBケーブルを接続している場合はFMトランスミッターで音声を出力できません。

FMトランスミッターで音声を出力する

1 メディアプレーヤーの再生画面で(MENU)→[外部出力設定]→[FMトランスミッター]

2

FMトランスミッター利用	FMトランスミッターで出力するかどうかを設定します。
周波数設定	FMトランスミッターの出力周波数を設定します。 「78.3MHz」「79.0MHz」「81.0MHz」「82.4MHz」「85.0MHz」

3 受信側の機器で周波数を合わせる

memo

◎音量の調整は、IS01側と受信機側のどちらでも行えます。
◎FM放送局の電波干渉を避けるため、FM放送局の周波数とは異なる周波数に設定してください。
◎FMトランスミッターで出力中は、電池の消費が早くなります。
◎FMトランスミッター出力中は、IS01のスピーカーから各プレイヤーの音声は出力されません。ただし、その他の音声（音声着信など）はFMトランスミッター出力を一時中断／終了し、IS01のスピーカーから出力されます。
◎マナーモードの「ON」／「OFF」が変更されても、音量は変更されません。
◎通信を行わない充電ケーブル以外のケーブル、ステレオイヤホンを接続したときは、FMトランスミッターは一時停止され、音声はスピーカー／イヤホンから聞こえるようになります。
◎Bluetooth®の「登録機器一覧」で、ワイヤレス出力機器を選択したときは、FMトランスミッターは一時停止され、音声はBluetooth®機器から聞こえるようになります。
◎ハンズフリー機器やヘッドセット機器と接続中は、FMトランスミッターを利用できない場合があります。

Documents To Goを利用する

Microsoft WordやExcel、PowerPointなどのドキュメントを表示／編集／新規作成したり、PDFを表示することができます。
Documents To Goが対応しているドキュメントの種類とバージョンは以下の通りです。

種類		バージョン
Microsoft Word	Windows	Word 97、2000、2003、2007、2010
	Macintosh	Word 98、2001、2004、2008
Microsoft Excel	Windows	Excel 97、2000、2003、2007、2010
	Macintosh	Excel 98、2001、2004、2008
Microsoft PowerPoint	Windows	PowerPoint 97、2000、2003、2007、2010
	Macintosh	PowerPoint 98、2001、2004、2008
Adobe PDF		

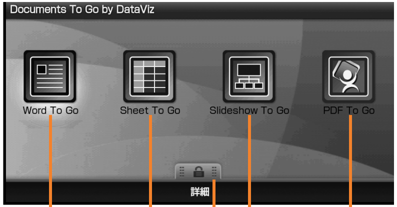
memo

◎ファイルの内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部表示が異なる場合があります。
◎フォントの種類によっては、正しく表示されないことがあります。
◎パソコンで作成したファイルをDocuments To Goで編集した場合、装飾やマクロなど一部の情報が失われることがあります。
◎Documents To Goでファイルの閲覧・編集を行うには、microSDメモリカードが必要です。あらかじめmicroSDメモリカードをセットしてご使用ください。
◎Documents To Goのバージョンを更新すると、仕様が変更されることがあります。バージョン更新の有無については、一覧画面で[MENU]→[更新チェック]で確認してください。

Documents To Goを起動する

1 メインメニューで[Documents To Go]

Documents To Goを初めて起動したときは、使用許諾や登録操作の画面が表示されます。画面の指示に従って操作を行うと、アプリケーションの一覧画面が表示されます。



《アプリケーションの一覧画面》

① Word To Go
　Microsoft Wordのファイルを表示･編集･新規作成できます。

② Sheet To Go
　Microsoft Excelのファイルを表示･編集･新規作成できます。

③ Slideshow To Go
　Microsoft PowerPointのファイルを表示･編集･新規作成できます。

④ PDF To Go
　PDFファイルを表示できます。

⑤「詳細」タブ
　詳細情報やその他利用可能な製品情報を見ることができます。

memo

◎アプリケーションの一覧画面で「MENU」をタップするとオプションメニューが表示され、以下の操作ができます。

更新チェック	バージョンアップの更新の有無を確認できます。
ご意見をお聞かせください	アプリケーションの作成元に意見や感想などを送信できます。
Documents To Goのバージョン情報	バージョンや登録番号などの情報を表示します。

Documents To Goでドキュメントを表示／編集する

1 アプリケーションの一覧画面でアプリケーションを選択

各アプリケーションのファイル選択画面が表示されます。

■既存のファイルを開く場合

2 [ファイルを開く...]→ファイルを選択

各ドキュメントの表示／編集画面が表示されます。

「最近使ったドキュメント」のリストから選択して表示することもできます。

■新規にファイルを作成する場合

2 [新規ファイルを作成...]

各ドキュメントの新規作成画面が表示されます。

memo

◎画面をタップするとズームイン／アウトキーが表示され、画面を拡大／縮小できます。

■各ドキュメントのオプションメニューを利用する

1 **各ドキュメントの表示／編集画面または新規作成画面で[MENU]**

2

ファイル	ファイルを新規作成、開く／閉じる、保存、メール送信などの機能を選択できます。
編集	選択や切り取り、コピーなどの編集機能を選択できます。
表示	ズームや移動、検索などの表示機能を選択できます。
書式	太字やイタリックなど文字の装飾や、インデント（空き）の増減などの機能を選択できます。
挿入	ページやシート、行や列、表やコメントなどの挿入機能を選択できます。
その他	環境設定やファイルプロパティ、ヘルプなどの情報を表示します。

※ ドキュメントの種類によって、オプションメニューで表示される項目は異なります。

memo

◎Documents To Goやマーケットなどからダウンロードしたアプリケーションで新規作成・保存したファイルがコンテンツマネージャーで表示されないときは、IS01を再起動してください。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカードについて

microSDメモリカード（microSDHCメモリカードを含む）をIS01にセットすることにより、アプリケーションのデータを保存したり、本体メモリのデータを移動／コピーすることができます。また、電話帳、スケジュール、タスクリストなどをmicroSDメモリカードに控えておくことができます。

memo

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎IS01が対応する1ファイルの最大サイズは2GBです。
◎他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、IS01では正常に使用できない場合があります。IS01で初期化してください。初期化の方法については「microSDメモリカードを初期化する」（▶P.205）をご参照ください。
◎microSDメモリカード内のデータを再生／表示、本体メモリとの間で移動／コピーする操作については、「データを再生／表示する」（▶P.191）、「データを利用する／管理する」（▶P.192）をご参照ください。

保護データについて

◎著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えてもIS01で再生できない場合があります。

取扱上のご注意

- 読み込み中、書き込み中、再生中、保存中、データを移動／コピーしているときに、microSDメモリカードを外したり、電池パックを取り外したり、IS01の電源を切らないでください。
  IS01本体やmicroSDメモリカードに記録したデータが壊れる（消去する）ことがあります。

- IS01にmicroSDメモリカードをセットしている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- IS01のmicroSDメモリカードスロットには、液体・金属体・燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 当社基準において動作確認したmicroSDメモリカードは、次の通りになります。その他のmicroSDメモリカードの動作確認につきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

<microSDメモリカード>

発売元	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
東芝	−	−	○	○	○	○
Panasonic	○	○	○	○	○	○
SanDisk	−	○	○	○	○	○
アドテック	○	○	○	○	○	○
バッファロー	−	○	○	○	○	○
ソニー	−	−	−	−	−	○

<microSDHCメモリカード>

発売元	4GB	8GB	16GB
東芝	○	○	○
Panasonic	○	○	○
SanDisk	○	○	○
アドテック	○	○	−
バッファロー	○	○	○
ソニー	○	○	−

○：動作確認済み　−：未確認または未発売　2010年4月現在

※IS01では、2010年4月現在販売されているmicroSDメモリカードで動作確認を行っています。動作確認の最新情報につきましては、auホームページをご参照いただくか、auお客様センターまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。

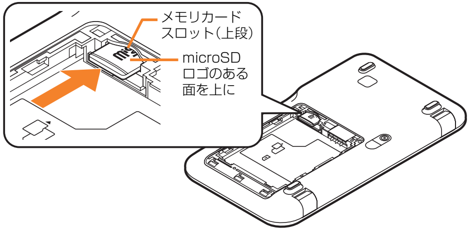
microSDメモリカードをセットする

1 IS01の電源を切り、電池パックカバーと電池パックを取り外す

電池パックカバーの開けかたは、「電池パックを交換する」(▶P.277)をご参照ください。

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくりと差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



3 電池パックを取り付け、電池パックカバーを閉じる

microSDメモリカードを本体にセットし、電源を入れると、ステータスエリアにSDが表示されます。

memo

◎microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

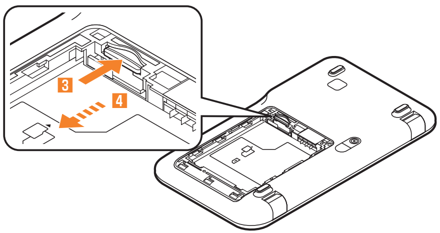
microSDメモリカードを取り外す場合は、安全のためにマウント(読み書き可能状態)を解除してから行ってください。

1 メインメニューで[設定]→[システム]→[microSD&内蔵メモリ]→[microSDのマウント解除]

2 IS01の電源を切り、電池パックカバーと電池パックを取り外す

3 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へまっすぐにゆっくりと押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



4 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードが出てこない場合は指で軽く引き出して取り外してください。

5 電池パックを取り付け、電池パックカバーを閉じる

memo

◎アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
◎microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
◎マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、microSDメモリカードを挿入したままで電源を入れ直してください。
◎microSDメモリカードにデータを保存中は、マウント解除操作できません。

microSDメモリカードの使用状態を確認する

1 メインメニューで[設定]

設定メニュー画面が表示されます。

2 [システム]→[microSD&内蔵メモリ]→[microSD使用状況]

memo

◎メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータはすべて削除されます。

1. **設定メニュー画面で[システム]→[microSD&内蔵メモリ]→[microSDのマウント解除]**
2. **[microSD初期化]→[はい]→ロックNo.を入力→[OK]**
   フォーマット(初期化)の確認画面が表示されます。
3. **[microSDをフォーマット]→[すべて消去]**

memo

◎初期化は、充電しながら行うか、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。

本体メモリ内のデータをバックアップする

バックアップファイルを保存する

電話帳、受信メール、送信メール、未送信メール、ブックマーク、スケジュール、タスクリスト、メモ帳、ユーザー辞書(iWnn IME - SH edition)の登録内容をmicroSDメモリカードにバックアップして、控えを作成できます。

1. **設定メニュー画面で[システム]→[microSD&内蔵メモリ]→[SDバックアップ]**
   microSD保存・読み込み画面が表示されます。
2. **[保存]→ロックNo.を入力→[OK]**
   保存できるデータカテゴリの一覧が表示されます。
3. **保存するデータカテゴリのチェックボックスにチェックを入れる**
   電話帳にチェックを入れた場合は、登録している画像も一緒にバックアップするかどうかの確認メッセージが表示されますので、「はい」/「いいえ」をタップします。
   すべてのカテゴリにチェックを入れる場合は、「全件チェック」をタップします。
   前回バックアップ時と同じ項目にチェックを入れる場合は、「前回選択項目のチェック」をタップします。
4. **[開始]**
   処理中は着信できない旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると電波OFFモードがONに設定され、バックアップが開始されます。
   バックアップを完了しても電波OFFモードが元に戻らない場合は、手動で元に戻してください。
5. **[完了]**

memo

◎電池残量が少ないときはバックアップできません。
◎バックアップデータはデータカテゴリごとに1,000ファイルまで保存できます。

受信メールについて

◎プリセットデータはバックアップできません。

スケジュールについて

◎オンラインサービスのサーバ上にあるデータと同期して表示されているスケジュールはバックアップできません。

バックアップファイルを読み込む

1 microSD保存・読み込み画面で[読み込み]

2 ロックNo.を入力→[OK]

読み込むデータカテゴリの一覧が表示されます。

3 読み込むデータカテゴリを選択

各カテゴリ内のバックアップファイルが一覧表示されます。

- すべてのカテゴリにチェックを入れる場合は、「全件チェック」をタップします。

4 読み込むバックアップファイルを選択

5 [追加登録開始]／[上書登録開始]

読み込みの確認画面が表示されます。

6 [はい]

処理中は着信できない旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると電波OFFモードがONに設定され、読み込みが開始されます。
読み込みを完了しても電波OFFモードが元に戻らない場合は、手動で元に戻してください。

7 [完了]

memo

◎読み込みできるデータ件数の上限は次の通りです。
- 受信メール：9,999件
- 送信メールと未送信メール：合わせて3,000件
- その他：件数の上限なし

◎電池残量が少ないときは読み込みできません。
◎バックアップデータを上書登録中に操作がキャンセルされた場合は、処理中の端末内のデータは削除され、キャンセルする直前までのバックアップデータが登録されます。

ユーザー辞書について

◎ユーザー辞書は追加登録を行った場合でも上書きされます。

バックアップファイルを設定・管理する

1 **microSD保存・読み込み画面で［設定・管理］**

2

バックアップファイルの整理	各データカテゴリ内で、バックアップファイルを個々に選択して削除することができます。 • バックアップデータは1,000ファイルまで表示されます。
電話帳バックアップデータの画像設定	電話帳をバックアップするときに画像を含めるかどうかを設定できます。 「含める」「含めない」
結果画面閲覧	バックアップ／読み込み操作の結果一覧が表示されます。項目を選択すると詳細結果を確認できます。 「バックアップ結果詳細」 「読み込み結果詳細」

microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する

microSDメモリカードの内容をパソコンで確認する方法は、次の2つがあります。

- IS01にmicroSDメモリカードをセットしたまま、IS01とパソコンを接続する（▶P.245「microUSB-USB変換ケーブルで接続する」）
- microSDメモリカードをIS01から外し、パソコンのmicroSDメモリカードリーダーにセットする

パソコンでmicroSDメモリカードを確認すると、次のように表示されます。

- リムーバブルディスク
  - DCIM ―― IS01で撮影したフォトデータを保存
  - documents ―― Documents To Goで作成したOffice文書データを保存
  - download ―― IS01でダウンロードしたデータ（壁紙／音楽など）
  - movie ―― IS01で録画したムービーデータを保存
  - PRIVATE
    - AU
      - BU ―― バックアップデータを保存
電話帳／ブラウザのブックマーク／スケジュール／タスクリストのバックアップデータを保存します。
    - AU_MSC ―― LISMO関連
    - PV ―― 著作権保護機能対応データを保存
    - SHARP
      - BACKUP ―― 電話帳／メール／ブラウザのブックマーク／スケジュール／タスクリスト／メモ帳／ユーザー辞書（iWnn IME - SH edition）のバックアップデータを保存
      - CM ―― コンテンツマネージャーが扱うファイルを保存
        - DOC ―― ドキュメント
        - ETC ―― その他
        - MOVIE ―― ムービー
        - MUSIC ―― ミュージック
        - PICTURE ―― フォト
        - SOUND ―― 音声
      - MTP ―― パソコンからMTP転送したデータを保存
  - SD_VIDEO ―― ワンセグ録画データおよびブルーレイディスクレコーダーから転送されたデータを保存
  - DEVPROF ―― ブルーレイディスクレコーダーからの外部録画データの転送に必要なファイルを保存

memo

BU／AU_MSC／PV／BACKUP／SD_VIDEOフォルダについて

◎IS01から操作するためのフォルダです。これらのフォルダおよび保存されているデータをパソコンなどの外部機器で操作しないでください。IS01でデータを正常に表示できなくなる可能性があります。

DEVPROFフォルダについて

◎ブルーレイディスクレコーダーからの外部録画データの転送時に必要なフォルダです。これらのフォルダおよび保存されているデータをパソコンなどの外部機器で操作しないでください。IS01に外部録画データを転送できなくなる可能性があります。

他の携帯電話とデータをやりとりする

Bluetooth®機能を利用する

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などとの間を無線でつなぎ、ケーブルを使用することなく通信できる技術です。

※Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Bluetooth®機能でできること

■オーディオ出力

ワイヤレスで音楽やテレビ放送を聴くことができます。

■ハンズフリー通話

Bluetooth®対応のハンズフリー機器やヘッドセット機器とBluetooth®接続を行い、ハンズフリー通話をすることができます。

■データ送受信

電話帳、プロフィール、スケジュール、タスク、メモ帳、ブックマーク、メール、カメラで撮影したデータ、フォトビューアで表示中のデータ、ボイスレコーダーで録音したデータ、コンテンツマネージャーのデータをBluetooth®対応機器と送受信できます。

memo

◎IS01はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。

◎無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。

◎Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

◎USBケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器の新規登録中(ペアリング中)」、「データ送受信中」、「登録機器一覧からの検索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。

オーディオ機器とIS01の間に障害物(身体、金属、壁など)があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器とIS01の間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- 着信があった場合、「応答」をタップすると通話することができます。Bluetooth®で検索、データ通信中の場合はBluetooth®通信が終了します。
- アラーム、スケジュールアラーム、タスクアラームなど設定した時刻と重なった場合は、アラームなどの画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。ただし、データ転送中の場合は通信を終了します。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LANのいずれかの使用を中止してください。

Bluetooth®機能の取り扱いについて

- Bluetooth®機能は日本国内でご使用ください。IS01のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

主な仕様

通信方式	Bluetooth®標準規格Ver.2.1＋EDR準拠
出力	Bluetooth®標準規格Power Class2
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
対応Bluetooth®プロファイル※2	HSP（Headset Profile） HFP（Hands-Free Profile） A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP（Audio／Video Remote Control Profile） Ver.1.3 OPP（Object Push Profile）
使用周波数帯	2.4GHz帯（2.402GHz～2.480GHz）

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

周波数帯について

IS01のBluetooth®機能は、2.4GHz帯の2.402GHz～2.480GHzまでの周波数を利用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■IS01ご使用上の注意

IS01のBluetooth®機能の使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 万一、IS01と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにIS01の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
2. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはauお客様センターまでご連絡ください。

2.4FH1　この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。

Bluetooth®機能の関連用語について

用語	説明
機器アドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス（12桁の英数字）です。 パスキー入力を行って接続した通信相手に機器情報として送信されます。機器アドレスは、変更することができません。
HSP（Headset Profile）	ヘッドセット機器を使用した通話のためのプロファイルです。

用語	説明
HFP （Hands-Free Profile）	カーナビ、ハンズフリー機器などを使用したハンズフリー通話のためのプロファイルです。
A2DP （Advanced Audio Distribution Profile）	オーディオ出力対応アプリの音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP （Audio／Video Remote Control Profile）	オーディオ機器をリモート制御するためのプロファイルです。
OPP （Object Push Profile）	カーナビ、パソコンなどと電話帳データ、スケジュールデータなどを送受信するためのプロファイルです。
OBEX （Object Exchange）	画像データや電話帳データのファイル交換を行うための規格です。
認証パスワード	接続する機器からOBEX認証の要求があった場合に入力するパスワードです。 IS01では、4桁の数字を入力できます。
パスキー	▶P.214「パスキーについて」
オーディオ出力対応アプリ	オーディオ機器に音を出力できるアプリです。 IS01では、テレビ（ワンセグ）、メディアプレーヤーのことを指します。
オーディオ出力機器	A2DPに対応したBluetooth®機器です。 IS01では、SCMS-T方式で著作権保護されている機器のみ利用できます。

Bluetooth®をON／OFFにする

IS01でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をONに設定します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

1 メインメニューで［設定］→［通信］→「Bluetooth」のチェックボックスにチェックを入れる

Bluetooth®をONにすると、ステータスエリアに接続待機中のアイコンが表示されます。
メインメニューで［設定］→［通信］→［Bluetooth設定］で「Bluetooth」のチェックボックスにチェックを入れても同様に操作できます。

memo

◎ Bluetooth®をONにすると、電池の消耗が早くなります。
◎ オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、ハンズフリー通話中はオーディオ出力の音声が自動的に流れなくなります。
◎ 他のBluetooth®機器からの機器検索への応答を受け付けたい場合は、「探索受付」を「受付」に設定します。「Bluetooth®機能の詳細設定をする」（▶P.218）をご参照ください。

データのやりとり

■Bluetooth®の起動状態を示すアイコンについて

アイコン	概要
	Bluetooth®ON（接続待機中）
	Bluetooth®接続中

■Bluetooth®機器からの接続要求に応答するには

Bluetooth®をONにしているときに、Bluetooth®機器からの接続要求があると、お知らせエリアに「Bluetoothペア設定リクエスト」のテロップおよびお知らせアイコンが表示され、タップするとパスキーを入力する画面が表示されます。IS01とBluetooth®機器で同じパスキーを入力して認証に成功すると、Bluetooth®機器が登録機器一覧に登録されます。
パスキーを入力する画面ではなく、登録機器一覧など、ポップアップによる通知が表示される場合もあります。また、Bluetooth®機器によってはパスキー入力が不要な場合もあります。

■ハンズフリー通話について

Bluetooth®をONにした状態で、登録済みのハンズフリー機器（最後に接続した機器または優先接続先設定で設定した機器）やヘッドセット機器から接続要求があると自動的に接続します。

memo

◎ハンズフリー通話で利用するプロファイルは「HSP」／「HFP」です。
◎ハンズフリーをご利用になる場合は、あらかじめ新規デバイス登録を行ってください。（▶P.216「オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録する」）
◎ハンズフリー対応機器によっては、ハンズフリー着信中や通話中にALT＋8／ALT＋9を押すと、ハンズフリー対応機器の着信音量や受話音量（相手の声の大きさ）を調節できます。
◎ハンズフリー通話中に、切断されたBluetooth®接続を復旧している状態になると、通話が終了してしまうことがあります。

Bluetooth®機器を登録する

IS01からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器を登録機器一覧に登録します。なお、オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録する操作については、「オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録する」（▶P.216）をご参照ください。

1 メインメニューで［設定］→［通信］→［Bluetooth設定］→［登録機器一覧］

登録機器一覧が表示されます。
登録機器がない場合は、「登録機器なし」と表示されます。

2 ［検索］

検索に応答した機器が最大20件まで検索結果に表示されます。

	登録済	未登録
ハンズフリー機器		
オーディオ機器		
携帯電話		
コンピュータ		
ヘッドホン		
その他		

3 登録するBluetooth®機器にカーソルを移動→［登録］

4 画面の指示に従って操作し、Bluetooth®機器を認証

パスキー入力画面が表示されたときは、IS01とBluetooth®機器で同じパスキー（4～16桁の数字）を入力します。認証に成功すると、Bluetooth®機器が登録機器一覧に登録されます。

memo

◎Bluetooth®機器と接続中は、機器の検索を実行できません。

◎ Bluetooth®機器が検索拒否する設定になっている場合は、検索結果に表示されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
◎ 登録機器一覧に登録されるのは、最新の20件です。20件を超えると古い順に削除されます。登録済みのBluetooth®機器が20件ある場合は、上書き登録するかどうかを確認する画面が表示されます。「はい」を選択すると上書きされます。保護されている機器、接続中の機器は上書き登録の対象になりません。
◎ 接続したいBluetooth®機器が表示されていないときは、「再検索」をタップして、機器を再検索します。
◎ 登録機器一覧でMENUを押すと、オプションメニューが表示されます。

接続するサービスの選択	サービスを選択して接続します。 「ハンズフリー」「オーディオ」
優先接続設定※	優先接続先に設定します。ただし、接続中の機器がある場合は設定できません。 「ハンズフリー機能ON」「オーディオ機能ON」
保護／保護解除	登録機器情報を20件まで保護します。また、保護した状態を解除します。
全件保護解除	登録機器情報の保護を全件解除します。
削除	登録機器情報を削除します。 「1件削除」「全件削除」
詳細情報	登録機器の詳細情報（機器アドレスなど）を表示します。 「編集」をタップすると、登録機器名称を編集できます。登録機器名称編集後に「保存」をタップすると変更できます。

※ ハンズフリー／オーディオをサポートしていない機器を選択している場合は表示されません。

■ パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、IS01およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。IS01では、4〜16桁の数字を入力できます。

memo

◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎ 接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。
◎ 登録機器一覧から接続相手を削除すると、次に機器と接続するときに、機器の認証／接続を許可する必要があります。
◎ Bluetooth®標準規格Ver.2.1対応の機器と接続する場合は、IS01のBluetooth®接続画面にパスキーと「認証する機器と同じ数字の場合は[はい]を選択してください」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることを確認してから、IS01で「はい」を選択し、接続するBluetooth®機器でも接続の操作を行ってください。
◎ Bluetooth®標準規格Ver.2.1対応の機器と接続する場合は、IS01のBluetooth®接続画面にパスキーと「認証する機器でパスキーを入力してください」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、パスキーを接続するBluetooth®機器に入力してください。
◎ Bluetooth®標準規格Ver.2.1対応の機器と接続する場合は、パスキーを入力せずに接続できる場合があります。

■ 登録機器一覧画面について



《登録機器一覧》

① **機器種別**

	接続中	切断中
ハンズフリー機器		
オーディオ機器		
携帯電話		
コンピュータ		
ヘッドホン		
その他		

機器を保護すると、アイコンの右下に が付きます。

② **優先接続設定**

機器種別アイコンの左上に以下のアイコンが表示されます。

ハンズフリー優先	
オーディオ優先	
両方優先	

③ **機器名称または機器アドレス**

④ **対応プロファイル**

アイコンの明るさによって、プロファイルの接続中／未接続を判別できます。

	接続中	未接続
ヘッドセットを利用できる機器	HSP	HSP
ハンズフリー通話を利用できる機器	HFP	HFP
オーディオ出力を利用できる機器	A2DP	A2DP
オーディオ機器をリモート制御できる機器	AVRCP	AVRCP
データ送受信を利用できる機器	OPP	OPP

オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録する

オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録します。この操作は対応機器の近く（10m以内）で行ってください。

1 メインメニューで［設定］→［通信］→［Bluetooth設定］→［新規デバイス登録］

機器検索を行うための確認画面が表示されます。
「今後表示しない」のチェックボックスにチェックを入れると、次回から確認画面が表示されなくなります。

2 ［OK］

3 対応機器を選択→［登録］

4 画面の指示に従って操作し、対応機器を認証

パスキーの入力画面が表示されたときは、IS01と対応機器で同じパスキー（4～16桁の数字）を入力します（Bluetooth®機器によってはパスキー入力が不要な場合もあります）。認証に成功すると、対応機器が登録されます。
登録完了後、対応機器と接続されます。

memo

◎SCMS-T方式で著作権保護されているオーディオ機器でのみ、オーディオ出力対応アプリの音を聴くことができます。
◎音楽を聴いているときなどに電話をかけたり、かかってきた電話に出たりする場合は、オーディオ機器とハンズフリー機器またはヘッドセット機器の両方のプロファイルに対応している必要があります。

オーディオ機器でオーディオ出力対応アプリの音を聴く

1 メインメニューで［設定］→［通信］→［Bluetooth設定］→［登録機器一覧］

2 登録済みのオーディオ機器の中から、音を出力する機器を選択

機器種別アイコンが接続中に変わります。

memo

◎オーディオ出力で利用するプロファイルは「A2DP」です。
◎オーディオ機器をご利用になる場合は、あらかじめ対応機器を登録してください。また、オーディオ機器との接続が失敗する場合は、もう一度登録するなど、登録状況をご確認ください。（▶左記「オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録する」）
◎この機能は、イヤホンの代わりにオーディオ機器を使用する機能です。
- オーディオ出力対応アプリの音をスピーカーに出力している場合は、オーディオ機器と接続してもスピーカーに出力されます。
- オーディオ出力対応アプリの音をイヤホンに出力している場合でも、選択した機器を接続できない場合は、オーディオ出力対応アプリの設定に従ってスピーカー／イヤホンに出力されます。

◎500曲以上登録したプレイリストは、カーナビでは再生できない場合があります。

■オーディオ機器接続中の動作について

オーディオ機器接続中は、以下の点にご注意ください。

- BGM再生中／BGM視聴中にオートロックが設定されても、オーディオ機器からの操作を継続して行うことができます。
- オーディオ出力対応アプリや利用する機器によっては本体の操作で音量を調節しても、オーディオ機器には反映されない場合があります。その場合は、音量をオーディオ機器の操作で調節してください。また、利用する機器によっては、音量調節以外も利用できない場合があります。
- 着信があった場合は、スピーカーでお知らせします。ハンズフリー対応のオーディオ機器の場合は、オーディオ機器から着信通知音が流れます。アラーム、スケジュールアラーム、タスクアラームなどで設定している時刻になった場合は、オーディオ機器でお知らせします。ただし、オーディオ機器で電話を受けたり通話することはできません。「応答」をタップして、スピーカーとマイクで通話してください。
- オーディオ出力対応アプリ起動中にオーディオ機器の接続が切断されても、アプリの動作は継続します。接続切断後、オーディオ機器を操作すると接続を再開します。
- オーディオ機器と、他のBluetooth®機能を同時に利用すると、一方の接続が切断される場合があります。
- テレビ（ワンセグ）の番組によっては、オーディオ機器で音を聴くことができない場合があります。
- オーディオ機器は、最後に接続した機器、または優先接続先設定で設定した機器が優先接続デバイスに設定されます。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを送信する

電話帳、プロフィール、スケジュール、タスク、メモ帳、ブックマーク、メール、カメラ、フォトビューア、ボイスプレイヤー、コンテンツマネージャーの各機能でオプションメニューから「Bluetooth送信」を選択するとデータを送信できます。

1 各機能のオプションメニューで［Bluetooth送信］

2

1件送信	一覧画面で選択中のデータを送信します。
選択送信	表示中のデータを選択して送信します。
全件送信	表示中の全データを送信します。

電話帳、スケジュール、タスク、メモ帳からデータを送信する場合は、「1件送信」「選択送信」「全件送信」から選択します。
コンテンツマネージャー、プロフィール、メール、カメラ、フォトビューア、ボイスプレイヤーから送信する場合は、「1件送信」のみです。
ブックマークからデータを送信する場合は、オプションメニューから［ブックマークを送信］→［Bluetooth送信］→［1件送信］／［全件送信］を選択します。

3 ［はい］

4 送信先の機器を選択

memo

◎送受信できるデータ容量は10MBまでです。データ容量や相手の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎データ送信で利用するプロファイルは「OPP」です。その他のプロファイルでBluetooth®接続を行っている場合は、接続中のプロファイルを切断する必要があります。データ送信時に相手側の機器と接続すると、接続中のプロファイルは自動的に切断されます。
◎電話帳を全件送信する場合は、プロフィールも送信されます。

◎電話帳、プロフィールに画像が含まれている場合は、画像を送信するかどうかを確認する画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
◎著作権保護されたデータは、送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎データ送信時は、電話帳とプロフィールはvCard形式、スケジュールとタスクはvCalendar形式、メールはvMessage形式、メモ帳はvNote形式、ブックマークはvBookmark形式に変換されて送信されます。

Bluetooth®でデータを受信する

IS01でデータを受信するには、次の操作でIS01を受信待機状態にしてから、相手側（送信側）のデータ送信を待ちます。

1 メインメニューで[設定]→[通信]→[Bluetooth設定]→[データ受信]→受信完了

2

1件受信した場合	受信したデータを追加登録／保存します。
全件受信した場合	受信データを登録する際に、IS01内のデータを残すか削除するかを選択します。 **追加登録**：データを残して登録 **全件削除して登録**：データをすべて削除して登録 **登録しない**：受信したデータを登録せずに破棄

memo

◎送受信できるデータ容量は10MBまでです。データ容量や相手の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎データ受信で利用するプロファイルは「OPP」です。その他のプロファイルでBluetooth®接続を行っている場合は、接続中のプロファイルを切断しないとデータの受信はできません。データ受信のため相手側の機器と接続すると、接続中のプロファイルは自動的に切断されます。
◎接続する機器によっては、認証パスワードが必要になる場合があります。
◎電話帳、スケジュール、タスク、メール、メモ帳、ブックマーク以外のデータは、1件受信のみ可能です。
◎電話帳の全件受信で「全件削除して登録」を選択した場合、全件削除するかどうかを確認する画面が表示されます。「はい」を選択すると、登録されている電話帳の全件削除後、受信したデータが登録されます。プロフィールは上書きされます（IS01の自局電話番号・マイアドレスは除く）。
◎登録先／保存先の件数がいっぱいの場合は、登録／保存できません。途中でいっぱいになった場合は、それまでに受信したデータのみ登録／保存されます。
◎データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。
◎受信したデータの登録先／保存先は以下の通りです。

受信データ	登録先／保存先
vCard	電話帳またはプロフィール
vCalendar（スケジュール）	スケジュール
vCalendar（タスク）	タスク
vNote（メモ帳）	メモ帳
vBookmark	ブックマーク
vMessage	コンテンツマネージャー
その他のデータ	コンテンツマネージャー

Bluetooth®機能の詳細設定をする

1 メインメニューで[設定]→[通信]→[Bluetooth設定]→[Bluetooth詳細設定]

2

自機情報※	自機情報を表示します。 • 「編集」をタップすると、自機名称を編集できます。自機名称編集後に「保存」をタップすると変更できます。
探索受付	Bluetooth®機器からの検索を受け付けるかどうかを設定します。 「受付」「拒否」

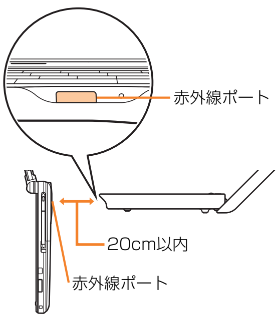
※機器名称は全角／半角16文字まで入力できます。
※0文字で機器名称は設定できません。
※禁則文字（絵文字）を含む名称は設定できません。

赤外線通信でデータを送受信する

IS01と赤外線通信機能を持つau電話との間で、電話帳、プロフィール、スケジュール、タスク、メモ帳、ブックマーク、メール、カメラで撮影したデータ、フォトビューアで表示中のデータ、ボイスレコーダーで録音したデータ、コンテンツマネージャーのデータなどを送受信できます。
また、IS01は高速赤外線通信方式であるIrSimple™規格に対応しています。IrSimple™規格に対応した携帯電話同士またはプリンターなどに大容量のデータを素早く転送できます。

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、IS01の赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。



memo

◎ 赤外線通信中に指などで赤外線ポートをおおわないようにしてください。
◎ IS01の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
◎ 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎ 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
◎ 送受信時に認証パスワードの入力が必要になる場合があります。認証パスワードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。
◎ 赤外線通信中にアラームを設定した時刻になった場合は、赤外線通信を終了してアラームが鳴ります。
◎ 赤外線通信中は、ステータスエリアにが表示されます。

■送受信できるデータについて

- 電話帳
- プロフィール
- スケジュール
- タスク
- メモ帳
- ブックマーク
- メール
- コンテンツマネージャーのデータ

memo

◎ 送受信できるデータ容量は10MBまでです。データ容量や相手の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎ 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎ 相手の機器やデータの種類、容量によっては再生や登録ができない場合があります。

赤外線でデータを送信する

電話帳、プロフィール、スケジュール、タスク、メモ帳、ブックマーク、メール、カメラ、ボイスプレイヤー、フォトビューア、コンテンツマネージャーの各機能でオプションメニューから「赤外線送信」を選択するとデータを送信できます。

1 各機能のオプションメニューで[赤外線送信]

2

1件送信	一覧画面で選択中のデータを送信します。
選択送信	表示中のデータを選択して送信します。
全件送信	表示中の全データを送信します。

電話帳、スケジュール、タスク、メモ帳からデータを送信する場合は、「1件送信」「選択送信」「全件送信」から選択します。
コンテンツマネージャー、プロフィール、メール、カメラ、フォトビューア、ボイスプレイヤーからデータを送信する場合は、「1件送信」のみ可能です。
ブックマークからデータを送信する場合は、オプションメニューから[ブックマークを送信]→[赤外線送信]→[1件送信]/[全件送信]を選択します。
1件送信の場合は、「通常送信」「IrSS送信※」から選択します。ただし、コンテンツによっては「IrSS送信※」が選択できない場合があります。

※IrSS™送信は、相手がIrSS™対応機器である必要があります。また、対応機器であれば複数の相手に一度に送信することができます。正常に受信したかは、受ける側でご確認ください。

3 [はい]

memo

◎送信するデータに画像が含まれている場合は、画像を送信するか確認する画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
◎「選択送信」「全件送信」の場合は、認証パスワードが必要です。
◎電話帳を全件送信する場合は、プロフィールも送信されます。

赤外線でデータを受信する

1 メインメニューで[赤外線受信]→[受信]/[全件受信]

「全件受信」を選択した場合は、ロックNo.と認証コードを入力してください。

2

1件受信する場合	「はい」を選択して受信データを追加登録します。
全件受信する場合	受信データを登録する際に、IS01内のデータを残すか削除するかを選択します。 **追加登録**:データを残して登録 **全件削除して登録**:データをすべて削除して登録 **登録しない**:受信データを登録せずに破棄

memo

◎電話帳を全件受信した場合、「全件削除して登録」を選択すると、受信データの1件目がプロフィールに上書きされます。(IS01の自局電話番号・マイアドレスは除く)
◎本体メモリの容量がいっぱいの場合は、電話帳の件数に空きがあっても、電話帳を保存できないことがあります。
◎データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。

■受信時の登録先について

受信データ	登録先/保存先
vCard	電話帳またはプロフィール
vCalendar(スケジュール)	スケジュール
vCalendar(タスク)	タスク
vNote(メモ帳)	メモ帳
vBookmark	ブックマーク
vMessage	コンテンツマネージャー
その他のデータ	コンテンツマネージャー

※データの種類、容量によっては保存できない場合があります。

便利な機能を利用する

マナーモードを設定する

マナーモードを選択するだけで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定したり、運転中に着信音やバイブレータをOFFにすることができます。

1 デスクトップで[ALT]+[7]

マナーモード設定メニューが表示されます。

2 マナーモードを選択

	各着信音の音量	各バイブレータ	各操作音の音量	伝言メモ
通常マナー	OFF	ON	OFF	ON
ドライブマナー※	OFF	OFF	OFF	ON
サイレントマナー	OFF	OFF	OFF	ON

※ 応答メッセージが「ドライブ」、応答時間が「3秒」に固定されます。

memo

◎ 自動車や原動機付自転車、自転車を運転中の携帯電話の使用は、交通事故の原因となり、危険なため法律で禁止されています。運転中はマナーモードを「ドライブマナー」に設定してください。

◎ デスクトップで[ALT]+[7]を長押しすると、前回設定したマナーモードが設定されます。もう一度[ALT]+[7]を長押しすると、マナーモードを解除できます。

◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音、ボイスレコーダーの録音開始／停止音は鳴動します。

◎ マナーモード設定直後にコンテンツマネージャーのデータを再生したときや、機能設定の内容を再生して確認したときは、消音の状態で再生されます。機能によっては、再生中に[ALT]+[8]／[ALT]+[9]を押すと音量を調節できます。

◎ 本体のサイズが大きいため、身に着ける場所によってはバイブレータの振動が通常の携帯電話より弱く感じられる場合があります。マナーモードをご利用する際はご注意ください。

マナーモードの詳細設定を確認する

各マナーモードの設定内容の詳細を確認できます。

1 メインメニューで[設定]→[マナーモード]

2 設定を確認するマナーモードにカーソルを移動→[詳細]

マナーモードの設定内容の詳細を確認する画面が表示されます。

3

着信音量	機能ごとの着信音量を確認できます。 「音声着信」「メール受信」「PCメール受信」 「お知らせ受信」
バイブレータ	機能ごとのバイブレータの動作を確認できます。 「音声着信」「メール受信」「PCメール受信」 「お知らせ受信」
操作音	効果音の音量を確認できます。 「ダイヤル音」「選択時の操作音」 「microSDの通知」「ポップアップの通知」 「オープン」「クローズ」「充電開始」「充電完了」 「電源ON」
伝言メモ	マナーモード設定中の伝言メモの設定と、応答メッセージの種類を確認できます。 「設定」「応答メッセージ」

4 [戻る]

伝言メモを利用する

電話に出ることができないとき、留守番電話のように応答メッセージを流して相手の伝言を録音できます。録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。

1 メインメニューで[設定]→[通話]→[音声・伝言メモ]

2

伝言メモリスト	▶右記「伝言メモを再生する」
音声メモリスト	▶P.224「音声メモを再生する」
伝言メモ設定	▶右記「伝言メモを設定／解除する」
応答メッセージ設定	伝言メモで応答したときに流れるメッセージを設定します。 「通常」「ドライブ」「公共」 • 「再生」を選ぶと、メッセージを確認できます。
応答時間設定	着信してから伝言メモで応答するまでの時間を設定します。 • 1～45秒まで設定できます。 • マナーモードが「ドライブマナー」に設定されている場合は、応答時間の設定にかかわらず3秒で応答します。

memo

◎ マナーモードが「ドライブマナー」に設定されている場合の応答メッセージは、応答メッセージの設定にかかわらず「ドライブ」になります。
◎ 伝言メモと「オート着信」の応答時間を同じ時間に設定した場合は、伝言メモが優先されます。

伝言メモを設定／解除する

1 メインメニューで[設定]→[通話]→[音声・伝言メモ]→「伝言メモ設定」のチェックボックスにチェックを入れる／チェックを外す

チェックボックスにチェックを入れると、伝言メモが設定されます。チェックボックスのチェックを外すと、設定が解除されます。

memo

◎ マナーモード設定中は、伝言メモ設定は変更できますが、有効にはなりません。マナーモード解除後に有効になります。
◎ 伝言メモを設定すると、ステータスエリアに[アイコン]が表示されます。
伝言メモが録音されると、ステータスエリアに[アイコン]、お知らせエリアに[アイコン]が表示されます。
伝言メモが10件録音されている場合は、ステータスエリアに[アイコン]が表示されます。10件録音されている場合、すでに再生済みで保護アイコンが付いていないものは古いものから順に削除されます。
◎ 伝言メモは電源がOFFの場合は動作しません。

伝言メモを再生する

1 メインメニューで[設定]→[通話]→[音声・伝言メモ]→[伝言メモリスト]

伝言メモリストが表示されます。

2 再生する伝言メモにカーソルを移動→[再生]

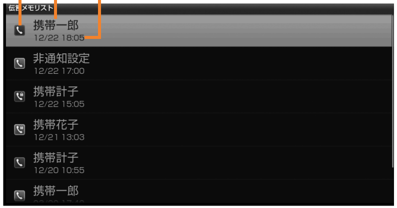
memo

録音された伝言メモをデスクトップから再生するには

◎ お知らせエリアの[アイコン]をタップすると、お知らせパネル画面が表示されます。伝言メモのリストから再生したい伝言メモを選択すると、伝言メモリスト画面が表示されます。
◎ 伝言メモリスト画面で「保護／解除」をタップすると、伝言メモを保護／解除できます。

■伝言メモリスト画面について

①　②　③



《伝言メモリスト画面》

① **伝言メモの再生状態を示すアイコン**
　：未再生は赤、再生済は緑
　伝言を保護すると、アイコンの右上に が付きます。

② **相手の名前／電話番号／非通知着信の理由**

③ **伝言メモが録音された日時**

memo

伝言メモを1件削除する

◎伝言メモリスト画面で削除する伝言メモにカーソルを移動→[1件削除]→[はい]を選択します。

伝言メモを全件削除する

◎伝言メモリスト画面で[全件削除]→ロックNo.を入力→[OK]→[はい]を選択します。

伝言メモリストのオプションメニューを利用する

1 伝言メモリスト画面でMENU

2

1件削除	▶P.59「データを削除する」
全件削除	

音声メモを利用する

通話中に音声を録音できます。録音できるのは、1件あたり約60秒間で、10件までです。

通話中の音声を録音する

1 通話中に[音声メモ]

録音を開始します。

2 [停止]

音声メモの録音時間は最大約60秒間です。60秒を経過すると自動的に終了します。

memo

◎音声メモでは、通話中の相手の音声と自分の音声がすべて録音されます。

音声メモを再生する

1 メインメニューで[設定]→[通話]→[音声・伝言メモ]→[音声メモリスト]

音声メモの一覧画面が表示されます。

2 再生する音声メモにカーソルを移動→[再生]

memo

音声メモを1件削除する

◎音声メモリスト画面で削除する音声メモにカーソルを移動→[1件削除]→[はい]を選択します。

音声メモを全件削除する

◎音声メモリスト画面で[全件削除]→ロックNo.を入力→[OK]→[はい]を選択します。

ボイスレコーダーを利用する

IS01をボイスレコーダーとして音声を録音できます。

1 メインメニューで[ボイスレコーダー]



《ボイスレコーダー画面》

① **モード**

録音時間モードを設定します。

メール添付モード：メールに添付可能な最大サイズを基準とした録音ができます。

長時間モード：最大6時間の録音ができます。

② **再生**

録音データの一覧画面が表示されます。

※録音直後は、録音したデータが自動的に再生されます。

③ **保存先設定**

録音開始時の優先保存先と切り替えの設定をします。

SD→本体：保存先はmicroSDメモリカード優先です。空き容量が少なくなったときには本体に切り替わります。

本体→SD：保存先は本体優先です。

※microSDメモリカードが挿入されていない場合は、「本体Only」と表示されます。

④ **録音／停止**

録音を開始／停止します。

⑤ **現在の録音時間／最大録音時間**

memo

◎「モード」「再生」「保存先設定」は(MENU)を押して表示されるオプションメニューで設定することもできます。

◎優先保存先の空き容量が300KB未満になると、保存先が自動的に切り替わります。どちらの保存先も空き容量が300KB未満の場合は録音できません。

◎録音中に着信があった場合は、録音を停止してデータを保存します。

録音する

1 ボイスレコーダー画面で 

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。

2 

録音停止音が鳴り、録音が停止します。録音データは自動的に保存されます。

再生する

1 ボイスレコーダー画面で[再生]



《録音データの一覧画面》

※録音を行った直後にボイスレコーダー画面で「再生」をタップすると、再生が自動的に開始されます。（一覧画面は表示されません）

① **検索条件エリア**
保存場所、日付、種別、ソート、検索文字列の各条件でデータを検索できます。

② **コンテンツ表示エリア**

③ **MENU**
オプションメニューを表示します。オプションメニューの各項目ではコンテンツマネージャーのコンテンツ表示画面と同様の操作ができます。
▶P.188「コンテンツマネージャーを起動する」

④ **再生**
選択したデータをメディアプレーヤーで再生します。

⑤ **決定**
選択したデータをボイスプレイヤーで再生します。

■ メディアプレーヤーで再生する場合

2 録音データを選択→[再生]

録音データがメディアプレーヤーで再生されます。
▶P.194「メディアプレーヤーを利用してデータを再生する」

■ ボイスプレイヤーで再生する場合

2 録音データを選択→[決定]

録音データが再生されます。



《ボイスプレイヤー画面》

① **録音**
ボイスレコーダー画面に切り替わります。

② **ファイル**
録音データの一覧画面に切り替わります。

③ **基本操作**
▶／Ⅱ：再生／一時停止
◀◀：1秒戻し、長押しで巻き戻し
▶▶：1秒送り、長押しで早送り

④ **現在の再生時間／全再生時間**

⑤ **シークバー**
再生位置をドラッグして移動できます。

■ボイスプレイヤー画面のオプションメニューを利用する

1 ボイスプレイヤー画面で(MENU)

メールへ添付	選択したデータをメールに添付して送信します。添付するアプリケーションを選択できます。 「メール」「Gmail」
削除	選択したデータを削除します。
赤外線送信	選択したデータを赤外線送信します。 ▶P.220「赤外線でデータを送信する」
Bluetooth送信	選択したデータをBluetooth®機能を利用して送信します。 ▶P.210「Bluetooth®機能を利用する」
詳細情報	選択したデータの詳細情報を表示します。
録音	ボイスレコーダー画面に切り替わります。
ファイル	録音データの一覧画面に切り替わります。

■ボイスプレイヤー画面のキーボード操作について

[◀]：1秒戻し、長押しで巻き戻し

[▶]：1秒送り、長押しで早送り

[ALT]＋[8]／[ALT]＋[9]：音量を拡大／縮小

memo

◎再生中に着信があった場合は、再生を一時停止します。

◎再生中にはスリープモードは動作しません。

メモ帳を利用する

メモ帳を登録する

1 メインメニューで[メモ帳]

メモ帳一覧が表示されます。

2 [新規]→メモを入力→[保存]

タイトルは全角／半角50文字まで入力できます。

memo

◎テキストの編集方法については、「文字の修正」(▶P.62)をご参照ください。

メモ帳のオプションメニューを利用する

1 メモ帳一覧でメモ帳にカーソルを移動→(MENU)

2

編集	メモ帳を編集します。
新規登録	メモ帳を新規登録します。
赤外線送信	▶P.220「赤外線でデータを送信する」
Bluetooth送信	▶P.217「Bluetooth®でデータを送信する」
メールへ添付	メモ帳をメールに添付して送ります。 ▶P.94「PCメールを作成して送る」
メール本文へ挿入	メモ帳の内容をメールの本文に挿入してメールを作成します。
.txtに変換	メモ帳の内容をテキストデータとして本体またはmicroSDメモリカードに保存します。 「本体」「SD」
削除	▶P.59「データを削除する」
メモ検索(キーワード検索)	キーワードを入力してメモ帳を検索します。
保存※	入力したメモ帳を保存します。
文字サイズ設定	文字サイズを変更します。 「最大」「大」「中」「小」「最小」

※メモ帳を編集する画面のオプションメニューに表示されます。

カレンダー／スケジュール／タスクリストを利用する

カレンダーを表示する

カレンダーには、スケジュール、タスクを登録できます。

1 クイックメニューで[スケジュール]

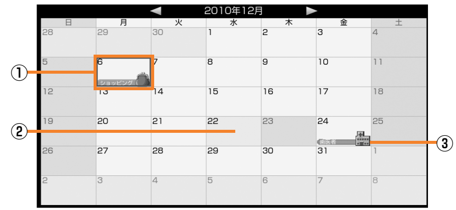
カレンダーが表示されます。

◀：前月を表示（1ヶ月表示の場合）
　前週を表示（1週間表示の場合）
　前日を表示（1日表示の場合）

▶：翌月を表示（1ヶ月表示の場合）
　翌週を表示（1週間表示の場合）
　翌日を表示（1日表示の場合）

「今日」：今日の日付を選択
「タスク」：タスクリスト一覧画面を表示
「月」：1ヶ月カレンダーを表示
「週」：1週間カレンダーを表示
「日」：1日カレンダーを表示

カレンダーの内容について



《カレンダー（1ヶ月表示の場合）》

① **選択されている日付**
青色の枠が付きます。

② **今日の日付**
背景に色が付きます。

③ **スケジュール／タスク**
登録されているスケジュールやタスクのカテゴリスタンプなどが表示されます。

memo

◎表示しきれないスケジュールやタスクがある場合は、▽が表示されます。▽を選択すると確認できます。

カレンダーのオプションメニューを利用する

1 カレンダーで(MENU)

2

今日	今日の日付にカーソルを移動します。
スケジュール一覧表示	スケジュール一覧を表示します。
タスクリスト表示	未完了タスクを表示します。 ▶P.231「未完了タスク画面について」

月／週／日表示切替	カレンダーを1ヶ月／1週間／1日表示に切り替えます。	
詳細登録	スケジュール	▶P.230「スケジュールを新規登録する」
	タスク	▶P.231「タスクを新規登録する」
編集	選択している日に設定されているスケジュール／タスクを編集します。	
カテゴリスタンプの変更	選択している日に設定されているスケジュールのカテゴリスタンプを変更します。	
カテゴリスタンプの新規追加	選択している日にスケジュールのカテゴリスタンプを追加します。	
日付移動	指定した年月日にカーソルを移動します。	
時間移動	指定した時間にカーソルを移動します。 1週間表示／1日表示の場合に選択できます。	
削除	選択している日に設定されているスケジュール／タスクを削除します。	
カレンダーメニュー	表示カレンダーシート	表示するカレンダーの種類を選択します。「パターン選択」を選択すると、端末内カレンダーの色パターンを変更できます。
	カレンダーシート移動	端末内カレンダーのスケジュールをGoogleカレンダーに表示します。タスクは表示しません。
Googleカレンダー同期	Googleカレンダーと同期します。	

設定	辞退の非表示	チェックボックスにチェックを入れると、辞退したGoogleカレンダーのスケジュールを表示しません。
	カテゴリスタンプのサイズ	カレンダー上でスケジュールやタスクに付くアイコンのサイズを変更します。 「小」「大」
	タスク表示	チェックボックスにチェックを入れると、カレンダー上にタスクを表示します。
	アラーム時刻	アラームの鳴動時間を設定します。 「なし」「開始日時と連動」「5分」「10分」「15分」「20分」「25分」「30分」「45分」「1時間」「2時間」「3時間」「12時間」「24時間」「2日」「1週間」
	アラーム音	▶P.234「アラームの入力項目について」
	アラーム音量	
	バイブレータ	
	起動時同期	チェックボックスにチェックを入れると、カレンダー表示時に、「Googleカレンダー同期」をします。
	Googleアカウント	Googleカレンダーを新規作成するときに使用するGoogleアカウントを登録します。
	完了タスクの自動削除	チェックボックスにチェックを入れると、完了後2週間経過したタスクを自動的に削除します。
	設定リセット	カレンダーの設定情報をお買い上げ時の状態に戻します。

休日設定／解除	指定した日付を休日に設定／解除します。休日設定で日付を選択すると休日に設定／解除できます。休日に設定すると枠内の色がピンクになります。 **日付を選択して枠内の色を変える→[設定完了]** カレンダーに戻り、休日／平日の設定が反映されます。 休日設定でできることについては、「休日設定で使える機能」(▶下記)をご参照ください。

※ 画面により表示される項目は異なります。

■休日設定で使える機能

1 カレンダーで(MENU)→[休日設定／解除]

休日設定が表示されます。

2 (MENU)

3

今日	今日の日付にカーソルを移動します。
曜日設定	指定した曜日をすべて休日として設定、または設定を解除します。 **曜日を選択→[OK]**
期間指定	指定した期間をすべて休日として設定、または設定を解除します。 **[休日設定]／[休日解除]→開始日を入力→終了日を入力→[設定]**
日付移動	指定した年月日にカーソルを移動します。
設定完了	休日設定の設定内容を保存し、カレンダーに戻ります。
リセット	休日設定をお買い上げ時の状態に戻します。

スケジュールを新規登録する

1 カレンダーで(MENU)→[詳細登録]→[スケジュール]

カレンダーでスケジュールを選択→(MENU)→[編集]を選択すると、登録されているスケジュールを編集できます。

2 各項目を編集→[保存]

カレンダーで「新規」を選択し、簡易項目のみ入力して「登録」を選択しても、新規登録できます。

■スケジュールの入力項目について

項目	説明
カテゴリスタンプ	固定50種類のアイコンから選択します。
タイトル	スケジュールのタイトルを入力します。
カレンダー	登録するカレンダーの種類を選択します。 • Googleアカウントをセットアップすると Googleカレンダーが表示されます。
開始日時	開始日時と終了日時を設定します。 1970年1月1日0時00分～2037年12月31日23時59分 • 終了日時を開始日時より前の日時に設定すると、登録時または保存時に自動調整されます。 • 終日を「ON」にすると、終日に設定できます。
終了日時	
繰り返し	スケジュールの繰り返しを指定します。 「繰り返しなし」「毎日」「平日（月ー金）」 「毎週（○曜日）」「毎月（第1～5○）」 「毎月（○日）」「毎年（○月○日）」 ※ ○は開始日の曜日や日付
詳細	スケジュールの詳細情報を入力します。
場所	場所に関する情報を入力します。

項目	説明
アラーム	スケジュールアラームを設定します。⊕を選択すると入力項目が表示されます。⊕を選択することで、アラームを5件まで設定できます。 • アラームの開始時刻を設定します。時間や日数を選択することで、「開始日時と連動」〜「開始1週間前」に設定できます。 • 「アラーム音」「音量」「バイブレータ」については、「アラームの入力項目について」(▶P.234)をご参照ください。

■ アラーム通知の日時について

「アラーム」でスケジュールアラームを設定し、「繰り返し」を「繰り返しなし」以外に設定した場合は、スケジュールが繰り返されるたびに、スケジュールアラームが動作します。

memo

スケジュールアラームを設定した時刻になると

◎ アラームを設定した時刻に電源がOFFの場合は、アラームは鳴りません。
◎ アラームを設定した時刻になったときに通話中だった場合は、終話後にアラームが鳴ります。
◎ アラーム音やバイブレータが鳴動し、アラームの内容が表示されます。「停止」を選択するか約1分間経過するとアラームは停止します。

アラームを同時刻に設定した場合

◎ アラーム、スケジュールアラーム、タスクアラーム、キッチンタイマーを同時刻に設定した場合は、アラーム→スケジュールアラーム→タスクアラーム→キッチンタイマーの順に鳴動します。なお、アラームがスヌーズモード中のときは、別のアラームはスヌーズモードが解除されてから鳴動します。

タスクを新規登録する

1 カレンダーで(MENU)→[詳細登録]→[タスク]

カレンダーでタスクを選択→(MENU)→[編集]を選択すると、登録されているタスクを編集できます。

2 各項目を編集→[保存]

■ 未完了タスク画面について



《未完了タスク》

① カテゴリスタンプ
② タイトル

memo

◎「今日」から1週間以内に設定されているタスクの「期限日時」と「タイトル」は青字で表示されます。
◎ 期限を過ぎても完了していないタスクの「期限日時」と「タイトル」は赤字で表示されます。

■ タスクの入力項目について

項目	説明
カテゴリスタンプ	固定50種類のアイコンから選択します。
タイトル	タスクのタイトルを入力します。

項目	説明
期限日時	タスクの期限を設定します。 1970年1月1日0時00分～2037年12月31日23時59分 • 「期限なし」を「ON」にすると「期限日時」は設定できなくなります。
状態	設定時は何も表示されません。設定後はタスクの状態が表示されます。 • 完了したタスクは「(完了日時)」、期限切れのタスクは「期限切れ」と表示されます。期限前の未完了タスクは何も表示されません。 • 「完了にする」「未完了にする」を選択すると、タスクの状態を変更できます。
アラーム	タスクアラームを設定します。⊕を選択すると入力項目が表示されます。⊕を選択することで、アラームを5件まで設定できます。 • アラームの開始時刻を「開始日時と連動」～「開始1週間前」に設定します。 • 「アラーム音」「音量」「バイブレータ」については、「アラームの入力項目について」(▶P.234)をご参照ください。

memo

タスクアラームを設定した時刻になると

◎アラーム音やバイブレータが鳴動し、アラームの内容が表示されます。「停止」を選択するか約1分間経過するとアラームは停止します。

◎通話中の場合は、終話後にアラームが鳴ります。

◎電源がOFFの場合は、アラームは鳴りません。

アラームを同時刻に設定した場合

◎アラーム、スケジュールアラーム、タスクアラーム、キッチンタイマーを同時刻に設定した場合は、アラーム→スケジュールアラーム→タスクアラーム→キッチンタイマーの順に鳴動します。なお、アラームがスヌーズモード中のときは、別のアラームはスヌーズモードが解除されてから鳴動します。

登録したスケジュール／タスクの詳細を確認する

1 カレンダーで(MENU)→[スケジュール一覧表示]／[タスクリスト表示]

登録されているスケジュール一覧／タスクリストが表示されます。

2 スケジュール／タスクを選択

詳細画面が表示されます。

memo

◎詳細画面で「編集」をタップすると、スケジュール／タスクを編集できます。編集後に「保存」をタップすると変更できます。

スケジュール／タスクのオプションメニューを利用する

1 カレンダーで(MENU)→[スケジュール一覧表示]／[タスクリスト表示]

登録されているスケジュール一覧／タスクリストが表示されます。

2 (MENU)

オプションメニューが表示されます。

スケジュール一覧／タスクリストからスケジュール／タスクを選択し、詳細表示画面で(MENU)を押してもオプションメニューが表示されます。

3

今日	今日の日付にカーソルを移動します。
スケジュール	カレンダーを表示します。
詳細表示	スケジュール／タスクの設定内容を表示します。
完了リスト／未完了リスト	タスクリスト表示を、完了タスク／未完了タスクに切り替えます。

詳細登録	▶P.230「スケジュールを新規登録する」 ▶P.231「タスクを新規登録する」	
編集	スケジュール／タスクを編集します。	
1日延期	タスクの期限を1日延期します。	
メール作成	▶P.234「メール作成の動作について」	
メールへ添付	スケジュール／タスクを添付データにしてメールを作成します。	
赤外線送信	▶P.220「赤外線でデータを送信する」	
Bluetooth送信	▶P.217「Bluetooth®でデータを送信する」	
削除	▶P.59「データを削除する」 •「終了データ一括削除」を選択すると、現在日時以前のスケジュールをすべて削除します。	
完了／未完了	未完了タスクを完了タスクに、完了タスクを未完了タスクに設定します。	
カレンダーメニュー	表示カレンダーシート	表示するカレンダーの種類を選択します。「パターン選択」を選択すると、端末内カレンダーの色パターンを変更できます。
	カレンダーシート移動	端末内カレンダーのスケジュールをGoogleカレンダーに表示します。タスクは表示しません。
	別のカレンダーシートにコピー	スケジュールを別のカレンダーシートにコピーします。
詳細項目を表示／詳細項目を非表示	詳細表示／簡易表示を切り替えます。	
Googleカレンダー同期	Googleカレンダーと同期します。	

設定	辞退の非表示	チェックボックスにチェックを入れると、辞退したGoogleカレンダーのスケジュールを表示しません。
	カテゴリスタンプのサイズ	カレンダー上でスケジュールやタスクに付くアイコンのサイズを変更します。 「小」「大」
	タスク表示	チェックボックスにチェックを入れると、カレンダー上にタスクを表示します。
	アラーム時刻	アラームの鳴動時間を設定します。 「なし」「開始日時と連動」「5分」「10分」「15分」「20分」「25分」「30分」「45分」「1時間」「2時間」「3時間」「12時間」「24時間」「2日」「1週間」
	アラーム音	▶P.234「アラームの入力項目について」
	アラーム音量	
	バイブレータ	
	起動時同期	チェックボックスにチェックを入れると、カレンダー表示時に、Googleカレンダー同期します。
	Googleアカウント	Googleカレンダーを新規作成するときに使用するGoogleアカウントを登録します。
	完了タスクの自動削除	チェックボックスにチェックを入れると、完了後2週間経過したタスクを自動的に削除します。
	設定リセット	カレンダーの設定情報をお買い上げ時の状態に戻します。

※ 画面により表示される項目は異なります。

■メール作成の動作について

オプションメニューの「メール作成」を実行すると、Cメールの本文やPCメールなどの件名、本文に、スケジュール／タスクの設定内容がコピーされます。コピーされる内容は以下の通りです。

	スケジュール	タスク
Cメールの本文	•「詳細」の内容	何もコピーされません。
PCメールなどの件名	•「開始日時 - 終了日時」または「終日(日付)」 •「タイトル」	•「期限日時」 •「タイトル」
PCメールなどの本文	•「詳細」の内容	何もコピーされません。

アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。

1 メインメニューで[アラーム・タイマー]→[アラーム]

アラーム・タイマー画面には「名称」「時刻」「繰り返し」「ON／OFFの設定」が表示されます。



《アラーム・タイマー画面》

2 アラームを選択

「アラーム1」〜「アラーム10」から選択します。
アラームの名称を設定している場合は、名称を選択します。

3 各項目を編集→(戻る)

編集内容を保存して、アラーム・タイマー画面に戻ります。

memo

アラームON／OFFの設定

◎設定項目の「アラーム設定」を選択すると、アラームのON／OFFが切り替わります。

アラームを設定した時刻になると

◎アラーム音やバイブレータが鳴動し、アラームの内容が表示されます。「停止」を選択するか、いずれかのキーを押すとアラームは停止します。設定した鳴動時間が経過するとアラームは自動的に停止します。

◎電源がOFFの場合は、アラームは鳴りません。

◎アラームを設定した時刻になったときに通話中だった場合は、終話後にアラームが鳴ります。

スヌーズモードを設定すると

◎スヌーズモードを解除するまで、設定した間隔で最大6回までアラーム音が鳴ります。

◎スヌーズモードを解除するには、アラーム鳴動中またはスヌーズ中画面が表示されているときに「停止」を選択するか、(終話)を押します。

アラームを同時刻に設定した場合

◎アラーム、スケジュールアラーム、タスクアラーム、キッチンタイマーを同時刻に設定した場合は、アラーム→スケジュールアラーム→タスクアラーム→キッチンタイマーの順に鳴動します。なお、アラームがスヌーズモード中のときは、別のアラームはスヌーズモードが解除されてから鳴動します。

■アラームの入力項目について

項目	説明
名称	全角／半角16文字まで入力できます。
アラーム設定	アラームのON／OFFを設定します。
時刻	お知らせする時刻を入力します。
鳴動時間	アラームの鳴動する時間を入力します。
繰り返し	アラームの繰り返しを曜日などで指定します。毎日アラームを鳴動させたい場合は、「曜日」の設定ですべての曜日にチェックを付けます。 「1回のみ」「曜日」「平日」「休日」

項目	説明
アラーム音	アラーム音を設定します。
アラーム音量	音量を設定します。
スヌーズ設定	スヌーズのON／OFFを設定します。 スヌーズを「ON」に設定すると、スヌーズモードを解除するまで、設定した間隔と回数に応じてアラーム音が鳴ります。スヌーズモードを解除するには、アラーム鳴動中またはスヌーズ中画面が表示されているときに「停止」を選択するか、を押します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を1～10分の間で設定します。 スヌーズ間隔は、「スヌーズ設定」がONの場合に設定可能になります。
スヌーズ回数	スヌーズの回数を1～6回から設定します。 スヌーズ回数は、「スヌーズ設定」がONの場合に設定可能になります。
バイブレータ設定	バイブレータのON／OFFを設定します。

アラームのオプションメニューを利用する

1 アラーム・タイマー画面でMENU

2

リセット	選択しているアラームの設定内容がリセットされます。
マナー優先設定	マナーモード設定時にアラームの設定でお知らせするか、マナーモードの設定でお知らせするかを設定します。 「アラーム優先」「マナー優先」

ストップウォッチで時間を計る

1/10秒単位で59分59.9秒まで計測できます。最大99件のラップタイム（各区間ごとの経過時間）／スプリットタイム（合計経過時間）を記録できます。

1 メインメニューで［アラーム・タイマー］→［ストップウォッチ］

ストップウォッチと、ラップタイム／スプリットタイム計測時間の一覧が表示されます。

2 ［スタート］

「ラップ」を選択するたびに、区間ごとのラップタイム／スプリットタイムを記録し、一覧表示します。
計測中に「ストップ」／「スタート」で計測を一時停止／再開できます。
また、「リセット」で計測中の記録をすべて破棄します。

memo

◎計測したラップタイム／スプリットタイムが99件を超えると、最も古いラップタイム／スプリットタイムから削除されます。

キッチンタイマーで時間を計る

最大59分59秒までキッチンタイマーを設定できます。

1 メインメニューで[アラーム・タイマー]→[キッチンタイマー]

キッチンタイマーが表示されます。

2 キッチンタイマーを選択

「Timer1」～「Timer3」から選択します。

3 時間を入力(1秒～59分59秒)→[スタート]

カウントダウンを開始します。
カウントダウン中に「ストップ」／「スタート」で一時停止／再開できます。また、「リセット」でカウントダウンをやり直すことができます。

memo

時間の入力方法

◎「Timer1」～「Timer3」の時間表示部分をタップすると、時間を直接入力できます。
◎キッチンタイマーで、オプションメニューから「時間入力」を選択すると、時間を直接入力できます。
◎キッチンタイマーの「10秒」／「1分」／「5分」／「10分」をタップすると、選択しているキッチンタイマーに時間が表示されます。

アラームを同時刻に設定した場合

◎アラーム、スケジュールアラーム、タスクアラーム、キッチンタイマーを同時刻に設定した場合は、アラーム→スケジュールアラーム→タスクアラーム→キッチンタイマーの順に鳴動します。なお、アラームがスヌーズモード中のときは、別のアラームはスヌーズモードが解除されてから鳴動します。

キッチンタイマーのオプションメニューを利用する

1 キッチンタイマーで(MENU)

2

設定	各キッチンタイマーのカウントダウン終了時の動作を設定します。「アラーム音」「バイブレータ設定」については、「アラームの入力項目について」(▶P.234)をご参照ください。
時間入力	時間を入力します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。

au one ナビウォークを利用する

位置情報(GPS情報)を利用して目的地までナビゲーションするトータルナビ、電車の運行情報を確認できる乗車案内などをご利用いただけます。

memo

◎ au one ナビウォークを利用するには、au one-IDの登録が必要です。
au one-IDの登録方法については「au one-IDの設定をする」(▶P.269)をご参照ください。
◎ お買い上げ時はGPS機能がOFFに設定されています。GPS機能をONにする方法については「位置情報を有効にする」(▶P.114)をご参照ください。
◎ GPS情報は周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しいGPS情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。
◎ サービスエリア内でも、地下鉄などのGPS衛星の電波が届かない場所では、GPS情報を取得できません。
◎ 当社では提供したGPS情報に起因する損害について、その原因のいかんにかかわらず一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
◎ au one ナビウォークの各サービスをご利用の際には、パケット通信料がかかります。また、一部のサービスでは別途情報料がかかる場合があります。
◎ 通話中は、au one ナビウォークをご利用になれません。

トータルナビや乗換案内を利用する

1 メインメニューで[ナビウォーク]



《au one ナビウォークのメニュー画面》

2

ナビ	トータルナビ	電車、飛行機、バス、タクシーなどあらゆる交通手段から最適なルートでナビできます。
	地図検索	指定した場所の地図や周辺スポットを検索できます。
	乗換案内	指定した駅間の乗り換えや時刻表を検索できます。
ツール	現在地の地図	GPS情報を取得して、今いる場所の地図を表示します。
設定	設定&アカウント管理	▶P.238「au one ナビウォークを設定する」
	ヘルプ・サポート	よくある質問やお問い合わせを表示します。

memo

◎ au one ナビウォークには無料で使えるメニューと、登録が必要な有料のメニューがあります。

au one ナビウォークを設定する

1 **au one ナビウォークのメニュー画面で[設定]→[設定&アカウント管理]**

2

自宅　登録／変更／削除	自宅を設定します。
My地点　変更／削除	よく行く目的地などを変更／削除します。フォルダ名を変更することもできます。
ルート検索条件	トータルナビのルート検索条件を設定します。
音声ナビゲーション設定	音声ナビゲーションのバイブレータと音量を設定します。
登録情報削除	ルートや目的地の履歴、自宅などの個人情報を削除します。

方位計アプリを利用する

方位計アプリを利用して東西南北を表示できます。計測した方位はGoogleマップを利用し、地図および航空写真上、ストリートビュー上に表示できます。

方位計アプリをご利用になる前に

- 方位計アプリは、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障害になったり、誤差が大きく発生する場合がありますので、それらがない場所に移動してから計測してください。
  - ・建物（特に鉄筋コンクリート造り）、大きな金属の物体（電車、自動車）、高圧線、架線など
  - ・金属（鉄製の机、ロッカーなど）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）、永久磁気（磁気ネックレスなど）
- 地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。
- 以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますので、「精度補正」を行ってください。また、定期的に「精度補正」を行うことをおすすめします。
  - ・方位計アプリの起動直後や、IS01を強い磁力に近づけた場合
  - ・急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
  - ・IS01が磁気を帯びた場合
- 「精度補正」を行うときは、本体を両手でしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。補正が完了して正解音が鳴るまで、繰り返し実施してください。
- 「精度補正」を行う環境や起動しているアプリケーションによっては補正に失敗する場合があります。その場合は、「精度補正」を行う場所を変えるか、起動しているアプリケーションを終了させるなどしてからやり直してください。
- 地図を表示する場合、データ接続可能な状態（3G/GPRS）にあるか、Wi-Fiによるインターネット接続が必要です。

• お買い上げ時はGPS機能がOFFに設定されています。周辺の地図を表示するにはGPS機能をONにする必要があります。設定方法については「位置情報を有効にする」(▶P.114)をご参照ください。

方位計を表示する

1 メインメニューで[方位計]

「表示切替」で、表示モードを切り替えることができます。
「更新」で、現在地を再取得できます。



《方位計》

memo

◎方位が正しく表示されない場合は、「精度補正」でセンサーの感度を補正してください。

方位計アプリのオプションメニューを利用する

1 方位計で(MENU)

2

拡大･縮小	地図を拡大･縮小するためのコントローラを表示します。
地図モード変更	地図モードを選択します。 「標準地図」「航空写真」「ストリートビュー」
表示切替	表示モードを切り替えます。
精度補正	方位計測の精度補正を行います。
更新	現在地を再取得します。

※画面により表示される項目は異なります。

セカイカメラを楽しむ

IS01では、現実空間にエアタグと呼ばれるデジタルな付箋を貼り付けてコミュニケーションを楽しむAR(拡張現実)アプリケーション「セカイカメラ」を利用できます。

セカイカメラをご利用になる前に

- セカイカメラをご利用になるには、ネットワーク接続が必要です。ネットワーク接続可能な環境でご利用ください。
- お買い上げ時はGPS機能がOFFに設定されています。GPS機能をONにする方法については「位置情報を有効にする」(▶P.114)をご参照ください。
- 起動直後はデータの取得のため、画面やエアタグの表示にしばらく時間がかかる場合があります。

セカイカメラを起動する

1 メインメニューで[セカイカメラ]

内蔵のカメラを通した画像の上に、その場所に配置された情報「エアタグ」が表示されます。
画面上のエアタグをタップすると拡大表示され、詳細情報を見ることができます。



《ライブビュー(ログイン前)画面》

① **インジケータ**
自分の周囲にあるエアタグが白いドットで表示されます。

② **FILTER**
エアタグの絞り込み条件を設定できます。

③ **SIGN_UP**
ログインや新規アカウントの作成ができます。

ユーザー登録を行ってログインする

エアタグの投稿など他の機能を使用する場合は、ログインが必要です。

1 ライブビュー(ログイン前)画面で[SIGN_UP]→[ログインする]

新規にアカウントを作成する場合は、[アカウントを作成する]をタップします。

2 アカウントIDとパスワードを入力→[OK]

新規にアカウントを作成する場合、アカウントIDは4～32文字、パスワードは4～16文字で設定してください。どちらも半角英数字および「-」「_」のみ使用できます。
すでに他のユーザーが登録済みのアカウントIDは設定できません。
ログインが完了すると、ライブビュー画面が表示されます。



《ライブビュー画面》

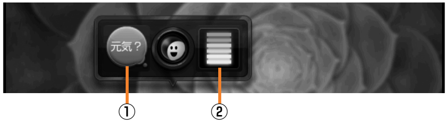
① TEXT
　入力したテキストをエアタグとして投稿できます。
② PHOTO
　撮影した画像をエアタグとして投稿できます。
③ SOUND
　録音した音声をエアタグとして投稿できます。
④ FILTER
　エアタグの絞り込み条件を設定できます。
⑤ POCKET
　エアタグを保存していつでも閲覧することができます。
⑥ SETUP
　エアタグで公開するプロフィールを作成します。
⑦ SNAP
　タップすると、エアタグと一緒に画像を撮影できます。

セカイカメラの使いかた

セカイカメラの利用方法などの詳細については、ライブビュー画面で(MENU)→[Support Center]→Support Center画面で[HOW TO]を選択してオンラインマニュアルをご参照ください。

セカイカメラウィジェットを表示する

デスクトップにセカイカメラウィジェットを追加すると、セカイカメラを起動していなくてもデスクトップでエアタグを見たりすることができます。(▶P.45「ウィジェットを利用する」)



《ウィジェット画面》

① **エアタグ**
　周辺のエアタグがランダムに表示されます。
② **ゲージ**
　周辺のエアタグの数が多いほどゲージが上がります。

ウィジェットをタップすると、セカイカメラを起動してエアタグの詳細を表示します。

電卓で計算する

最大12桁の計算を行うことができます。

1 メインメニューで[電卓]

[CM]：メモリをクリア　[RM]：メモリを呼び出し
[M－]：メモリから－　[M＋]：メモリに＋
[00]～[9]：数字を入力　[.]：小数点を入力
[√]：ルート計算　[%]：%
[＋]：＋　[÷]：÷
[×]：×　[－]：－
[＝]：＝　[AC]：AC（オールクリア）
[C/CE]：C（計算前の数値のみをクリア）／CE（表示数値をクリア）
[Del]：入力数字をクリア　[＋/－]：＋／－の切り替え

memo

◎計算がエラーとなった場合は、「E」と表示されます。

%を付加した計算について

例題	入力	計算結果
100の10%増しを計算	100＋10%	110
100の10%引きを計算	100－10%	90
100は80の何%かを計算	100÷80%	125
100の10%を計算	100×10%	10

◎電卓アプリがバックグラウンドで起動しているとき、OSの状態により電卓アプリの計算結果や計算履歴情報がクリアされる場合があります。

スマートリンク辞書（内蔵辞書／ネット辞書）で調べる

IS01では、スマートリンク辞書を利用して単語の意味などを検索することができます。スマートリンク辞書は、「内蔵辞書」と「ネット辞書」の2種類があります。内蔵辞書はIS01に内蔵されている辞書から、ネット辞書は辞書サーバから検索して結果を表示します。内蔵辞書とネット辞書は「辞書切替」から簡単に切り替えできます。
内蔵辞書で検索した単語は単語カードに登録して、単語テストをすることができます。

内蔵辞書を利用する

■辞書の切り替え

1 メインメニューで[内蔵辞書]



《内蔵辞書》

2 [辞書切替]→[明鏡国語辞典MX]／[ジーニアス英和MX]／[ジーニアス和英MX]／[カタカナ新語辞典]／[カタカナで引くスペリング]／[オックスフォード英語用法辞典]

- 「明鏡国語辞典ＭＸ」
  ©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009
- 「ジーニアス英和辞典MX」
  ©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009
- 「ジーニアス和英辞典MX」
  ©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009
- 「オックスフォード実例現代英語用法辞典」
  ©Oxford University Press, 2008
- 「カタカナで引くスペリング辞典」
  ©Kenkyusha Co., Ltd., 2010
- 「用例でわかるカタカナ新語辞典」
  ©Gakken, 2007

memo

◎「百科事典」はネット辞書です。ネット辞書については「ネット辞書を利用する」(▶P.244)をご参照ください。

■内蔵辞書で検索

1 内蔵辞書で[辞書切替]→利用する辞書を選択

2 検索したい単語を入力

1文字入力するごとに、それに一致する検索結果が一覧表示されます。

3 検索候補を選択

詳細情報が表示されます。

■内蔵辞書で使える機能

1 内蔵辞書で(MENU)

2

単語テスト	「単語カード追加」で登録した単語のテストをします。
単語カード一覧	選択中の辞書で登録された単語カードを確認します。
履歴一覧	選択中の辞書の検索履歴を新しいものから最大1,000件まで確認します。
単語カード追加	選択されている検索結果を単語カードに登録します。最大1,000件まで登録できます。
見出し語コピー	選択されている検索結果の見出し語をコピーします。
範囲指定コピー	検索結果の詳細情報に表示される内容を、最大128文字までコピーします。 **範囲の始点にカーソルを移動→[始点]→▲／▼／◀／▶で範囲指定→[終点]** • 範囲指定内の改行はコピーされません。
ひきなおす	単語やキーワードを入力し直します。
辞書の使い方	選択中の辞書の使いかたの説明を表示します。
辞書切替	利用する辞書を切り替えます。

※ 画面により表示される項目は異なります。

■単語テストをする

1 内蔵辞書で[辞書切替]→単語テストする辞書を選択

2 [単語テスト]→[10語テストします]／[20語テストします]／[50語テストします]→[開始]

3 答えが分かったら[解答へ]→[次へ]

「解答へ」を選択しなくても、問題表示後5秒経過すると自動的に解答が表示されます。
「次へ」を選択しなくても、解答表示後5秒経過すると自動的に次の問題が表示されます。

4 [終了する]

同じテストをもう一度行う場合は、「もう一度」を選択してください。

ネット辞書を利用する

■辞書の切り替え

1 メインメニューで[ネット辞書]

初回起動時には、利用規約が表示されますので「はい」を選択してください。



《ネット辞書》

2 [辞書切替]→検索する辞書を選択

お買い上げ時に使用できるネット辞書は百科事典のみです。

memo

◎「明鏡国語辞典MX」、「ジーニアス英和MX」、「ジーニアス和英MX」、「カタカナ新語辞典」、「カタカナで引くスペリング」、「オックスフォード英語用法辞典」は内蔵辞書です。内蔵辞書については「内蔵辞書を利用する」(▶P.242)をご参照ください。
◎[辞書管理]→[更新]を選択すると、サーバに接続して最新の辞書リストに更新できます。
◎ネット辞書が複数登録されると「すべての辞書」が表示されます。「すべての辞書」を選択すると、使用できるすべての辞書が検索対象になります。

■ネット辞書で検索

1 ネット辞書画面で検索したい単語を入力→[検索]

検索結果が一覧表示されます。

2 検索候補を選択

詳細情報が表示されます。

memo

◎「ネット辞書」を利用する場合は、インターネット接続が必要です。また、設定により、通信確認画面が表示される場合があります。
◎「画像取得設定」を「取得する」に設定していた場合は、画像取得時に通信料がかかります。また、電波状態や取得した画像によっては表示できないことがあります。
◎詳細情報で「さらに詳しく」が表示されている場合は、ブラウザを起動してサイト上の詳細情報を閲覧できます。
◎通話中はネット辞書で検索できません。

■ネット辞書で使える機能

1 ネット辞書でMENU

2

辞書管理	サーバに接続し、使用できる辞書のリストを更新したり、使用できる辞書のリストを編集します。
履歴一覧	選択されている辞書の検索履歴を新しいものから最大20件まで確認します。
見出し語コピー	選択されている検索結果の見出し語をコピーします。
ひきなおす	単語やキーワードを入力し直します。
出典について	ブラウザを起動し、出典の詳細情報を表示します。
辞書の使い方	ブラウザを起動し、辞書の使いかたの説明を表示します。
ヘルプ	ヘルプを表示します。
利用規約	ネット辞書の利用規約を表示します。
辞書切替	利用する辞書を切り替えます。
検索方法設定	選択されているネット辞書の見出し語の検索方法を設定します。
検索範囲設定	選択されているネット辞書の検索範囲を設定します。
画像取得設定	検索結果の詳細情報を表示する画面で画像を取得するかどうかを設定します。 「取得する」「取得しない」

※画面により表示される項目は異なります。

パソコンと連携する

microUSB-USB変換ケーブルで接続する

microSDメモリカードをセットしたIS01とパソコンを接続して、メモリカードリーダー／ライターと同じように、IS01にセットしたmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、WMAデータなどの音楽／動画データの転送も可能です。
USB充電を有効にして、パソコンの充電可能なUSBポートに接続した場合は充電できます。

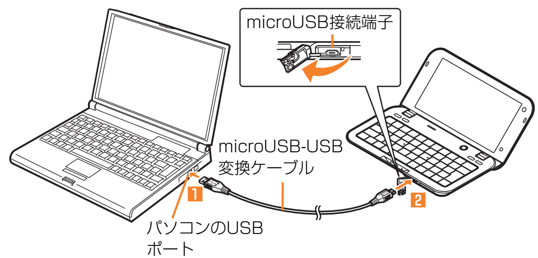
memo

◎microSDメモリカード内のデータについては「microSDメモリカードの内容をパソコンで表示する」(▶P.207)をご参照ください。
◎USB充電については「USB接続を設定する」(▶P.271)をご参照ください。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSB-USB変換ケーブルをパソコンのUSBポートに接続

2 IS01が完全に起動している状態で、microUSB-USB変換ケーブルをIS01に接続

IS01にセットしたmicroSDメモリカードが「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識されます。



3 メインメニューで[設定]→[システム]→[USB設定]→[USB接続モード]

4

外部メモリ転送モード	メモリカードリーダー／ライターのようにmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。 ▶右記「メモリカードリーダー／ライターとして使う」
高速転送モード	IS01とパソコン間の高速データ転送を可能にします。
MTPモード	パソコンからIS01内のmicroSDメモリカードにWMAデータなどの音楽／動画データを転送できます。 ▶P.247「MTPモードでパソコンからデータを転送する」

memo

◎IS01をパソコンに接続すると、自動的に次のUSB接続モードが設定されます。
- microSDメモリカード挿入時：外部メモリ転送モード
- microSDメモリカード未挿入時：高速転送モード

◎USB充電や高速転送モードを使用する場合は、パソコンにドライバのインストールが必要です。ドライバのインストールの詳細については以下のホームページでUSBドライバインストールマニュアルをご参照ください。
- シャープケータイdaSHサポートページ
  http://k-tai.sharp.co.jp/support/

◎高速転送モードを使用するとモデムデバイスとして認識されますが、IS01はパソコンのモデムとして使用できませんのでご注意ください。
◎Windows XP／Windows Vista／Windows 7以外のOSでの動作は、保証していません。
◎USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
◎パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSB-USB変換ケーブルを取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。
◎通信中に電池パックやmicroSDメモリカードを取り外さないでください。
◎外部メモリ転送モードでメモリカードリーダー／ライターとして利用中およびMTPモード中は電波OFFモードになります。また、高速転送モードでデータ転送中にも電波OFFモードになる場合があります。各モード利用後に電波OFFモードが解除されない場合は、手動で解除してください。
◎MTPモード中はキー操作を行うことはできません。
◎USB充電を有効にして、パソコンの充電可能なUSBポートに接続した場合は、IS01の充電／着信ランプが赤色に点灯し、充電されます。充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

■メモリカードリーダー／ライターとして使う

IS01とパソコンをmicroUSB-USB変換ケーブルで接続して、IS01をメモリカードリーダー／ライターとして利用することができます。
あらかじめmicroSDメモリカードを挿入しておいてください。
（▶P.203「microSDメモリカードをセットする」）
また、パソコンとIS01を接続し、「USB接続モード」を「外部メモリ転送モード」に設定してください。（▶P.245「microUSB-USB変換ケーブルで接続する」）

1 お知らせエリアをタップ→[USB接続]→[マウント]

パソコンを操作することで、IS01をメモリカードリーダー／ライターとして利用できるようになります。

2 パソコンを操作してデータを転送

3 転送が完了したらお知らせエリアをタップ→[USBストレージをOFFにする]→[OFF]

4 ケーブルを取り外す

ケーブルの取り外し方については、「パソコンからのUSBケーブルの取り外し」（▶P.247）をご参照ください。

便利な機能

memo

◎マウント中は、IS01のアプリケーションからmicroSDメモリカードは使用できません。マウント中にmicroSDメモリカードを使用するアプリケーションを操作すると再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、外部メモリ転送モードを解除してから再度操作してください。
◎ワンセグでmicroSDメモリカードに録画データを保存しているときは、マウントできません。
◎マウントを実行すると電波OFFモードになります。利用後に電波OFFモードが解除されない場合は、手動で解除してください。

■MTPモードでパソコンからデータを転送する

パソコンの音楽データ、動画データをIS01のmicroSDメモリカードに保存します。
あらかじめパソコンとIS01を接続し、「USB接続モード」を「MTPモード」に設定してください。（▶P.245「microUSB-USB変換ケーブルで接続する」）

1 パソコンのWindows Media Playerを起動

Windows Media Player 11以降を使用してください。

2 Windows Media Playerの同期リストに保存するデータを登録し、同期を実行

登録したデータが自動的にIS01に転送されます。

3 転送終了後、ケーブルを取り外す

ケーブルの取り外し方については、「パソコンからのUSBケーブルの取り外し」（▶右記）をご参照ください。

memo

◎著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
◎データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。
◎著作権保護されていないデータでも、IS01以外で保存したデータは再生できません。
◎IS01以外でファイルを保存したmicroSDメモリカードを使用すると、MTPモードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモリカードをIS01で初期化することをおすすめします。なお、microSDメモリカードを初期化すると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

転送ファイルについて

◎ファイル名は、全角／半角63文字（拡張子を含む）まで表示されます。
◎拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。
◎著作権保護されたデータのライセンス情報は、microSDメモリカードに保存されます。microSDメモリカードの取り外し、ライセンス情報データの削除、オールリセットなどを行うと、転送したデータが再生できなくなります。

■パソコンからのUSBケーブルの取り外し

パソコンの電源がONのときは、以下の操作でケーブルを取り外します。

1 データ転送が完了していることを確認

2 パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、IS01を停止

通信の切断を確認するメッセージが表示されます。

3 microUSB-USB変換ケーブルをIS01から取り外す

microUSB-USB変換ケーブルのコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

memo

◎パソコンの電源がOFFのときは、操作3に従って、microUSB-USB変換ケーブルをIS01から取り外してください。

IS01を設定する

設定メニューを表示する

設定メニューからIS01を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、リセットなどをすることができます。

設定メニューを起動する

1 メインメニューで[設定]



《設定メニュー画面》

設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
プロフィール	プロフィールを表示・編集できます。 内容を編集する場合は「編集」を選択します。	P.134
マナーモード	マナーモードを設定します。 「通常マナー」「ドライブマナー」 「サイレントマナー」「OFF」	P.222
通話	通話時間・料金、発信者番号通知、留守番電話、転送電話など、通話に関する設定を行います。	P.251
音・バイブ・ランプ	音声着信音、メール受信音、操作音、バイブレータ(振動)、LEDランプの設定、イヤホン設定、メディア再生音量などを変更できます。	P.254
画面表示	壁紙、アニメーション表示、画面の向き(縦横表示の切り替え)、バックライト、ベールビュー、文字フォントなど、画面表示に関する設定を行います。	P.257
セキュリティ&位置情報	GPS機能のON/OFFなどの位置情報に関する設定や、セキュリティロック、機能制限、PINコードの設定などのセキュリティに関する設定を行います。	P.258
通信	Wi-Fi、Bluetooth®、モバイルネットワーク設定、電波OFFモードなど、通信に関する設定を行います。	P.263
アプリケーション	アプリケーションのインストールや起動に関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションの管理をします。	P.265
データの同期	データ同期に関する基本設定や、データ同期するGoogleアプリケーションの選択をします。	P.267
地域/言語&文字入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	P.267
検索	ウェブ検索時の条件設定やIS01内の検索対象の選択など、検索に関する設定を行います。	P.268
ユーザー補助	ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助オプションを利用できます。	P.268
音声合成	テキストから音声への変換オプションの設定をします。	P.269
au one-ID設定	au one-IDを設定します。	P.269
システム	メジャーアップデート、ケータイアップデート、日時設定、USB設定などシステムに関する設定を行います。また、電池使用量などの端末情報を確認できます。	P.270
リセット	設定リセット、オールリセットを行います。	P.273

通話関連機能の設定をする

通話時間・料金を表示する

1 設定メニュー画面で[通話]→[通話時間・料金]→[通話時間・料金]

前回通話・累積の通話時間・料金の目安、前回リセットした日時が表示されます。
また、通話時間・料金画面で[リセット]→ロックNo.を入力→[OK]を選択すると、表示されている時間・料金をリセットできます。

memo

◎表示される通話料金は、各種割引適用前の金額です。
◎通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間／通話料金が更新されない場合があります。

通話終了後の通話料金の表示を設定する

通話終了後に、通話料金の目安を表示するかどうかを設定します。

1 設定メニュー画面で[通話]→[通話時間・料金]→「通話料金表示」のチェックボックスにチェックを入れる

通話料金を表示しない場合は、チェックボックスのチェックを外します。

memo

◎表示される通話時間や通話料金は目安です。正確なものではありません。
◎表示される通話料金は、各種割引適用前の金額です。
◎通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話料金が表示されない場合があります。

発信者番号通知を設定する

自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。

1 設定メニュー画面で[通話]→「発信者番号通知」のチェックボックスにチェックを入れる

電話番号を通知しない場合は、チェックボックスのチェックを外します。

memo

◎発信者番号通知の設定については「電話番号を通知するかどうかを設定する」(▶P.146)をご参照ください。

エニーキーアンサー設定

着信時にキーボードのいずれかのキーを押したときの動作を、「応答」／「サイレント」／「なし」の中から選択して設定できます。

1 設定メニュー画面で[通話]→[エニーキーアンサー設定]

2 [応答]／[サイレント]／[なし]

「サイレント」に設定した場合は、着信時にキーボードのいずれかのキーを押すと、着信音量とバイブレータがOFFになり、着信表示のみになります。着信音量の調整はできません。

memo

◎「サイレント」に設定した場合のみ、キーボードのキーだけでなく(⌂)／(MENU)／(↩)も有効になります。
◎エニーキーアンサー設定の設定に関わらず、着信時に(終話)を押すと保留状態になり、相手の方に保留中であることを音声ガイダンスでお知らせします。
◎着信時に(↩)を押すと(「サイレント」に設定した場合のみ2回押すと)、お留守番サービスを設定している場合はお留守番サービスに転送します。お留守番サービスを設定していない場合は着信拒否をします。

音声・伝言メモを設定する

応答メッセージやメモリストの設定を行います。

1 設定メニュー画面で[通話]→[音声・伝言メモ]

2

伝言メモリスト	伝言メモの再生、削除、保護／解除を行います。
音声メモリスト	音声メモの再生、削除、保護／解除を行います。
伝言メモ設定	伝言メモを使用するかどうかを設定します。 • チェックボックスにチェックを入れると伝言メモが設定されます。
応答メッセージ設定	伝言メモの応答メッセージを設定します。 「通常」「ドライブ」「公共」
応答時間設定	伝言メモが自動応答するまでの時間を設定します。(1～45秒)

memo

◎伝言メモ設定については「伝言メモを利用する」(▶P.223)を、音声メモの設定については「音声メモを利用する」(▶P.224)をご参照ください。

留守番電話を設定する

お留守番サービス(▶P.136)の設定を行います。

1 設定メニュー画面で[通話]→[留守番電話]

2

留守番伝言再生	▶P.139「伝言・ボイスメールを聞く」
留守番開始1	▶P.137「お留守番サービスを開始する」
留守番開始2	
留守番停止	▶P.137「お留守番サービスを停止する」
応答内容変更	▶P.139「応答メッセージの録音／確認／変更をする」

転送電話を設定する

着信転送サービス(▶P.141)の設定を行います。

1 設定メニュー画面で[通話]→[転送電話]

2

無応答転送	▶P.142「応答できない電話を転送する(無応答転送)」
話中転送	▶P.142「通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)」
フル転送	▶P.142「かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)」
選択転送	▶P.143「手動で転送する(選択転送)」
転送停止	▶P.143「着信転送サービスを停止する(転送停止)」

着信を拒否する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 設定メニュー画面で[通話]→[着信拒否]

2 ロックNo.を入力→[OK]

3

指定番号	特定の電話番号を指定して、その電話番号からの着信を拒否します。 「拒否メッセージ1」「拒否メッセージ2」「無応答切断」「OFF」
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。 「拒否メッセージ1」「拒否メッセージ2」「非通知用メッセージ」「無応答切断」「OFF」
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。 「拒否メッセージ1」「拒否メッセージ2」「公衆電話メッセージ」「無応答切断」「OFF」
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。 「拒否メッセージ1」「拒否メッセージ2」「無応答切断」「OFF」
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。 「拒否メッセージ1」「拒否メッセージ2」「無応答切断」「伝言メモ録音」「OFF」
着信履歴保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。 • チェックボックスにチェックを入れると着信履歴に保存します。

memo

◎ 着信拒否を設定すると、以下のメッセージが流れます。

拒否メッセージ1	この電話番号からの電話はお受けできません
拒否メッセージ2	誠に申し訳ありませんが、ただいま都合により電話をお受けすることができません
非通知用メッセージ	発信者番号が通知されておりません。電話番号の頭に186をつけておかけ直しください
公衆電話メッセージ	公衆電話からの電話はお受けできません
無応答切断	(接続できなかったことを音声ガイダンスでお知らせします)
伝言メモ録音	(伝言メモの応答メッセージが流れます)

◎ お留守番サービス(▶P.136)もしくは着信転送サービス(▶P.141)の無応答転送/フル転送を設定している場合は、「無応答切断」に設定してもお留守番サービスもしくは着信転送サービスに転送されます。

◎ 割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できません。

音・バイブ・ランプの設定をする

着信時の動作やキー操作音など、音・バイブレータ(振動)・充電／着信ランプの設定を行います。

音声着信時の動作を設定する

1 **設定メニュー画面で[音・バイブ・ランプ]→[音声着信]**

2

音量	音量を設定します。 「0」～「7」
メロディ	コンテンツマネージャーを呼び出して、着信音のデータを選択します。
バイブレータ	バイブレータの動作を設定します。 「パターン1」「パターン2」「パターン3」 「パターン4」「パターン5」「OFF」
表示	コンテンツマネージャーを呼び出して、着信画像のデータを選択します。
ランプ	ランプの動作を設定します。 「パターン1」「パターン2」「パターン3」 「パターン4」「パターン5」「OFF」 • パターン1～5を選択したときは、ランプのカラーを選択します。 「赤」「緑」「青」「黄」「マゼンタ」「シアン」「白」

メール受信時の動作を設定する

1 **設定メニュー画面で[音・バイブ・ランプ]→[メール受信]**

2

音量	音量を設定します。 「0」～「7」
メロディ	コンテンツマネージャーを呼び出して、受信音のデータを選択します。
バイブレータ	バイブレータの動作を設定します。 「パターン1」「パターン2」「パターン3」 「パターン4」「パターン5」「OFF」
表示	コンテンツマネージャーを呼び出して、受信画像のデータを選択します。
ランプ	ランプの動作を設定します。 「パターン1」「パターン2」「パターン3」 「パターン4」「パターン5」「OFF」 • パターン1～5を選択したときは、ランプのカラーを選択します。 「赤」「緑」「青」「黄」「マゼンタ」「シアン」「白」
鳴動時間	受信時の動作時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」(1～60秒)

PCメール受信時の動作を設定する

1 設定メニュー画面で[音・バイブ・ランプ]→[PCメール受信]

2

音量	音量を設定します。 「0」～「7」
メロディ	コンテンツマネージャーを呼び出して、受信音のデータを選択します。
バイブレータ	バイブレータの動作を設定します。 「パターン1」「パターン2」「パターン3」 「パターン4」「パターン5」「OFF」
表示	コンテンツマネージャーを呼び出して、受信画像のデータを選択します。
ランプ	ランプの動作を設定します。 「パターン1」「パターン2」「パターン3」 「パターン4」「パターン5」「OFF」 • パターン1～5を選択したときは、ランプのカラーを選択します。 「赤」「緑」「青」「黄」「マゼンタ」「シアン」「白」
鳴動時間	受信時の動作時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」(1～60秒)

お知らせ受信時の動作を設定する

1 設定メニュー画面で[音・バイブ・ランプ]→[お知らせ受信]

2

音量	音量を設定します。 「0」～「7」
メロディ	コンテンツマネージャーを呼び出して、受信音のデータを選択します。
バイブレータ	バイブレータの動作を設定します。 「パターン1」「パターン2」「パターン3」 「パターン4」「パターン5」「OFF」
鳴動時間	受信時の動作時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」(1～60秒)

各種操作音の音量を設定する

1 設定メニュー画面で[音・バイブ・ランプ]→[操作音量]

2 ◀/▶→[OK]

「0」～「7」の間で設定できます。

各種操作音を設定する

1 設定メニュー画面で[音・バイブ・ランプ]

2 以下のチェックボックスのチェックを入れる／チェックを外す

チェックを入れると音が出ます。チェックを外すと音は出ません。
操作音量は、「各種操作音の音量を設定する」(▶P.255)で設定します。

ダイヤル音	電話番号入力時にダイヤル音を出すかどうかを設定します。
選択時の操作音	キー／タッチパネルで項目を選択したときに音を出すかどうかを設定します。
microSDの通知	microSDメモリカードの通知が表示されるときに音を出すかどうかを設定します。
ポップアップの通知	ポップアップ通知が表示されるときに音を出すかどうかを設定します。
オープン	本体を開いたときに音を出すかどうかを設定します。
クローズ	本体を閉じたときに音を出すかどうかを設定します。
充電開始	充電開始時に音を出すかどうかを設定します。
充電完了	充電完了時に音を出すかどうかを設定します。
電源ON	電源ON時に音を出すかどうかを設定します。

通話中ランプ・お知らせランプを設定する

1 設定メニュー画面で[音・バイブ・ランプ]→[ランプ設定]

2

通話中ランプ	チェックボックスにチェックを入れると、ランプが点滅します。チェックを外すとランプは点滅しません。
お知らせランプ※	

※お知らせランプは24時間点滅した後消灯します。お知らせランプ点滅中は電池の消耗が早くなりますので、お早めにお知らせをご確認ください。

イヤホンの接続を設定する

1 設定メニュー画面で[音・バイブ・ランプ]→[イヤホン設定]

2

イヤホン種類	接続するイヤホンの種類を設定します。 「マイクなし」「マイクあり」
オート着信	イヤホン接続時の着信に対して、設定した時間が経過すると自動応答するかどうかを設定します。 • チェックボックスにチェックを入れると、応答時間を1～30秒の間で設定できます。

メディア再生時の音量を設定する

音楽や動画の再生音量を設定します。

1 設定メニュー画面で[音・バイブ・ランプ]→[メディア再生音量]

2 ◀／▶→[OK]

「0」～「15」の間で設定できます。

画面表示を設定／変更する

壁紙、画面やメニュー表示時のアニメーション表示、メールの送受信中画像などを設定／変更できます。

1 設定メニュー画面で[画面表示]

2

壁紙	画像データを選択して壁紙を変更します。 「データ選択」「OFF」 • 「データ選択」を選択すると、コンテンツマネージャーを呼び出して、保存場所（「本体」／「microSD」／「プリセット」）からデータを選択できます。
アニメーション表示	画面やメニュー表示時にアニメーション表示するかどうかを設定します。 • チェックボックスにチェックを入れると、アニメーション表示が有効になります。
画面の向き	本体の向きに連動して画面の縦横表示を切り替えるかどうかを設定します。 • チェックボックスにチェックを入れると、ブラウザなど一部のアプリケーションで縦横表示の切り替えが有効になります。
バックライト	ディスプレイ照明の点灯時間や明るさを設定します。 **点灯時間**：「15秒」「30秒」「1分」「2分」「10分」「常時点灯」 **明るさ自動調整**：チェックボックスにチェックを入れると、自動調整が有効になります。 **明るさ設定**：スライドバーで調整します。
メール送信中画面	メール送信中に表示する画像を設定します。 • コンテンツマネージャーを呼び出して、保存場所（「本体」／「microSD」／「プリセット」）からデータを選択できます。
メール受信中画面	メール受信中に表示する画像を設定します。 • コンテンツマネージャーを呼び出して、保存場所（「本体」／「microSD」／「プリセット」）からデータを選択できます。
ベールビュー	表示内容を隣の人からのぞかれにくくすることができます。 **表示パターン設定**：「フルスクリーンパターン1～3」「アニメパターン1～3」 **濃度設定**：「濃い」「普通」「薄い」 **見栄え補正**：「－6」～「6」
文字設定	文字フォントと文字サイズを設定します。 **文字フォント**：フォントの一覧から使用するフォントを選択します。 **文字サイズ設定**：「メール本文」と「メモ帳」の文字サイズを選択します。 「最大」「大」「中」「小」「最小」

memo

「文字設定」の「文字フォント」について

◎ Androidマーケットなどからダウンロードしたアプリケーションによっては「モリサワ 新ゴ R」、「LC明朝」、「SHクリスタルタッチ」を選択すると正常に表示されない場合があります。その場合は、「Droid Sans」などAndroid標準のフォントに切り替えてご利用ください。

セキュリティと位置情報の設定をする

位置情報の取得条件を設定する

1 **設定メニュー画面で[セキュリティ＆位置情報]**

2

ワイヤレスネットワークを使用	▶P.114「位置情報を有効にする」
GPS機能をONにする	▶P.114「位置情報を有効にする」
Googleと共有する	▶P.114「位置情報を有効にする」

クローズロックを設定する

本体を閉じたときやスリープモードになったときに、ロックがかかるように設定します。

1 **設定メニュー画面で[セキュリティ＆位置情報]→[セキュリティロック]→[クローズロック]**

2 **ロックNo.を入力→[OK]**

「クローズロック」のチェックボックスにチェックを入れると、ロックがかかる状態になります。

memo

◎クローズロックを解除するには、ロックNo.の入力、または指リストパターンの入力が必要です。

◎クローズロック中、ロックを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)への電話はかけられます。

◎クローズロック解除時にロックNo.の入力、または指リストパターンの入力に5回失敗した場合、メッセージ画面で「OK」を選択すると、「忘れた場合」が表示されます。「忘れた場合」を選択するとGoogleアカウントログイン画面が表示され、Googleアカウントを入力するとクローズロックが解除されます。ロックNo.がお買い上げ時の「1234」に初期化されますので、画面の指示に従ってロックNo.または指リストパターンを設定してください。

◎Googleアカウントを設定していないと「忘れた場合」は表示されません。この場合、クローズロックを解除できなくなります。ロックNo.または指リストパターンはお忘れにならないようご注意ください。

遠隔ロックを設定する

IS01を紛失した場合などに、特定の電話からIS01へ電話をかけて着信を繰り返すことにより、遠隔操作でIS01を他人が使えない状態にすることができます。この操作により「クローズロック」(▶左記)「電話帳制限」(▶P.260)を設定できます。

1 **設定メニュー画面で[セキュリティ＆位置情報]→[セキュリティロック]→[遠隔ロック]**

2 **ロックNo.を入力→[OK]**

3

有効番号リスト	電話番号を3件まで登録できます。 **1. [新規登録]** **2. [直接入力]→電話番号を入力→[OK]** 「電話帳引用」「プロフィール引用」から電話番号を選択したり、「公衆電話」を選択することもできます。
指定時間	最初の着信から、「着信回数」で設定した回数分の着信があるまでの制限時間を1〜10分の間で指定します。
着信回数	遠隔ロックが起動するまでの着信の回数を3〜10回の間で設定します。

本体ロック解除	本体の操作で、遠隔ロックを解除できるように設定できます。 • チェックボックスにチェックを入れると、本体の操作と遠隔操作でロックを解除できます。 • チェックボックスのチェックを外すと、遠隔操作のみでロックを解除できます。

■登録した電話から遠隔ロックをかけるには

有効番号リストに登録した電話から、設定した条件(指定時間･着信回数)でIS01へ電話をかけると、「クローズロック」「電話帳制限」をかけることができます。

memo

◎遠隔ロックを起動させるときは、発信者番号を通知して電話をかけてください。

◎IS01の電源が入っていない場合や、IS01がサービスエリア外にある場合、「電波OFFモード」(▶P.264)が「ON」に設定されている場合は、遠隔ロックを起動できません。また、電波の弱い場所にIS01がある場合は、遠隔ロックを起動できない場合があります。

◎au ICカードが挿入されていない場合や、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、遠隔ロックの起動や、遠隔ロックの解除ができません。

◎着信回数のカウント中に次の操作を行うと、それまでにカウントした着信の回数がリセットされます。

- 「遠隔ロック」の設定を行った場合
- 「設定リセット」「オールリセット」(▶P.273)した場合

◎次の場合は、着信回数はカウントされません。

- 非通知または通知不可能により発信者番号が通知されない場合
- 通話中の割込着信の場合

◎着信回数は、登録してある電話番号ごとにカウントされます。

◎遠隔ロック操作中にIS01で電話に出たり、着信拒否したり、伝言メモで応答しても、その着信はカウントされます。また、「着信拒否」(▶P.253)で着信拒否を設定した電話番号からの着信もカウントされます。

■安心ロックサービスで遠隔ロックをかけるには

あらかじめ遠隔ロックの設定をしていない場合でも、auお客様センターへ電話したり、パソコンからのお手続きをすることで、遠隔操作で「クローズロック」「電話帳制限」をかけることができます。

安心ロックサービスは、無料で利用できます。

■auお客様センターに電話して遠隔ロックをかける／解除する

【IS01から】局番なし**113**(無料)

【au以外の携帯電話、一般電話から】フリーコール**0077-7-113**(無料)

- 受付時間は、24時間です。
- 音声ガイダンスに従ってお手続きをしてください。

■auお客さまサポート(https://cs.kddi.com/)で遠隔ロックをかける／解除する

auお客さまサポート(**https://cs.kddi.com/**)にログインして、画面の指示に従ってお手続きをしてください。

memo

◎安心ロックサービスを初めてご利用になる際には、お申し込みが必要です。(紛失後のお申し込みでもご利用になれます。)

■安心ロックサービスご利用にあたっての注意

- 安心ロックサービスは、ご契約者からのお申し出があった場合に遠隔ロックをかけます。
- IS01の電源が入っていない場合や、IS01がサービスエリア外にある場合、「電波OFFモード」が「ON」に設定されている場合は、遠隔ロックを起動できません。また、電波の弱い場所にIS01がある場合は、遠隔ロックを起動できない場合があります。
- au ICカードが挿入されていない場合や、お客様のau ICカード以外のカードが挿入されている場合は、遠隔ロックの起動や、遠隔ロックの解除ができません。

- IS01を紛失した場合は、遠隔ロックに加えて紛失時の手続きを行うことをおすすめします。紛失時の手続きについては、「アフターサービスについて」(▶P.282)をご参照ください。

■遠隔ロックによる制限内容

遠隔ロック中は、次のようにIS01の使用が制限されます。
- 「クローズロック」「電話帳制限」が一時的にかかります。
- デスクトップは表示されず、「遠隔ロック中」と表示されます。
- アラーム／スケジュールアラーム／タスクアラームは、起動しません。
- ワンセグの録画は開始されません。
- 着信相手は表示されません。

memo

◎遠隔ロック中、ロックNo.入力画面でロックNo.未入力の場合でも「緊急通報」をタップして、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)への電話はかけられます。

各機能の利用を制限する

他人の無断使用を防止するため「音声発信制限」「電話帳制限」などの機能の利用を制限することができます。

1 **設定メニュー画面で[セキュリティ＆位置情報]→[機能制限]**

2

音声発信制限	ダイヤルキーでの番号入力による発信や各履歴からの発信を制限します。 • 音声発信制限中でも、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)への発信は可能です。
電話帳制限	電話帳の表示／操作を制限します。

3 **ロックNo.入力→[OK]**

チェックボックスにチェックを入れると、機能の利用が制限されます。

memo

◎各機能の利用制限中は、ロックNo.を入力することで、一時的に続きの操作を行うことができます。

ロック解除方法を設定する

ロックのかかった操作を行うときのロック解除方法を、「指リスト」、「ロックNo.」から選択して設定できます。お買い上げ時は「ロックNo.」に設定されています。

■指リストを設定する

1 **設定メニュー画面で[セキュリティ＆位置情報]→[ロック解除方法]**

2 **[指リスト]→ロックNo.入力→[OK]**

初めて指リストを設定する場合のみガイダンスが表示されます。画面の指示に従って「次へ」を2回選択してください。
指リストパターンを入力する画面が表示されます。



《ロック解除方法変更》

3 **指リストパターンを入力→[次へ]**

4 確認のためもう一度指リストパターンを入力→[確認]

memo

◎指リストパターンの入力に5回失敗すると、メッセージが表示され30秒間入力できない状態になります。
◎指リストパターンを変更する場合は、設定メニュー画面で[セキュリティ&位置情報]→[ロック解除パターン変更]→[指リスト]を選択して、画面の指示に従って変更します。
◎指リストパターン入力時に、線の軌跡を画面に表示しない設定にする場合は、設定メニュー画面で[セキュリティ&位置情報]→「指の軌跡を線で表示」のチェックボックスのチェックを外します。
◎指リストパターン入力時に振動(バイブレーション)を発生させたい場合は、設定メニュー画面で[セキュリティ&位置情報]→「入力時のバイブレーション」のチェックボックスにチェックを入れます。

■ロックNo.入力に設定する

指リストによるロック解除方法をロックNo.入力に戻します。

1 設定メニュー画面で[セキュリティ&位置情報]→[ロック解除方法]

2 [ロックNo.]→指リストパターン入力

新しいロックNo.入力画面が表示されます。

3 新しいロックNo.を入力→[OK]

4 確認のためもう一度ロックNo.を入力→[確認]

「登録しますか?」とメッセージが表示されます。

5 [確認]

memo

◎ロックNo.(お買い上げ時は「1234」)は、4～8桁のお好みの数字に設定できます。

ロック解除の入力パターンを変更する

■ロックNo.を変更する

ロック解除方法でロックNo.を選択している場合に、入力する数字を変更します。

1 設定メニュー画面で[セキュリティ&位置情報]→[ロック解除パターン変更]→[ロックNo.]

2 設定されているロックNo.を入力→[OK]

3 新しいロックNo.を入力→[OK]

4 確認のためもう一度ロックNo.を入力→[確認]

「登録しますか?」とメッセージが表示されます。

5 [確認]

■指リストパターンを変更する

ロック解除方法で指リストを選択している場合に、指リストパターンを変更します。

1 設定メニュー画面で[セキュリティ&位置情報]→[ロック解除パターン変更]→[指リスト]

2 設定されている指リストパターンを入力

3 新しい指リストパターンを入力→[次へ]

4 確認のためもう一度指リストパターンを入力→[確認]

PINコードを設定する

第三者によるau ICカードの無断使用を防止するために、au ICカードにはPINコード機能があります。

1 **設定メニュー画面で[セキュリティ＆位置情報]→[PINコード設定]**

2

入力要否設定	IS01ご使用時にPINコードの入力が必要になるように設定できます。 • チェックボックスにチェックを入れると、PINコード入力が必要になります。
PINコード変更	PINコードを変更する場合は、「入力要否設定」のチェックボックスにチェックを入れてください。 **古いPINコードを入力→[OK]→新しいPINコードを入力→[OK]→もう一度新しいPINコードを入力→[OK]**

memo

◎古いPINコードを3回連続で間違えると、PINコードがロックされます。（▶下記「PINコードが一致しなかった場合」）

■PINコードが一致しなかった場合

PINコードを3回連続で間違えると、PINコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

1 **8桁のPINロック解除コードを入力→新しいPINコードを入力→もう一度新しいPINコード（確認用）を入力→[OK]**

memo

◎PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のためIS01が再起動することがあります。

◎PINロック解除コードについては、「PINコードについて」（▶P.23）をご参照ください。

認証情報を使用する

安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可する設定をします。

認証情報を使用する場合は、事前に認証情報ストレージパスワード（▶下記）を設定する必要があります。

1 **設定メニュー画面で[セキュリティ＆位置情報]→[安全な認証情報を使用する]**

2 **認証情報ストレージパスワードを入力→[OK]**

チェックボックスにチェックを入れると、認証情報が使用可能になります。

認証情報のパスワードを設定する

認証情報ストレージパスワードを設定、または変更します。

1 **設定メニュー画面で[セキュリティ＆位置情報]→[パスワードの設定]**

2 **新しい認証情報ストレージパスワードを入力→新しい認証情報ストレージパスワードの確認を入力→[OK]**

パスワードは8文字以上で設定してください。スペースは無効です。

認証情報のストレージをクリアする

認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。

1 **設定メニュー画面で[セキュリティ＆位置情報]→[ストレージをクリアする]**

注意のメッセージが表示されます。

2 **[OK]**

通信の設定をする

Wi-Fiを利用する

1 設定メニュー画面で[通信]→「Wi-Fi利用」のチェックボックスにチェックを入れる

Wi-Fiを利用しない場合は、チェックボックスのチェックを外します。

Wi-Fiの設定をする

1 設定メニュー画面で[通信]→[Wi-Fi設定]

2

Wi-Fi利用	▶P.34「Wi-Fiを設定する」 ▶P.34「ご利用開始までの流れ」
ネットワークの通知	利用可能なオープンネットワークがあるときに通知するかどうかを設定します。通知する場合はチェックボックスにチェックを入れます。
Wi-Fi簡単登録	▶P.34「ご利用開始までの流れ」
公衆無線LAN自動ログイン設定	▶P.34「ご利用開始までの流れ」

memo

◎ 検出されたWi-Fiネットワークが下段に一覧表示されます。

◎ 手動でWi-Fiネットワークを追加する場合は、画面最下部の「Wi-Fiネットワークを追加」を選択し、ネットワークSSIDなどを設定します。

Bluetooth®を利用する

1 設定メニュー画面で[通信]→「Bluetooth」のチェックボックスにチェックを入れる

Bluetooth®を利用しない場合は、チェックボックスのチェックを外します。

memo

◎ Bluetooth®の利用については「Bluetooth®をON/OFFにする」(▶P.212)をご参照ください。

Bluetooth®の設定をする

1 設定メニュー画面で[通信]→[Bluetooth設定]

2

Bluetooth	Bluetooth®を利用する場合はチェックボックスにチェックを入れます。
新規デバイス登録	▶P.216「オーディオ機器やハンズフリー機器、ヘッドセット機器を登録する」
登録機器一覧	▶P.213「Bluetooth®機器を登録する」 ▶P.216「オーディオ機器でオーディオ出力対応アプリの音を聴く」
データ受信	▶P.217「Bluetooth®でデータを送受信する」
Bluetooth詳細設定	▶P.218「Bluetooth®機能の詳細設定をする」

モバイルネットワーク設定をする

データ通信を利用できるように設定します。「データ通信」のチェックボックスにチェックを入れると、データ通信が利用可能な状態になります。

1 設定メニュー画面で[通信]→[モバイルネットワーク設定]→[データ通信]

通信料に関するメッセージが表示されます。

2 [OK]

自動的に接続を開始します。接続が完了すると「データ通信」のチェックボックスにチェックが入ります。

memo

◎「データ通信」の設定をOFFにすると、CDMA 1X WINでのパケット通信とCメールの送信ができなくなります。
◎通常は「高度な設定」を使用しないでください。設定を有効にすると、データ通信が行えなくなる場合があります。
◎「高度な設定」を利用する場合はIDとパスワードが必要です。

フィルタリング設定をする

フィルタリング機能を有効に設定すると、青少年に不適切なカテゴリに属する出会い系サイトやアダルトサイトなどのウェブページを遮断します。

1 設定メニュー画面で[通信]→[フィルタリング設定]

フィルタリング設定画面に、有効／無効を確認するメッセージが表示されます。

2 [はい]

パスワードの入力画面が表示されます。

3 パスワードを入力→[OK]

有効にする場合は、ここで任意のパスワードを設定します。確認のためもう一度設定したパスワードを入力してください。
無効にする場合は、有効にするときに設定したパスワードを入力してください。

4 [OK]

memo

◎フィルタリング機能は、IS NET、またはau.NETに接続してインターネットを利用しているときのみ有効です。
◎フィルタリング設定を有効にするときに入力したパスワードは、無効にするときに必要です。お忘れにならないようご注意ください。

電波OFFモードを設定する

着信やメール受信に割り込まれることなく、カメラやムービーなど他の機能が利用できます。

1 設定メニュー画面で[通信]→「電波OFFモード」のチェックボックスにチェックを入れる

チェックボックスにチェックを入れると、電波OFFモードがONになりワイヤレスネットワークがすべて無効になります。また、ステータスエリアにが表示されます。

memo

◎携帯電話の使用が禁止されている場所（航空機内、医療機器や電子機器のそばなど）では、電源をOFFにしてください。
◎「ON」に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）には、電話をかけることができます。
※電話をかけた後は、自動的に「OFF」に設定されます。
◎「ON」に設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN、Bluetooth®機能による通信などもご利用になれません。

アプリケーションの設定をする

インストールされているアプリケーションの管理や、ショートカットキーの割り当てなどを行います。

提供元が不明なアプリケーションの設定をする

サードパーティのアプリなど、提供元が不明なアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。

1 設定メニュー画面で[アプリケーション]→「提供元不明のアプリ」のチェックボックスにチェックを入れる

注意のメッセージが表示されますので、「OK」を選択してください。
提供元が不明なアプリケーションのインストールを許可しない場合は、チェックボックスのチェックを外します。

2 [OK]

クイック起動を設定する

キーボードのショートカットキー「［Q］＋割り当てたキー」を押して、アプリケーションを起動できるように設定します。

1 設定メニュー画面で[アプリケーション]→[クイック起動]

2 一覧の右側に表示されている「a」～「z」、「1」～「9」から割り当てたいキーを選択

アプリケーションの一覧が表示されます。

3 アプリケーションを選択

ショートカットキーを押すと、選択したアプリケーションが起動するように設定されます。
例えば、操作2で「d」を選択し、操作3で「電卓」を選択した場合は、［Q］＋［D］を押すと電卓アプリが起動します。

memo

◎操作2で、すでにアプリケーションが設定されているキーを選択した場合は、新しい設定で上書きされます。

メール添付を利用するメールソフトを設定する

ファイルを添付してメール送信するときに使用するメールソフトを設定します。

1 設定メニュー画面で[アプリケーション]→[起動メールソフト設定]

2 「ファイル送信メールソフト設定」のチェックボックスにチェックを入れる

3 設定するアプリケーションを選択

インストール済みのアプリケーションを管理する

インストールされているアプリケーションに関して、データ消去やキャッシュの消去、強制停止などを設定できます。

1 設定メニュー画面で[アプリケーション]→[アプリケーションの管理]

インストールされているアプリケーションが一覧表示されます。

2 アプリケーションを選択

選択したアプリケーションの詳細情報が表示されます。

3 実行したい操作を選択

画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ Androidマーケットなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは本体から削除されます。
◎ アンインストールを実行したアプリケーションを使用したい場合は、もう一度ダウンロードしてインストールする必要があります。

アプリケーション開発時の設定をする

アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

■USBデバッグモードの設定をする

USB接続時にデバッグモードになるように設定します。

1 設定メニュー画面で[アプリケーション]→[開発]→「USBデバッグ」のチェックボックスにチェックを入れる

メッセージが表示されます。

2 [OK]

■スリープモードの設定をする

IS01とパソコンを接続した状態でアプリケーション開発中に、スリープモードに移行するのを防ぐことができます。
お買い上げ時は、一定時間操作しない時間が続くとスリープモードに移行するように設定されています。

1 設定メニュー画面で[アプリケーション]→[開発]→「スリープモードにしない」のチェックボックスにチェックを入れる

■擬似ロケーションの設定をする

擬似ロケーションを許可する設定をします。

1 設定メニュー画面で[アプリケーション]→[開発]→「擬似ロケーションを許可」のチェックボックスにチェックを入れる

memo

◎ 開発機能についてご不明な点がある場合は、下記のホームページをご参照ください。
URL：http://developer.android.com/

データ同期の設定をする

データ同期の基本設定や、手動同期を行います。
同期の設定にはGoogleアカウントが必要です。画面の指示に従ってGoogleアカウントを設定してください。

同期の基本設定をする

1 設定メニュー画面で[データの同期]

2

バックグラウンドデータ	バックグラウンドデータの使用を有効にする場合はチェックボックスにチェックを入れます。
自動同期	自動的にデータを同期する場合はチェックボックスにチェックを入れます。 • 「アプリケーションの同期設定」の一覧で、チェックボックスにチェックが入っているアプリケーションについて自動同期が設定されます。 • チェックボックスにチェックを入れるとすぐに同期を開始します。 • 自動同期を設定しないアプリケーションは、チェックボックスのチェックを外します。

手動で同期する

1 設定メニュー画面で[データの同期]

2 「アプリケーションの同期設定」の一覧から手動で同期するアプリケーションのチェックボックスにチェックを入れる

チェックボックスにチェックを入れるとすぐに同期を開始します。

使用する言語や文字入力の設定をする

日本語と英語の表示を切り替える

1 設定メニュー画面で[地域／言語＆文字入力]→[地域／言語を選択]

2 [English]／[日本語]

文字入力の設定をする

「iWnn IME - SH edition」の設定をします。また、端末内蔵キーボードの設定、ユーザー辞書の登録をすることもできます。

1 設定メニュー画面で[地域／言語＆文字入力]

2

iWnn IME - SH edition	▶P.68「iWnn IME - SH editionの設定を行う」
iWnn IME - SH edition(設定)	
端末内蔵キーボード	▶P.67「端末内蔵キーボードの設定を行う」
ユーザー辞書	▶P.66「ユーザー辞書に単語登録する」

検索に関する設定をする

検索方法の設定や検索履歴の管理を行います。

ウェブ検索の設定をする

Googleアカウントでログインすると、「Google検索の設定」を設定できます。

1 設定メニュー画面で[検索]→[Google検索の設定]

2

検索候補の表示	検索キーワード入力時にGoogleの入力候補を表示する場合は、チェックボックスにチェックを入れます。
検索履歴	ログインしているユーザー用にカスタマイズされた検索履歴を表示する場合は、チェックボックスにチェックを入れます。
検索履歴を管理する	ログインしているユーザー用にカスタマイズされた検索履歴を管理するためのページを表示します。

クイック検索ボックスの設定をする

■検索対象を設定する

クイック検索ボックスで検索する対象を選択します。

1 設定メニュー画面で[検索]→[検索対象]

2 対象に設定する項目のチェックボックスにチェックを入れる

■検索結果へのショートカットをクリアする

クイック検索ボックスで検索した結果へのショートカットをクリアします。

1 設定メニュー画面で[検索]→[検索ショートカットをクリア]

2 [OK]

ユーザー補助の設定をする

ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助オプションを利用できます。

お買い上げ時はオプションが登録されていません。ユーザー補助オプションを利用する場合は、あらかじめオプションをAndroidマーケットなどからダウンロードして登録する必要があります。

オプションを登録後、以下の操作でオプションを有効／無効に設定します。

1 設定メニュー画面で[ユーザー補助]

2 各オプションのチェックボックスにチェックを入れる／チェックを外す

チェックボックスにチェックを入れると、オプションが有効になります。

チェックボックスのチェックを外すと、オプションが無効になります。

音声合成の設定をする

テキストから音声への変換オプションの設定をします。
音声合成は、「地域／言語を選択」(▶P.267)が「English」に設定されている場合のみ利用できます。

音声データをインストールする

音声合成を利用する場合は、あらかじめ音声データをAndroidマーケットなどからダウンロードしてインストールする必要があります。

1 設定メニュー画面で[音声合成]→[音声データをインストール]

Androidマーケットに接続します。
初回接続時には、利用規約が表示されますので「同意する」を選択してください。
Androidマーケットの検索結果画面が表示されます。

2 [SpeechSynthesis Data Installer]→[インストール]→[OK]

自動的に音声データのダウンロードを開始します。
ダウンロード完了後、音声データがmicroSDメモリカードにインストールされます。

memo

◎microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ケータイアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、音声合成の動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

音声の速度や言語を設定する

1 設定メニュー画面で[音声合成]

2

サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
常に自分の設定を使用する	チェックボックスにチェックを入れると、常に「音声の速度」と「言語」で設定されている設定値に基づいて動作します。
音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。 「非常に遅い」「遅い」「標準」「速い」「非常に速い」
言語	テキストを読み上げる言語を設定します。 「英語(米国)」「英語(英国)」「フランス語」「ドイツ語」「イタリア語」「スペイン語」

au one-IDの設定をする

au one-IDを設定します。auが提供しているさまざまなサービスを利用するためにはau one-IDが必要です。

1 設定メニュー画面で[au one-ID設定]

パケット通信に関する注意画面が表示されます。

2 [OK]→[au one-IDの設定・保存]

認証を開始します。
「au one-IDとは？」を選択するとブラウザが起動し、au one-IDの説明が表示されます。

3 画面の指示に従って操作し、au one-IDを設定

au one-IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau one-IDを設定します。
au one-IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

システムに関する設定をする

システムメニュー

1 設定メニュー画面で[システム]

2

メジャーアップデート	IS01のOSをアップデートします。 ▶右記「メジャーアップデート(OSの更新)をする」
日時設定	▶右記「日付と時刻を設定する」
USB設定	▶P.271「USB接続を設定する」
終話キー設定初期化	選択すると、電源／終話キーの動作を「アプリケーションを終了する」に戻します。
タッチパネル補正	▶P.33「タッチパネルを調整する」
センサー感度補正	モーションセンサー·地磁気センサーの補正を行います。 本体を両手でしっかりと持ち、画面上にイラストで表示される動作をゆっくりと行ってください。補正が完了して正解音が鳴るまで、繰り返し実施してください。
ケータイアップデート	IS01のソフトウェアをアップデートします。 ▶P.271「ケータイアップデート(ソフトウェアの更新)をする」
microSD&内蔵メモリ	microSDメモリカードのバックアップ、マウント解除、使用状態の確認、初期化などを行います。 ▶P.205「本体メモリ内のデータをバックアップする」 ▶P.204「microSDメモリカードを取り外す」 「内蔵メモリ使用状況」を選択すると、内蔵メモリの使用状態の詳細情報が表示されます。
端末情報	電話番号などの端末情報や、電池の使用状況、規約、バージョン情報などを確認できます。

メジャーアップデート(OSの更新)をする

メジャーアップデートとは、IS01のOSを更新する機能です。

1 設定メニュー画面で[システム]→[メジャーアップデート]

2

アップデートの確認	手動でアップデートの有無を確認します。 • 新しいバージョンがリリースされている場合は、「アップデートの実行」からシステムのアップデートを行ってください。
アップデート実行	OSのアップデートを実行します。
アップデートの自動確認	アップデートの有無を定期的に自動で確認する場合はチェックボックスにチェックを入れます。

memo

◎メジャーアップデートを実行するときは、パソコンとIS01を接続し、「USB接続モード」を「高速転送モード」に設定します(▶P.245)。

日付と時刻を設定する

1 設定メニュー画面で[システム]→[日時設定]

2

自動時刻補正	ネットワークから通知される日付·時刻情報をもとに自動で補正します。 • チェックボックスにチェックを入れると、自動時刻補正が設定されます。 • 自動時刻補正が設定されているときは、手動で日付·時刻を設定することができません。手動で日時を設定する場合は、自動時刻補正のチェックを外してください。
日付設定	**年月日を入力→[設定]**
時刻設定	**時刻を入力→[設定]**

USB接続を設定する

IS01をmicroUSB-USB変換ケーブルでパソコンと接続したときの接続モードを設定します。

1 設定メニュー画面で[システム]→[USB設定]

2

USB充電	パソコンと接続したときに、同時に充電するかどうかを設定します。 • チェックボックスにチェックを入れると、充電が有効になります。 • チェックボックスのチェックを入れる／外すの切り替えは、次回ケーブル接続時、またはUSB接続モードの変更時に反映されます。
USB接続モード	パソコンと接続した状態で、目的に応じた接続モードを設定します。 「外部メモリ転送モード」「高速転送モード」「MTPモード」 ▶P.245「パソコンと連携する」

ケータイアップデート（ソフトウェアの更新）をする

IS01は、ケータイアップデートに対応しています。ケータイアップデートとは、IS01のソフトウェアを更新する機能です。
ケータイアップデートで、IS01のソフトウェアを更新する方法は次の通りです。なお、更新方法にかかわらず、ソフトウェアの更新前と更新後にIS01の再起動が必要です。自動更新型を設定している場合は、IS01が自動的に再起動します。

更新方法	内容
手動更新	ソフトウェアの更新が必要かどうかをネットワークに接続して確認できます。 • **更新が必要な場合**：ソフトウェア更新用データをダウンロードして更新※1 • **更新が不要な場合**：そのまま引き続きご利用可能
自動更新	auからのソフトウェア更新のお知らせを受信した場合に更新します。 • **自動更新型**：お知らせを受信したときに自動的に更新※2 • **ユーザー承認型**：お知らせを受信したときに確認画面を表示

※1 ダウンロード後すぐに更新せずに、IS01を使用しない夜間など、更新開始日時を指定して更新することもできます（予約更新）。
※2「自動設定」（▶下記）を「OFF」にすると、ユーザー承認型と同様に確認画面が表示されます。

1 設定メニュー画面で[システム]→[ケータイアップデート]

2

アップデート開始	IS01のソフトウェア更新が必要かどうかを確認します（手動更新）。「実行」をタップすると確認を開始します。 • ソフトウェア更新用のデータがある場合は、画面の指示に従ってソフトウェアを更新してください。
自動設定	IS01が自動更新型の更新のお知らせを受信したときに、自動的にソフトウェア更新用データのダウンロードを開始し、ソフトウェアを更新するかどうかを設定します。 「ON」「OFF」
予約時刻	設定されている更新開始日時を変更します。 • 「解除」をタップすると、予約更新は解除されます。

memo

◎ 更新開始日時は、現在時刻の10分後～更新ソフトウェアダウンロード日時の7日後まで設定できます。
◎ 更新開始日時を設定した後で「自動時刻補正」（▶P.270）を「OFF」から「ON」に変更した場合、または「日付設定」（▶P.270）、「時刻設定」（▶P.270）の設定を変更した場合は、予約更新が解除されます。
◎ 予約更新を解除した場合は、IS01のソフトウェアを更新するために「アップデート開始」をもう一度実行してください。予約更新を解除した後で「アップデート開始」を実行する場合は、画面の指示に従ってIS01を再起動してください。

■ ご利用上の注意

- ソフトウェアの更新にかかる情報料・通信料は無料です。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはauお客様センター(157／通話料無料)までお問い合わせください。また、IS01をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なIS01をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとケータイアップデートに失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ケータイアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、IS01に登録された各種データ(電話帳、メール、フォト、楽曲データなど)や設定情報は変更されません。ただし、お客様の携帯電話の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェアが更新された後で、自動的に次の更新用ソフトウェアのダウンロードが開始される場合があります(連続更新)。
- ケータイアップデートに失敗したときや中止されたときは、「アップデート開始」(▶P.271)によりケータイアップデートを実行し直してください。

ケータイアップデート実行中は、以下のことは行わないでください

- ソフトウェア更新中に電池パックを外さないでください。電池パックを外すと、ケータイアップデートに失敗することがあります。
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。

ケータイアップデート実行中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ケータイアップデートが実行できない場合などについて

- ケータイアップデートに失敗すると、IS01が使用できなくなる場合があります。IS01が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

■ 更新のお知らせ(自動更新型)が来ると

自動更新型の「ソフトウェア更新のお知らせ」を受信した場合は、ソフトウェア更新用データのダウンロードからソフトウェアの更新まで自動的に実行されます。

memo

◎ 自動設定を「OFF」に設定している場合は、ユーザー承認型と同様に確認画面が表示されます。

■ 更新のお知らせ(ユーザー承認型)が来ると

ユーザー承認型のソフトウェア更新のお知らせを受信した場合は、確認画面が表示されます。

■ すぐに更新する場合

確認画面で「実行」をタップするとソフトウェア更新用データのダウンロードが開始され、ダウンロード完了後に再起動するとソフトウェアが更新されます。

■ 後で更新する場合

確認画面で「中止」をタップすると、更新を中止します。その場合は、「アップデート開始」(▶P.271)からアップデートを手動で実行してください。

IS01をリセットする

1 設定メニュー画面で[リセット]

2

設定リセット	ユーザーが設定した各機能の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 ▶P.286「設定項目一覧」
オールリセット	各機能の設定をお買い上げ時の設定に戻し、本体内蔵メモリに保存しているすべてのデータを削除します。 • microSDメモリカード内のデータは削除されません。

3 [はい]→ロックNo.入力→[OK]

「オールリセット」を実行した場合は確認メッセージが表示されますので、「携帯電話をリセット」を選択します。

memo

◎オールリセットを実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。オールリセットを実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。

◎オールリセットを実行すると ☆ の付いたウィジェット(Droidget)と一部のプリインストールされているアプリケーションが削除されます。
削除されたアプリケーションは、Androidマーケットの「au おすすめ」から再インストールできます。また、ウィジェットはブラウザで「au one」、「SH!SH!SH!」にあるリンクからダウンロードできます。

リセットボタンで再起動する

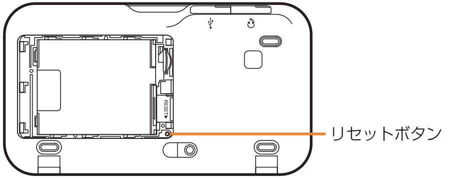
IS01の動作が不安定になったり、何も操作できなくなったりした場合などに、IS01を再起動します。

1 本体裏面の電池パックカバーを取り外す

電池パックは取り外さないでください。
電池パックカバーの取り外しかたについては、「電池パックを取り外す」(▶P.277)をご参照ください。

2 先の細いものでリセットボタンを押す

IS01が再起動します。



3 本体裏面の電池パックカバーを取り付ける

電池パックカバーの取り付けかたについては、「電池パックを取り付ける」(▶P.277)をご参照ください。

memo

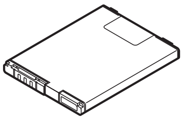
◎リセットボタンを押して再起動しても、保存されているデータやアプリケーションは消去されません。

付録・索引

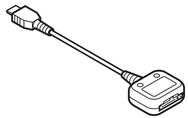
付録

周辺機器のご紹介

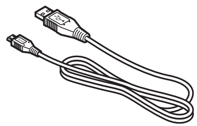
■ 電池パック(SHI01UAA)



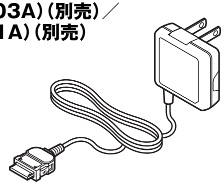
■ シャープmicroUSB-18芯(充電器)変換ケーブル01(SHI01HVA)



■ シャープmicroUSB-USB変換ケーブル01(SHI01HUA)

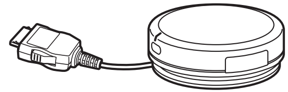


■ 共通ACアダプタ01(0202PQA)(別売)／
共通ACアダプタ02(0203PQA)(別売)／
AC Adapter MIDORI(0205PGA)(別売)／
AC Adapter AO(0204PLA)(別売)／
AC Adapter SHIRO(0204PWA)(別売)／
AC Adapter MOMO(0204PPA)(別売)／
AC Adapter CHA(0204PTA)(別売)／
AC Adapter REST(LS1P002A)(別売)／
AC Adapter RANGERS(LS1P003A)(別売)／
AC Adapter CHARGY(LS1P001A)(別売)

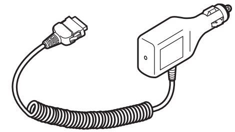


※お使いのACアダプタによりイラストと形状が異なることがあります。
※AC Adapter MIDORI、AO、SHIRO、MOMO、CHA、REST、RANGERS、CHARGYは共通ACアダプタ02と共通の仕様です。

■ ポータブル充電器01(0201PDA)(別売)



■ 共通DCアダプタ01(0201PEA)(別売)



■ 平型スイッチ付イヤホンマイク(0201QLA)(別売)
■ 平型ステレオイヤホンマイク(0201QMA)(別売)
■ 丸型イヤホンジャック変換アダプタ(0201QNA)(別売)

memo

◎最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(http://www.au.kddi.com)にてご確認いただくか、auお客様センターにお問い合わせください。
◎本ページの周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
パソコンから：http://auonlineshop.kddi.com

電池パックを交換する

電池パックは、IS01専用のものを使用して正しく取り付けてください。

memo

◎ 電池パックの注意事項については、「電池パックについて」(▶P.15)をご参照ください。

電池パックを取り外す

1 本体裏面の電池パックカバーを取り外す

①部分を押さえながら、電池パックカバーを矢印の方向にスライドさせて取り外します。

2 電池パックを取り外す

電池パックのPULLタブを持って、矢印の方向に引き上げて取り外します。



memo

◎ 電池パックを取り外すときは、PULLタブを上に引くようにしてください。PULLタブ以外の方向から持ち上げようとすると、IS01の接続部を破損するおそれがあります。

◎ 電池パックを取り外すときは、本体の電源を切ってください。

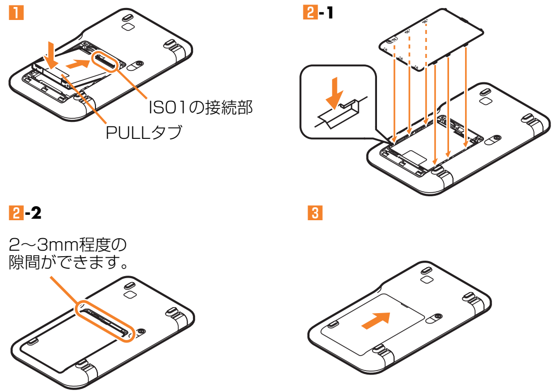
電池パックを取り付ける

1 PULLタブが電池パックの上に出るようにして、IS01の接続部の位置を確かめて、電池パックを確実に押し込む

2 電池パックカバーのツメの部分(6箇所)をIS01の溝に合わせる

※ ツメの部分を溝に合わせないで無理に取り付けようとすると破損するおそれがあります。

3 電池パックカバーを矢印の方向にスライドさせてカチッと音がするまで取り付ける



memo

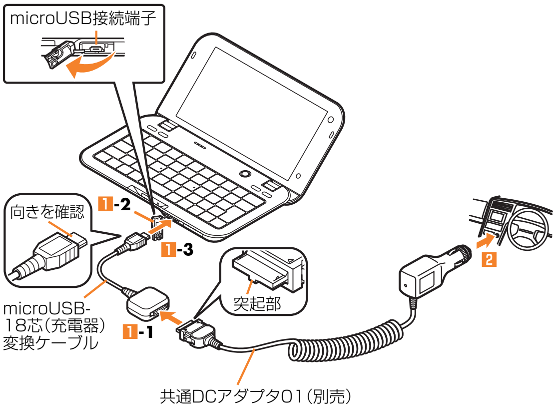
◎ au ICカードが確実に装着されていることを確認してから電池パックを取り付けてください。

◎ 取り付け時に間違った取り付けかたをすると、電池パックおよび電池パックカバー破損の原因となります。

共通DCアダプタ01（別売）を使用して充電する

電池パックをIS01に取り付けた状態で充電してください。

1 microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルに共通DCアダプタ01（別売）を接続し、IS01にmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルを接続する



microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルに共通DCアダプタ01（別売）の先端の形状を確認して接続し（**1-1**）、microUSB接続端子カバーを開け（**1-2**）、microUSB-18芯（充電器）変換ケーブルの先端の形状を確認して差し込みます（**1-3**）。

2 共通DCアダプタ01（別売）のプラグをシガーライタソケットに差し込む

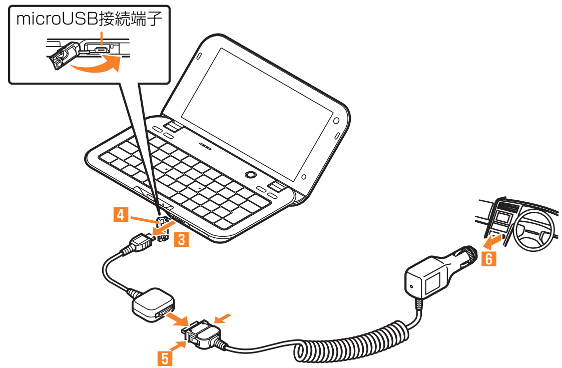
IS01の充電／着信ランプが赤色に点灯します。

充電時間は約230分です

IS01の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

充電が完了すると、赤色に点灯していた充電／着信ランプが消灯します。

3 充電が終わったら、IS01からmicroUSB-18芯（充電器）変換ケーブルをまっすぐ引き抜く



4 IS01のmicroUSB接続端子カバーを閉じる

5 共通DCアダプタ01（別売）のコネクタの両側面にある取り外しボタンを、押しながら引き抜く

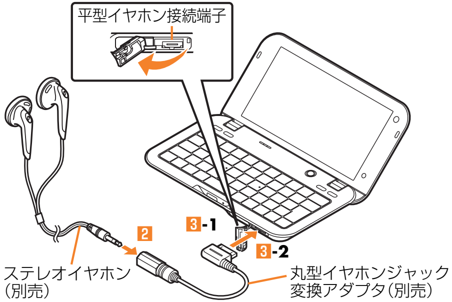
6 共通DCアダプタ01（別売）のプラグをシガーライタソケットから抜く

別売のイヤホンを使用する

ステレオイヤホン（別売）と丸型イヤホンジャック変換アダプタ（別売）を接続して使用します。

1 メインメニューで［設定］→［音・バイブ・ランプ］→［イヤホン設定］→［イヤホン種類］→［マイクなし］

2 ステレオイヤホン（別売）と丸型イヤホンジャック変換アダプタ（別売）を接続する



3 IS01に丸型イヤホンジャック変換アダプタ（別売）を接続する

IS01の平型イヤホン接続端子カバーを開け（3-1）、丸型イヤホンジャック変換アダプタ（別売）のコネクタを、先端の形状を確認して平行になるように差し込みます（3-2）。

memo

◎ 平型イヤホン接続端子カバーを強く引っ張らないようご注意ください。特に丸型イヤホンジャック変換アダプタ（別売）を取り外す際にカバーを一緒に引っ張ると必要以上の力が加わる可能性があります。

◎ 平型イヤホン接続端子カバーを強く引っ張ると、カバーが変形したり、IS01から抜けてしまったり、破損の原因となります。

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）／平型ステレオイヤホンマイク（別売）を使用する

1 メインメニューで［設定］→［音・バイブ・ランプ］→［イヤホン設定］→［イヤホン種類］→［マイクあり］

2 IS01に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）／平型ステレオイヤホンマイク（別売）を接続する

IS01の平型イヤホン接続端子カバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）／平型ステレオイヤホンマイク（別売）のコネクタを、先端の形状を確認して並行になるように差し込みます。

memo

◎ 平型イヤホン接続端子カバーを強く引っ張らないようご注意ください。特にマイク（別売）を取り外す際にカバーを一緒に引っ張ると必要以上の力が加わる可能性があります。

◎ 平型イヤホン接続端子カバーを強く引っ張ると、カバーが変形したり、IS01から抜けてしまったり、破損の原因となります。

◎ 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）／平型ステレオイヤホンマイク（別売）のお問い合わせは、auホームページ（http://www.au.kddi.com）をご確認ください。

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください	参照
を押しても電源が入らない	電池パックは充電されていますか？	P.30
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.277
	電池パックの端子が汚れていませんか？	P.19
	を長押ししていますか？	P.32
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	P.30
電源起動時のアニメーション表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？	P.30
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.32
	au ICカードが挿入されていますか？	P.38
	電話番号が間違っていませんか？ （市外局番から入力していますか？）	P.128
	電話番号入力後、「発信」を選択していますか？	P.128
	「音声発信制限」で発信が制限されていませんか？	P.260
	「電話帳制限」で発信が制限されていませんか？	P.260
	「電波OFFモード」が設定されていませんか？	P.264
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.43
	サービスエリア外にいませんか？	P.43
	電源は入っていますか？	P.32
	au ICカードが挿入されていますか？	P.38
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.253
	「電波OFFモード」が設定されていませんか？	P.264
	着信転送サービスが設定されていませんか？	P.141
（圏外）が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.43
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.28
Wi-Fiがつながらない	Wi-Fiの電波は十分に届いていますか？	P.43
	Wi-Fiの設定をしましたか？	P.34
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.31
	電池パックは正しく取り付けられていますか？	P.277
	「USB充電」の設定は有効になっていますか？ ※microUSB-USB変換ケーブルでの充電にはUSBドライバが必要です。USBドライバのインストール方法については、シャープケータイdaSHサポートページ（http://k-tai.sharp.co.jp/support/）をご参照ください。	P.271
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.32
	「クローズロック」が設定されていませんか？	P.258
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルを調整してみてください。 ※「タッチパネルを調整する」（▶P.33）をご参照ください。	P.270
	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.57
auICカード（UIM）エラーと表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.38
	異なるau ICカードを挿入していませんか？	P.37 P.38
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.31 P.36
電話が勝手に応答する	伝言メモが設定されていませんか？	P.223
	マナーモードが設定されていませんか？	P.222
	オート着信が設定されていませんか？	P.256
電池パックを利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ ※赤色の充電／着信ランプが消灯するまで、充電してください。	P.30
	電池パックが寿命となっていませんか？	P.15
	（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.43

こんなときは	ご確認ください	参照
電話をかけたときにスピーカーから「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか？	P.43
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	—
ディスプレイの照明がすぐに消える	「バックライト」の「点灯時間」が短く設定されていませんか？	P.257
画面照明が暗い	「バックライト」の「明るさ設定」が暗く設定されていませんか？	P.257
	明るい場所で操作していませんか？ 周囲が明るいとディスプレイ照明は点灯しません。	P.257
	「ベールビュー」が設定されていませんか？	P.257
相手の方の声が聞こえない	受話音量が最小に設定されていませんか？	P.128
平型イヤホンマイクのマイクが使えない	「イヤホン種類」が「マイクなし」に設定されていませんか？	P.256
テレビ（ワンセグ）が映らない、映像が止まる、音声が止まる、ノイズが出る	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？	P.175
	テレビアンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.175
	視聴している場所が「チャンネル設定」と合っていますか？	P.185
画像の編集ができない	編集できない画像を選択していませんか？	P.285
メディアプレーヤーで再生できない	メディアプレーヤーで対応可能なデータ形式ですか？	P.194
画面が動かなくなり、どのキーを押しても操作できない	先の細いものでリセットボタンを押してください。 IS01が再起動します。	P.273

こんなときは	ご確認ください	参照
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の個別着信画像、着信音の設定は有効になりません。また、電話帳のグループ音声着信音の設定は有効になりません。	—
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	P.70
	「電話帳制限」を「ON」に設定していませんか？	P.260
	遠隔ロック中ではありませんか？	P.258
	フォルダシークレットを設定したフォルダに振り分け登録されていませんか？	P.82
デスクトップにメインメニューキー、起動中アプリキー、クイックメニューが表示されない	デスクトップが壁紙のみ表示された状態になっていませんか？	P.42
ウェブページに画像が表示されない	ウェブページの画像を表示しないように設定していませんか？	P.110
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントは追加しましたか？	P.92
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	P.203
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.204

さらに詳しい内容については、以下のauホームページのauお客さまサポートでご案内しております。

- パソコンから：**http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html**

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理についてはauショップもしくはauお客様センターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、お客様で必ずバックアップを取っていただきますようお願いいたします。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 保証サービス、修理代金割引サービス、水濡れ・全損時リニューアルサービスにて交換した機械部品は当社にて回収しリサイクルを行いますのでお客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社はこのIS01およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポート」をご用意しています（月額315円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細につきましては、auショップもしくはauお客様センターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更時・端末増設時・紛失時あんしんサービスなどにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポート」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記auお客様センターへお問い合わせください。

auお客様センター（紛失・盗難・故障・操作方法について）

一般電話からは　フリーコール **0077-7-113**（通話料無料）
au電話からは　局番なしの**113**（通話料無料）

付録／索引

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容抜粋	安心ケータイサポート会員	無料会員
① 保証サービス 注：保証内の場合、無償修理	5年保証サービス	3年保証サービス
② 修理代金割引サービス 注：水濡れ・全損以外の故障の場合、修理代金を割引	全額割引 （無料）	お客様負担額 5,250円（税込）
③ 水濡れ・全損時リニューアルサービス 注：水濡れ・全損の故障の場合、リニューアル代金を割引	お客様負担額 5,250円（税込）	お客様負担額 10,500円（税込）
④ 紛失時あんしんサービス 注：盗難・紛失の場合、解除料の減額もしくは購入代金の割引	**フルサポートコースでご契約のau電話を盗難・紛失した場合**	
	フルサポート解除料 全額免除	フルサポート解除料 お客様負担額 最大10,500円（税込）まで
	新しいau電話をシンプルコースでご購入される場合	
	新しいau電話購入代金 最大18,900円（税込）OFF	新しいau電話購入代金 最大6,300円（税込）OFF
⑤ 電池パック無料サービス	同一au電話を1年以上（または3年以上）継続利用することで電池パックを1個プレゼント	なし
⑥ 無事故ポイントバック	同一au電話を継続利用で、1年間無事故の場合、auポイント1,000ポイントプレゼント	なし

memo

修理代金割引サービス

◎ 水濡れ・全損はこの対象とはなりません。

◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は全額割引の対象となりません。

水濡れ・全損時リニューアルサービス

◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

紛失時あんしんサービス

◎「紛失時あんしんサービス」をご利用いただく場合、紛失・盗難の事由を警察署または消防署など公的機関へ届出された際の信憑書類が必要となります。警察署または消防署などより届出の信憑書類が交付されない場合は、届出先の機関名、届出年月日、受理番号を提示いただきます。

◎ お客様の分解による事故、故意による事故は、補償の対象となりません。

電池パック無料サービス

◎ ご購入から同一のau電話を1年以上継続利用経過時に1個、3年以上継続利用経過時に1個の電池パックを無料で提供いたします。（合計2回まで）

◎ 電池パックの提供にあたっては、別途申し込み手続きが必要となります。お申し込み可能な期間は、au電話のご購入後1年〜2年までの間、3年〜4年までの間の計2回（各1個の提供）となります。

無事故ポイントバック

◎「修理代金割引サービス」「水濡れ・全損時リニューアルサービス」「紛失時あんしんサービス」のご利用がなく、ご購入から1年間同一機種を継続してご利用された場合、「auポイントプログラム」のポイントを1,000ポイント進呈します。

※ 1年間の起算は、安心ケータイサポート加入月、ポイント提供月もしくは事故発生月となります。

画像・ムービー・音楽・その他の詳細情報

データの登録先一覧

データの種類と登録先の対応は次の通りです。

■画像の登録先一覧

データの種類＼登録先			音声着信画像	メール受信画像	PCメール受信画像	待受画面（壁紙登録）	メール送信中画像	メール受信中画像	電話帳
画像	JPEG画像	jpg/jpeg	○	○	○	○	○	○	○
	デコレーション絵文字（JPG）	jpg							
	GIF	gif							
	GIFアニメ								
	デコレーション絵文字（GIF）								
	Image：PNG	png							
	Image：BMP	bmp	△	△	△	△	△	△	△
	Image：WBMP	wbmp							

○：登録可能　△：リサイズによる登録は可能（トリミングによる登録は不可）

■音の登録先一覧

データの種類＼登録先			音声着信音	メール受信音	PCメール受信音	お知らせ受信音
音楽／音声	Audio：AMR-Narrow band	amr	○	○	○	○
	Audio：AMR-Wide band	awb				
	Audio：3GPP （AAC LC/LTP、HE-AACv1（AAC+）、HE-AACv2(enhanced AAC+)）	3gp				
	着うた（AACまたはHE AAC）					
	ボイス（AMRのみ）	3gp				
	ボイス（AMR）	3g2				
	着うた（AAC/HE AAC）					
	Audio：MPEG4 （AAC LC/LTP、HE-AACv1（AAC+）、HE-AACv2（enhanced AAC+））	m4a/mp4				
	Audio：8～320Kbps CBR or VBR	mp3				
	Audio：WMA（著作権保護あり）	wma	×	×	×	×
	Audio：WMA（著作権保護なし）	wma	○	○	○	○
	Audio：AAC	aac				
	Audio：MIDI	mid/midi				
	Audio：Xiph.orgのフリー音声ファイルフォーマット	ogg				
	Audio：iMelody （Ericsson/SonyEricsson独自）	imy				
	Audio：PCM/WAVE	wav				
	Audio：SMF	smf				
	音のみ、音+絵、絵のみのSMAF（mmf）ファイル	mmf				

○：登録可能　×：登録不可

memo

◎著作権保護されているデータは、登録できない場合があります。
◎データ形式によっては、登録できない場合があります。
◎データの種類により登録操作は異なります。

編集できる画像の一覧

画像種類	画像サイズ		顔かくし	文字スタンプ	プチエステ	画像補正	落書き	画像エフェクト	スタンプ	回転	日付スタンプ	リサイズ
JPEG（ISO1で撮影）	QVGA	横320×縦240	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	VGA	横640×縦480	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	FWVGA	横854×縦480	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	待受	横960×縦480	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1.2M	横1,280×縦960	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フルHD	横1,920×縦1,080	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	2M	横1,600×縦1,200	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	3M	横2,048×縦1,536	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
	5M	横2,560×縦1,920	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
上記以外のJPEG、PNG、GIF、BMP、WBMP	横320～1,280×縦160～960		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○※

○：編集可能　×：編集不可

※リサイズは最大2,560×1,920までの画像で可能です。

memo

◎画像サイズは、縦の長さと横の長さが逆になっても編集できます。

◎データサイズによっては編集できない場合があります。

表示／再生できる画像・ムービーのサイズ

データの種類	拡張子	再生可能サイズ
画像	.jpg、.jpeg、.png、.gif、.bmp、.wbmp	2,560×1,920以下※
アニメ	.gif	960×480以下
ムービー	.m4v、.mp4、.3gp、.3g2	960×480以下
	.asf、.wmv	800×480以下

※DCF規格に準拠している画像ファイルで再生可能サイズを超える場合は、DCFサムネイル画像を表示します。

設定項目一覧

設定メニューのリセット対象項目

メインメニューで[設定]→[リセット]→[設定リセット]を実行した場合にリセットされる設定メニューの項目とリセット後の値は以下の通りです。

リセット対象項目			リセット後の値
マナーモード			OFF
通話	通話時間･料金	通話料金表示	OFF
	発信者番号通知		ON
	エニーキーアンサー設定		なし
	音声･伝言メモ	伝言メモ設定	OFF
		応答メッセージ設定	通常
		応答時間設定	16秒(1～45秒)
	着信拒否	指定番号	OFF
		非通知	OFF
		公衆電話	OFF
		通知不可能	OFF
		電話帳登録外	OFF
		着信履歴保存	ON
音･バイブ･ランプ	音声着信	音量	5(0～7)
		メロディ	着信メロディ1
		バイブレータ	パターン1
		表示	着信中
		ランプ	パターン1 緑
	メール受信	音量	5(0～7)
		メロディ	メールメロディ1
		バイブレータ	パターン2
		表示	着信中
		ランプ	パターン2 青
		鳴動時間	一曲鳴動
音･バイブ･ランプ	PCメール受信	音量	5(0～7)
		メロディ	メールメロディ1
		バイブレータ	パターン2
		表示	着信中
		ランプ	パターン2 青
		鳴動時間	一曲鳴動
	お知らせ受信	音量	5(0～7)
		メロディ	お知らせ音1
		バイブレータ	パターン2
		鳴動時間	一曲鳴動
	操作音量		3(0～7)
	ダイヤル音		OFF
	選択時の操作音		OFF
	microSDの通知		ON
	ポップアップの通知音		OFF
	オープン		OFF
	クローズ		OFF
	充電開始		OFF
	充電完了		OFF
	電源ON		OFF
	ランプ設定	通話中ランプ	OFF
		お知らせランプ	OFF
	イヤホン設定	イヤホン種類	マイクなし
		オート着信	OFF
	メディア再生音量		11(0～15)
画面表示	壁紙		CoreNature-landscape
	アニメーション表示		OFF
	画面の向き		OFF
	バックライト	点灯時間	1分
		明るさ自動調整	ON
		明るさ設定	3(1～5)
	メール送信中画面		メール送信中
	メール受信中画面		メール受信中

リセット対象項目				リセット後の値
画面表示	ベールビュー	表示パターン設定		フルスクリーンパターン1
		濃度設定		普通
		見栄え補正		0（−6〜+6）
	文字設定	文字フォント		モリサワ 新ゴ R
		文字サイズ設定	メール本文	中
			メモ帳	中
セキュリティ＆位置情報	ワイヤレスネットワークを使用			OFF
	GPS機能をONにする			OFF
	Googleと共有する			OFF
	セキュリティロック	遠隔ロック	有効番号リスト	（登録なし）
			指定時間	3分（1〜10分）
			着信回数	5回（3〜10回）
			本体ロック解除	OFF
	指の軌跡表示			ON
	入力時のバイブレーション			OFF
通信	Wi-Fi利用			OFF
	Wi-Fi設定	Wi-Fi利用		OFF
		ネットワークの通知		ON
		公衆無線LAN自動ログイン設定（各サービス）	自動ログイン	OFF
			ログインID	（登録なし）
			パスワード	（登録なし）
			ログオフ時Wi-Fi自動OFF	ON
	Bluetooth			OFF
	Bluetooth設定	Bluetooth詳細設定	自機情報	IS01
			探索受付	拒否
	モバイルネットワーク設定	データ通信		ON
		高度な設定	設定を有効にする	OFF
			ID／Password設定	（登録なし）
	電波OFFモード			OFF

リセット対象項目			リセット後の値
アプリケーション	提供元不明のアプリ		OFF
	起動メールソフト設定	ファイル送信メールソフト設定	OFF
		ファイル送信メールソフト	メール
	開発	USBデバッグ	OFF
		スリープモードにしない	OFF
		擬似ロケーションを許可	OFF
ユーザー補助	ユーザー補助		OFF
音声合成	常に自分の設定を使用する		OFF
	音声の速度		標準
	言語		英語（米語）
システム	メジャーアップデート	アップデートの自動確認	ON
	日時設定	自動時刻補正	ON
	USB設定	USB充電	ON
	ケータイアップデート	自動設定	ON
		予約時刻	（登録なし）

各アプリケーションの設定項目

各アプリケーションのオプションメニューなどから設定できる項目と初期値は以下の通りです。
※2の付いている設定項目は、設定リセット対象項目です。メインメニューで[設定]→[リセット]→[設定リセット]を実行すると初期値に戻ります。

アプリケーション	設定項目			初期値
Gmail	設定	署名		（登録なし）
		削除確認		OFF
		バッチ操作		ON
		ラベル	同期する日数	4日
			受信トレイ	4日分同期
			スター付き	同期しない
			送信済みメール	4日分同期
			プライベート	同期しない
			仕事	同期しない
			旅行	同期しない
			領収書	同期しない
		メール着信通知		ON
		着信音を選択		プリセット着信音
		バイブレーション		OFF
iWnn IME - SH edition[※1]	キーボード設定	キー操作音		OFF
		キー操作バイブ		OFF
		キーポップアップ		ON
	変換設定	自動大文字変換		ON
		候補学習		ON
		予測変換		OFF
		入力ミス補正		ON
		ワイルドカード予測		ON
		メール返信時学習		ON
	辞書	連絡先データ読み込み：名前		OFF
YouTube	設定	期間でフィルタリング		今日

アプリケーション	設定項目			初期値
カメラ	シャッターモード			ノーマル
	カメラ切替			アウトカメラ
	撮影サイズ			待受（WallPaper）
	フォーカス設定			顔優先AF
	シーン設定			自動認識
	ホワイトバランス			オート
	画質			ノーマル
	ピクチャーライト			OFF
	セルフタイマー			OFF
	撮影モード	連写		OFF
		特殊効果		OFF
		フレーム撮影		OFF
	各種設定	笑顔レベル		レベル1（微笑）
		アイコン表示		ON
		シャッター音		パターン1
		自動保存		ON
		カメラモード自動切替		ON
		位置情報	自動付加設定	OFF
		手ぶれ補正		OFF
		保存先		本体
		画面方向記録		ON
コンテンツマネージャー	表示カテゴリ			最新（New）
	表示方法	最新		グリッド表示
		フォト		グリッド表示
		ムービー		グリッド表示
		ミュージック		リスト表示
		TV録画		リスト表示
		ドキュメント		リスト表示
		その他		リスト表示
情報リーダー	ピクチャーライト			OFF
	フォーカス設定			接写AF

アプリケーション	設定項目			初期値
スケジュール	設定	辞退の非表示		OFF
		カテゴリスタンプのサイズ		大
		タスク表示		ON
		アラーム時刻		なし
		アラーム音		アラーム音1（clackle）
		アラーム音量		3（0～7）
		バイブレータ		OFF
		起動時同期		ON
		Googleアカウント		（登録なし）
		完了タスクの自動削除		OFF
セカイカメラ	フィルター	期間		1週間
		距離		150m
テキストリーダー	ピクチャーライト			OFF
	フォーカス設定			接写AF
デスクトップ	追加	ショートカット		マーケット、au one Market
		ウィジェット		アラーム、検索、au one ニュース
	デスクトップ			3枚
	壁紙変更※2			CoreNature-landscape
電話	音声発信制限設定			OFF
	着信拒否登録※2			（登録なし）
電話帳	スピードダイヤル／メール設定			（登録なし）
	電話帳制限			OFF
ナビウォーク	設定－設定＆アカウント管理	自宅		（登録なし）
		My地点		（登録なし）
		ルート検索条件「移動手段」	乗物＋徒歩	ON
			タクシー優先	OFF
			自動車	ON
			渋滞考慮	ON
			有料道路	ON
			徒歩のみ（10km以内）	OFF
		ルート検索条件「ルート表示順」		時間短い順
		ルート検索条件「徒歩速度」		標準

アプリケーション	設定項目			初期値
ナビウォーク	設定－設定＆アカウント管理	ルート検索条件「優先ルート」		距離が短い
		ルート検索条件「使用路線」		すべて：ON
		音声ナビゲーション設定	バイブレーション	ON
			音量	11（0～15）
ネット辞書	辞書管理			百科事典のみ：ON
	検索方法設定			未選択
	画像取得設定			取得する
バーコードリーダー	ピクチャーライト			OFF
ビデオカメラ	カメラ切替			アウトカメラ
	録画サイズ			VGA
	フォーカス設定			標準AF
	ホワイトバランス			オート
	ピクチャーライト			OFF
	セルフタイマー			OFF
	各種設定	保存先		microSD
		録画音声		ON
		アイコン表示設定		ON
ブラウザ	文字サイズ			中
	デフォルトの解像度			中
	テキストエンコード			日本語（Shift_JIS）
	ポップアップウィンドウをブロック			ON
	画像の読み込み			ON
	ページの自動調整			OFF
	JavaScriptを有効にする			ON
	バックグラウンドで開く			OFF
	ホームページ設定			http://auone.jp/
	Cookieを受け入れる			ON
	フォームデータを保存			ON
	パスワードを保存			ON
	セキュリティ警告を表示			ON
	ダウンロードデータの保存先			microSD
	Gearsを有効にする			ON

アプリケーション	設定項目			初期値
ブラウザ	Gearsの設定			(登録なし)
方位計	地図モード変更			標準地図
ボイスレコーダー	保存先設定			SD→本体
	モード			長時間モード
名刺リーダー	ピクチャーライト			OFF
	フォーカス設定			接写AF
メール	「設定」以外の項目	振り分け登録		(登録なし)
		シークレット設定		OFF
		フォルダシークレット		OFF
		フォルダ着信通知設定		着信通知する
		並べ替え		日時順
		文字サイズ設定※2		中
		文字コード変換		自動
	設定－共通設定	受信／表示設定	画像拡大表示	拡縮する
			着信通知テロップ	差出人＋件名
		送信／作成設定	引用返信	ON
			優先作成設定	Cメール
			送信先限定設定	OFF
		メール機能制限		OFF
	設定－PCメール設定	アカウント設定		(登録なし)
		作成時優先アカウント		(登録なし)
		受信単位	受信単位	全受信
			全受信サイズ	1MB
		自動受信	自動受信	OFF
			受信間隔	2時間
			自動受信無効時間	OFF
		サーバーメール保有数通知		10000
	設定－Cメール設定	自動蓄積する		OFF
		受信フィルター		(登録なし)

アプリケーション	設定項目			初期値
メディアプレーヤー	再生モード	ムービー		通常再生
		ミュージック		通常再生
	サウンド効果	ムービー		OFF
		ミュージック		OFF
	画質設定	エフェクト		標準
		明るさ自動調整		ON
	表示切替			通常表示
	外部出力設定			本体出力
	音声切替			左+右
メモ帳	文字サイズ設定※2			中
ワンセグ	画面サイズ設定			全画面
	バックライト(自動調整)			ON
	映像･サウンド設定	画質設定	エフェクト	標準
			明るさ自動調整	On
			環境適応コントラスト補正	On
		サウンド設定		OFF
	予約時間お知らせ	アラーム音		ON
		ライト		ON
		アラーム音通知時間		1分前
	データ放送	画像保存先設定		本体
		通信接続時確認設定		ON
		位置情報利用設定		毎回確認
		端末情報利用設定		ON
	録画保存先設定			本体
	オートオフ時間設定			OFF
	字幕／音声設定	字幕表示		On
		字幕表示位置		下
		字幕言語		言語1
		音声種別		主
		音声言語		言語1

※1 メインメニューで[設定]→[地域／言語＆文字入力]を選択して設定します。
※2 設定リセット対象項目

主な仕様

ディスプレイ	約5.0インチ、約65,000色、NewモバイルASV液晶
	960×480ドット
重量	約227g（電池パック含む）
連続通話時間	約300分（Wi-Fiエリア内）
連続待受時間	約200時間［Wi-Fiを利用していない時］ 約100時間［Wi-Fi利用時］
サイズ （幅×高さ×厚さ）	約149mm×83mm×17.9mm （最厚部20mm）

memo

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■Cメール

新規作成	本文	全角50／半角100文字
受信	本文	全角50／半角100文字
受信フィルター	指定番号	10件
受信ボックス	保存件数※1	9,999件※2
	保存期間	無期限
	保護件数※1	5,000件※2
送信ボックス	保存件数※1	3,000件※2
	保存期間	無期限
	保護件数※1	1,500件※2
Cメールセンター	保存件数	無制限
	保存期間	Cメールセンターに蓄積されてから72時間まで

※1 CメールとPCメールを合わせた件数です。
※2 本体の空きメモリ容量によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

■PCメール

新規作成	本文	10,000文字（半角文字の場合）
受信	本文	5,000文字（半角文字の場合）
受信ボックス	保存件数※1	9,999件※2
	保護件数※1	5,000件※2
送信ボックス	保存件数※1	3,000件※2
	保護件数※1	1,500件※2

※1 PCメールとCメールを合わせた件数です。
※2 本体の空きメモリ容量によっては実際に保存できる件数が少なくなる場合があります。

■カメラ

撮影素子	CMOSイメージセンサー（アウトカメラ／インカメラ）		
有効画素数	約527万画素（アウトカメラ）／約43万画素（インカメラ）		
フォト	フォトサイズ	QVGA 320×240※1	8.1倍ズーム／20段階
		VGA 640×480※1	4.05倍ズーム／15段階
		FWVGA 854×480※1	3倍ズーム／12段階
		待受（WallPaper） 960×480※1	1.347倍ズーム／4段階
		1.2M 1,280×960	2.025倍ズーム／8段階
		フルHD 1,920×1,080	1.34倍ズーム／4段階
		2M 1,600×1,200	1.62倍ズーム／6段階
		3M 2,048×1,536	1.265倍ズーム／3段階
		5M 2,560×1,920	1倍ズーム
ムービー	録画サイズ	QCIF（横176×縦144）：13.444倍ズーム／20段階	
		QVGA（横320×縦240）：8.1倍ズーム／20段階	
		VGA（横640×縦480）※2：4.05倍ズーム／15段階	
	録画時間	QCIF：最大約120分 QVGA：最大約120分※3 VGA：最大約90分※3	

※1「連写」の場合も、ズーム倍率／段階は同じです。
※2 microSDメモリカードにのみ保存可能です。
※3 microSDメモリカード（512MB～16GB）をセットした場合の録画可能時間です。ただし、microSDメモリカードの容量、撮影状況、保存しているその他のデータの容量などによって変わります。また、ご使用になられる温度環境・使用条件によっては録画時間が減少します。

■本体内のデータ容量

全データ	保存可能容量	約3.4GB※	
	タイトル	全角20／半角40文字	
フォト	容量(目安)	QVGA 320×240 (ファインモード)	40KB程度
		QVGA 320×240 (ノーマルモード)	25KB程度
		VGA 640×480 (ファインモード)	120KB程度
		VGA 640×480 (ノーマルモード)	60KB程度
		FWVGA 854×480 (ファインモード)	140KB程度
		FWVGA 854×480 (ノーマルモード)	60KB程度
		待受(WallPaper) 960×480 (ファインモード)	140KB程度
		待受(WallPaper) 960×480 (ノーマルモード)	70KB程度
		1.2M 1,280×960 (ファインモード)	270KB程度
		1.2M 1,280×960 (ノーマルモード)	150KB程度
		フルHD 1,920×1,080 (ファインモード)	680KB程度
		フルHD 1,920×1,080 (ノーマルモード)	260KB程度
		2M 1,600×1,200 (ファインモード)	640KB程度
		2M 1,600×1,200 (ノーマルモード)	220KB程度
フォト	容量(目安)	3M 2,048×1,536 (ファインモード)	760KB程度
		3M 2,048×1,536 (ノーマルモード)	390KB程度
		5M 2,560×1,920 (ファインモード)	1,150KB程度
		5M 2,560×1,920 (ノーマルモード)	400KB程度
ムービー	容量(目安)	QCIF(15秒)	326KB程度
		QVGA(1分)	2,508KB程度
		VGA	本体へは保存できません。
メール	受信ボックス	最大9,999件	
	送信ボックス	最大3,000件	

※データとアプリケーションで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリケーションの使用容量により減少します。

memo

◎保存可能枚数／保存可能件数は、本体内に保存されている他のデータ、被写体の種類や明るさなどにより変わります。

■テレビ(ワンセグ)

連続視聴可能時間	イヤホン	サウンド設定 OFF時：約4時間
	スピーカー	サウンド設定 OFF時：約3時間50分

※パンスキャン表示･音量「10」･環境適応コントラスト補正「Off」･明るさ自動調整「Off」･字幕設定「Off」を使用して計測した時間です。データ放送の操作などにより連続視聴可能時間は変わります。

名前から引く索引

数字／アルファベット

な

は

ま

や

ら

わ

目的から引く索引

インターネットにアクセスする

確認する

カメラで撮影する

基本操作を覚える

ゲームで遊ぶ

困ったときは

ご利用の準備をする

情報を調べる

設定をする

データや情報を保護する

データを交換する

データを表示/再生/編集する

データを録画/録音する

電話を受ける

電話をかける

登録する

非常時に備える

メールを受け取る

メールを送る

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング・逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。

An export permit may be required if this device is to be used by or transferred to anyone else. No such documentation is required if you take this device out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips.
米国輸出規制により本製品をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

This device is controlled under the export restrictions of the United States of America. A US government export permit is required to export to Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria.

microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

The "RSA Secure" AND "Genuine RSA" logos are trademarks of RSA Data Security, Inc.

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint® は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
Adobe、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

DBEX™は、DiMAGIC社の商標です。

Copyright 2010 Google Inc. 使用許可取得済
「Google」、「Google」 ロゴ、「Android」、「Android」 ロゴ、「Android マーケット」、「Android マーケット」ロゴ、「Gmail」、「Google Apps」、「Google Calendar」、「Google Checkout」、「Google Earth」、「Google Latitude」、「Google Maps」、「Google Talk」、「Picasa」、および「YouTube」 は、Google Inc.の商標です。

Droidget®は、その商標権者が所有しておりシャープ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

IrSimple™およびIrSS™は、Infrared Data Association®の商標です。

JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

「ベールビュー」「スマートリンク」「笑顔フォーカスシャッター」「振り向きシャッター」「LCフォント」「LCFONT」およびLCロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Bluetoothは、その商標権者が所有しており、シャープ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

本製品はDataViz社のドキュメントビューアを搭載しております。

DataViz, Documents To Go and InTact Technology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.

Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

BUFFALO™は株式会社メルコホールディングスの商標です。

AirStation™、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。

The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.

ホットスポット®およびHOTSPOT®はNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。

「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。

「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。

「セカイカメラ」は頓智ドット株式会社の登録商標です。

PhotoSolid®、FaceSolid®、PhotoScouter®は株式会社モルフォの登録商標です。

CP8 PATENT

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See http://www.mpegla.com for additional details.

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、及び/又は(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、及び/又はAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。更に詳しい情報については、MPEG LA,L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および/またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.comをご参照ください。

コンテンツ所有者は、WMDRM(Windows Media digital rights management)技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、WMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護コンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツを保護できない場合、保護コンテンツを再生またはコピーするために必要なソフトウェアのWMDRM機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツが影響を受けることはありません。保護コンテンツを利用するためにライセンスをダウンロードする場合、Microsoftがライセンスに無効化リストを含める場合がありますのであらかじめご了承ください。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、WMDRMのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。

日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnを使用しています。

emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。

本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴRを搭載しています。
*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、メインメニューで[設定]→[システム]→[端末情報]→[法的情報]→[オープンソースライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPLに基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

OpenSSL License

【OpenSSL License】

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

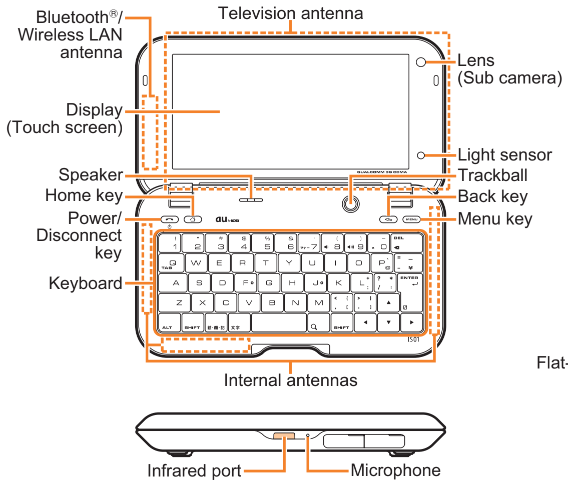
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

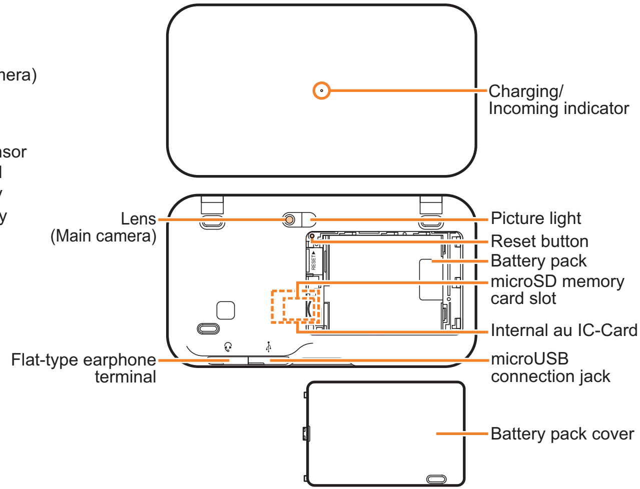
【Original SSLeay License】

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

English Simple Manual（簡易英語版）





Turning Power On and Off

● **Turning Power On**

Hold down [key] for at least four seconds.

● **Turning Power Off**

Hold down [key] until the Phone options window opens.

▶ Select [Power off]. ▶ Select [OK].

Switching the Screen to English

On the desktop*: Select [icon]. ▶ Select [設定(Settings)]. ▶ Select [地域／言語＆文字入力(Locale & text)]. ▶ Select [地域／言語を選択(Select locale)]. ▶ Select [English].

* The desktop represents the stand-by screen.

Checking Your Own Phone Number and Mail Address

On the desktop: Select [icon]. ▶ Select [Settings]. ▶ Select [Profile].

Making and Answering a Call

- **Making a Call**
  On the desktop: Select ⊞. ▶ Select [Dialer].
  ▶ Enter the phone number you want to call. ▶ Select [Call].
  To stop a call: Press [end key]/Select [Quit].
  To end a call: Press [end key]/Select [Disconnect].
- **Answering a Call**
  When you receive a phone call, select [Answer].
  To adjust the speaker volume during a call: Press [▲]/[▼].

Storing and Recalling Address Book Entries

- **Storing an Entry**
  On the desktop: Select ⊞. ▶ Select [Address Book].
  ▶ Select [Add]. ▶ Select the item you want to edit.
  ▶ Select [Save]. ▶ Select [Yes].
- **Recalling an Entry**
  On the desktop: Select ⊞. ▶ Select [Address Book]. ▶ Move the cursor to the record you want to recall. ▶ Select the phone number.
  ▶ Select [Voice call] in the Phone number menu.

Using the Camera (Movie and Snapshot)

- **Recording a Movie Clip**
  On the desktop: Select ⊞. ▶ Select [Video Camera]. ▶ Select [MENU].
  ▶ Select [Image size]. ▶ Select [QCIF(176×144)]/[QVGA(320×240)]/[VGA(640×480)]. ▶ Select [Record]. ▶ Select [Stop] to stop recording.
  ▶ Select [Save] to store the movie.
  To zoom in or out: Press [◀]/[▶] or flick the touch screen left or right.
- **Taking a Snapshot**
  On the desktop: Select ⊞. ▶ Select [Camera]. ▶ Select [MENU].
  ▶ Select [Picture size]. ▶ Select the size of a snapshot you want to take.
  ▶ Select [Shutter] to take a snapshot.
  To zoom in or out: Press [◀]/[▶] or flick the touch screen left or right.

Making an International Call

Ex: To call 212-123-△△△△ in the USA
On the desktop: Select ⊞. ▶ Select [Dialer].

[0][0][1][0][1][0] ▶ [1] ▶ [2][1][2]

- [0][0][1][0][1][0]: International access code
- [1]: Country code (USA)
- [2][1][2]: Area code

▶ [1][2][3] ▶ △△△△ ▶ Select [Call].

- [1][2][3] △△△△: Number you want to call

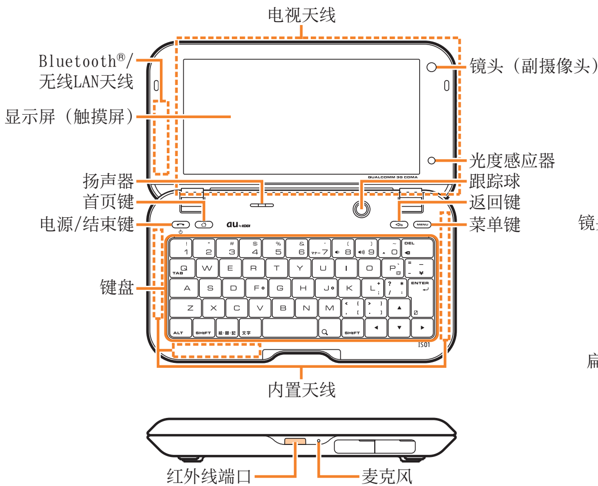
Other Handy Features

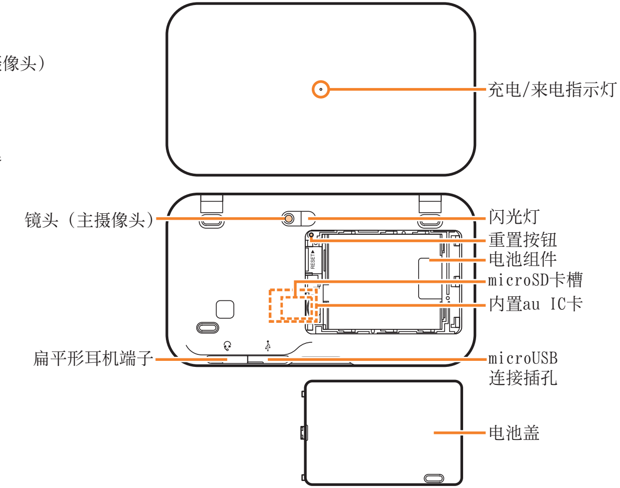
- **Setting the Manner Mode**
  On the desktop: Press [ALT]+[7].
  ▶ Select [Normal Manner]/[Drive Manner]/[Silent Manner].
  To disable the Manner mode: Press [ALT]+[7]. ▶ Select [OFF].
- **Setting the Answer Memo (Voice Recording)**
  On the desktop: Select ⊞. ▶ Select [Settings].
  ▶ Select [Call Settings]. ▶ Select [Call/Ans Memo].
  ▶ Select [Answering memo setting].
  To disable the Answer Memo: Repeat the above operation.

For inquiries, please contact
au Customer Service Center (General Information)
- If you are calling from a landline phone: [free dial] 0077-7-111 (toll free)
- If you are calling from an au mobile phone: 157 (toll free)

中文简易说明书（簡易中国語版）

IS01 au by KDDI





开启或切断电源

● 开机

按住（结束键）四秒钟以上。

● 关机

按住（结束键），直至电话选项窗口打开。▶选择〔電源を切る〕（电源关闭）。▶选择〔OK〕（确定）。

切换到英语显示

桌面*上：选择（应用程序图标）。▶选择〔設定〕（设定）。

▶选择〔地域／言語＆文字入力〕（地区和文字）。

▶选择〔地域／言語を選択〕（选择地区）。

▶选择〔English〕（英文）。

* 桌面是指待机画面。

查看自身电话号码和邮件地址

桌面上：选择（应用程序图标）。▶选择〔設定〕（设定）。

▶选择〔プロフィール〕（配置文件）。

拨打和接听电话

● **拨打电话**

桌面上：选择◎。▶选择〔電話〕（拨号器）。
▶输入要拨打的电话号码。▶选择〔発信〕（拨号）。
若要停止通话：按[挂机键]/选择〔終了〕（退出）。
若要结束通话：按[挂机键]/选择〔切断〕（结束）。

● **接听电话**

收到来电时选择〔応答〕（应答）。
若要在通话中调节扬声器音量：按[▲]/[▼]。

保存和查看电话簿内的名单

● **存储条目**

桌面上：选择◎。▶选择〔電話帳〕（电话簿）。▶选择〔新規登録〕（添加新项目）。▶选择要编辑的项目。▶选择〔保存〕（完成）。
▶选择〔はい〕（是）。

● **调用条目**

桌面上：选择◎。▶选择〔電話帳〕（电话簿）。▶将光标移到要调用的记录。▶选择电话号码。▶在电话号码菜单中选择〔音声電話〕（语音拨号）。

使用照相机（动画和快照）

● **录制动画片段**

桌面上：选择◎。▶选择〔ビデオカメラ〕（摄像机）。▶选择〔MENU〕。
▶选择〔録画サイズ〕（图像尺寸）。▶选择〔QCIF(176×144)〕/〔QVGA(320×240)〕/〔VGA(640×480)〕。▶选择〔録画〕（录制）。▶选择〔停止〕（停止）即可停止录制。▶选择〔保存〕（保存）即可保存动画。
若要放大或缩小：按[◀]/[▶]或轻弹触摸屏的左边或右边。

● **拍摄快照**

桌面上：选择◎。▶选择〔カメラ〕（照相机）。▶选择〔MENU〕。
▶选择〔撮影サイズ〕（照片尺寸）。▶选择要拍摄快照的尺寸。
▶选择〔撮影〕（快门）拍摄快照。
若要放大或缩小：按[◀]/[▶]或轻弹触摸屏的左边或右边。

拨打国际长途电话

举例：想要拨打美国长途电话 212-123-△△△△
桌面上：选择◎。▶选择〔電話〕（拨号器）。

[0][0][1][0][1][0] ▶ [1] ▶ [2][1][2]

- [0][0][1][0][1][0]：国际电话呼叫号码
- [1]：国家号码（美国）
- [2][1][2]：区号

▶ [1][2][3] ▶ △△△△ ▶ 选择〔発信〕（拨号）。

- [1][2][3] △△△△：您要拨打的电话号码

其他手机功能

● **设定方式模式**

桌面上：按[ALT]+[7]。
▶选择〔通常マナー〕（一般方式）/〔ドライブマナー〕（驾车方式）/〔サイレントマナー〕（安静方式）。
若要禁用方式模式：按[ALT]+[7]。▶选择〔OFF〕（关）。

● **设定接听备忘（录音）**

桌面上：选择◎。▶选择〔設定〕（设定）。
▶选择〔通話〕（讲话）。▶选择〔音声・伝言メモ〕（拨打/接听备忘）。
▶选择〔伝言メモ設定〕（接听备忘设定）。
若要禁用接听备忘：重复操作上述步骤。

如需咨询，请联系
au客户服务中心（综合信息）
- 从座机上请拨打电话：[免费电话] 0077-7-111（免费）
- 从au手机上请拨打电话：157（免费）

簡易中国語

MEMO

MEMO

MEMO

文字入力の詳細情報

ローマ字→かな変換表

五十音

あ　A	い　I	う　U	え　E	お　O
か　KA(CA)	き　KI	く　KU	け　KE	こ　KO
さ　SA	し　SI(SHI)	す　SU	せ　SE	そ　SO
た　TA	ち　TI(CHI)	つ　TU(TSU)	て　TE	と　TO
な　NA	に　NI	ぬ　NU	ね　NE	の　NO
は　HA	ひ　HI	ふ　HU(FU)	へ　HE	ほ　HO
ま　MA	み　MI	む　MU	め　ME	も　MO
や　YA		ゆ　YU		よ　YO
ら　RA	り　RI	る　RU	れ　RE	ろ　RO
わ　WA				を　WO
ん　N(NN)				

濁音／半濁音

が　GA	ぎ　GI	ぐ　GU	げ　GE	ご　GO
ざ　ZA	じ　ZI	ず　ZU	ぜ　ZE	ぞ　ZO
だ　DA	ぢ　DI	づ　DU	で　DE	ど　DO
ば　BA	び　BI	ぶ　BU	べ　BE	ぼ　BO
ぱ　PA	ぴ　PI	ぷ　PU	ぺ　PE	ぽ　PO
		ヴ　VU		

拗音1（ゃ、ゅ、ょ）

きゃ　KYA	きゅ　KYU	きょ　KYO
しゃ　SYA(SHA)	しゅ　SYU(SHU)	しょ　SYO(SHO)
ちゃ　TYA(CHA)	ちゅ　TYU(CHU)	ちょ　TYO(CHO)
にゃ　NYA	にゅ　NYU	にょ　NYO
ひゃ　HYA	ひゅ　HYU	ひょ　HYO
みゃ　MYA	みゅ　MYU	みょ　MYO
りゃ　RYA	りゅ　RYU	りょ　RYO
ぎゃ　GYA	ぎゅ　GYU	ぎょ　GYO
じゃ　ZYA(JA)	じゅ　ZYU(JU)	じょ　ZYO(JO)
ぢゃ　DYA	ぢゅ　DYU	ぢょ　DYO
びゃ　BYA	びゅ　BYU	びょ　BYO
ぴゃ　PYA	ぴゅ　PYU	ぴょ　PYO

拗音2（ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ）

くぁ　QA	くぃ　QI	くぅ　QWU	くぇ　QE	くぉ　QO
ぐぁ　GWA	ぐぃ　GWI	ぐぅ　GWU	ぐぇ　GWE	ぐぉ　GWO
つぁ　TSA	つぃ　TSI		つぇ　TSE	つぉ　TSO
ふぁ　FA	ふぃ　FI		ふぇ　FE	ふぉ　FO
ヴぁ　VA	ヴぃ　VI		ヴぇ　VE	ヴぉ　VO

拗音3（その他）

いぇ　YE	うぇ　WE			
てゃ　THA	てぃ　THI	てゅ　THU	てぇ　THE	てょ　THO
でゃ　DHA	でぃ　DHI	でゅ　DHU	でぇ　DHE	でょ　DHO
ふゃ　FYA		ふゅ　FYU		ふょ　FYO
とぅ　TWU	どぅ　DWU			
ヴゅ　VYU				

小さい文字のみの入力

ぁ　LA(XA)	ぃ　LI(XI)	ぅ　LU(XU)	ぇ　LE(XE)	ぉ　LO(XO)
ゃ　LYA(XYA)	ゅ　LYU(XYU)	ょ　LYO(XYO)	っ　LTU(XTU)	

■「ん」の入力

- 通常は「N」を入力
- 「ん」の次に母音(A, I, U, E, O)またはYが続くとき、文末が「ん」のときは「NN」を入力

例:

KANSEI－かんせい
TANNI－たんい
KONNYAKU－こんやく

■「っ」の入力

- 子音を2回連続して入力(Nを除く)

例:

SAKKA－さっか
HASSINN－はっしん

■記号（全角／半角）一覧

入力できる記号（全角）一覧（表示順）

空白(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（
）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡	％	＃
＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←
↑	↓	〓	∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒
∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶	◯
ゎ	ゐ	ゑ	ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ
Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι
κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е
Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ
Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	─	│	┌
┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫	┻	╋	┠	┯
┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍
㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝
〟	№	㏍	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼	∮	∟	⊿			

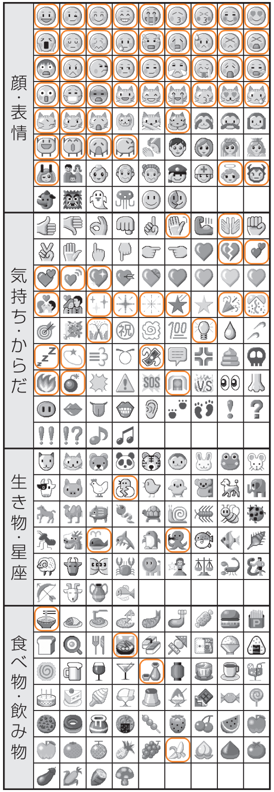
入力できる記号（半角）一覧（表示順）

空白(スペース)	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	[	¥	]	^	_	`	{	|	}	~	｡	｢	｣	､	･	ｰ	ﾞ	ﾟ	

※ 入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

■絵文字一覧

入力できる絵文字一覧（表示順）



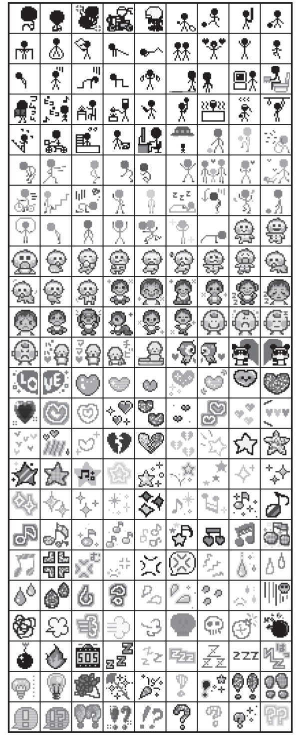


- 異なる機種の携帯電話に絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
- マルが付いた絵文字は動きます。ただし、入力箇所によっては動かない場合があります。
- 他社の携帯電話に送信した場合に変換される絵文字の対応表は、以下のホームページでご案内しております。
  パソコンから→ http://www.au.kddi.com/email/emoji/index.html
  ※サイト内の「絵文字対応表」を選択すると対応表の確認ができます。

■ デコレーション絵文字一覧

お買い上げ時に用意されているデコレーション絵文字一覧

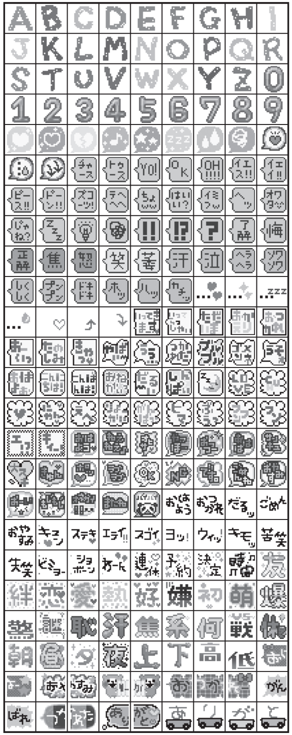


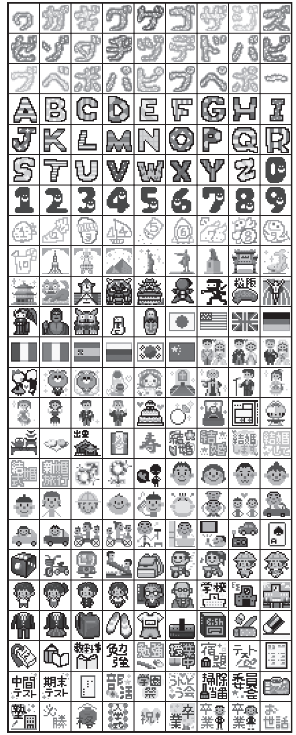













■顔文字一覧

カテゴリ	内　容
笑い	(*^^*)
	(^-^)
	(^-^)v
	(^.^)
	(^^)
	(^^)v
	(^_^)
	(^_^)v
	(^o^)
	(^o^)v
	(^q^)
	(爆)
	(笑)
	:-)
	:->
	;-)
	f(^_^)
	(^O^)
	(^—^)
	(⌒-⌒)
	(￣—￣)
	d=(^o^)=b
	o(^o^)o
	p(^-^)q
	p(^^)q
	q(^-^q)

カテゴリ	内　容
泣き	(;_;)
	(;o;)
	(>_<)
	(T-T)
	(TT)
	(T_T)
	(ToT)
	(泣)
	(涙)
	X-<
	(/_;)/~~
	(;_;)/~~~
	(´Д`)
怒り	(--;)
	(-.-)
	(-_-)
	(-_-;)
	(怒)
	:-(
	:-<
	:-p
	(￣^￣)

カテゴリ	内　容
挨拶	(^-^)/
	(^^)/
	(^^)d
	(^_^)/
	(^o^)/
	＼(^-^)／
	＼(^^)／
	＼(^_^)／
	＼(^o^)／
	(-_-)/~~~
	(/--)/
	(^_^)/~~
	(^o^)／~~
	(^∧^)
	(^人^)
	(⌒0⌒)／~~

カテゴリ	内　容
焦り	(^-^;
	(^^;
	(^_^;)
	(^o^;)
	(汗)
	f(^^;
	f(^_^;
	(((^^;)
	(((^_^;)
	(;´Д`)
	(^-^ゞ
	(^^;)))
	(^^ゞ
	(^_^;)))
	(^_^ゞ
	(^o^ゞ
	(￣▽￣;)
	_(^^;)ゞ
	f(^—^;
	σ(^_^;)?
	┐('～`;)┌

カテゴリ	内　容
驚き	(*_*)
	(・・;)
	:-o
	(((・・;)
	(゜o゜)＼(-_-)
	(゜゜;)＼(--;)
	(゜□゜)
	(゜□゜;
	(・・;)))

カテゴリ	内　容
その他	(..)
	(__)
	(照)
	(眠)
	m(__)m
	(-.-)Zzz・・・・
	(-.-)y-~
	(-.-)ノ⌒-~
	(-。-)y-~
	(>.<)y-~
	(^3^)/
	(^ з ^)-☆
	(^。^)y-~
	φ(..)
	φ(゜゜)ノ゜
	φ(. .)
	ゞ(`')、
	ヘ(^_^)
	＼(__)

※ 入力できる顔文字は実際の表示と多少異なります。

● 登録されている顔文字は編集できます。

区点コード表

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈

1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
	け									
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
	こ									
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済

1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔

1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	せ									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	そ									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜

1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	た									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	ち									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
						な				
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
						に				
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
						ぬ~の				
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
						は				
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
						ひ				
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
						ふ				
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
						へ				
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
						ほ				
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
						ま				
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
						み				
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
						む				

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
						め				
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
						も				
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
						や				
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
						ゆ				
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
						よ				
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
						ら				
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
						り				
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
						る~れ				
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
						ろ				
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
						わ				
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	莍	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝

	4桁目									
1~3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

■ お詫びと訂正 ■

このたびは、IS01をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
取扱説明書詳細版の記載に誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに以下お知らせさせていただきます。

【取扱説明書詳細版】

● 9ページ「Androidマーケットについて」

(誤)

◎アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。ウィルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。

(正)

◎アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

● 116ページ「Androidマーケットを利用する」のmemo欄

(誤)

◎アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。ウィルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。

(正)

◎アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

● 122ページ「au one Marketを利用する」のmemo欄

(誤)

◎アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。ウィルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。

(正)

◎アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

→次ページもお読みください。

● 144ページ「割込通話サービスを利用する（標準サービス）」のmemo欄

（誤）

◎ IS01はデータ通信を頻繁に行うため、割込通話サービスを停止していると着信を受けられない場合があります。
◎ ブラウザをご利用の際（特に有料データをダウンロード中）などに、割込通話を受けたくない場合は、割込通話サービスを停止後にご利用ください。

▶

（正）

記載削除

● 144ページ「割込通話サービスを停止する」のmemo欄

（誤）

◎ IS01はデータ通信を頻繁に行うため、割込通話サービスを停止していると着信を受けられない場合があります。
◎ 割込通話サービスを「停止」に設定しても、ブラウザ起動中にしばらくデータのやりとりがない場合には、かかってきた電話を受けることができます。
◎「最大3.1Mbpsエリア」でパケット通信をしている場合に割込通話サービスが「停止」に設定されていると、一部のサービスで設定通りに動作しなくなる場合があります。割込通話サービスが「開始」に設定されているときは、設定通りに動作します。

▶

（正）

◎ 割込通話サービスを「停止」に設定すると、パケット通信中も着信を受けられません。

● 304ページ

（誤）

記載なし

▶

（正）

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、メインメニューで[設定]→[システム]→[端末情報]→[法的情報]→[オープンソースライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPLに基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/

発売元：KDDI（株）
沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社
2012年9月

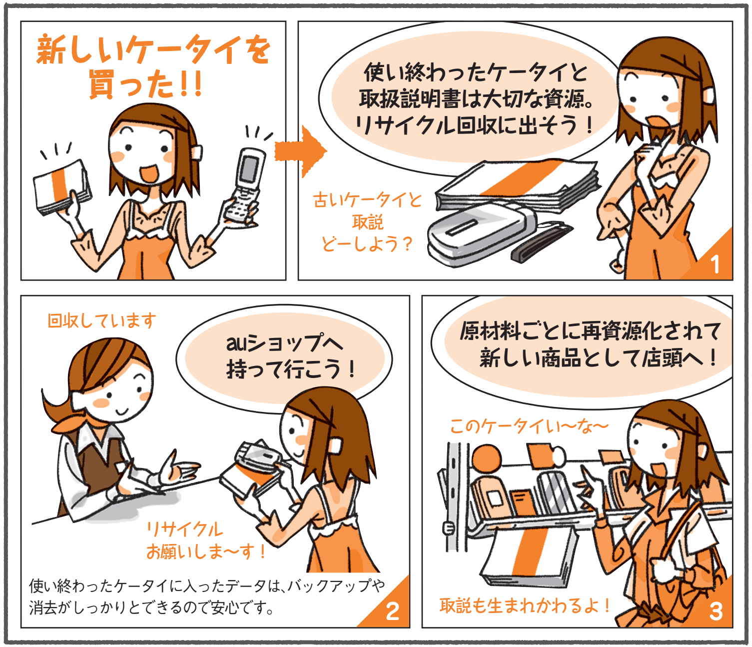
ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

大切な地球のために、一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。



ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/notice/recycle/index.html

お問い合わせ先番号　auお客様センター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは　0077-7-111
au電話からは　局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR
AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難・故障・操作方法について
（通話料無料）

一般電話からは　0077-7-113
au電話からは　局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合
下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIではこのマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し国内リサイクル活動を行っています。
本冊子は、その一環として製作されております。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2012年9月第1.1版
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：シャープ株式会社
TINSJA726AFZZ